

平成 29 (2017) 年度

「授業評価アンケート」報告書

平成 30 (2018) 年 9 月

学習院大学

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

はじめに

学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員長

眞野 泰

本報告書は、平成 29（2017）年度実施の「学生による授業評価アンケート」の集計結果とその分析を取りまとめたものである。

本学では、授業改善の一助として「学生による授業評価アンケート」を年 2 回実施しており、平成 29 年度はこのアンケートを全学的に実施するようになって 12 年目であった。近年は、このアンケートが学内に定着し、教職員と学生の協力のもと、円滑な実施ができている。

「学生による授業評価アンケート」の個別データは慎重に取り扱い、授業改善に役立てていただけるよう、各授業科目の担当教員にフィードバックしている。

さらに、このアンケートの結果を活用し、教育の改善に向けて、全学的に次のような取り組みを行っている。

第一に、平成 22（2010）年度より、このアンケートの結果を受けて、各部門がどのような授業改善を行ったのか、具体的な取り組み・工夫の例を集め、『授業評価アンケート』報告書の第 4 章「授業への取り組み例」に掲載している。これにより、個々の教員の創意工夫を大学全体で共有する。

第二に、同じく平成 22 年度より、各部門においてこのアンケートの結果を活用し、意見交換を行う機会を設けるため、FD をテーマにする懇談会を毎年開催している。

第三に、平成 27（2015）年度より、毎年度の第 1 学期中に、学生によって高く評価された授業を学内の教職員が見学・聴講する「授業見学・聴講」と、その授業の担当教員による授業方法や授業改善のための創意工夫についての講演及び参加者による意見交換からなる「FD 研究会」を実施している。これにより、教職員が良い授業とは何かについて議論し合い、授業方法や創意工夫についての情報を共有する場を作ることができた。

今後は、「学生による授業評価アンケート」に自由記述欄を設けることや、アンケートの結果を学生に公開することなど、アンケートのあり方についても見直す必要があるだろう。また、「学生による授業評価アンケート」のことだけでなく、教員が様々な形、様々な次元で FD に関わることのできる制度の整備、環境の醸成を目指し、本学の FD 活動の見直しを続けていきたい。

平成 30（2018）年 9 月

目 次

はじめに

第1章 授業評価アンケート実施の概要	1
I. 実施の経緯	2
II. 実施の方法	3
III. 実施にかかる全体的な状況、速報版（再掲）	6
IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて	16
第2章 平成29年度の概観	17
第3章 各部門の分析・評価	23
I. 法学部	25
II. 経済学部	34
III. 文学部	43
IV. 理学部	50
V. 国際社会科学部	57
VI. 計算機センター	65
VII. 外国語教育研究センター	72
VIII. スポーツ・健康科学センター	81
IX. 基礎教養科目運営委員会	88
X. 教職課程	97
V. 学芸員課程委員会	102
第4章 授業への取り組み例	108
第5章 資料集（質問項目別基礎データクロス表）	137
ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧	171

第1章

授業評価アンケート実施の概要

I. 実施の経緯

ファカルティ・ディベロップメント（以下FD）が本学において意識されるようになったのは、平成15（2003）年8月の各学部・センターの有志の教員14名からなる「FD勉強会」の組織からである。そこでは、FDの定義についての確認、FDに関する他大学の状況説明等があり、これらにつき意見交換がなされた。また、学部・学科、センターにおけるFDへの取り組み状況が紹介、説明され、また、経済学部、法学部・法学科、スポーツ健康科学センター及び外国語教育研究センターが実施（あるいは予定）していた、学生による授業評価アンケートについての報告もあった。その後「FD勉強会」は「FD研究プロジェクト」と名称を変え、FDをめぐる様々な事項について意見交換がなされ、とりわけ授業評価アンケートやFDを推進していくための組織について集中的に討議された。その結果、「ファカルティ・ディベロップメント準備委員会」を経て、学長補佐を委員長とする「学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会」（以下、「FD推進委員会」）が発足、平成16（2004）年7月、第1回の委員会が開催された。委員会規程によれば、本学におけるFDとは「授業に関する技量及び教育効果を高めるための組織的かつ継続的な取り組みを行うこと等を通して教育の内容及び方法の改善を図ること」であるとされ、委員会では、そのために全学の取り組むべき活動として、学生による授業評価アンケートの実施を最優先に議論することとなった。授業評価の主たる目的は個々の授業の改善にあるが、同時に様々なFD活動への情報提供という意味をも持ち、また学生や社会に対する説明責任を果たすための活動としても位置付けられている。

その後、FD推進委員会で、アンケートの質問形式と質問項目、アンケート対象科目、実施スケジュールと方法等について集中的に議論を進め、その結果を「授業評価アンケートの実施に関するガイドライン」として纏めた。一方、授業評価アンケートの結果は個々の授業担当者に関する個人情報であると考えられることから、「学習院個人情報保護規程」の趣旨をふまえた「授業評価アンケートにおける個人情報の取扱いに関するガイドライン」が纏められた。これら二つのガイドラインにそって、教務部（現学生センター教務課）の協力のもとに実務に関する細部の調整が行われ、平成18（2006）年度、全学にわたる授業評価アンケートが初めて実施された。

以降、「学生による授業評価アンケート」は、本学におけるFD活動の基礎として、細部に改善を加えながら毎年度実施されている。

II. 実施の方法

第1学期は7月、第2学期は12月の所定の期間中（各2週間）に、無記名のアンケートにより実施した。実施にあたっては、学生センター教務課により実施本部が設置され、各教員が授業前に実施本部でアンケート票一式を受け取り、アンケート終了後、回収用の封筒に封入された記入済みアンケート票その他を実施本部に提出することとなっている。

アンケート実施対象科目は以下のとおりであり、学部学生が履修することのできるほぼすべての科目が該当する。

第1学期：第1学期科目及び通年科目のうち学期単位で担当者が変わる科目

第2学期：第2学期科目及び通年科目

- 注1. 集中講義については、通常の期間ではなく開講期間中に実施。
2. 大学院・専門職大学院の科目は対象外だが、学部・大学院共通の科目は実施。
 3. 総履修者数が5名以下の科目は対象外。
 4. 回答者数が5名以下の科目は、その回答データを担当教員個人へフィードバックしない。このデータは保存するが、各種集計データには含めない。

なお、集計結果の分析に資するため、アンケート実施上の授業形態として、授業科目を「講義」「演習」「語学」に分類した。それぞれの開設部門の持つ授業形態は下表のとおりである。

部門	形態		
法学部	講義	演習	
経済学部	講義	演習	
文学部	講義	演習	
理学部	講義	演習	
国際社会科学部	講義	演習	語学
計算機センター	講義		
外国語教育研究センター	語学		
スポーツ・健康科学センター	演習		
基礎教養科目運営委員会	講義	演習	
教職課程	講義	演習	
学芸員課程委員会	講義	演習	

質問項目は、原則として5段階の評価方式とし、学生全員が回答すべき基本的な項目をアンケート票の表面に、授業形態等によって追加的な項目を裏面に配した。

実際に使用されたアンケート票のイメージを以下に掲載する。



平成29(2017)年度 学習院大学 授業評価アンケート

このアンケートは、学習院大学の授業を改善し、さらに充実させることを目的に行われます。
回答の内容があなたの成績評価に影響することは一切ありません。率直かつ責任を持った回答をお願いします。 学習院大学

1 この授業の「時間割コード」「授業形態」とあなたの所属する「学科コード」「学年」「性別」を記入・マークしてください。 【注意事項】



時間割コード
① ② ③ ④ ⑤
① ① ① ① ① ①
② ② ② ② ② ②
③ ③ ③ ③ ③ ③
④ ④ ④ ④ ④ ④
⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤ ⑤
⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥
⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦
⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧ ⑧
⑨ ⑨ ⑨ ⑨ ⑨ ⑨

授業形態
講義 ①
演習 ②
語学 ③

学科コード
① ② ③
① ① ①
② ② ②
③ ③ ③
④ ④ ④
⑤ ⑤ ⑤
⑥ ⑥ ⑥
⑦ ⑦ ⑦
⑧ ⑧ ⑧
⑨ ⑨ ⑨
A B C D

学年
年
①
①
②
③
④
性別
男 ①
女 ②

- 必要事項を記入の上、マーク欄に正しくマークしてください。
- 記入・マークには、必ず鉛筆・シャープペンシルを使用してください。
- 誤りは消しゴムで完全に消してください。
- 指定以外のところには書き込まないでください。
- 記入ミス・マークミスがあった場合、その回答は無効となります。
- このアンケート用紙を折り曲げたり汚したりしないでください。
- 所属する「学科コード」とは、本学が付与している学籍番号 □□-□□□-□□□ にある □ の3桁の数字です。
(例) 17-011-999の場合「011」
17-095-999の場合「095」
- 本学の学籍番号が付与されていない学生(f-Campus生・大学院交流学生)は、学科コードを「000」、学年を「0」と記入・マークしてください。

2 以下の質問項目について、回答を回答欄にマークしてください。

【回答の基準】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

● 1～12は「全員」回答してください。

	回答欄				
1 私のこの授業への出席率は ⑤: 90%以上 ④: (90%未満)80%以上 ③: (80%未満)70%以上 ②: (70%未満)50%以上 ①: 50%未満	⑤	④	③	②	①
2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	⑤	④	③	②	①
3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で ⑤: 3時間以上 ④: 2時間以上3時間未満 ③: 1時間以上2時間未満 ②: 30分以上1時間未満 ①: 30分未満	⑤	④	③	②	①
4 この授業のレベルは適切である	⑤	④	③	②	①
4-2 「① 全くそう思わない」「② あまりそう思わない」を選んだ人は、授業のレベルについて、どのように感じましたか ⑤: 難しすぎる ④: 易しすぎる	⑤	④			
5 この授業を進める速さは適切である	⑤	④	③	②	①
5-2 「① 全くそう思わない」「② あまりそう思わない」を選んだ人は、授業を進める速さについて、どのように感じましたか ⑤: 速すぎる ④: 遅すぎる	⑤	④			
6 教員は熱意を持って授業を行っている	⑤	④	③	②	①
7 教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	⑤	④	③	②	①
8 教員は理解しやすい授業を行っている	⑤	④	③	②	①
9 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	⑤	④	③	②	①
9-2 「① 全くそう思わない」「② あまりそう思わない」を選んだ人は、教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)について、どのように感じましたか ⑤: 速すぎる ④: 遅すぎる ③: その他/聞き取りにくい	⑤	④	③		
10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	⑤	④	③	②	①
11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人は「0」をマークしてください)	⑤	④	③	②	① ①
12 総合的に見てこの授業は高く評価できる	⑤	④	③	②	①

2 つき 以下の質問項目について、回答を回答欄にマークしてください。

【回答の基準】

5:強く思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

● 13・14 は「授業形態」が「講義」「語学」の科目の場合のみ回答してください。

13 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

回答欄				
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

14 教材（教科書、配付資料等）の内容は適切である

● 15・16 は「授業形態」が「演習」「語学」の科目の場合のみ回答してください。

15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

● 17・18 は「授業形態」が「語学」の科目の場合のみ回答してください。

17 1回1回の授業のねらいが明確である

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

18 教員は授業時間を有効に活用している

● 19・20 は「開設部門」が「基礎教養科目運営委員会」の科目の場合のみ回答してください。

19 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

20 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった（複数講師による授業の場合のみ回答）

● 21・22 は「開設部門」が「経済学部共通」「経営学科」の科目の場合のみ回答してください。

21 私は授業に遅刻したことがない

⑤	④	③	②	①
	④	③	②	①

22 高校で履修した数学科目

④:数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲを履修した ③:数Ⅰ・数Ⅱのみ履修した ②:数Ⅰのみ履修した ①:いずれにも該当しない(例:留学生)

● 23～30 は「開設部門」が「スポーツ・健康科学センター」の科目の場合のみ回答してください。

23 運動量は ⑤:十分であった ④:おおむね十分であった ③:どちらとも言えない ②:やや不足していた ①:不十分であった

⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①
⑤	④	③	②	①

24 体力・健康状態が改善された

25 運動技術が向上した

26 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた

27 身体や運動に対する関心が高まった

28 自分の身体の健康、体力の再確認ができた

29 自分の生活習慣を見直す機会となった

30 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

ご協力ありがとうございました。

Ⅲ. 実施にかかる全体的な状況、速報版（再掲）

上述の通り、授業評価アンケートは、総履修者数5名以下という例外を除けば、学部生が履修可能なほぼ全科目を対象科目として行われたことになる。平成29年度は、対象科目数2,427、実施科目数2,291、実施率94.40%となった。学生の回答率（＝回答者数／総履修者数）は60.04%であった。

また、平成29年度は、アンケート票の質問項目を一部見直し、「Q3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間」を追加することとした。このため、Q4以降の項目番号が1ずつ繰り下げられ、アンケート票の表面は全11項目から12項目に増加している。平成30（2018）年3月、教員へのフィードバックとして、個々の科目についての集計結果を授業担当者に送付した。同年5月には報告書（速報版）をWebページ上に公開し、開設部門別・授業形態別に、各項目（主な12項目＋ α ）に対する回答の平均値・標準偏差の表、及びそれらをグラフ化した「質問項目別単純集計表」を掲載した。また、「実施概要」及び「授業満足度みる集計結果」もあわせて公開した。本報告書では、これらに加え、各項目を部門別・形態別・学年別・総履修者数別に集計した「基礎データクロス表」、各項目の相関係数を部門別・形態別に纏めた「相関係数表」、及び各項目の平均値の経年変化（5年間）を部門別・形態別に纏めた「経年変化比較表」を作成した。さらに、「授業への取り組み例」も、情報を追加・更新する形で引き続き作成した。

「質問項目別単純集計表」「相関係数表」及び「経年変化比較表」は第3章の各部門の頁末に、「授業への取り組み例」は第4章に、「基礎データクロス表」は第5章に掲載する。

以下にWebページ上に公開した報告書（速報版）の内容を再掲する。

1. 実施概要

平成 29 年度のアンケートは、第 1 学期は 7 月 3 日から 7 月 15 日まで、第 2 学期は 12 月 6 日から 12 月 19 日までのそれぞれ 2 週間に、学部生が履修することのできる科目を対象として行われた。

部門別・形態別の実施率・回答率を示したものが**図表 1**である。

平成 29 年度は、対象科目数 2,427 に対して、実施科目数 2,291、実施率は 94.40%となり、平成 28 (2016) 年度に比べて若干回復したものの、平成 27 (2015) 年度まで 90%台後半で推移していた実施率の低下傾向が続いている (前年度比+0.60%)。

一方、集計対象科目における学生の回答率 (=集計対象科目の回答者数/集計対象科目の総履修者数) は平成 28 年度に引続き上昇し、60.04%と、実施以来初めて 60%を超えた (前年度比+0.19%)。これについては、回答者の種類を示した**図表 2**のとおり、学部生に限って見た場合、1 年生の回答者数が最も多く、学年が進むにしたがって回答者数が減少していく傾向にあることから、国際社会科学部の開設から二年度目にあたる平成 29 年度の回答率が上昇したと考えられる。実際に、学部生の学年別回答者数を国際社会科学部開設前の平成 27 年度と比較すると、1 年生 (+4,318)、2 年生 (+3,927)、3 年生 (-800)、4 年生 (-519) となっており、全回答者に占める学部 1 年生及び 2 年生の割合が大幅に増加している。

部門別・形態別の実施率・回答率を以下の**図表 1**に示す。

図表1 アンケート実施率及び集計対象科目の回答率

部門別		実施率			集計対象 科目数	集計対象 外 科目数	回答率		
		対象 科目数	実施 科目数	実施率			集計対象 科目 履修者数	集計対象 科目 回答者数	回答率
計セ	講義	95	95	100.00%	86	9	5,080	3,849	75.77%
	合計	95	95	100.00%	86	9	5,080	3,849	75.77%
外セ	語学	517	500	96.71%	480	20	12,099	9,960	82.32%
	合計	517	500	96.71%	480	20	12,099	9,960	82.32%
スポ健	演習	107	107	100.00%	100	7	2,023	1,656	81.86%
	合計	107	107	100.00%	100	7	2,023	1,656	81.86%
基礎教養	講義	95	89	93.68%	89	0	11,033	6,271	56.84%
	演習	3	3	100.00%	3	0	98	63	64.29%
	合計	98	92	93.88%	92	0	11,131	6,334	56.90%
法学部	講義	148	144	97.30%	137	7	23,866	9,514	39.86%
	演習	127	118	92.91%	110	8	2,156	1,762	81.73%
	合計	275	262	95.27%	247	15	26,022	11,276	43.33%
経済学部	講義	142	137	96.48%	135	2	24,308	10,063	41.40%
	演習	128	121	94.53%	113	8	1,963	1,670	85.07%
	合計	270	258	95.56%	248	10	26,271	11,733	44.66%
文学部	講義	196	184	93.88%	180	4	11,054	7,928	71.72%
	演習	378	341	90.21%	326	15	7,991	6,595	82.53%
	合計	574	525	91.46%	506	19	19,045	14,523	76.26%
理学部	講義	137	119	86.86%	116	3	6,394	3,992	62.43%
	演習	36	34	94.44%	34	0	1,628	1,320	81.08%
	合計	173	153	88.44%	150	3	8,022	5,312	66.22%
国際社会 科学部	講義	51	48	94.12%	48	0	5,884	3,295	56.00%
	演習	27	27	100.00%	27	0	449	372	82.85%
	語学	134	123	91.79%	122	1	2,579	2,185	84.72%
	合計	212	198	93.40%	197	1	8,912	5,852	65.66%
教職課程	講義	30	28	93.33%	27	1	1,854	1,285	69.31%
	演習	47	45	95.74%	44	1	1,690	1,323	78.28%
	合計	77	73	94.81%	71	2	3,544	2,608	73.59%
学芸員	講義	20	20	100.00%	20	0	912	757	83.00%
	演習	9	8	88.89%	7	1	76	70	92.11%
	合計	29	28	96.55%	27	1	988	827	83.70%
形態別	講義計	914	864	94.53%	838	26	90,385	46,954	51.95%
	演習計	862	804	93.27%	764	40	18,074	14,831	82.06%
	語学計	651	623	95.70%	602	21	14,678	12,145	82.74%
全科目		2,427	2,291	94.40%	2,204	87	123,137	73,930	60.04%

注1 総履修者数が5名以下の科目はアンケート実施対象外。

注2 総履修者数が6名以上の科目でも、当日の回答者数が5名以下の科目は集計対象としない。

【図表1で使用している用語の定義】

「部門別」: 学部やセンターといった授業の開設部門の単位で、11の部門に分けている。「計算機センター」「外国語教育研究センター」「スポーツ・健康科学センター」は、それぞれ「計セ」「外セ」「スポ健」という略称を

用いる。なお、学部生が履修できる大学院科目については、それぞれ対応する学部を開設部門として集計。

「形態別」: 授業形態による分類で、「講義」「演習」「語学」の3種類。

「実施率」: アンケートの実施対象となった科目数に対する実施科目数の比率。

「回答率」: アンケートを実施した科目のうち、集計対象となった科目の総履修者数に対する回答者数の比率。

図表2 回答者の種類

	1年	2年	3年	4年	他大生他	無回答	合計
学部生	32,266	22,262	11,484	3,494	52	1,504	71,062
大学院生(博士前期課程)	219	59	4	3	8	9	302
大学院生(博士後期課程)	29	4	13	1	0	0	47
科目等履修生(学部)	44	68	60	10	15	15	212
科目等履修生(大学院)	0	0	1	0	4	0	5
他大学生(大学院生含む)	9	5	3	1	40	4	62
不明	768	481	330	135	60	466	2,240
合計	33,335	22,879	11,895	3,644	179	1,998	73,930

次に、アンケートを実施した科目のうち、それぞれの総履修者数を少ない方から多い方へと10段階に分け、さらに「形態別」に分類した状況を纏めたものが図表3である。多少の変動はあるものの、例年、ほぼ同様の傾向となっている。

図表3 形態別・総履修者数別実施科目数

			履修者数別				
			25名以下	26~50名	51~100名	101~150名	151~200名
形態別	講義	科目数	121	172	269	98	43
		%	14.44%	20.53%	32.10%	11.69%	5.13%
	演習	科目数	528	198	31	7	0
		%	69.11%	25.92%	4.06%	0.92%	0.00%
	語学	科目数	350	252	0	0	0
		%	58.14%	41.86%	0.00%	0.00%	0.00%
合計		科目数	999	622	300	105	43
		%	45.33%	28.22%	13.61%	4.76%	1.95%

			履修者数別					
			201~250名	251~300名	301~350名	351~400名	401名以上	合計
形態別	講義	科目数	37	28	28	25	17	838
		%	4.42%	3.34%	3.34%	2.98%	2.03%	100.00%
	演習	科目数	0	0	0	0	0	764
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
	語学	科目数	0	0	0	0	0	602
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計		科目数	37	28	28	25	17	2,204
		%	1.68%	1.27%	1.27%	1.13%	0.77%	100.00%

2. 部門別・形態別の平均値・標準偏差

アンケート結果を「全部門の全形態・形態別」及び「各部門の形態別」に分類し、各項目（主な 12 項目 + α ）に対する回答の平均値・標準偏差を表にしたもの、及び平均値をグラフ化したものは、次のとおりである。

別紙 質問項目別単純集計表（部門別・形態別）【第 3 章各部門頁末】

※例えば、「語学」科目であるにもかかわらず、「スポ健」科目に対する項目について回答されたといった、指定項目以外の回答については無効とし、それらを除外して集計している。

3. 授業満足度に見る集計結果

アンケート結果は、全回答を単純に集計する「回答者ベース」と、科目単位で集計する「科目ベース」の2種類の集計を行っている。これは、「回答者ベース」による集計では、履修者数及び回答者数の多い大規模科目の影響を強く受けてしまうことがあるためである。

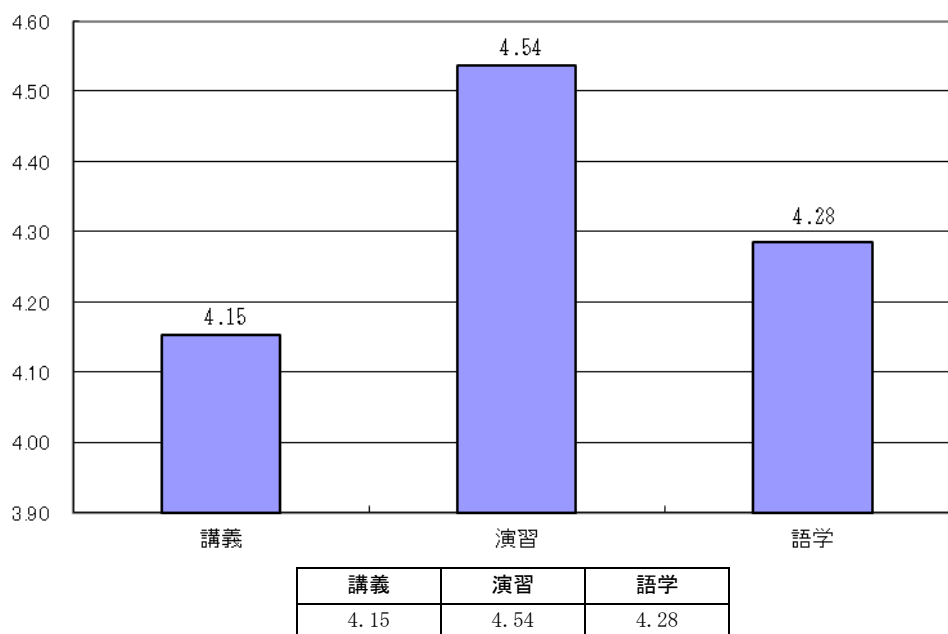
以下では、「Q11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果に着目し、授業に対する満足度を「形態別」、「総履修者数別」、Q1 の回答による「出席率別」、「学部生の学年別」（以下、「学年別」）、という4つの視点から分析する。

・「形態別」による集計結果

「講義」「演習」「語学」という3種類の形態別に集計した結果が図表4-1である。この結果を過去5年間の経年変化で示した図表4-2から分かるように、毎年、形態別の満足度は「演習」「語学」「講義」の順で高い結果となっている。これは、比較的少人数で教員と学生の距離が近く、学生の授業への参加度が高いと思われる「演習」に対する満足度に比べ、発表・グループワークなど学生の授業への直接参加が少ないと思われる「講義」、初習外国語の授業を含む「語学」に対する満足度がやや低いことが考えられる。

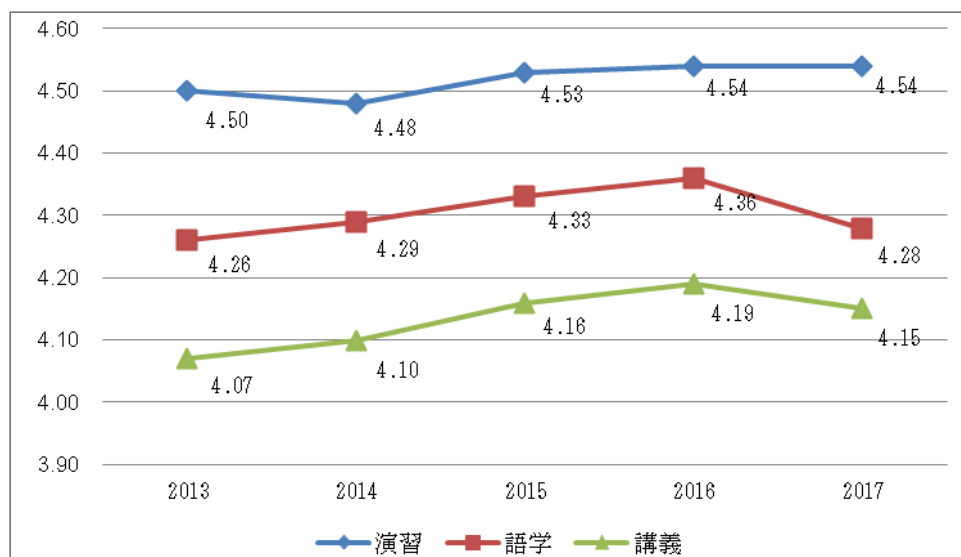
平成29年度は、「講義」「語学」において、数値の低下が見られた。これは、「講義」「演習」「語学」のいずれも、学年が上がるにつれて数値が上昇する傾向にある（後述）ことと、学部1年生及び2年生の割合の大幅な増加（1. 実施概要に既述）とが、併せて影響したものと考えられる。

図表4-1 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)



図表4-2 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)

(過去5年)

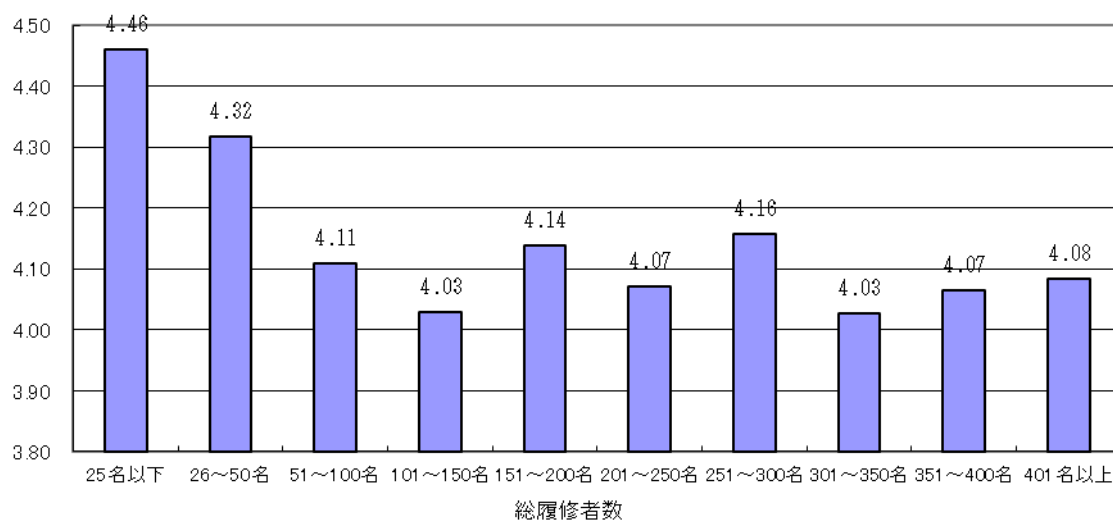


・「総履修者数別」による集計結果

「形態別」の集計結果にも関係するが、授業の規模によって満足度に差があることも考えられる。このため、アンケート実施科目の総履修者数を10段階に分けた上で集計した結果が図表5である。履修者数が150名以下の各段階においては、総履修者数が少ない科目の方が満足度が高い傾向にある一方、総履修者数が301名以上の各段階においては、総履修者数が多い科目の方が満足度が高くなっていることも特徴である。

図表5 「12 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「総履修者数別」集計結果

(科目ベース)

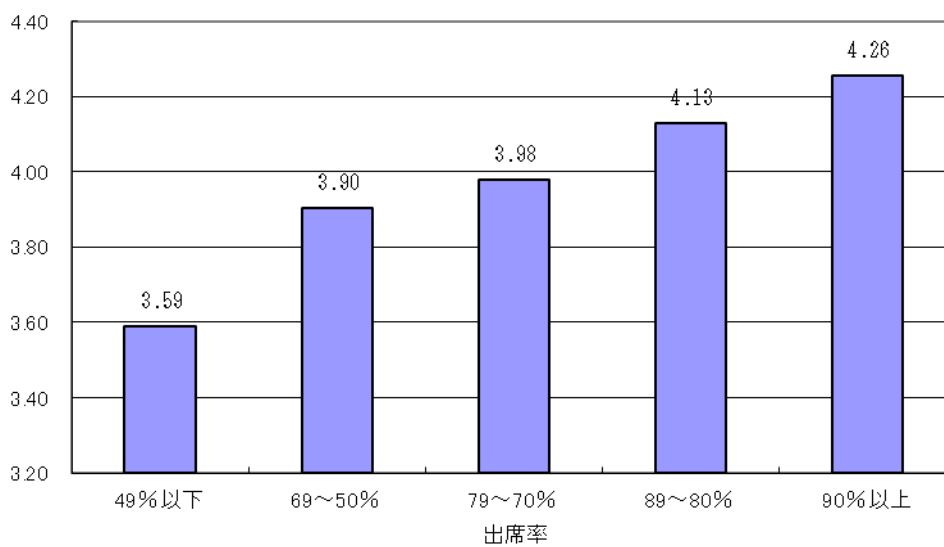


25名以下	26~50名	51~100名	101~150名	151~200名
4.46	4.32	4.11	4.03	4.14
201~250名	251~300名	301~350名	351~400名	401名以上
4.07	4.16	4.03	4.07	4.08

・「出席率別」による集計結果

授業への満足度が、出席率とどのような関係にあるかを集計した結果が図表6である。
「出席率が高い学生は、授業に対する満足度も高い」傾向が読み取れる。

図表6 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「出席率別」集計結果(回答者ベース)

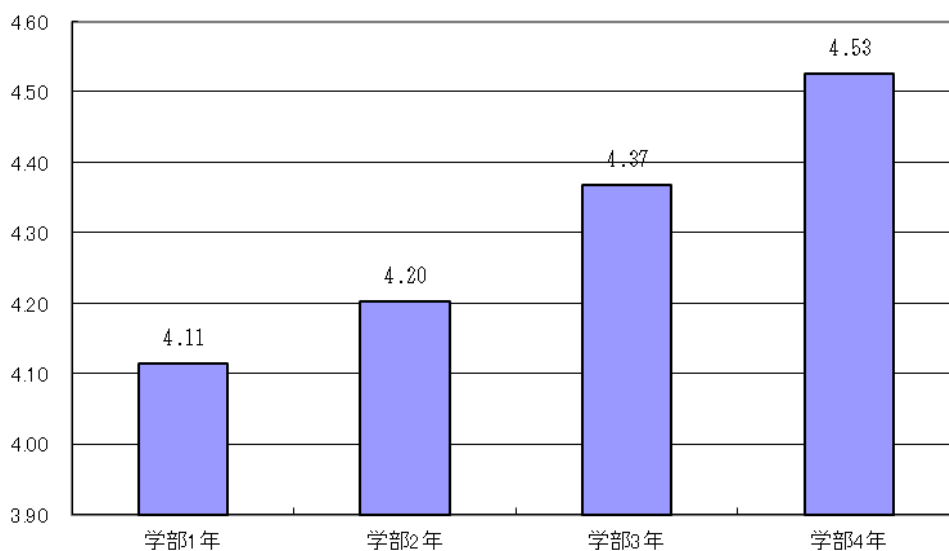


49%以下	69~50%	79~70%	89~80%	90%以上
3.59	3.90	3.98	4.13	4.26

・「学年別」による集計結果

学部生に限定して、学年別の集計を行った結果が図表7である。例年の傾向として、学年が進むにつれて満足度が高くなっていく様子が見えてくる。学年の進行と同時に授業への満足度が高まるのは、学生が年を追うごとに大学での学び方や学問への姿勢を習得していることの現れであろうと推測できるが、学年を問わず満足度の高い授業となるよう工夫・改善の余地があるだろう。

図表7 「11 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「学年別」集計結果(回答者ベース)



学部1年	学部2年	学部3年	学部4年
4.11	4.20	4.37	4.53

4. シラバスの活用度

本学のシラバスは、「到達目標（授業の目的・ねらい）」、「各回の授業内容」、「授業方法」、「成績評価の方法・基準」を必須項目とし、成績評価の方法・基準を分かりやすく示せるよう、評価対象項目の複数選択、評価配分のパーセンテージ表記を行っている。

これらのうち「各回の授業内容」について問うている「Q10 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」に対し、「強くそう思う」「そう思う」の割合は46.21%（前年度比-2.28ポイント）であった。この割合は、若干の増減はありながらも例年ほぼ同様であり、シラバスが一定程度、授業内容等を確認・把握するための参考となっていると推測できる。

一方、およそ3人に1人の学生がシラバスを読まずに受講しており、この割合も、過去5年間微増しつつほぼ横ばいで推移している。また、必修科目として指定されている授業では、シラバスを読んでいないと回答する学生の割合が多くなる傾向にある。

引き続き、科目選択から履修中の位置確認に至るまで、学生にとって利便性の高いシラバスとなるよう努めるとともに、シラバス活用の促進を行っていくことが必要である。

IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて

平成 29 年度は、本学に「学生による授業評価アンケート」を導入して 12 年目となったが、本年度も無事にアンケートを実施でき、報告書の作成に至ったことについて、関係各位のご協力に対し、ここに改めて感謝の意を表したい。FD 推進委員会は、今後も円滑な実施と情報提供に向け努めていくものである。

一方で、FD 活動としての、授業評価アンケートの将来的な課題も無視することはできない。FD 推進委員会の活動は、授業評価アンケートの実施を主要な軸としてきたが、今後これまで以上にそのあり方や活用方法を考えていく必要がある。

授業評価アンケートは、その授業の概況や基礎的な条件の到達度を検証するには重要な活動であるが、授業評価アンケートの取り組みだけでは捉えきれない、各教員の創意工夫も多数あると考えられる。このため、各教員の授業での創意工夫を共有するための「授業への取り組み例の収集・整理」を、引き続き本報告書に掲載することとした。

また、平成 27 年度より、授業評価アンケートの結果を活用した全学的な取り組みとして、学生による評価が高かった科目を学内の教職員が見学・聴講する「授業見学・聴講」と、その科目の担当教員による講演と参加者の意見交換からなる「FD 研究会」を実施している。

現在、「学生による授業評価アンケート」の取り組みは、教員にも学生にも定着している。しかし、その真の意義は、個々の教員の努力により具体的な授業改善に結びつき、学生に届いてはじめて理解されるものである。個々の努力を大学全体で共有でき、より良い授業のための改善が継続的に行われるシステムを構築することや、授業評価アンケートの結果にかかる学生へのフィードバックの検討等は授業評価アンケートの次の課題である。

また、既存の授業評価アンケートを活用した取り組みだけでなく、全学的な FD の活性化・組織化に向けた活動にも注力していきたい。

第2章

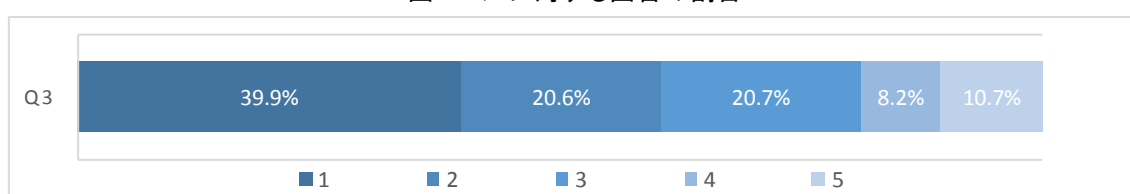
平成29年度の概観

1. 平成 29 年度の新設項目の回答傾向

平成 29 年度は、「Q3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間（予習復習・課題作成等を含む）は、1 週間あたり平均で」を新設したため、この質問項目の回答傾向について確認する。

部門や形態に関わらない全学的な回答としては、図 1 に示すように「1. 30 分未満」が最も多く約 4 割を占めている。これはある授業についての 1 週間あたりの学習時間が 30 分未満であった回答の割合であり、授業の形態を問わない集計であるとはいえ、学習時間としては少ない値であると思われる。

図 1 Q3 に対する回答の割合



次に、Q3 と Q1~Q12 との項目間の相関係数を確認すると、表 1 の通りであった。最も高いものは Q2 との相関で 0.356、最も低いものは Q1 との相関で 0.080 であった。その他の項目との相関は 0.1~0.2 程度で相関はほとんどないといえる。

表 1 Q3 と他項目との間の相関係数

	Q1	Q2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12
Q3	0.080	0.356	0.169	0.140	0.141	0.162	0.153	0.131	0.214	0.220	0.175

このことは例えば、Q12 の総合的評価との関係を見た場合、授業時間外の学習時間が少なくても、総合的に満足した学生も満足していない学生も存在するということである。

授業への満足度と授業外学習時間の関係をもっと見るために、表 2 に Q3 と Q12 の回答をクロス集計した結果を示す。このクロス集計表に関して χ^2 検定を行ったところ有意であった。さらに、残差分析を行ったところ、各セルで偏りが見られた。表 2 では、特に残差の大きかったセルについて、プラスに偏っているところは緑、マイナスに偏っているところは青で示した。

これをみると、Q12 の回答の偏りが Q3 の回答によって部分的に異なる箇所が見受けられる。例えば、Q3 について「5. 3 時間以上」と回答した学生の 77.5% が、Q12 でも「5. 強くそう思う」と回答しており、全体と比較して割合として多いといえる。このことは、授業外学習を 1 週間あたり 3 時間以上行っていた学生は、その授業に対して非常に満足したと回答する傾向が特に強かったことを示している。反対に、Q3 で「1. 30 分未満」と回答した学生の Q12 の回答の割合が「1. 全くそう思わない」～「3. どちらとも言えない」

で多くなっており、授業外学習の時間がほとんどない学生はその授業に対して満足を感じていない傾向が多少うかがえる。

このように部分的な偏りはうかがえるものの、全体としてはどの項目とも相関が見られないため、引き続き回答傾向を観察しながら、新たな質問項目の検討などで学生の授業外学習時間との関連のある要因を探る必要がある。

表2 Q3とQ12の回答に関するクロス集計表

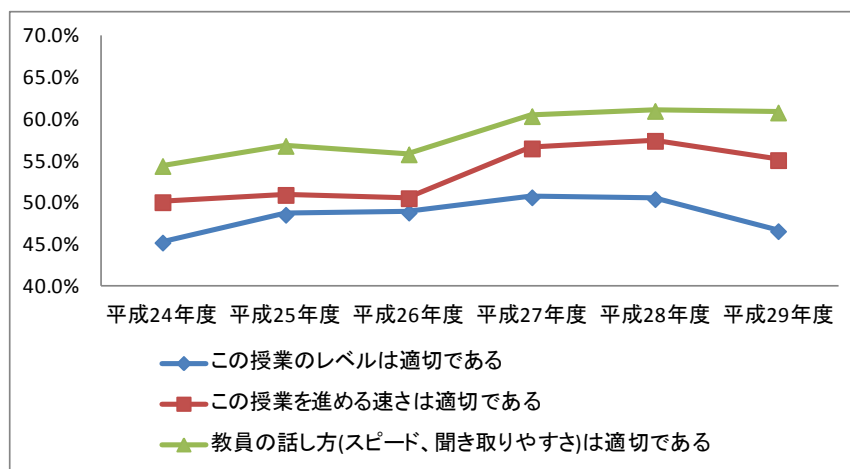
		Q12						
		1	2	3	4	5	合計	
Q3	1	度数	686	1202	5323	9930	11694	28835
		割合	(2.4%)	(4.2%)	(18.5%)	(34.4%)	(40.6%)	(100.0%)
	2	度数	158	376	2125	5748	6479	14886
		割合	(1.1%)	(2.5%)	(14.3%)	(38.6%)	(43.5%)	(100.0%)
	3	度数	151	299	2550	5173	6838	15011
		割合	(1.0%)	(2.0%)	(17.0%)	(34.5%)	(45.6%)	(100.0%)
	4	度数	50	118	568	2552	2619	5907
		割合	(0.8%)	(2.0%)	(9.6%)	(43.2%)	(44.3%)	(100.0%)
	5	度数	74	122	439	1103	5981	7719
		割合	(1.0%)	(1.6%)	(5.7%)	(14.3%)	(77.5%)	(100.0%)
	合計	度数	1119	2117	11005	24506	33611	72358
		割合	(1.5%)	(2.9%)	(15.2%)	(33.9%)	(46.5%)	(100.0%)

2. 平成27年度からサブクエスチョンを追加した項目の回答傾向

平成27年度より「Q4 この授業のレベルは適切である」、「Q5 この授業を進める速さは適切である」及び「Q9 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」にそれぞれ、「難しすぎる・易しすぎる」、「速すぎる・遅すぎる」及び「速すぎる・遅すぎる・その他／聞き取りにくい」をサブクエスチョンとして追加した。ここでは、追加して3年が経過した状況を確認する。

図2は、サブクエスチョンを追加した項目に対して、回答したすべての学生が「3. どちらでもない」～「5. 強くそう思う」の回答をした科目数の割合のグラフである。「Q4 この授業のレベルは適切である」には、サブクエスチョンを追加した平成27年度において前年から大きな変化は見当たらないが、「Q5 この授業を進める速さは適切である」及び「Q9 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」に関しては、平成26年度から平成27年度で約5%程度の向上が見られた。これは、授業自体の改善が見られた可能性も十分考えられるが、サブクエスチョンを追加したことで理由なくネガティブな回答をすることが減った可能性も考えられ、このような項目の追加に伴う相乗効果であると考えるのが妥当かもしれない。

図2 各質問へ全ての学生が「3. どちらでもない」以上をつけた科目数の割合



次に、各サブクエスチョンについてみていく。

表3には、「Q4 この授業のレベルは適切である」のサブクエスチョンである「Q4-2 授業のレベルについて、どのように感じましたか」への回答について、回答数と回答のあった科目について「5. 難しすぎる」のみの回答だった科目、「4. 易しすぎる」のみの回答だった授業、その両方の回答が混在していた科目に分けて分類した（科目ごとの回答数は考慮していないため、「5. 難しすぎる」の回答が1名であった場合も1科目と数える）。

「5. 難しすぎる」という回答について、回答数は年々増加傾向にあるが、この回答のみであった科目数は減少傾向にある。「4. 易しすぎる」という回答については、回答数もこの回答だけであった科目数も年々増加傾向にある。このことから、難しいと感じられる科目は減少傾向にありながら、その中で難しいと感じる学生が多くなり、易しいと感じる科目は増加していることがうかがえる。また、1つの科目で「5. 難しすぎる」と「4. 易しすぎる」の両方の回答が混在している科目数は、平成28年度で減少したものの平成29年度には増加した。このようなことから、授業の難易度の調整の難しさが分かる。また、本学では難易度が適切ではないと感じられる場合、易しすぎると感じるよりも難しすぎると感じる方が多い傾向にあることが分かった。

表3 「授業のレベルについて、どのように感じましたか」への回答傾向

	回答数 (全回答数に対する割合)		回答のあった授業数 (全授業に対する割合)		
	5: 難しすぎる	4: 易しすぎる	5のみ	4のみ	両方
平成27年度	3366	457	828	171	428
	5.0%	0.7%	39.2%	8.1%	20.2%
平成28年度	3536	530	820	179	368
	5.0%	0.8%	38.3%	8.4%	17.2%
平成29年度	4319	560	806	207	427
	5.8%	0.8%	36.6%	9.4%	19.4%

表4には、「Q5 この授業を進める速さは適切である」のサブクエスチョンである「Q5-2 授業を進める速さについて、どのように感じましたか」への回答について、回答数と回答のあった科目について「5. 速すぎる」のみの回答だった科目、「4. 遅すぎる」のみの回答だった科目、その両方の回答が混在していた科目に分けて分類した（科目ごとの回答数は考慮していないため、「5. 速すぎる」の回答が1名であった場合も1科目と数える）。

「5. 速すぎる」という回答について、回答数は年々増加傾向にあるが、この回答のみであった科目数は平成28年度で増加した後、平成29年度では減少した。「4. 遅すぎる」の回答は、回答数では平成28年度で減少し、平成29年度で若干増加し、この回答のみの科目数も平成28年度で減少したが、平成29年度では増加して平成27年度よりも多くなった。また、1つの科目で「5. 速すぎる」と「4. 遅すぎる」の回答が混在している科目は、平成28年度では減少したが、平成29年度で増加した。このことから授業の進行速度に関しても、調整は難しいことがうかがえる。また、本学では、進行速度が適切ではないと感じる場合、遅すぎると感じるよりも速すぎると感じる方が多い傾向にあることが分かった。

表4 「授業を進める速さについて、どのように感じましたか」への回答傾向

	回答数 (全回答数に対する割合)		回答のあった授業数 (全授業に対する割合)		
	5:速すぎる	4:遅すぎる	5のみ	4のみ	両方
平成27年度	2395	775	656	221	460
	3.6%	1.2%	31.0%	10.5%	21.8%
平成28年度	2556	740	702	190	389
	3.6%	1.1%	32.8%	8.9%	18.2%
平成29年度	3084	752	662	239	427
	4.2%	1.0%	30.0%	10.8%	19.4%

表5には、「Q9 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」のサブクエスチョンである「Q9-2 教員の話し方について、どのように感じましたか」への回答について、回答数と回答のあった科目について「5. 速すぎる」のみの回答だった科目、「4. 遅すぎる」のみの回答だった科目、「3. その他／聞き取りにくい」のみの回答だった科目、3つのうち2つ以上の回答が混在していた科目に分けて分類した（科目ごとの回答数は考慮していないため、「5. 速すぎる」の回答が1名であった場合も1科目と数える）。

「5. 速すぎる」という回答について、回答数は平成27年度が3年間で最も多く、平成28年度や平成29年度では減少した。また、この回答のみであった科目数は年々減少傾向である。「4. 遅すぎる」の回答は、回答数では年々減少傾向であり、この回答のみの科目は存在しなかった。「3. その他／聞き取りにくい」の回答は、平成27・28年度で同程度の回答数だったが、平成29年度で若干の減少が見られた。この回答のみの科目は、年々増加

傾向にある。また、1つの科目で複数の回答が混在している科目は、年々減少傾向にある。3つの回答数を見ると、話し方に関しては、速いか遅いかというよりも聞き取りにくさの問題が最も多いことが分かる。

表5 「教員の話し方について、どのように感じましたか」への回答傾向

	回答数 (全回答数に対する割合)			回答のあった授業数 (全授業に対する割合)			
	5:速すぎる	4:遅すぎる	3:その他／聞き取りにくい	5のみ	4のみ	3のみ	複数
平成27年度	1381 1.7%	190 0.2%	1947 2.8%	371 17.5%	0 0.0%	47 2.2%	717 33.9%
平成28年度	1098 1.6%	188 0.3%	1954 2.8%	338 15.8%	0 0.0%	70 3.3%	656 30.6%
平成29年度	1116 1.9%	150 0.3%	1897 2.6%	289 13.1%	0 0.0%	115 5.2%	427 19.4%

以上、授業の難易度、進行速度、話し方について、サブクエスションの回答の傾向を見てきたが、回答数としては5～6%にあたるものの、サブクエスションの回答があった科目は全体の50%～60%になることが分かった。それぞれの科目における授業改善のための情報としてだけでなく、学生が自分にとって適切な授業を受けられるような施策を考えるためなど、幅広い視点での活用が必要となるだろう。

第3章

各部門の分析・評価

この章では、集計結果に基づいた開設部門ごとの分析・評価の概要を掲載する。

分析に使用する主なデータには、「質問項目別単純集計表」「相関係数表」及び「経年変化比較表」（各部門の頁末に掲載）がある。「相関係数表」は、質問項目間の回答の関係性を見ることができるもので、相関係数の絶対値が1に近いほど強い正負の相関を示し、0に近いほど相関が弱いことを示す。その他、部門別、形態別、学年別、総履修者数別に集計した「基礎データクロス表」を第5章に掲載している。

なお、本文中、各質問項目を Q1、Q2、…、Q30 として引用する（第1章 アンケート票参照）。

※例えば、「語学」科目であるにもかかわらず、「スポ健」科目に対する項目について回答されたといった、指定項目以外の回答については無効とし、それらを除外して集計している。

I. 法学部

1. 集計データからわかること

法学部の平成 29 (2017) 年度のアンケート結果には、過去 4 年間の傾向から大きな変化は見られなかった。総合的な満足度 (Q12) の平均値は、講義科目が 4.13 / 4.21 (スラッシュの前後はそれぞれ、学生回答単純平均、部門別形態別平均。以下同じ)、演習科目が 4.59 / 4.62 であり、平成 28 (2016) 年度ないしそれ以前と比べて、ほとんど変化がない。個別の項目についても、授業のレベルの適切さ (Q4) の平均値は講義科目が 3.87 / 3.90、演習科目が 4.28 / 4.30、授業の進度の適切さ (Q5) の平均値は講義科目が 3.99 / 4.03、演習科目が 4.42 / 4.43、教員の熱意 (Q6) の平均値は講義科目が 4.34 / 4.39、演習科目が 4.63 / 4.67、理解しやすさ (Q8) の平均値は講義科目が 4.07 / 4.13、演習科目が 4.54 / 4.57、そして教員の話し方の適切さ (Q9) の平均値は講義科目が 4.09 / 4.14、演習科目が 4.54 / 4.57 であり、過去数年と大きくは変わらない。いずれも標準偏差の大きさを考えれば、過去の値との違いは誤差の範囲内である。

授業レベルの適切さ (Q4-2)、授業進度の適切さ (Q5-2)、教員の話し方の適切さ (Q9-2) については、不満の理由も調査対象となっている。講義科目・演習科目を合わせたそれぞれの不満のパーセンテージは、7.2% (Q4-2)、4.7% (Q5-2)、6.1% (Q9-2) となっており、これらの項目が調査対象に加わった平成 27 (2015) 年度以降大きな変化は見られず、低い値となっている。不満について回答した学生のうち、講義科目に不満を覚える学生の割合が圧倒的に多く、それぞれ 93.3% (Q4-2)、94.9% (Q5-2)、95.3% (Q9-2) である。また、不満の理由は、授業のレベルが難しすぎるのが 92.9% (Q4-2)、授業の進度が早すぎるのが 78.7% (Q5-2)、教員の話し方が速すぎるのが 38.6%、聞き取りにくいことなどが 57.3% (いずれも Q9-2) であった。

授業レベルの適切さと授業進度の適切さについては、学生の学力や理解力がさまざまであるので、学生に不満が生じるのはある程度までは避けがたい。平成 28 年度からナンバリング制度が導入された結果、授業レベルの表示がなされるようになり、授業レベルに関する教員と学生間の認識のギャップは多少とも解消されることが期待されているが、導入以前と大差のない不満が示されている。ナンバリング制度の趣旨がまだ学生に十分には浸透していないことも理由の一つであろう。授業を進めるスピードや教員の話し方についての不満の大半が速すぎる点にあることは、授業で提供する情報が学生にとって過剰気味であることも示唆している。教員の話し方に関する不満の理由として聞き取りにくさなどが多い点については、教員の努力を通じて解消できる面が少なくないと思われる。

Q4~Q6、Q8~Q9、Q12 すべての項目において、「3. どちらとも言えない」という回答が肯定的評価と否定的評価の中間値を示し、これを平均値が大きく上回るほど肯定的な評価が多かったと考えるならば、すべての項目で平均値が安定的に 3 を大きく上回っている

ことは評価できるであろう。また、すべての項目において講義科目の方が演習科目よりも平均値の値が低いこと、および、授業のレベルおよび進度の適切さについて不満を持っている学生は、大半が講義科目について不満を覚えていることを鑑みると、より分かりやすい授業運営を目指すには、講義科目への取り組みが重要となつてこよう。この点については、ここ数年は、講義科目の平均値がわずかながらも増加傾向にある項目が多かったものの、本年度は前年度と比して現状維持もしくは微減の項目が多く、増加したのは Q6 と Q9 の部門別形態別平均値のみであった（かつ、その増加分も、前者が 0.02、後者が 0.01 というきわめて小さな値となっている）。前年度のレベルを維持しているという意味では授業の質の向上に向けた教員による継続的な努力が読み取れる一方で、その効果が頭打ち状態となっているとの解釈も可能であろう。

演習科目の方がおしなべて評価が高いことは同時に、演習形態（かつ、法学部の場合は講義形態の科目との比較においてかなり少人数）の授業の方が、教員が授業の質を高めやすいだけでなく、学生の満足度が増す可能性があることを示唆している。法学部の多くの講義科目では出欠を取らないことや、総履修者数に対するアンケート回収率（講義 39.85%、演習 81.73%）の差を考えれば、そもそも講義科目のアンケート結果には履修者全体平均より意欲的で授業を肯定的に評価している学生が過剰代表されている可能性が高いので、演習科目と講義科目に対する評価の差は実際にはさらに大きいと考えられる。法学部では演習への参加が義務化されていないため、演習を履修する者としなない者との間で授業をめぐる満足度に大きな差が生じている可能性がある。

平成 29 年度から、授業時間外での 1 週間あたりの平均学習時間も調査項目になっており（Q3）、アンケート回答の平均値は講義科目で 2.12 / 2.16、演習科目で 3.13 / 3.22 であった。演習科目の場合、授業形態が「課題への取り組み－授業での報告－教員や参加者からのフィードバック」という形をとる場合が多いことに加え、履修者も少人数であるため、教員は学生に対して細やかな指導が可能となり、それに応じて学生側も指導に備えた取り組みが求められることを考えれば、学習時間が講義科目よりも長くなるのは理解しやすい。しかし、1 コマ 90 分・1 学期 15 回・2 単位の通常授業の場合、大学設置基準で定められている予習・復習時間は、1 回の授業につき 4.5 時間であることを鑑みると、アンケート結果からは授業時間外の学習時間について実際の平均値は算出できないものの、3 時間以上と回答した学生が 8.15% である講義科目はいうまでもなく（かつ、回答者の 65.19% が 1 時間未満）、同じく 22.8% である演習科目においても（かつ、回答者の 61.7% が 2 時間未満）、本学部の学生の学習時間が不足しているのは否めないだろう。

次に、質問項目相互の相関関係から読み取れることを考察する。一目瞭然なのは、講義科目、演習科目ともに、学生が授業によく出席していること（Q1）や、授業時間外の学習時間（Q3）、シラバスと授業内容との一致具合（Q11）が、およそすべての質問項目と非常に低い相関しかもたないことである。ただし、授業への出席（Q1）については、講義科目の場合、よく出席している学生しかそもそもアンケートに答えていないという選択バイア

スが推測されるし、出席が重視される演習科目には多くの学生がよく出席しているであろうから、回答者の中でバラツキが少ないことも推測される。授業時間外の学習時間 (Q3) については、欠席することなく意欲的に授業に取り組んでいると自己評価している学生でも、必ずしも予習・復習に十分に時間を割いているわけではないことを示唆するとともに、多くの学生が必ずしも予習・復習を要求されるような重厚な授業内容を高く評価していないことも想像させる (こういった点は、現行の授業評価アンケートに基づいて授業の質を多面的に評価することの限界を示すものであろう)。本学部の授業を受講するにあたって求められる学習姿勢について、学生側が十分に理解しているのかが問われてこよう。シラバス (Q11) については、回答者のうち、シラバスを読まなかった学生が、講義科目で 34.6%、演習科目で 25.7%、講義科目・演習科目合わせて 33.2%いたこともふまえて考えると、シラバスに記載された内容が、履修の継続・授業への取り組み・授業内容及び担当教員への評価にあまり影響を与えていないことがうかがえる (最初の科目選択においては、ある程度シラバスを参考にしているかもしれないが、この点については、アンケートの質問内容からは判断できない)。

それ以外では、授業レベル (Q4)、授業を進める速さ (Q5)、教員の熱意 (Q6)、教室内環境 (Q7)、授業の理解しやすさ (Q8)、教員の話し方 (Q9)、知的好奇心への刺激 (Q10) などが相互に、また総合的評価 (Q12) とも一貫して高い相関を見せている。質問間のつながりを考えればこれはある意味当然のことである。一方、学生が授業に意欲的に取り組んでいること (Q2) とその他の質問項目の相関が、特に演習科目において比較的弱い点は興味深い。すなわち、意欲的な学習姿勢 (Q2) とある程度の相関 (相関係数が 0.4 以上 0.5 未満) を示しているのが、講義科目においては、レベルの適切さ (Q4)、理解のしやすさ (Q8)、知的好奇心への刺激 (Q10) であり、容易に相互に関連づけて理解できるものの、演習科目においては、知的好奇心への刺激 (Q10) のみとなっている。これをどう解釈したらよいのかについては、現行の授業評価アンケートから判断するのは難しい。演習形態の授業であれば、教員との接触は講義形態の授業よりも密になり、学生による授業に対する評価にも影響すると思われるが、実際は教員の姿勢や授業運営のあり方は学生の意欲にあまり影響を及ぼさないのであろうか。レベルが高く、なかなか容易に理解できない難解な授業内容であっても、知的好奇心が刺激されるために意欲的な取り組みが促される (あるいは意欲的に取り組むことで、知的好奇心が刺激される) ということなのか。

なお、講義における板書やスライド (Q13)、教材 (Q14) の適切さは、両者間の相関係数が 0.73 と高い値を示していることに加え、授業レベル (Q4)、授業を進める速さ (Q5)、教員の熱意 (Q6)、教室内環境 (Q7)、授業の理解しやすさ (Q8)、教員の話し方 (Q9)、知的好奇心への刺激 (Q10) との間でもそれぞれ相関係数が 0.5 以上、特に授業の理解しやすさ (Q7) や総合評価 (Q12) との間では同係数が 0.6 以上であり、高い相関が認められる。学生の理解を促すための教員側の様々な工夫が相互に関連する形で評価されていることに加え、視覚的補助や活字媒体を組み合わせた授業運営が、学生の理解を深める上で大

きな役割を果たしていることがうかがえる。

2. 今後の授業改善に向けて

学生の満足度を高めていくためには、授業の手法として、理解しやすさ、適切なレベル・進度・話し方を改善していくことが重要であり、学生が理解する上で補助となる板書・スライド・教材も軽視できないことは当然である。同時に、知的好奇心を刺激されることが授業への高い総合評価につながっているという授業の内容面に関するデータ（両者の相関係数は 0.73 という高い値を示している）も、教員が今後の取り組みを考えるにあたって重要な指針となろう。

講義科目の授業の適切なレベル・進度・話し方についての一部学生の不満の原因は探求に値しよう。授業構成の工夫と情報の取捨選択を通じて、担当科目において必須の知見を整理された形で適切なレベルを維持しながら教授する努力が教員側に求められるのは言を俟たない。しかし、これらの項目における学生の不満は、学生が授業のレベルを事前に十分に把握できていないことに起因する面もあるように思われる。例えば、受講生の多くが授業内容を理解するための前提知識を身につけていない場合、学生の理解を促すために（本来は他の授業などで身につけているべき）知識を補う必要が生じるが、授業の本筋で扱うべき内容は変わらないので、所定の時間内により多くの情報を提供することになり、どうしても早口で話さざるを得なくなることも考えられる。加えて、予習・復習の時間の短さも、授業内容を十分に咀嚼できないまま受講することにつながり、授業のレベルを難しく感じさせる結果をもたらす余地がある。いずれにせよ、学生が十分に準備し、満足のいく形で授業に取り組むには、予め授業のレベルを的確に把握し、必要な学習量について理解しておくことが求められる。本来、授業のレベルや学習量についてはシラバスを読めば把握できるはずであるが、シラバスを読まなかった学生が講義科目・演習科目合わせて 33.2% であることを鑑みれば、受講前にシラバスに目を通すよう呼びかけることは重要であろう。

ただし、現在の予習・復習時間の長さおよび、予習・復習を要求されるような重厚な授業内容の授業が評価されない可能性を考慮すると、ある授業のシラバスに記載されている予習・復習時間が適切な長さであったとしても、当該授業が敬遠されたり低く評価されたりすることもあり得る。本学部で学ぶにあたって求められる学習姿勢を学生に浸透させるには、初年度教育が重要な役割を果たすことになろう。これと並行して、学生が本学のカリキュラムを通じて無理なく知見を広げていけるよう、ナンバリング制度の趣旨を学生に浸透させる必要がある。

演習科目の方が学生の満足度が高いという一般的なパターンから考えれば、演習科目を履修したいと思う学生が全員履修できる仕組みになっているか、学生が求めるような演習が十分に提供されているかなども、検証に値しよう。同時に、演習が充実した学習経験に

つながる貴重な場であることをより多くの学生に伝え、積極的な履修を促す工夫も必要ではないかと思われる。



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

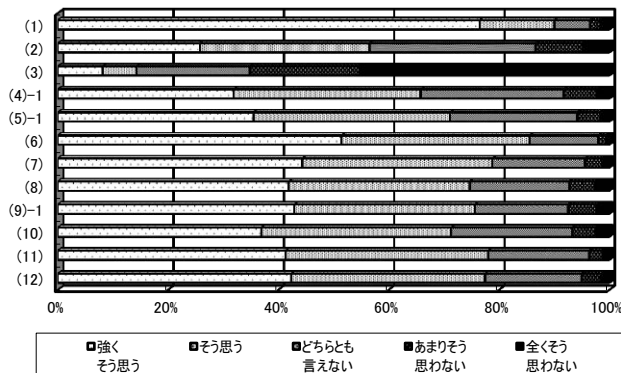
部門名 法学部

形態名 講義

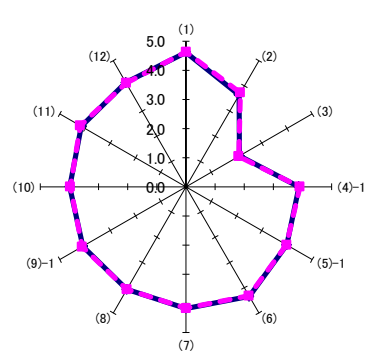
	合計	総履修者数	回答率
回答数	9,514	23,873	39.85%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5	4	3	2	1	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	7,257	1,282	613	180	152	30	9,514	4.61	0.820	4.58	0.272
			76.28%	13.47%	6.44%	1.89%	1.60%	0.32%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,433	2,898	2,831	806	460	86	9,514	3.64	1.100	3.70	0.363
			25.57%	30.46%	29.76%	8.47%	4.83%	0.90%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	762	573	1,919	1,858	4,236	166	9,514	2.12	1.274	2.16	0.395
			8.01%	6.02%	20.17%	19.53%	44.52%	1.74%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	3,014	3,199	2,446	575	210	70	9,514	3.87	1.003	3.90	0.365
			31.68%	33.62%	25.71%	6.04%	2.21%	0.74%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	698	50	-	-	-	37	785	-	-	-	-
			88.92%	6.37%	-	-	-	4.71%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	3,347	3,353	2,178	398	149	89	9,514	3.99	0.947	4.03	0.335
			35.18%	35.24%	22.89%	4.18%	1.57%	0.94%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	403	96	-	-	-	48	547	-	-	-	-	
		73.67%	17.55%	-	-	-	8.78%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4,856	3,217	1,177	128	60	76	9,514	4.34	0.795	4.39	0.270	
		51.04%	33.81%	12.37%	1.35%	0.63%	0.80%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4,170	3,240	1,581	290	124	109	9,514	4.17	0.907	4.26	0.297	
		43.83%	34.06%	16.62%	3.05%	1.30%	1.15%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	3,954	3,097	1,698	454	236	75	9,514	4.07	1.006	4.13	0.418	
		41.56%	32.55%	17.85%	4.77%	2.48%	0.79%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3,998	3,051	1,571	489	211	194	9,514	4.09	1.002	4.14	0.405	
		42.02%	32.07%	16.51%	5.14%	2.22%	2.04%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	254	23	365	-	-	58	700	-	-	-	-	
		36.29%	3.29%	52.14%	-	-	8.29%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,485	3,248	2,070	397	240	74	9,514	3.99	0.993	4.08	0.349	
		36.63%	34.14%	21.76%	4.17%	2.52%	0.78%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 32.66%)	2,430	2,155	1,075	147	69	531	9,514	4.15	0.884	4.19	0.301	
		25.54%	22.65%	11.30%	1.55%	0.73%	5.58%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,994	3,317	1,650	334	144	75	9,514	4.13	0.927	4.21	0.357	
		41.98%	34.86%	17.34%	3.51%	1.51%	0.79%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3,567	2,989	1,795	536	250	377	9,514	3.99	1.033	4.08	0.426
			37.49%	31.42%	18.87%	5.63%	2.63%	3.96%	100.00%				
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	3,763	3,126	1,710	337	181	397	9,514	4.09	0.958	4.19	0.359
			39.55%	32.86%	17.97%	3.54%	1.90%	4.17%	100.00%				

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





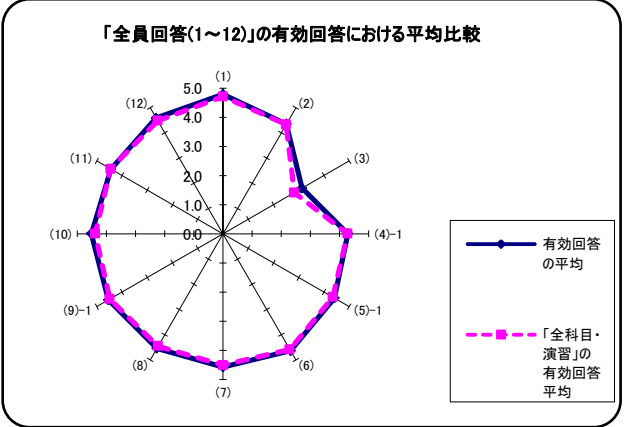
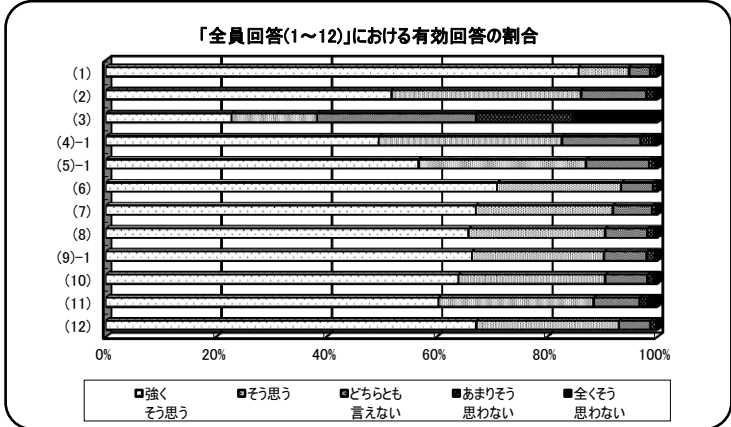
学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 法学部

形態名 演習

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,762	2,156	81.73%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース					
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,509	161	66	23	1	2	1,762	4.79	0.570	4.77	0.287	
			85.64%	9.14%	3.75%	1.31%	0.06%	0.11%	100.00%					
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	907	601	207	23	12	12	1,762	4.35	0.792	4.40	0.283	
			51.48%	34.11%	11.75%	1.31%	0.68%	0.68%	100.00%					
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	397	270	501	306	267	21	1,762	3.13	1.357	3.22	0.697	
			22.53%	15.32%	28.43%	17.37%	15.15%	1.19%	100.00%					
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	867	581	249	41	13	11	1,762	4.28	0.847	4.30	0.361	
			49.21%	32.97%	14.13%	2.33%	0.74%	0.62%	100.00%					
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	47	7	-	-	-	-	0	54	-	-	-	-
			87.04%	12.96%	-	-	-	-	0.00%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	991	530	199	18	9	15	1,762	4.42	0.771	4.43	0.299	
			56.24%	30.08%	11.29%	1.02%	0.51%	0.85%	100.00%					
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	11	16	-	-	-	-	0	27	-	-	-	-	
		40.74%	59.26%	-	-	-	-	0.00%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,246	395	101	11	3	6	1,762	4.63	0.637	4.67	0.273		
		70.72%	22.42%	5.73%	0.62%	0.17%	0.34%	100.00%						
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	1,174	435	124	12	5	12	1,762	4.58	0.679	4.61	0.285		
		66.63%	24.69%	7.04%	0.68%	0.28%	0.68%	100.00%						
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,155	435	134	22	10	6	1,762	4.54	0.738	4.57	0.335		
		65.55%	24.69%	7.60%	1.25%	0.57%	0.34%	100.00%						
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	1,153	416	134	26	8	25	1,762	4.54	0.740	4.57	0.344		
		65.44%	23.61%	7.60%	1.48%	0.45%	1.42%	100.00%						
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	6	6	20	-	-	-	2	34	-	-	-	-	
		17.65%	17.65%	58.82%	-	-	-	5.88%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	1,122	467	134	21	11	7	1,762	4.52	0.741	4.56	0.315		
		63.68%	26.50%	7.60%	1.19%	0.62%	0.40%	100.00%						
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 23.84%)	732	341	100	20	20	129	1,762	4.44	0.842	4.53	0.332		
		41.54%	19.35%	5.68%	1.14%	1.14%	7.32%	100.00%						
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,181	454	101	18	4	4	1,762	4.59	0.668	4.62	0.307		
		67.03%	25.77%	5.73%	1.02%	0.23%	0.23%	100.00%						
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	1,070	423	126	18	7	118	1,762	4.54	0.720	4.59	0.307	
			60.73%	24.01%	7.15%	1.02%	0.40%	6.70%	100.00%					
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	1,035	436	136	20	11	124	1,762	4.50	0.755	4.54	0.327	
		58.74%	24.74%	7.72%	1.14%	0.62%	7.04%	100.00%						



相関係数表 部門名 法学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.305(**)	1												
Q3	.094(**)	.393(**)	1											
Q4	.125(**)	.448(**)	.250(**)	1										
Q5	.115(**)	.398(**)	.205(**)	.742(**)	1									
Q6	.156(**)	.379(**)	.174(**)	.515(**)	.559(**)	1								
Q7	.108(**)	.381(**)	.183(**)	.506(**)	.559(**)	.673(**)	1							
Q8	.111(**)	.423(**)	.205(**)	.679(**)	.676(**)	.649(**)	.675(**)	1						
Q9	.089(**)	.358(**)	.173(**)	.597(**)	.679(**)	.596(**)	.602(**)	.747(**)	1					
Q10	.153(**)	.493(**)	.264(**)	.601(**)	.571(**)	.581(**)	.563(**)	.671(**)	.583(**)	1				
Q11	.054(**)	.263(**)	.275(**)	.236(**)	.237(**)	.211(**)	.225(**)	.245(**)	.217(**)	.280(**)	1			
Q12	.125(**)	.464(**)	.233(**)	.678(**)	.664(**)	.674(**)	.667(**)	.800(**)	.690(**)	.734(**)	.282(**)	1		
Q13	.106(**)	.382(**)	.207(**)	.560(**)	.574(**)	.528(**)	.549(**)	.658(**)	.596(**)	.551(**)	.226(**)	.648(**)	1	
Q14	.107(**)	.378(**)	.195(**)	.552(**)	.562(**)	.544(**)	.558(**)	.651(**)	.567(**)	.558(**)	.252(**)	.658(**)	.732(**)	1

相関係数表 部門名 法学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1	1													
Q2	.228(**)	1												
Q3	.036	.269(**)	1											
Q4	.057(**)	.362(**)	.120(**)	1										
Q5	.069(**)	.352(**)	.106(**)	.702(**)	1									
Q6	.034	.358(**)	.165(**)	.445(**)	.531(**)	1								
Q7	.039	.380(**)	.131(**)	.478(**)	.566(**)	.727(**)	1							
Q8	.048(**)	.362(**)	.099(**)	.568(**)	.627(**)	.682(**)	.770(**)	1						
Q9	.04	.313(**)	.110(**)	.488(**)	.593(**)	.620(**)	.689(**)	.757(**)	1					
Q10	.050(**)	.420(**)	.157(**)	.501(**)	.515(**)	.563(**)	.601(**)	.631(**)	.583(**)	1				
Q11	.034	.180(**)	.111(**)	.166(**)	.177(**)	.178(**)	.197(**)	.225(**)	.172(**)	.197(**)	1			
Q12	.031	.397(**)	.131(**)	.565(**)	.615(**)	.659(**)	.688(**)	.761(**)	.666(**)	.720(**)	.249(**)	1		
Q15	.087(**)	.360(**)	.129(**)	.408(**)	.477(**)	.536(**)	.541(**)	.551(**)	.498(**)	.500(**)	.198(**)	.579(**)	1	
Q16	.023	.354(**)	.131(**)	.455(**)	.514(**)	.583(**)	.603(**)	.631(**)	.541(**)	.566(**)	.199(**)	.653(**)	.676(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(⑤90%以上、④80%以上、③70%、②50%以上、①50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で(⑤3時間以上、④2時間以上3時間未満、③1時間以上2時間未満、②30分以上1時間未満、①30分未満)
- Q 4 この授業のレベルは適切である
- Q 5 この授業を進める速さは適切である
- Q 6 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 7 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 8 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 9 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 14 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 法学部
形態名 講義

		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度					
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース			
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.46	0.945	4.43	0.298	4.45	0.941	4.41	0.303	4.47	0.944	4.42	0.307	4.53	0.897	4.50	0.284	4.61	0.820	4.58	0.272	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.61	1.004	3.67	0.386	3.62	1.005	3.68	0.405	3.64	1.034	3.69	0.358	3.79	1.022	3.83	0.391	3.64	1.100	3.70	0.363	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外 で学習に使った時間(予習復習・課題 作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間 未満 3:1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.12	1.274	2.16	0.395		
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	3.87	0.969	3.91	0.441	3.89	0.952	3.93	0.408	3.90	0.925	3.92	0.360	4.00	0.943	3.99	0.370	3.87	1.003	3.90	0.365	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	3.89	0.987	3.98	0.417	3.91	0.963	3.98	0.391	3.97	0.888	4.03	0.328	4.05	0.910	4.07	0.341	3.99	0.947	4.03	0.335	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.14	0.899	4.22	0.366	4.14	0.892	4.23	0.366	4.25	0.831	4.31	0.304	4.36	0.809	4.37	0.357	4.34	0.795	4.39	0.270	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境 になるように配慮している	4.03	0.956	4.15	0.367	4.04	0.953	4.17	0.366	4.10	0.922	4.20	0.318	4.20	0.895	4.26	0.330	4.17	0.907	4.26	0.297	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.92	1.042	4.00	0.500	3.93	1.025	4.03	0.488	3.99	0.983	4.05	0.428	4.11	0.975	4.13	0.444	4.07	1.006	4.13	0.418	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやす さは適切である	3.92	1.049	4.03	0.465	3.94	1.019	4.05	0.449	4.01	0.993	4.08	0.448	4.09	1.008	4.13	0.448	4.09	1.002	4.14	0.405	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激 されたり、新しいものの見方が得られ たりした	3.93	0.993	4.04	0.399	3.93	1.005	4.06	0.415	3.92	0.986	4.03	0.369	4.05	0.965	4.11	0.400	3.99	0.993	4.08	0.349	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	3.75	0.993	3.83	0.388	3.82	0.963	3.91	0.343	4.04	0.858	4.09	0.286	4.21	0.831	4.23	0.273	4.15	0.884	4.19	0.301	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価で きる	3.99	0.944	4.08	0.444	4.02	0.934	4.11	0.429	4.05	0.934	4.14	0.364	4.17	0.903	4.21	0.398	4.13	0.927	4.21	0.357	
「講義」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は 適切である	3.75	1.115	3.88	0.510	3.80	1.060	3.91	0.463	3.86	1.033	3.93	0.429	4.03	1.006	4.05	0.403	3.99	1.033	4.08	0.426	
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	3.92	1.007	4.03	0.406	3.93	0.994	4.04	0.394	3.99	0.951	4.06	0.358	4.12	0.934	4.16	0.347	4.09	0.958	4.19	0.359	

部門名 法学部
形態名 演習

		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度					
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース			
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.70	0.646	4.65	0.306	4.73	0.609	4.71	0.236	4.75	0.608	4.70	0.281	4.77	0.536	4.75	0.254	4.79	0.570	4.77	0.287	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.31	0.811	4.35	0.343	4.21	0.840	4.30	0.349	4.31	0.808	4.37	0.288	4.38	0.717	4.39	0.291	4.35	0.792	4.40	0.283	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外 で学習に使った時間(予習復習・課題 作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間 未満 3:1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.13	1.357	3.22	0.697		
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	4.30	0.823	4.34	0.346	4.19	0.898	4.25	0.421	4.20	0.938	4.31	0.411	4.33	0.822	4.35	0.370	4.28	0.847	4.30	0.361	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4.42	0.770	4.46	0.344	4.30	0.843	4.36	0.380	4.31	0.874	4.43	0.358	4.45	0.754	4.45	0.361	4.42	0.771	4.43	0.299	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.57	0.668	4.60	0.286	4.45	0.790	4.52	0.331	4.56	0.741	4.65	0.297	4.65	0.610	4.67	0.269	4.63	0.637	4.67	0.273	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境 になるように配慮している	4.51	0.714	4.55	0.298	4.39	0.811	4.49	0.327	4.42	0.897	4.57	0.355	4.60	0.641	4.61	0.248	4.58	0.679	4.61	0.285	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.51	0.751	4.56	0.351	4.38	0.860	4.47	0.410	4.42	0.903	4.56	0.370	4.54	0.725	4.56	0.369	4.54	0.738	4.57	0.335	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやす さは適切である	4.56	0.695	4.60	0.289	4.44	0.817	4.52	0.369	4.45	0.845	4.59	0.355	4.53	0.730	4.55	0.367	4.54	0.740	4.57	0.344	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激 されたり、新しいものの見方が得られ たりした	4.53	0.744	4.60	0.350	4.39	0.858	4.50	0.360	4.42	0.870	4.56	0.333	4.53	0.710	4.56	0.333	4.52	0.741	4.56	0.315	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.25	0.903	4.27	0.376	4.20	0.928	4.26	0.398	4.38	0.827	4.46	0.343	4.56	0.681	4.55	0.338	4.44	0.842	4.53	0.332	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価で きる	4.57	0.685	4.61	0.295	4.43	0.821	4.53	0.376	4.47	0.879	4.61	0.359	4.58	0.694	4.60	0.356	4.59	0.668	4.62	0.307	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論 が行えるよう心がけていた	4.51	0.770	4.52	0.408	4.42	0.802	4.50	0.333	4.43	0.854	4.54	0.357	4.60	0.663	4.60	0.291	4.54	0.720	4.59	0.307	
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを 助けた	4.46	0.796	4.48	0.388	4.34	0.887	4.44	0.401	4.36	0.897	4.49	0.373	4.51	0.759	4.52	0.382	4.50	0.755	4.54	0.327	

Ⅱ. 経済学部

1. 集計データからわかること

A. 講義

経済学部の講義科目に関する授業評価アンケートの過去5年間の経年変化を、表1を用いて検討する。なお、この表の各セルで示されている値は各年度の質問項目に関する「(回答者ベースの) 平均値」であり、「回答者ベース」とは回答者の単純集計である。また、Q1、Q3以外の質問に関する評価は「5. 強くそう思う、4. そう思う、3. どちらとも言えない、2. あまりそう思わない、1. 全くそう思わない」である。Q3は、平成29年度から新たに加わった質問項目であり、学習に使った時間を5つの選択肢から選択させている。

この表から読み取れる特徴として、以下の点を指摘することができる。

- 1) 講義科目への総合的評価を問う Q12 を含むほとんどの項目において、平成29年度の平均値は、前年度を上回っているから、総じて学生からの授業評価は高まっていると考えられる。
- 2) 前年度より評価が下がった項目は Q2 と Q4 だが、いずれも2年前の評価を上回っているか、または同等の評価であり、大きく評価を下げたとは判断できない。

表1 <経済学部(講義) 授業評価アンケートの平均値(回答者ベース) >

回答対象	番号	質問内容	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
「全員」 回答	Q1	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	4.47	4.43	4.47	4.49	4.58
	Q2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.64	3.63	3.74	3.82	3.75
	Q3	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った 時間(予習復習・課題作成等を含む)は、 1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上 3時間未満 3: 1時間以上 2時間未満 2: 30分以上 1時間未満 1: 30分未満	-	-	-	-	2.19
	Q4	この授業のレベルは適切である	3.83	3.84	3.89	3.91	3.86
	Q5	この授業を進める速さは適切である	3.86	3.88	3.96	3.98	3.93
	Q6	教員は熱意を持って授業を行っている	4.16	4.16	4.29	4.32	4.31
	Q7	教員は学生が集中できる授業環境になるように 配慮している	4.04	4.06	4.15	4.17	4.18
	Q8	教員は理解しやすい授業を行っている	3.93	3.94	4.02	4.03	4.07

	Q9	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.02	4.02	4.11	4.13	4.14
	Q10	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.83	3.86	3.89	3.92	3.87
	Q11	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	3.84	3.84	4.21	4.24	4.24
	Q12	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.98	3.99	4.08	4.07	4.10
「講義」 「語学」 のみ	Q13	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.95	3.97	4.09	4.10	4.15
	Q14	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.99	3.98	4.09	4.13	4.16
「経済」 のみ	Q21	私は授業に遅刻したことがない	3.66	3.55	3.69	3.76	3.80

次に、各質問項目の値がどのように相関しているかを、表2を用いて検討する。表の各セルで示されている値は各年度の対応する質問に関する「(回答者ベースの) 平均値」の相関係数である。青いセルは、項目間の相関係数が0.6以上であり、回答間に比較的強い相関関係が見られるものである。

表から見られる経済学部の講義科目の特徴は次のとおりである。

- 1) 講義科目への総合的評価であるQ12と他の質問項目とは相関が強い。特にQ4からQ10、Q13、Q14との相関が強く、学生が授業の多くの側面を考慮して講義を評価していることが分かる。
- 2) Q7とQ8、Q8とQ9は前年度と同じく高い相関を示している。これは、学生にとって理解しやすく、進行スピードなどが適切であると、学生自身も授業に集中しやすいことを示している。
- 3) Q13とQ14も高い相関を示しており、教材の良さと板書の適切さは相互に関連していることが分かる。これも前年度の結果と同様である。

表2 <経済学部（講義）2017年度 相関係数表>

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q21	Q22
Q1	1															
Q2	.341(**)	1														
Q3	.107(**)	.368(**)	1													
Q4	.115(**)	.431(**)	.176(**)	1												
Q5	.085(**)	.385(**)	.126(**)	.752(**)	1											
Q6	.137(**)	.377(**)	.152(**)	.510(**)	.518(**)	1										
Q7	.115(**)	.391(**)	.164(**)	.502(**)	.516(**)	.716(**)	1									
Q8	.081(**)	.412(**)	.154(**)	.642(**)	.642(**)	.703(**)	.717(**)	1								
Q9	.081(**)	.358(**)	.140(**)	.567(**)	.639(**)	.649(**)	.648(**)	.774(**)	1							
Q10	.104(**)	.495(**)	.237(**)	.603(**)	.568(**)	.574(**)	.573(**)	.659(**)	.598(**)	1						
Q11	.050(**)	.300(**)	.259(**)	.272(**)	.265(**)	.235(**)	.261(**)	.274(**)	.273(**)	.376(**)	1					
Q12	.116(**)	.460(**)	.182(**)	.667(**)	.646(**)	.702(**)	.685(**)	.799(**)	.722(**)	.738(**)	.338(**)	1				
Q13	.102(**)	.385(**)	.152(**)	.549(**)	.549(**)	.631(**)	.601(**)	.706(**)	.657(**)	.580(**)	.275(**)	.721(**)	1			
Q14	.121(**)	.393(**)	.161(**)	.557(**)	.542(**)	.634(**)	.589(**)	.683(**)	.631(**)	.576(**)	.283(**)	.713(**)	.811(**)	1		
Q21	.394(**)	.278(**)	.150(**)	.110(**)	.084(**)	.121(**)	.102(**)	.077(**)	.075(**)	.108(**)	.085(**)	.120(**)	.109(**)	.123(**)	1	
Q22	0.011	-0.02	-.033(*)	0.01	-0.009	-0.012	-0.003	-0.003	0.003	-0.003	-.056(**)	-0.002	-0.008	0.006	-.026(*)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

B. 演習

経済学部の演習科目に関する授業評価アンケートの過去5年間の経年変化を、表3を用いて検討する。表の各セルで示されている値は各年度の質問項目に関する「(回答者ベースの) 平均値」である。そして、表からは以下の特徴が読み取れる。

- 1) すべての質問項目に関して、演習科目の平均値が講義科目の平均値より高くなっている。これは、従来と同様の特徴である。
- 2) Q21を除いて、各評価項目の平均値は、前年度とほぼ同じである。総合的評価であるQ12も前年度をわずかに下回っているが、依然として4.6を上回っており、他学部と比較しても決して低い水準ではない。
- 3) Q21に関しては、前年度大きく上昇したが、本年度は2年前の水準に戻っている。

表3 <経済学部（演習）授業評価アンケートの平均値（回答者ベース）>

回答対象	番号	質問内容	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
「全員」回答	Q1	私のこの授業への出席率は 5 : 90%以上 4 : 80%以上 3 : 70%以上 2 : 50%以上 1 : 50%未満	4.84	4.81	4.86	4.85	4.86
	Q2	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.50	4.46	4.50	4.53	4.53

	Q3	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間（予習復習・課題作成等を含む）は、 1 週間あたり平均で 5：3 時間以上 4：2 時間以上 3 時間未満 3：1 時間以上 2 時間未満 2：30 分以上 1 時間未満 1：30 分未満	-	-	-	-	3.27
	Q4	この授業のレベルは適切である	4.45	4.45	4.44	4.46	4.43
	Q5	この授業を進める速さは適切である	4.50	4.48	4.49	4.53	4.48
	Q6	教員は熱意を持って授業を行っている	4.60	4.61	4.69	4.68	4.65
	Q7	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.59	4.59	4.61	4.64	4.61
	Q8	教員は理解しやすい授業を行っている	4.57	4.57	4.58	4.59	4.57
	Q9	教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である	4.63	4.61	4.65	4.62	4.61
	Q10	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.57	4.56	4.55	4.56	4.53
	Q11	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.32	4.33	4.58	4.56	4.55
	Q12	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.60	4.60	4.63	4.64	4.61
「講義」 「語学」 のみ	Q13	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.55	4.57	4.57	4.62	4.58
	Q14	教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である	4.54	4.55	4.56	4.57	4.55
「経済」 のみ	Q21	私は授業に遅刻したことがない	4.18	4.11	4.14	4.23	4.17

次に、各質問項目の値がどのように相関しているかを、表 4 を用いて検討しよう。

表の各セルで示されている値は各年度の対応する質問に関する「(回答者ベースの) 平均値」の相関係数である。青いセルは、各項目の相関係数が 0.6 以上であり、回答間に比較的強い相関が見られるものである。表に見る経済学部の演習科目の特徴は次のとおりである。

- 1) 講義科目のケースと同様、総合的評価である Q12 と他の項目との相関は強い。しかし、その強さは、講義科目ほどではない。これは講義が教員主導で行われるのに対し、演習は教員と学生のインターアクションによって進められるため、教員の授業方法に対する評価と総合評価との関係が薄れるものと推察される。
- 2) それでも、講義科目と同じく、教員側の授業に対応した 2 項目 (Q8 と Q9) と授業環境 (Q7) の間には相互に強い相関が見られる。
- 3) 知的好奇心を刺激されたという項目 (Q10) と他の項目は依然相関が高いものの、その

相関の度合いは前年度に比べて低くなっている。ただ、総合的評価（Q12）との相関は前年度に匹敵するほどの高さなので、質問項目に含まれない授業方法で学生の知的好奇心を高めている可能性がある。

表4 <経済学部（演習）2017年度 相関係数表>

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q21	Q22
Q1	1															
Q2	.219(**)	1														
Q3	.053(*)	.275(**)	1													
Q4	0.046	.457(**)	.184(**)	1												
Q5	0.034	.398(**)	.145(**)	.699(**)	1											
Q6	.075(**)	.398(**)	.181(**)	.501(**)	.518(**)	1										
Q7	.069(**)	.386(**)	.171(**)	.553(**)	.560(**)	.763(**)	1									
Q8	.067(**)	.402(**)	.148(**)	.627(**)	.597(**)	.697(**)	.772(**)	1								
Q9	.048(*)	.378(**)	.174(**)	.579(**)	.596(**)	.639(**)	.691(**)	.770(**)	1							
Q10	.088(**)	.447(**)	.244(**)	.524(**)	.484(**)	.568(**)	.573(**)	.590(**)	.569(**)	1						
Q11	0.027	.206(**)	.154(**)	.218(**)	.226(**)	.234(**)	.247(**)	.248(**)	.251(**)	.255(**)	1					
Q12	.055(*)	.446(**)	.211(**)	.644(**)	.587(**)	.670(**)	.692(**)	.732(**)	.685(**)	.697(**)	.286(**)	1				
Q13	0.012	.395(**)	.219(**)	.465(**)	.464(**)	.526(**)	.581(**)	.599(**)	.514(**)	.515(**)	.183(**)	.595(**)	1			
Q14	0.05	.362(**)	.182(**)	.487(**)	.500(**)	.561(**)	.619(**)	.624(**)	.551(**)	.524(**)	.226(**)	.617(**)	.707(**)	1		
Q21	.246(**)	.131(**)	0.056	.073(*)	0.034	0.059	0.035	0.045	0.053	0.036	.093(**)	0.061	0.004	0.05	1	
Q22	0.027	-0.011	-0.007	0.032	0.009	0.005	0.001	0.006	0.039	0.039	0	0.015	-0.009	0.053	-0.041	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

2. 今後の授業改善に向けて

経済学部では、学部の専任教員に、個々の授業の改善事例を提出してもらえよう、学部長より連絡を行っている。この結果を、学部独自に取りまとめ、具体的な工夫を共有できるようにしている。

また、学部の専任教員に対し、全学的なFDプログラムへの参加を促進している。具体的には、授業評価アンケートにおいて学生の評価が高かった授業の見学会及び、その授業担当者の講演と意見交換を主としたFD研究会への出席を促している。



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

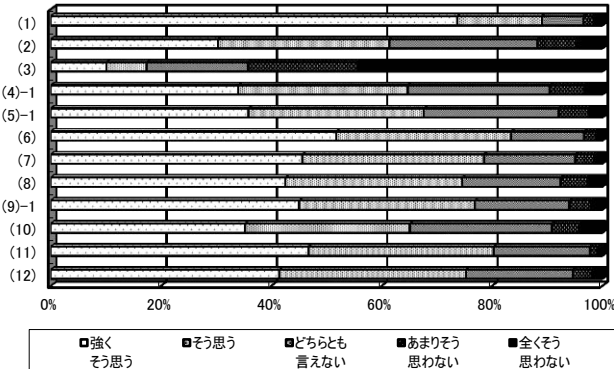
部門名 経済学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	10,063	24,331	41.36%

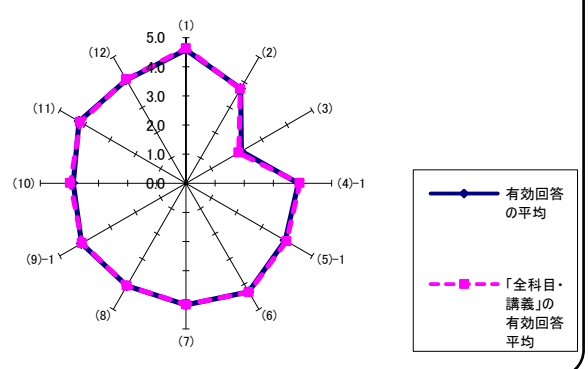
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	7,391	1,544	746	190	159	33	10,063	4.58	0.835	4.51	0.331
			73.45%	15.34%	7.41%	1.89%	1.58%	0.33%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3,025	3,096	2,672	694	482	94	10,063	3.75	1.106	3.80	0.443
			30.06%	30.77%	26.55%	6.90%	4.79%	0.93%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	999	722	1,812	1,972	4,389	169	10,063	2.19	1.339	2.31	0.572
			9.93%	7.17%	18.01%	19.60%	43.62%	1.68%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	3,391	3,067	2,563	636	320	86	10,063	3.86	1.059	3.89	0.475
			33.70%	30.48%	25.47%	6.32%	3.18%	0.85%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	849	66	-	-	-	41	956	-	-	-	-
			88.81%	6.90%	-	-	-	4.29%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	3,570	3,164	2,435	539	253	102	10,063	3.93	1.021	4.02	0.447
			35.48%	31.44%	24.20%	5.36%	2.51%	1.01%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	658	100	-	-	-	34	792	-	-	-	-	
		83.08%	12.63%	-	-	-	4.29%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	5,166	3,162	1,322	208	124	81	10,063	4.31	0.867	4.32	0.398	
		51.34%	31.42%	13.14%	2.07%	1.23%	0.80%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4,533	3,271	1,644	332	156	127	10,063	4.18	0.930	4.26	0.368	
		45.05%	32.51%	16.34%	3.30%	1.55%	1.26%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	4,244	3,195	1,780	478	275	91	10,063	4.07	1.020	4.11	0.514	
		42.17%	31.75%	17.69%	4.75%	2.73%	0.90%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4,451	3,148	1,693	395	196	180	10,063	4.14	0.970	4.21	0.419	
		44.23%	31.28%	16.82%	3.93%	1.95%	1.79%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	209	25	312	-	-	45	591	-	-	-	-	
		35.36%	4.23%	52.79%	-	-	7.61%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3,512	2,973	2,563	511	404	100	10,063	3.87	1.079	3.97	0.475	
		34.90%	29.54%	25.47%	5.08%	4.01%	0.99%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 32.76%)	2,881	2,065	1,074	86	54	606	10,063	4.24	0.848	4.26	0.358	
		28.63%	20.52%	10.67%	0.85%	0.54%	6.02%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4,128	3,373	1,928	348	185	101	10,063	4.10	0.952	4.15	0.463	
		41.02%	33.52%	19.16%	3.46%	1.84%	1.00%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4,310	3,079	1,488	361	212	613	10,063	4.15	0.972	4.18	0.451
			42.83%	30.60%	14.79%	3.59%	2.11%	6.09%	100.00%				
(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	4,197	3,114	1,632	285	165	670	10,063	4.16	0.935	4.19	0.402	
		41.71%	30.95%	16.22%	2.83%	1.64%	6.66%	100.00%					
経済学部共通・ 経営学科	(21)	私は授業に遅刻したことがない	2,740	1,277	897	583	642	3,924	10,063	3.80	1.368	3.66	0.546
			27.23%	12.69%	8.91%	5.79%	6.38%	38.99%	100.00%				
(22)	高校で履修した数学科目 4:数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ 3:数Ⅰ・数Ⅱ 2:数Ⅰのみ 1:該当なし	0	771	4,473	505	302	4,012	10,063	-	-	-	-	
		0.00%	7.66%	44.45%	5.02%	3.00%	39.87%	100.00%					

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

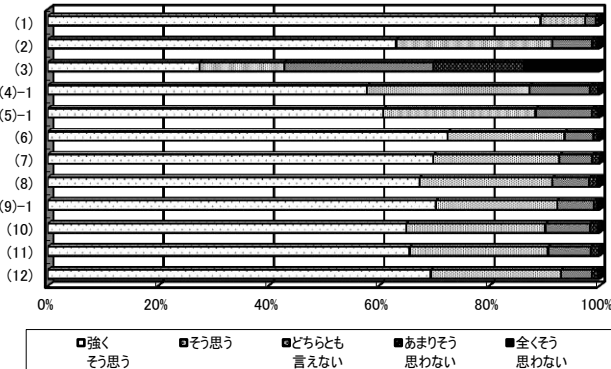
部門名 経済学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,670	1,963	85.07%

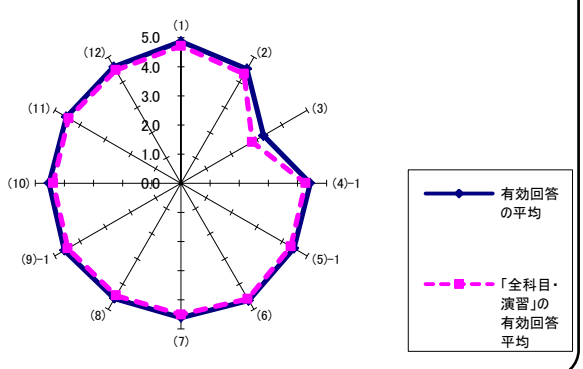
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,491	135	32	10	1	1	1,670	4.86	0.449	4.82	0.255
			89.28%	8.08%	1.92%	0.60%	0.06%	0.06%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,049	469	121	13	8	10	1,670	4.53	0.707	4.53	0.288
			62.81%	28.08%	7.25%	0.78%	0.48%	0.60%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	455	254	446	270	227	18	1,670	3.27	1.378	3.25	0.769
			27.25%	15.21%	26.71%	16.17%	13.59%	1.08%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	961	489	181	25	4	10	1,670	4.43	0.764	4.45	0.381
			57.54%	29.28%	10.84%	1.50%	0.24%	0.60%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	24	5	-	-	-	0	29	-	-	-	-
			82.76%	17.24%	-	-	-	0.00%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	1,001	455	168	19	3	24	1,670	4.48	0.738	4.50	0.324
			59.94%	27.25%	10.06%	1.14%	0.18%	1.44%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	8	13	-	-	-	1	22	-	-	-	-	
		36.36%	59.09%	-	-	-	4.55%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,206	352	87	13	5	7	1,670	4.65	0.645	4.66	0.303	
		72.22%	21.08%	5.21%	0.78%	0.30%	0.42%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	1,158	379	98	22	0	13	1,670	4.61	0.660	4.63	0.299	
		69.34%	22.69%	5.87%	1.32%	0.00%	0.78%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,121	400	111	23	8	7	1,670	4.57	0.721	4.58	0.361	
		67.13%	23.95%	6.65%	1.38%	0.48%	0.42%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	1,158	362	110	12	4	24	1,670	4.61	0.666	4.62	0.305	
		69.34%	21.68%	6.59%	0.72%	0.24%	1.44%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	3	4	8	-	-	1	16	-	-	-	-	
		18.75%	25.00%	50.00%	-	-	6.25%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	1,081	419	135	22	6	7	1,670	4.53	0.731	4.55	0.350	
		64.73%	25.09%	8.08%	1.32%	0.36%	0.42%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 22.16%)	748	286	88	17	1	160	1,670	4.55	0.709	4.56	0.326	
		44.79%	17.13%	5.27%	1.02%	0.06%	9.58%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,155	393	93	16	6	7	1,670	4.61	0.672	4.62	0.310	
		69.16%	23.53%	5.57%	0.96%	0.36%	0.42%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	1,052	330	119	14	6	149	1,670	4.58	0.709	4.59	0.364
			62.99%	19.76%	7.13%	0.84%	0.36%	8.92%	100.00%				
(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	1,016	351	124	21	4	154	1,670	4.55	0.725	4.57	0.330	
		60.84%	21.02%	7.43%	1.26%	0.24%	9.22%	100.00%					
経済学部共通・ 経営学科	(21)	私は授業に遅刻したことがない	524	154	87	51	61	793	1,670	4.17	1.236	4.13	0.693
			31.38%	9.22%	5.21%	3.05%	3.65%	47.49%	100.00%				
(22)	高校で履修した数学科目 4:数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ 3:数Ⅰ・数Ⅱ 2:数Ⅰのみ 1:該当なし	0	124	628	70	30	818	1,670	-	-	-	-	
		0.00%	7.43%	37.60%	4.19%	1.80%	48.98%	100.00%					

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 経済学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q21	Q22
Q1																
Q2	.341(**)															
Q3	.107(**)	.368(**)	1													
Q4	.115(**)	.431(**)	.176(**)	1												
Q5	.085(**)	.385(**)	.128(**)	.752(**)	1											
Q6	.137(**)	.377(**)	.152(**)	.510(**)	.518(**)	1										
Q7	.115(**)	.391(**)	.164(**)	.502(**)	.516(**)	.716(**)	1									
Q8	.081(**)	.412(**)	.154(**)	.642(**)	.642(**)	.703(**)	.717(**)	1								
Q9	.081(**)	.358(**)	.140(**)	.567(**)	.639(**)	.649(**)	.648(**)	.774(**)	1							
Q10	.104(**)	.495(**)	.237(**)	.603(**)	.568(**)	.574(**)	.573(**)	.659(**)	.598(**)	1						
Q11	.050(**)	.300(**)	.259(**)	.272(**)	.265(**)	.235(**)	.261(**)	.274(**)	.273(**)	.376(**)	1					
Q12	.116(**)	.460(**)	.182(**)	.667(**)	.646(**)	.702(**)	.685(**)	.799(**)	.722(**)	.738(**)	.338(**)	1				
Q13	.102(**)	.385(**)	.152(**)	.549(**)	.549(**)	.631(**)	.601(**)	.706(**)	.657(**)	.580(**)	.275(**)	.721(**)	1			
Q14	.121(**)	.393(**)	.161(**)	.557(**)	.542(**)	.634(**)	.589(**)	.683(**)	.631(**)	.576(**)	.283(**)	.713(**)	.811(**)	1		
Q21	.394(**)	.278(**)	.150(**)	.110(**)	.084(**)	.121(**)	.102(**)	.077(**)	.075(**)	.108(**)	.085(**)	.120(**)	.109(**)	.123(**)	1	
Q22	0.011	-0.021	-0.033(*)	0.011	-0.009	-0.012	-0.003	-0.003	0.003	-0.003	-0.056(**)	-0.002	-0.008	0.006	-0.026(*)	1

相関係数表 部門名 経済学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16	Q21	Q22
Q1																
Q2	.219(**)															
Q3	.053(*)	.275(**)	1													
Q4	0.046	.457(**)	.184(**)	1												
Q5	0.034	.398(**)	.145(**)	.699(**)	1											
Q6	.075(**)	.398(**)	.181(**)	.501(**)	.518(**)	1										
Q7	.069(**)	.386(**)	.171(**)	.553(**)	.560(**)	.763(**)	1									
Q8	.067(**)	.402(**)	.148(**)	.627(**)	.597(**)	.697(**)	.772(**)	1								
Q9	.048(*)	.378(**)	.174(**)	.579(**)	.596(**)	.639(**)	.691(**)	.770(**)	1							
Q10	.088(**)	.447(**)	.244(**)	.524(**)	.484(**)	.568(**)	.573(**)	.590(**)	.569(**)	1						
Q11	0.027	.206(**)	.154(**)	.218(**)	.226(**)	.234(**)	.247(**)	.248(**)	.251(**)	.255(**)	1					
Q12	.055(*)	.446(**)	.211(**)	.644(**)	.587(**)	.670(**)	.692(**)	.732(**)	.685(**)	.697(**)	.286(**)	1				
Q15	0.012	.395(**)	.219(**)	.465(**)	.464(**)	.526(**)	.581(**)	.599(**)	.514(**)	.515(**)	.183(**)	.595(**)	1			
Q16	0.05	.362(**)	.182(**)	.487(**)	.500(**)	.561(**)	.619(**)	.624(**)	.551(**)	.524(**)	.226(**)	.617(**)	.707(**)	1		
Q21	.246(**)	.131(**)	0.056	.073(*)	0.034	0.059	0.035	0.045	0.053	0.036	.093(**)	0.061	0.004	0.05	1	
Q22	0.027	-0.011	-0.007	0.032	0.009	0.005	0.001	0.006	0.039	0.039	0	0.015	-0.009	0.053	-0.041	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、②50%以上、①50%未満)
- Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む) は、1週間あたり平均で (⑤3時間以上、④2時間以上3時間未満、③1時間以上2時間未満、②30分以上1時間未満、①30分未満)
- Q4 この授業のレベルは適切である
- Q5 この授業を進める速さは適切である
- Q6 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q7 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q8 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q9 教員の話し方 (スピード、聞き取りやすさ) は適切である
- Q10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q13 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q14 教材 (教科書、配布資料等) の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「経済学部共通」「経済学科」「経営学科」の場合のみ回答】

- Q21 私は授業に遅刻したことがない
- Q22 高校で履修した数学科目 (④数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ、③数Ⅰ・数Ⅱ、②数Ⅰのみ、①その他)



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 経済学部
形態名 講義

		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度					
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース			
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.47	0.940	4.44	0.322	4.43	0.965	4.44	0.294	4.47	0.939	4.43	0.332	4.49	0.916	4.44	0.337	4.58	0.835	4.51	0.331	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	3.64	1.043	3.70	0.418	3.63	1.048	3.72	0.466	3.74	1.034	3.80	0.431	3.82	1.037	3.86	0.457	3.75	1.106	3.80	0.443	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.19	1.339	2.31	0.572
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	3.83	1.047	3.88	0.489	3.84	1.026	3.92	0.461	3.89	1.036	3.97	0.473	3.91	1.029	3.95	0.476	3.86	1.059	3.89	0.475	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	3.86	1.045	3.95	0.473	3.88	1.027	3.99	0.452	3.96	1.001	4.06	0.425	3.98	0.987	4.05	0.425	3.93	1.021	4.02	0.447	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.16	0.942	4.19	0.434	4.16	0.934	4.22	0.448	4.29	0.853	4.35	0.375	4.32	0.859	4.35	0.373	4.31	0.867	4.32	0.398	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.04	0.977	4.11	0.395	4.06	0.972	4.18	0.434	4.15	0.938	4.26	0.384	4.17	0.954	4.24	0.389	4.18	0.930	4.26	0.368	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.93	1.071	3.98	0.541	3.94	1.066	4.03	0.554	4.02	1.037	4.12	0.517	4.03	1.040	4.09	0.513	4.07	1.020	4.11	0.514	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.02	1.003	4.07	0.447	4.02	1.013	4.11	0.492	4.11	0.978	4.21	0.451	4.13	0.971	4.19	0.427	4.14	0.970	4.21	0.419	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.83	1.090	3.93	0.517	3.86	1.074	4.01	0.509	3.89	1.051	4.03	0.499	3.92	1.057	3.99	0.504	3.87	1.079	3.97	0.475	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	3.84	0.990	3.88	0.376	3.84	0.989	3.91	0.367	4.21	0.839	4.25	0.309	4.24	0.848	4.27	0.334	4.24	0.848	4.26	0.358	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.98	0.994	4.04	0.492	3.99	0.982	4.08	0.489	4.08	0.966	4.19	0.481	4.07	0.981	4.13	0.470	4.10	0.952	4.15	0.463	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.95	1.055	3.98	0.499	3.97	1.047	4.07	0.495	4.09	1.016	4.17	0.481	4.10	1.005	4.17	0.457	4.15	0.972	4.18	0.451	
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.99	1.001	4.03	0.442	3.98	0.994	4.05	0.442	4.09	0.982	4.18	0.430	4.13	0.966	4.18	0.417	4.16	0.935	4.19	0.402	
「経済」 のみ	(21)	私は授業に遅刻したことがない	3.66	1.390	3.66	0.506	3.55	1.399	3.53	0.488	3.69	1.378	3.63	0.482	3.76	1.361	3.71	0.517	3.80	1.368	3.66	0.546	

部門名 経済学部
形態名 演習

		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度					
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース			
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.84	0.499	4.79	0.300	4.81	0.537	4.75	0.359	4.86	0.460	4.82	0.231	4.85	0.486	4.82	0.235	4.86	0.449	4.82	0.255	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	4.50	0.690	4.49	0.258	4.46	0.712	4.45	0.333	4.50	0.708	4.50	0.328	4.53	0.678	4.51	0.302	4.53	0.707	4.53	0.288	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.27	1.378	3.25	0.769
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	4.45	0.740	4.44	0.360	4.45	0.751	4.43	0.374	4.44	0.758	4.45	0.378	4.46	0.774	4.45	0.387	4.43	0.764	4.45	0.381	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4.50	0.720	4.50	0.351	4.48	0.749	4.48	0.346	4.49	0.739	4.50	0.349	4.53	0.724	4.51	0.333	4.48	0.738	4.50	0.324	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.60	0.656	4.60	0.341	4.61	0.673	4.61	0.339	4.69	0.581	4.70	0.284	4.68	0.600	4.67	0.314	4.65	0.645	4.66	0.303	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.59	0.672	4.59	0.317	4.59	0.658	4.60	0.283	4.61	0.682	4.62	0.346	4.64	0.621	4.63	0.284	4.61	0.660	4.63	0.299	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.57	0.703	4.57	0.362	4.57	0.710	4.57	0.390	4.58	0.735	4.58	0.424	4.59	0.686	4.57	0.361	4.57	0.721	4.58	0.361	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.63	0.642	4.63	0.314	4.61	0.679	4.61	0.345	4.65	0.643	4.65	0.339	4.62	0.664	4.60	0.336	4.61	0.666	4.62	0.305	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.57	0.691	4.59	0.340	4.56	0.713	4.57	0.343	4.55	0.740	4.58	0.392	4.56	0.708	4.55	0.353	4.53	0.731	4.55	0.350	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.32	0.873	4.31	0.443	4.33	0.848	4.35	0.408	4.58	0.706	4.59	0.344	4.56	0.750	4.56	0.347	4.55	0.709	4.56	0.326	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.60	0.652	4.60	0.343	4.60	0.689	4.60	0.373	4.63	0.656	4.65	0.363	4.64	0.645	4.63	0.340	4.61	0.672	4.62	0.310	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.55	0.710	4.54	0.390	4.57	0.726	4.57	0.392	4.57	0.707	4.58	0.387	4.62	0.675	4.60	0.364	4.58	0.709	4.59	0.364	
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.54	0.708	4.56	0.339	4.55	0.740	4.57	0.380	4.56	0.716	4.57	0.405	4.57	0.705	4.57	0.358	4.55	0.725	4.57	0.330	
「経済」 のみ	(21)	私は授業に遅刻したことがない	4.18	1.242	4.13	0.562	4.11	1.256	4.04	0.663	4.14	1.282	4.03	0.723	4.23	1.173	4.16	0.580	4.17	1.236	4.13	0.693	

Ⅲ. 文学部

1. 集計データからわかること

平成 29 年度の文学部の授業評価アンケートの結果を、平成 28 年度と比べると、実施率や回答率こそ上がったものの、新規の質問項目「Q3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間（予習復習・課題作成を含む）」を除き、すべての質問項目において、講義科目・演習科目ともども平均値が低くなっていることが解る。とはいえ、平成 28 年度は、すべての質問項目において過去最も高い数値を記録した年であり、平成 29 年度において若干の減があったとしても、それなりに高い数値であることに変わりはない。大凡のところ平成 27 年度の調査結果と同じような水準にあるものと評価される。それにしても、なぜ平成 28 年度の数値がかくも高いのか、その理由の検証が望まれる。

また、直近 3 年間の回答値が平成 25（2013）年度以前のそれと比べて、著しく高くなっていることも指摘し得る。いわば、授業レベルの水準が全体として底上げされてきているのである。特にそれは、講義科目の「Q6 教員の熱意」、「Q7 集中できる環境作り」、「Q8 理解しやすい授業か否か」、「Q9 教員の話し方」、「Q11 シラバスと授業内容との対応」、「Q13 板書等の適切性」、「Q14 教材の適切性」の回答値において明らかであり、また演習科目でも、微増ではあるが、Q6、Q7、Q8、Q9、Q11、「Q15 学生の授業参加への促し」、「Q16 学生への助言」の数値も上昇している。これは授業方法について、アンケートの結果をふまえて、教員個々による改善の試みがなされてきたことを意味すると考えられる。さらには授業評価アンケートを実施したからこそ、このような改善がなされたということでもある。

また、これまで講義科目と演習科目との数値の差についていわれてきた。しかし、講義科目についての改善の試みが功を奏したのか、最近の数値の差は平成 25 年以前ほどではない。ただし、「Q2 学生の意欲」の数値の開きは相変わらず大きく、講義科目において、いかに学生の意欲をかきたてるかが課題として残る。

2. 今後の授業改善に向けて

- (1) 平成 29 年度より、「Q3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間（予習復習・課題作成を含む）」は、1 週間あたり平均で ⑤3 時間以上 ④2 時間以上 3 時間未満 ③1 時間以上 2 時間未満 ②30 分以上 1 時間未満 ①30 分未満」という質問項目が追加された。回答平均値は、講義 1.92（学生回答単純平均）/ 2.0（部門別形態別平均）、演習 2.87 / 2.92、という低さであった。

この Q3 の結果を、「Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）」の数値「講義 3.73 / 3.80、演習 4.27 / 4.29」、「Q10 この授業によって

知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の数値「講義 4.13 / 4.21、演習 4.37 / 4.41」、「Q12 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の数値「講義 4.20 / 4.27、演習 4.44 / 4.49」と関わらせながら検討する必要がある。例えば、Q10 の数値が高いにもかかわらず、Q3 の授業外学習時間が少ないことは何を意味するのか。

授業時間という枠内にあっては、学生は総じて熱意をもって授業に臨み、それなりに授業に満足している。しかし、かかる授業での学びが一步外に出ると生かされていないことが分かる。勉強するのはほぼ授業中に限られるのであり、勉学というものに対する問題意識が根本的に欠如している。課題を積極的に出したり、参考書等を紹介することで、彼らの勉学意欲や知的好奇心をさらに刺激する必要がある。そもそも、彼らには総じて読書習慣というものが無いのである。そしてさらには勉強とは何か、学問とは何かという根本的な問題についての啓蒙を積極的に行う必要があるだろう。

この Q3 の質問項目を加えることについて、授業評価アンケートに馴染まないとする異論があったという。また単位制（1 単位につき 45 時間の学修を必要とする）という観点からも、この項目は必要とする考えもあったという。しかし、とりあえずこの項目を加え、回答結果を待った上で、有効性を検討することにしたとのことである。これまでの授業評価の限界性を突破するような、多くの問題点を発見することができたという意味において、Q3 の設定は有益であると評価される。

- (2) 「Q11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」に対して、「シラバスを読まなかった」と回答した学生が、講義科目で 43.09%、演習科目で 40.94%、もいることが分かった。これまでも学生の多くがシラバスを読まないことが問題になっていたが、今回の数値は大変高い。平成 29 年度から冊子体のシラバスの配布がなくなり、ウェブでの参照に限られたことが、学生のシラバス離れに拍車をかけていることは間違いない。また平成 30（2018）年度の履修登録では、ウェブシステムの刷新により、参照しようにも従来の操作では当該シラバスに辿りつけなかった学生が多くおり、本年度はこの数値がさらに上がることが予想される。

しかし、そのような技術上の問題だけでなく、シラバス離れは以前からあった問題である。多くの学生がシラバスを読まずに履修計画を立て、それで済ませているという現状にどう対応すべきなのか。履修ガイダンスの際にシラバスを印刷して配布する、初回の授業時にシラバスを配布する等々の工夫があっべきである。ただし、これらの工夫は文学部では既に多くの学科ならびに教員が実施しており、にもかかわらず読まないとする回答が多いことは深刻である。

ここで、そもそも学生はなぜシラバスを読まないのかという問いかけが必要ではないのか。物臭で面倒臭いから読まない学生も多くいるが、仮に読んでも授業テーマと成績評価の方法しか確認していないという学生がかなりいる。確かに現行のシラバスを通覧してみれば分かるように、履修計画時に利するようなシラバスは少ない。シラ

バスとはどういう意味で必要なのかの議論はもとより、シラバスはあくまで授業の手段であって目的ではない以上、一方でその限界性をも明確にしておく必要があるのではないのか。

- (3) 現行の授業評価アンケートには、授業内容についての質問が、「Q10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られた」のみである。しかし、授業方法というテクニカルな問題よりも、授業内容についての問いがもっとあってしかなるべきである。実際のところ、学生は授業のテクニカルな面に反応しているのではなく、何よりも内容こそが問題であることは明らかである。アンケートは今や授業内容にまで踏み込む段階にいたっているのではないのか。どのような質問項目が設定可能なのかの検討があってもよい。
- (4) 授業改善の取り組みは、授業評価アンケートという手段だけでは限界がある。I Rとの協力体制のもとに今後検討を重ねていく必要がある。学生の授業選択の方法、日頃の勉学態度、読書習慣等々について、I Rの取り組みによるデータを利用していく必要があるだろう。



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

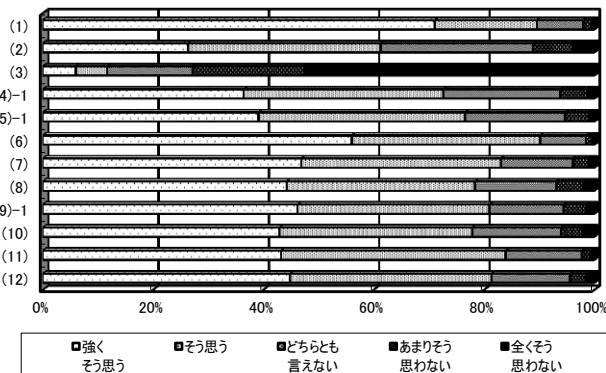
部門名 文学部

形態名 講義

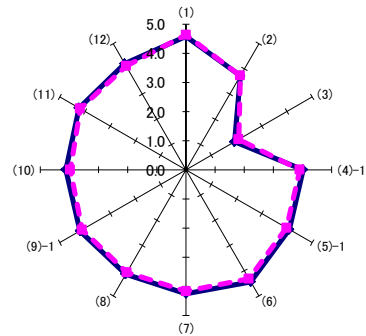
	合計	総履修者数	回答率
回答数	7,928	11,054	71.72%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	5,616	1,462	669	111	46	24	7,928	4.58	0.753	4.56	0.277
			70.84%	18.44%	8.44%	1.40%	0.58%	0.30%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,075	2,744	2,168	565	313	63	7,928	3.73	1.053	3.80	0.415
			26.17%	34.61%	27.35%	7.13%	3.95%	0.79%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	467	442	1,199	1,577	4,077	166	7,928	1.92	1.201	2.00	0.495
			5.89%	5.58%	15.12%	19.89%	51.43%	2.09%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	2,866	2,849	1,669	389	97	58	7,928	4.02	0.941	4.09	0.412
			36.15%	35.94%	21.05%	4.91%	1.22%	0.73%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	423	31	-	-	-	32	486	-	-	-	-
			87.04%	6.38%	-	-	-	6.58%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	3,083	2,948	1,427	340	80	50	7,928	4.09	0.910	4.17	0.382
			38.89%	37.18%	18.00%	4.29%	1.01%	0.63%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	316	80	-	-	-	24	420	-	-	-	-	
		75.24%	19.05%	-	-	-	5.71%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4,414	2,687	654	78	43	52	7,928	4.44	0.733	4.49	0.293	
		55.68%	33.89%	8.25%	0.98%	0.54%	0.66%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	3,674	2,839	1,022	228	77	88	7,928	4.25	0.861	4.31	0.338	
		46.34%	35.81%	12.89%	2.88%	0.97%	1.11%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	3,486	2,690	1,157	388	160	47	7,928	4.14	0.975	4.22	0.451	
		43.97%	33.93%	14.59%	4.89%	2.02%	0.59%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3,594	2,702	1,045	323	112	152	7,928	4.20	0.923	4.29	0.426	
		45.33%	34.08%	13.18%	4.07%	1.41%	1.92%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	160	20	215	-	-	40	435	-	-	-	-	
		36.78%	4.60%	49.43%	-	-	9.20%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,383	2,751	1,265	314	166	49	7,928	4.13	0.961	4.21	0.397	
		42.67%	34.70%	15.96%	3.96%	2.09%	0.62%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 43.09%)	1,794	1,687	572	70	25	364	7,928	4.24	0.796	4.29	0.312	
		22.63%	21.28%	7.21%	0.88%	0.32%	4.59%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,539	2,880	1,124	230	117	38	7,928	4.20	0.894	4.27	0.426	
		44.64%	36.33%	14.18%	2.90%	1.48%	0.48%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3,212	2,674	1,261	415	149	217	7,928	4.09	0.981	4.17	0.439
			40.51%	33.73%	15.91%	5.23%	1.88%	2.74%	100.00%				
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	3,480	2,750	1,112	218	110	258	7,928	4.21	0.893	4.27	0.394
			43.90%	34.69%	14.03%	2.75%	1.39%	3.25%	100.00%				

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

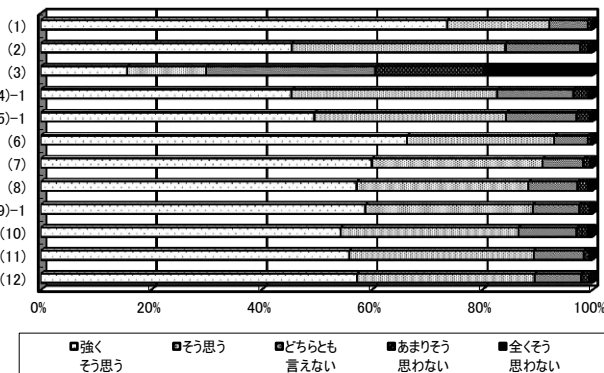
部門名 文学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	6,595	8,004	82.40%

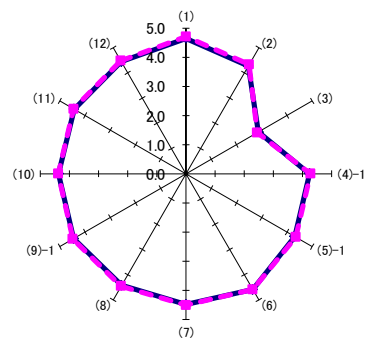
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
			5	4	3	2	1	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4,855	1,222	456	49	8	5	6,595	4.65	0.652	4.62	0.261	
			73.62%	18.53%	6.91%	0.74%	0.12%	0.08%	100.00%					
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	2,984	2,536	884	108	39	44	6,595	4.27	0.798	4.29	0.297	
			45.25%	38.45%	13.40%	1.64%	0.59%	0.67%	100.00%					
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	1,016	930	1,988	1,286	1,270	105	6,595	2.87	1.316	2.92	0.627	
			15.41%	14.10%	30.14%	19.50%	19.26%	1.59%	100.00%					
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	2,979	2,444	903	181	48	40	6,595	4.24	0.843	4.27	0.352	
			45.17%	37.06%	13.69%	2.74%	0.73%	0.61%	100.00%					
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	196	21	-	-	-	-	12	229	-	-	-	-
			85.59%	9.17%	-	-	-	-	5.24%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	3,252	2,277	833	164	29	40	6,595	4.31	0.818	4.36	0.327	
			49.31%	34.53%	12.63%	2.49%	0.44%	0.61%	100.00%					
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	127	50	-	-	-	-	16	193	-	-	-	-	
		65.80%	25.91%	-	-	-	-	8.29%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4,366	1,754	399	42	15	19	6,595	4.58	0.656	4.61	0.238		
		66.20%	26.60%	6.05%	0.64%	0.23%	0.29%	100.00%						
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	3,932	2,023	486	80	27	47	6,595	4.49	0.722	4.53	0.266		
		59.62%	30.67%	7.37%	1.21%	0.41%	0.71%	100.00%						
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	3,763	2,045	584	126	52	25	6,595	4.42	0.795	4.47	0.346		
		57.06%	31.01%	8.86%	1.91%	0.79%	0.38%	100.00%						
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3,811	1,965	545	122	33	119	6,595	4.45	0.768	4.50	0.335		
		57.79%	29.80%	8.26%	1.85%	0.50%	1.80%	100.00%						
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	47	7	84	-	-	-	17	155	-	-	-	-	
		30.32%	4.52%	54.19%	-	-	-	10.97%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	3,571	2,118	693	130	56	27	6,595	4.37	0.816	4.41	0.337		
		54.15%	32.12%	10.51%	1.97%	0.85%	0.41%	100.00%						
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 40.94%)	1,957	1,173	315	37	18	395	6,595	4.43	0.742	4.43	0.385		
		29.67%	17.79%	4.78%	0.56%	0.27%	5.99%	100.00%						
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3,776	2,115	556	95	38	15	6,595	4.44	0.756	4.49	0.319		
		57.26%	32.07%	8.43%	1.44%	0.58%	0.23%	100.00%						
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	3,667	1,975	589	103	31	230	6,595	4.44	0.766	4.50	0.330	
			55.60%	29.95%	8.93%	1.56%	0.47%	3.49%	100.00%					
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	3,705	1,970	540	92	37	251	6,595	4.45	0.758	4.50	0.297	
			56.18%	29.87%	8.19%	1.39%	0.56%	3.81%	100.00%					

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 文学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.306(**)	1												
Q3	.073(**)	.310(**)	1											
Q4	.074(**)	.416(**)	.124(**)	1										
Q5	.049(**)	.358(**)	.097(**)	.734(**)	1									
Q6	.105(**)	.342(**)	.086(**)	.496(**)	.535(**)	1								
Q7	.066(**)	.394(**)	.125(**)	.529(**)	.559(**)	.670(**)	1							
Q8	.042(**)	.415(**)	.118(**)	.679(**)	.666(**)	.631(**)	.714(**)	1						
Q9	.037(**)	.345(**)	.086(**)	.600(**)	.689(**)	.584(**)	.640(**)	.761(**)	1					
Q10	.088(**)	.476(**)	.163(**)	.585(**)	.555(**)	.571(**)	.579(**)	.681(**)	.596(**)	1				
Q11	-0.016	.201(**)	.207(**)	.197(**)	.197(**)	.161(**)	.199(**)	.217(**)	.188(**)	.250(**)	1			
Q12	.076(**)	.468(**)	.131(**)	.674(**)	.656(**)	.652(**)	.684(**)	.807(**)	.704(**)	.751(**)	.245(**)	1		
Q13	.048(**)	.376(**)	.116(**)	.556(**)	.588(**)	.538(**)	.579(**)	.675(**)	.633(**)	.570(**)	.218(**)	.675(**)	1	
Q14	.074(**)	.364(**)	.106(**)	.584(**)	.592(**)	.553(**)	.589(**)	.676(**)	.629(**)	.589(**)	.223(**)	.691(**)	.763(**)	1

相関係数表 部門名 文学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1	1													
Q2	.342(**)	1												
Q3	0.023	.251(**)	1											
Q4	.134(**)	.416(**)	.092(**)	1										
Q5	.095(**)	.369(**)	.077(**)	.724(**)	1									
Q6	.096(**)	.368(**)	.102(**)	.483(**)	.554(**)	1								
Q7	.084(**)	.400(**)	.111(**)	.512(**)	.564(**)	.744(**)	1							
Q8	.059(**)	.397(**)	.090(**)	.597(**)	.634(**)	.675(**)	.733(**)	1						
Q9	.065(**)	.346(**)	.069(**)	.554(**)	.611(**)	.618(**)	.663(**)	.771(**)	1					
Q10	.093(**)	.441(**)	.142(**)	.538(**)	.528(**)	.573(**)	.564(**)	.625(**)	.587(**)	1				
Q11	-0.001	.174(**)	.217(**)	.151(**)	.146(**)	.159(**)	.181(**)	.190(**)	.176(**)	.221(**)	1			
Q12	.083(**)	.424(**)	.109(**)	.630(**)	.649(**)	.670(**)	.689(**)	.768(**)	.688(**)	.716(**)	.223(**)	1		
Q15	.084(**)	.379(**)	.131(**)	.471(**)	.535(**)	.587(**)	.602(**)	.614(**)	.569(**)	.539(**)	.177(**)	.627(**)	1	
Q16	.081(**)	.364(**)	.107(**)	.505(**)	.540(**)	.598(**)	.623(**)	.655(**)	.592(**)	.549(**)	.188(**)	.664(**)	.715(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(⑤90%以上、④80%以上、③70%、②50%以上、①50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で(⑤3時間以上、④2時間以上3時間未満、③1時間以上2時間未満、②30分以上1時間未満、①30分未満)
- Q 4 この授業のレベルは適切である
- Q 5 この授業を進める速さは適切である
- Q 6 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 7 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 8 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 9 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である
- Q 14 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 文学部
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.54	0.767	4.53	0.275	4.53	0.781	4.53	0.311	4.56	0.758	4.54	0.296	4.58	0.728	4.55	0.273	4.58	0.753	4.56	0.277
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	3.69	0.982	3.79	0.418	3.72	0.978	3.83	0.444	3.82	0.922	3.88	0.397	3.89	0.930	3.97	0.390	3.73	1.053	3.80	0.415
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.92	1.201	2.00	0.495
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	4.00	0.900	4.10	0.368	4.03	0.899	4.11	0.386	4.07	0.877	4.13	0.376	4.12	0.881	4.19	0.377	4.02	0.941	4.09	0.412
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4.05	0.902	4.16	0.355	4.09	0.883	4.16	0.383	4.10	0.862	4.16	0.382	4.18	0.868	4.27	0.332	4.09	0.910	4.17	0.382
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.28	0.836	4.38	0.345	4.34	0.790	4.40	0.333	4.42	0.728	4.47	0.293	4.48	0.703	4.52	0.261	4.44	0.733	4.49	0.293
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.10	0.884	4.22	0.352	4.13	0.884	4.21	0.382	4.20	0.846	4.26	0.361	4.27	0.831	4.34	0.316	4.25	0.861	4.31	0.338
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.06	0.965	4.18	0.439	4.13	0.949	4.21	0.464	4.15	0.916	4.21	0.442	4.22	0.902	4.30	0.410	4.14	0.975	4.22	0.451
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.10	0.963	4.25	0.443	4.18	0.908	4.26	0.422	4.20	0.879	4.26	0.414	4.27	0.865	4.36	0.368	4.20	0.923	4.29	0.426
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.10	0.960	4.22	0.421	4.16	0.934	4.24	0.430	4.17	0.890	4.26	0.403	4.22	0.889	4.32	0.363	4.13	0.961	4.21	0.397
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	3.90	0.923	3.97	0.354	3.97	0.891	4.01	0.327	4.20	0.800	4.23	0.335	4.26	0.840	4.33	0.336	4.24	0.796	4.29	0.312
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.12	0.906	4.24	0.414	4.17	0.878	4.24	0.434	4.22	0.855	4.29	0.409	4.27	0.850	4.36	0.382	4.20	0.894	4.27	0.426
「講義」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.97	0.989	4.05	0.437	4.03	0.966	4.10	0.450	4.06	0.931	4.10	0.411	4.21	0.884	4.27	0.362	4.09	0.981	4.17	0.439
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.11	0.911	4.19	0.394	4.16	0.886	4.22	0.400	4.18	0.854	4.22	0.382	4.29	0.825	4.34	0.317	4.21	0.893	4.27	0.394

部門名 文学部
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.59	0.690	4.56	0.285	4.59	0.680	4.57	0.277	4.60	0.693	4.59	0.289	4.65	0.656	4.63	0.266	4.65	0.652	4.62	0.261
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	4.20	0.802	4.23	0.310	4.20	0.802	4.22	0.309	4.27	0.769	4.29	0.301	4.32	0.745	4.32	0.273	4.27	0.798	4.29	0.297
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.87	1.316	2.92	0.627
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	4.24	0.833	4.26	0.375	4.24	0.821	4.26	0.346	4.28	0.816	4.30	0.369	4.35	0.770	4.36	0.337	4.24	0.843	4.27	0.352
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4.28	0.820	4.32	0.364	4.29	0.813	4.32	0.348	4.34	0.788	4.38	0.341	4.40	0.763	4.41	0.330	4.31	0.818	4.36	0.327
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.48	0.727	4.50	0.339	4.48	0.721	4.51	0.326	4.58	0.641	4.60	0.276	4.61	0.644	4.61	0.298	4.58	0.656	4.61	0.238
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.40	0.757	4.42	0.306	4.39	0.771	4.42	0.315	4.47	0.719	4.51	0.315	4.51	0.706	4.53	0.320	4.49	0.722	4.53	0.266
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.36	0.831	4.40	0.431	4.37	0.826	4.40	0.399	4.43	0.787	4.47	0.405	4.47	0.754	4.49	0.409	4.42	0.795	4.47	0.346
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.41	0.781	4.44	0.384	4.41	0.790	4.45	0.361	4.47	0.742	4.50	0.354	4.52	0.714	4.54	0.370	4.45	0.768	4.50	0.335
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.37	0.828	4.40	0.401	4.35	0.832	4.39	0.370	4.40	0.795	4.44	0.361	4.44	0.769	4.45	0.374	4.37	0.816	4.41	0.337
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.18	0.864	4.18	0.398	4.18	0.845	4.18	0.380	4.44	0.719	4.43	0.300	4.49	0.705	4.49	0.329	4.43	0.742	4.43	0.385
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.39	0.787	4.42	0.400	4.40	0.773	4.44	0.361	4.46	0.757	4.50	0.365	4.49	0.729	4.51	0.387	4.44	0.756	4.49	0.319
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.37	0.792	4.41	0.385	4.39	0.792	4.43	0.365	4.45	0.755	4.50	0.352	4.47	0.744	4.50	0.354	4.44	0.766	4.50	0.330
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.37	0.801	4.41	0.368	4.38	0.812	4.42	0.369	4.45	0.762	4.49	0.340	4.47	0.741	4.50	0.339	4.45	0.758	4.50	0.297

IV. 理学部

1. 集計データからわかること

講義科目について、平成 29 年度の実施率は 86.86%と高いものの、平成 25 年度 100%、平成 26 (2014) 年度 99.25%、平成 27 年度 96.21%、平成 28 年度 90.58%と年々減少している。平成 29 年度の回答率は 62.43%であり、前年度の 63.10%と比べて若干低下したものの、平成 25~27 年度の 59.12%、56.91%、56.93%と比べて上昇している。平成 25~27 年度より高い回答率は歓迎すべきものであるが、数値としては 60%をわずかに超えただけであり、まだ期待された数値にはなっていない。

Q1 の出席率は、82.69%の学生が出席率 90%以上と答えている。平均値も回答者ベース / 科目ベースで 4.74 / 4.68 との数値を得ている。これらより、出席率は良好なことが分かる。

授業に意欲的に取り組んでいるかを問う Q2 については、回答者ベース / 科目ベースの平均値はそれぞれ 3.83 / 3.84 であり、他学部の講義科目の平均値と比べても高いものとなった。

Q3 は学習時間に関する新しい設問で、1 科目の授業時間外の学習時間が 1 週間で平均 2 時間以上と回答した学生は 23.26%であり、他学部に比べて多いものであった。他方、30 分未満と回答した学生は 34.50%と他学部に比べ少ないものの、学生の勉学意欲の欠如が浮き彫りとなった。

Q4 の授業のレベルに関する設問では、適切である（「強くそう思う」、「そう思う」と答えている学生は 58.82%であり、これは、他学部の 65.78%、64.73%、72.62%、65.01%と比較してかなり低い数値である。しかも平均値は、回答者ベースで 3.70、科目ベースで 3.73 にとどまっている。レベルが適切でないと感じた学生の 95.00%が「難しすぎる」と答えていて、教員の目標とする授業レベルと一部の学生の許容可能レベルとに乖離が認められる。他方、レベルが適切でないと感じた学生の 5.00%は「易しすぎる」と答えており、学生内の学力レベル差がうかがえる。

Q5 の授業を進める速さについては、64.41%の学生が適切である（「強くそう思う」、「そう思う」と答えており、これも Q4 と同様、他学部に比べ低い数値である。適切でないと答えた学生の 94.57%が「速すぎる」と感じている一方で、5.43%の学生は「遅すぎる」と感じている。Q4、Q5 とほぼ例年並みの数値であり、今後も改善のための努力が必要であろう。

授業に対する教員の熱意を学生がどう感じているかを問う Q6 は、回答者ベース / 科目ベースの平均値はそれぞれ 4.29 / 4.32 であり、他学部と同程度の数値であった。

Q7 の授業環境についての設問に対しても、回答者ベース / 科目ベースの平均値がそれぞれ 4.17 / 4.21 であり、例年並みの数値となった。

Q8 「教員は理解しやすい授業を行っている」かについての設問に対しては、「強くそう思

う」、「そう思う」と感じた学生は 69.50%であり、他学部の 74.70%、74.60%、78.36%、71.51%より低い数値となっているが、平均値は回答者ベース / 科目ベースでそれぞれ 3.95 / 3.98 であり、毎年増加傾向にある。

教員の話し方、スピードに関する Q9 についても、「強くそう思う」、「そう思う」と感じた学生は 71.90%であり、他学部の 75.64%、76.89%、80.97%、74.34%より低い数値となっている。「聞き取りにくい」という指摘もあることから、今後考慮すべき点は多々あると思われる。

Q10 の知的好奇心の刺激については、平均値が回答者ベース / 科目ベースで 3.89 / 3.94 となっており、他学部と比較して中間的な数値であった。数値自体は高いとはいえないので講義方法に工夫の余地がある。

Q11 に関して、50.33%の学生がシラバスを読まなかったと答えている。理学部の場合、他学部に比べ必修科目が多いこともあってこのような高い数値になっているとも考えられるが、一方で、授業選択以外にもシラバスの活用法があることを学生に認識させる指導も必要であろう。なお、シラバスを読んだ学生のほとんどが、シラバスと授業内容が合致している（「強くそう思う」、「そう思う」）と答えている。

Q13、Q14 の板書の仕方やスライド提示の仕方、教材の適切性についても、前年度と同様、どちらも 75%以上の学生が適切である（「強くそう思う」、「そう思う」）と答えている。これに満足することなく、ICT 等も視野に入れて授業方法を工夫・改善していくことも必要であろう。

Q12 の総合的評価では、平均値は、回答者ベース / 科目ベースそれぞれ 4.03 / 4.06 であった。前年度は 4.01 / 4.08、前々年は 3.99 / 3.99 と、ここ数年ほとんど変化なく推移している。

次に、演習科目については、前年度に比べ実施率が 9.07%増加し、回答率も 5.45%増加した。これは、前年度の数学科のカリキュラム再編（講義科目とそれに連携していた演習科目を一体化して一つの講義科目に纏める等）に伴った演習科目減少からの回復が一因と考えられる。

学生の出席状況は例年のとおり良好であり、92%を超える数の学生が出席率 90%以上と答えている。Q2 から Q12 の各設問に対する回答の平均値は、回答者ベース、科目ベースともに良好な数値で経年推移していることから、授業改善が着実に進んでいることの表れと考えられる。また、学生の積極的な参加に関する設問である Q15 や Q16 に対して良好な数値が得られていることは、講義、演習両科目の連携が適正であることを示している。

2. 今後の授業改善に向けて

前述のように、講義科目、演習科目ともに、学生による評価はここ数年ほぼ変わらずに推移している。一方で、数値の微増が見られる項目も少なからずあり、教員の授業改善・

工夫が少しずつではあるが成果を挙げてきているともいえる。

少人数教育を文字どおり実践している理学部では、もともと教員と学生との距離が近く、学生は気軽に教員に接し、教員もまたそれに真摯に応ずるという気風と伝統がある。例えば、演習やセミナー、実験科目では、実質的に時間制限のない指導が行われることも少なくない。このような学生と教員との密接なコミュニケーション、セミナーや実験における直接的な交渉を通して、教員は学生の思いを受けとめ、学生一人一人に細やかに対応するための環境が整っている。

しかし、近年の一部の学生に目立つ勉学意欲の減退、知的好奇心の減少という「気質」に対して、こうした密接な対応に加えて、さらに学生の学習意欲を刺激するための方策が必要であろう。例えば、双方向のコミュニケーションやアクティブ・ラーニングによる能動的な学修活動の導入、ICTの積極的な活用が考えられる。また、いわゆる「落ちこぼれ」学生のために、SA、TAを積極的に利用することも一案である。これらを含めた授業改善においては、授業評価アンケートのQ8、Q10にある「理解しやすい授業」、「知的好奇心の発揚」に注目して実践すべきであろう。さらに、どのような方法を採用するにしろ、今後も教員が学生とのコミュニケーションを心掛け、教員、学生の一方通行でない意思疎通によって授業改善を進めていくことが重要であろう。



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

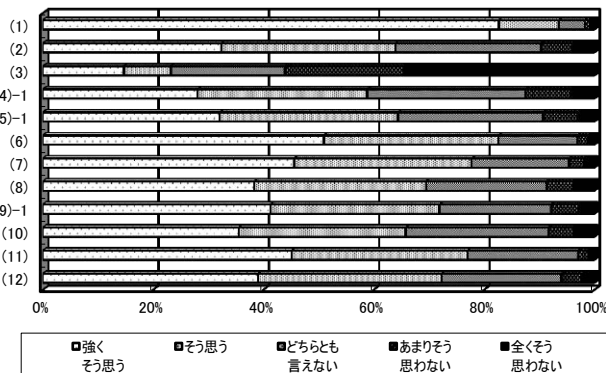
部門名 理学部

形態名 講義

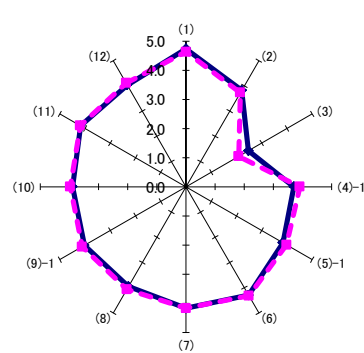
	合計	総履修者数	回答率
回答数	3,992	6,394	62.43%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
			5	4	3	2	1	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	3,286	431	188	39	30	18	3,992	4.74	0.662	4.68	0.263	
			82.31%	10.80%	4.71%	0.98%	0.75%	0.45%	100.00%					
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,279	1,247	1,041	226	156	43	3,992	3.83	1.069	3.84	0.348	
			32.04%	31.24%	26.08%	5.66%	3.91%	1.08%	100.00%					
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	577	334	807	847	1,351	76	3,992	2.47	1.412	2.51	0.458	
			14.45%	8.37%	20.22%	21.22%	33.84%	1.90%	100.00%					
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	1,110	1,215	1,134	326	168	39	3,992	3.70	1.091	3.73	0.439	
			27.81%	30.44%	28.41%	8.17%	4.21%	0.98%	100.00%					
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	456	24	-	-	-	-	14	494	-	-	-	-
			92.31%	4.86%	-	-	-	-	2.83%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	1,268	1,280	1,041	245	122	36	3,992	3.84	1.041	3.87	0.417	
			31.76%	32.06%	26.08%	6.14%	3.06%	0.90%	100.00%					
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	331	19	-	-	-	-	17	367	-	-	-	-	
		90.19%	5.18%	-	-	-	-	4.63%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	2,018	1,252	566	76	47	33	3,992	4.29	0.866	4.32	0.366		
		50.55%	31.36%	14.18%	1.90%	1.18%	0.83%	100.00%						
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	1,793	1,264	694	110	71	60	3,992	4.17	0.937	4.21	0.374		
		44.91%	31.66%	17.38%	2.76%	1.78%	1.50%	100.00%						
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,516	1,232	862	194	150	38	3,992	3.95	1.066	3.98	0.481		
		37.98%	30.86%	21.59%	4.86%	3.76%	0.95%	100.00%						
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	1,613	1,194	790	197	110	88	3,992	4.03	1.035	4.06	0.489		
		40.41%	29.91%	19.79%	4.93%	2.76%	2.20%	100.00%						
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	104	4	178	-	-	-	21	307	-	-	-	-	
		33.88%	1.30%	57.98%	-	-	-	6.84%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	1,404	1,194	1,021	179	151	43	3,992	3.89	1.062	3.94	0.426		
		35.17%	29.91%	25.58%	4.48%	3.78%	1.08%	100.00%						
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 47.87%)	851	602	377	36	20	195	3,992	4.18	0.889	4.20	0.401		
		21.32%	15.08%	9.44%	0.90%	0.50%	4.88%	100.00%						
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,536	1,311	853	144	91	57	3,992	4.03	0.980	4.06	0.438		
		38.48%	32.84%	21.37%	3.61%	2.28%	1.43%	100.00%						
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,652	1,226	632	196	120	166	3,992	4.07	1.039	4.10	0.473	
			41.38%	30.71%	15.83%	4.91%	3.01%	4.16%	100.00%					
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	1,686	1,202	722	116	86	180	3,992	4.12	0.970	4.15	0.404	
			42.23%	30.11%	18.09%	2.91%	2.15%	4.51%	100.00%					

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





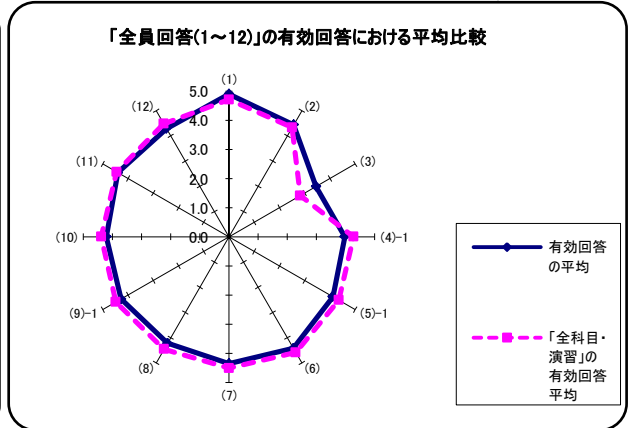
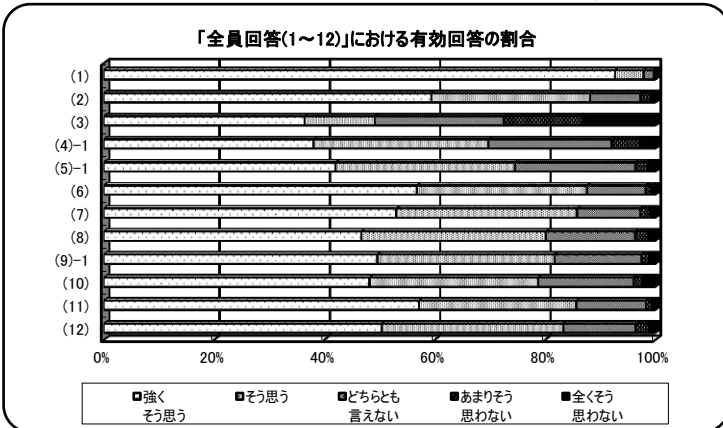
学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 理学部

形態名 演習

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,320	1,628	81.08%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,220	68	24	3	1	4	1,320	4.90	0.384	4.88	0.185	
			92.42%	5.15%	1.82%	0.23%	0.08%	0.30%	100.00%					
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	778	377	119	26	10	10	1,320	4.44	0.800	4.42	0.274	
			58.94%	28.56%	9.02%	1.97%	0.76%	0.76%	100.00%					
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	473	165	303	185	172	22	1,320	3.45	1.435	3.41	0.725	
			35.83%	12.50%	22.95%	14.02%	13.03%	1.67%	100.00%					
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	497	414	292	68	35	14	1,320	3.97	1.026	3.95	0.364	
			37.65%	31.36%	22.12%	5.15%	2.65%	1.06%	100.00%					
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	93	1	-	-	-	-	9	103	-	-	-	-
			90.29%	0.97%	-	-	-	-	8.74%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	550	425	285	29	19	12	1,320	4.11	0.919	4.10	0.320	
			41.67%	32.20%	21.59%	2.20%	1.44%	0.91%	100.00%					
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	33	10	-	-	-	-	5	48	-	-	-	-	
		68.75%	20.83%	-	-	-	-	10.42%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	742	403	139	14	9	13	1,320	4.42	0.777	4.41	0.261		
		56.21%	30.53%	10.53%	1.06%	0.68%	0.98%	100.00%						
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	688	425	148	24	12	23	1,320	4.35	0.824	4.35	0.248		
		52.12%	32.20%	11.21%	1.82%	0.91%	1.74%	100.00%						
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	609	436	211	32	16	16	1,320	4.22	0.889	4.23	0.306		
		46.14%	33.03%	15.98%	2.42%	1.21%	1.21%	100.00%						
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	643	416	205	17	15	24	1,320	4.28	0.857	4.29	0.298		
		48.71%	31.52%	15.53%	1.29%	1.14%	1.82%	100.00%						
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	8	2	15	-	-	-	7	32	-	-	-	-	
		25.00%	6.25%	46.88%	-	-	-	21.88%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	629	399	225	21	31	15	1,320	4.21	0.944	4.19	0.352		
		47.65%	30.23%	17.05%	1.59%	2.35%	1.14%	100.00%						
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 42.12%)	399	199	88	7	5	66	1,320	4.40	0.800	4.39	0.299		
		30.23%	15.08%	6.67%	0.53%	0.38%	5.00%	100.00%						
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	657	429	171	30	16	17	1,320	4.29	0.869	4.29	0.307		
		49.77%	32.50%	12.95%	2.27%	1.21%	1.29%	100.00%						
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	610	371	219	18	13	89	1,320	4.26	0.873	4.28	0.298	
			46.21%	28.11%	16.59%	1.36%	0.98%	6.74%	100.00%					
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	688	356	156	14	18	88	1,320	4.37	0.854	4.38	0.252	
			52.12%	26.97%	11.82%	1.06%	1.36%	6.67%	100.00%					



相関係数表 部門名 理学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.294(**)	1												
Q3	.046(**)	.445(**)	1											
Q4	.129(**)	.452(**)	.273(**)	1										
Q5	.122(**)	.392(**)	.223(**)	.740(**)	1									
Q6	.161(**)	.408(**)	.193(**)	.471(**)	.532(**)	1								
Q7	.150(**)	.415(**)	.209(**)	.500(**)	.556(**)	.745(**)	1							
Q8	.110(**)	.455(**)	.235(**)	.641(**)	.682(**)	.669(**)	.722(**)	1						
Q9	.113(**)	.354(**)	.150(**)	.542(**)	.655(**)	.650(**)	.666(**)	.754(**)	1					
Q10	.156(**)	.519(**)	.287(**)	.548(**)	.538(**)	.576(**)	.581(**)	.636(**)	.552(**)	1				
Q11	0.017	.316(**)	.283(**)	.250(**)	.248(**)	.201(**)	.208(**)	.234(**)	.225(**)	.299(**)	1			
Q12	.158(**)	.497(**)	.247(**)	.661(**)	.674(**)	.715(**)	.708(**)	.797(**)	.695(**)	.725(**)	.283(**)	1		
Q13	.122(**)	.381(**)	.208(**)	.524(**)	.593(**)	.631(**)	.639(**)	.712(**)	.653(**)	.555(**)	.227(**)	.709(**)	1	
Q14	.135(**)	.397(**)	.211(**)	.539(**)	.584(**)	.624(**)	.630(**)	.667(**)	.609(**)	.548(**)	.235(**)	.687(**)	.781(**)	1

相関係数表 部門名 理学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1	1													
Q2	.300(**)	1												
Q3	.123(**)	.338(**)	1											
Q4	.116(**)	.383(**)	.221(**)	1										
Q5	.117(**)	.374(**)	.211(**)	.723(**)	1									
Q6	.166(**)	.362(**)	.194(**)	.491(**)	.540(**)	1								
Q7	.133(**)	.404(**)	.232(**)	.487(**)	.579(**)	.740(**)	1							
Q8	.081(**)	.364(**)	.177(**)	.602(**)	.623(**)	.677(**)	.738(**)	1						
Q9	.098(**)	.378(**)	.193(**)	.566(**)	.647(**)	.678(**)	.719(**)	.823(**)	1					
Q10	.136(**)	.465(**)	.293(**)	.556(**)	.588(**)	.552(**)	.603(**)	.655(**)	.635(**)	1				
Q11	0.029	.231(**)	.209(**)	.234(**)	.220(**)	.187(**)	.205(**)	.217(**)	.199(**)	.265(**)	1			
Q12	.110(**)	.415(**)	.238(**)	.648(**)	.645(**)	.680(**)	.698(**)	.749(**)	.734(**)	.715(**)	.273(**)	1		
Q15	.112(**)	.342(**)	.225(**)	.434(**)	.488(**)	.558(**)	.623(**)	.605(**)	.611(**)	.573(**)	.212(**)	.606(**)	1	
Q16	.124(**)	.289(**)	.164(**)	.468(**)	.514(**)	.595(**)	.632(**)	.652(**)	.626(**)	.533(**)	.213(**)	.639(**)	.719(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は(⑤90%以上、④80%以上、③70%、②50%以上、①50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で(⑤3時間以上、④2時間以上3時間未満、③1時間以上2時間未満、②30分以上1時間未満、①30分未満)
- Q 4 この授業のレベルは適切である
- Q 5 この授業を進める速さは適切である
- Q 6 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 7 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 8 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 9 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である
- Q 14 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 理学部
形態名 講義

回答対象 番号		質問内容		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度			
				回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
				学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.73	0.666	4.72	0.195	4.74	0.647	4.71	0.214	4.77	0.621	4.72	0.228	4.76	0.632	4.72	0.243	4.74	0.662	4.68	0.263	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	3.77	0.993	3.77	0.320	3.84	0.977	3.89	0.337	3.85	0.982	3.85	0.405	3.95	0.981	3.95	0.339	3.83	1.069	3.84	0.348	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.47	1.412	2.51	0.458
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	3.67	1.077	3.67	0.444	3.74	1.061	3.77	0.476	3.74	1.069	3.74	0.484	3.77	1.099	3.81	0.429	3.70	1.091	3.73	0.439	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	3.75	1.080	3.75	0.489	3.82	1.038	3.85	0.444	3.83	1.034	3.83	0.443	3.84	1.059	3.88	0.440	3.84	1.041	3.87	0.417	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.12	0.955	4.13	0.411	4.17	0.895	4.23	0.359	4.28	0.836	4.28	0.355	4.31	0.883	4.35	0.358	4.29	0.866	4.32	0.366	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	3.97	0.981	4.00	0.373	4.02	0.955	4.07	0.351	4.14	0.900	4.15	0.329	4.16	0.943	4.22	0.359	4.17	0.937	4.21	0.374	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.79	1.101	3.80	0.520	3.83	1.082	3.87	0.490	3.90	1.055	3.90	0.486	3.90	1.107	3.97	0.504	3.95	1.066	3.98	0.481	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3.87	1.086	3.89	0.537	3.90	1.058	3.95	0.511	3.97	1.008	3.97	0.448	4.01	1.047	4.07	0.460	4.03	1.035	4.06	0.489	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.83	1.057	3.86	0.454	3.86	1.038	3.94	0.417	3.90	1.006	3.94	0.427	3.91	1.044	3.99	0.406	3.89	1.062	3.94	0.426	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	3.75	1.033	3.73	0.414	3.87	1.005	3.91	0.370	4.07	0.885	4.06	0.356	4.24	0.862	4.23	0.354	4.18	0.889	4.20	0.401	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.89	1.006	3.91	0.474	3.96	0.964	4.01	0.438	3.99	0.964	3.99	0.441	4.01	0.995	4.08	0.428	4.03	0.980	4.06	0.438	
「講義」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.84	1.102	3.83	0.542	3.93	1.043	3.95	0.461	3.94	1.045	3.93	0.506	3.97	1.106	4.05	0.491	4.07	1.039	4.10	0.473	
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	3.91	1.024	3.91	0.442	3.99	0.968	4.01	0.400	4.00	0.973	4.00	0.433	4.06	1.013	4.09	0.431	4.12	0.970	4.15	0.404	

部門名 理学部
形態名 演習

回答対象 番号		質問内容		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度			
				回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
				学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.85	0.546	4.81	0.251	4.87	0.476	4.82	0.207	4.86	0.497	4.81	0.206	4.84	0.548	4.76	0.395	4.90	0.384	4.88	0.185	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	4.29	0.862	4.23	0.384	4.24	0.873	4.16	0.369	4.30	0.843	4.22	0.335	4.35	0.855	4.26	0.391	4.44	0.800	4.42	0.274	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.45	1.435	3.41	0.725
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	4.08	0.946	4.05	0.410	4.00	0.973	3.92	0.446	4.08	0.941	4.00	0.357	4.09	0.954	4.03	0.374	3.97	1.026	3.95	0.364	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4.12	0.910	4.08	0.420	4.04	0.963	3.97	0.451	4.17	0.874	4.12	0.316	4.21	0.867	4.17	0.285	4.11	0.919	4.10	0.320	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.27	0.853	4.25	0.336	4.19	0.942	4.12	0.504	4.38	0.781	4.33	0.282	4.39	0.799	4.34	0.246	4.42	0.777	4.41	0.261	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.17	0.953	4.12	0.439	4.12	0.974	4.05	0.459	4.29	0.846	4.22	0.342	4.32	0.833	4.29	0.256	4.35	0.824	4.35	0.248	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.13	0.950	4.11	0.418	3.99	1.023	3.93	0.559	4.21	0.865	4.16	0.340	4.17	0.903	4.14	0.296	4.22	0.889	4.23	0.306	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.19	0.893	4.16	0.378	4.07	0.978	4.02	0.493	4.24	0.841	4.21	0.332	4.24	0.855	4.22	0.271	4.28	0.857	4.29	0.298	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.16	0.978	4.10	0.467	4.08	0.988	4.01	0.466	4.20	0.912	4.12	0.348	4.19	0.956	4.12	0.376	4.21	0.944	4.19	0.352	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.01	1.035	3.94	0.444	3.97	1.058	3.96	0.461	4.35	0.846	4.29	0.302	4.43	0.753	4.37	0.281	4.40	0.800	4.39	0.299	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.20	0.906	4.16	0.454	4.10	0.972	4.03	0.541	4.28	0.837	4.22	0.327	4.27	0.884	4.23	0.326	4.29	0.869	4.29	0.307	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.11	0.951	4.10	0.384	4.04	0.978	4.01	0.471	4.18	0.873	4.17	0.304	4.18	0.875	4.19	0.237	4.26	0.873	4.28	0.298	
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.28	0.862	4.27	0.345	4.21	0.942	4.15	0.515	4.35	0.822	4.31	0.295	4.34	0.847	4.33	0.230	4.37	0.854	4.38	0.252	

V. 国際社会科学部

1. 集計データからわかること

本学部は開設2年度目のため、一年生と二年生対象の授業科目のみについてアンケートを実施した結果を概観する。

A. 講義

講義形式の社会科学科目は履修者数が200名前後に達した科目が多かったが、全学平均値(4.60)を少し上回る出席率(Q1)(4.61)を示した。また、他の4学部に見られる「講義科目の出席率は演習科目の出席率を下回る」という一般的傾向に反し、講義科目の方が演習科目よりも高い出席率が示されるという結果になった。緊張感を維持している1年生の回答が大きな割合を占めていること、多くの科目でICレコーダーによる出席管理を導入したことが高い出席率の主な理由と思われる。しかし、出席率の高さは必ずしも授業に意欲的に取り組んでいることを意味せず、意欲度(Q2)(3.78)は全学平均(3.79)をやや下回った。出席率を高めた結果として、意欲の低い学生の出席が、集中して授業に取り組める環境を維持すること(Q6)を困難にしたとも解釈できる。

まだ開設2年度目の授業では、学生の学力や知的好奇心を推し量るのが難しく、適切な難易度を見出すのに苦勞した授業科目が少なくなかった。想定内ではあったが、授業を進める速さ(Q5)、理解しやすさ(Q8)、教員の話方(Q9)、知的好奇心を刺激したか(Q10)の項目で全学平均値を下回り、結果として、授業レベルの適切さ(Q4)、及び総合的な評価(Q12)においても全学平均を下回る評価となった。アンケートの回答者が1年生と2年生のみであることを考慮すると、初学者を対象とした授業の難しさ、とりわけ高校の少人数クラスの授業から大教室の講義へ移行させていく初年次教育の難しさが改めて明らかになったともいえよう。

B. 演習

主に1年次を対象とした入門演習への出席率(Q1)(4.57)は、全学平均(4.68)を下回ったが、他学部と異なり、上級生を対象とした専門演習が授業評価アンケートの対象に含まれていないこと及び、対象の全科目が1時限に配置されていることが理由と思われる。

「講義科目よりも演習科目の方が学生の評価が高い」という一般的傾向が、本学部の入門演習の場合にも示された。出席率を除くすべての項目において、講義科目よりも高い数値が示された。特に、「Q15 教員が学生の活発な発言や議論を促すよう心がけた」の項目においては全学平均を上回る高い評価を得た。

C. 英語科目

本年度の結果において、英語科目への出席率（Q1）は全学平均を少し下回り、前年度と比べて下がる傾向がみられた。授業への意欲的な取り組み（Q2）は逆に、全学平均よりも高く、2年度目の段階で社会科学の講義・演習に対するよりも英語科目に対する意欲が強いことが示された。授業のレベル（Q4）については、全学平均よりも「難しすぎる」と答えた割合が低く、逆に「易しすぎる」と答えた割合が高い。英語の得意な学生が本学部に多く入学した様子うかがえる。

入学時点における学生の英語力が多様であるため、全学平均をやや下回った学生の総合的な評価（Q12）をはじめ、評価結果を鵜呑みにすることは危険だろう。しかし、「Q10 知的好奇心が刺激された」の項目と総合的な評価との間に高い相関が見られたことから、授業で自分のレベルよりもやや高いレベルに挑戦できた学生の満足度は高いものと思われる

また、「Q6 教員は熱意を持って授業を行っている」と「Q16 教員は学生の課題への取り組みを助けた」の2項目で全学平均を上回る高い評価を得ている点は特筆に値する。

2. 今後の授業改善に向けて

本年度は、社会科学担当教員、英語担当教員、それぞれにカリキュラムや授業の進め方に関する会合を数多く持ち、活発な意見交換を行ってきた。また、講義科目・留学科目・英語科目に関して、多くの教員が学部のポータルサイト（Moodle）を通じて学部独自のアンケートを実施した。

本アンケート結果を含め、2年度間の経験から得られた教訓に基づき、教員各自が授業改善の工夫を行うとともに、よい結果の得られた取り組みを共有する機会を今後も設けていく予定である。

学部の完成年度までは、当初は予期しなかったような課題に直面する場面が多々あるだろうが、通常の教務と並行しつつ、教員のタスクチームを作って個々の課題に対処していきたい。



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

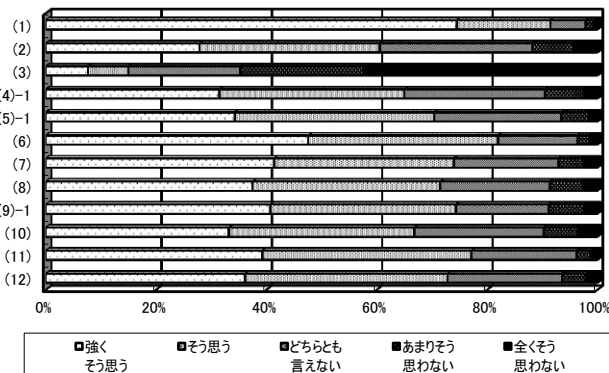
部門名 国際社会科学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	3,295	5,884	56.00%

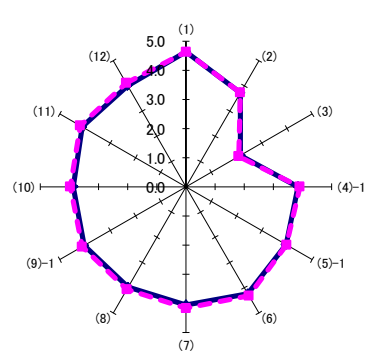
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	2,449	558	209	47	23	9	3,295	4.63	0.728	4.61	0.218
			74.32%	16.93%	6.34%	1.43%	0.70%	0.27%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	909	1,063	900	241	143	39	3,295	3.72	1.082	3.78	0.350
			27.59%	32.26%	27.31%	7.31%	4.34%	1.18%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	247	235	652	721	1,360	80	3,295	2.16	1.259	2.22	0.299
			7.50%	7.13%	19.79%	21.88%	41.27%	2.43%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	1,025	1,091	830	234	75	40	3,295	3.85	1.021	3.80	0.402
			31.11%	33.11%	25.19%	7.10%	2.28%	1.21%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5: 難しすぎる 4: 易しすぎる	242	37	-	-	-	30	309	-	-	-	-
			78.32%	11.97%	-	-	-	9.71%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	1,120	1,181	749	162	54	29	3,295	3.96	0.958	3.93	0.374
			33.99%	35.84%	22.73%	4.92%	1.64%	0.88%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	158	36	-	-	-	22	216	-	-	-	-	
		73.15%	16.67%	-	-	-	10.19%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,556	1,125	470	70	49	25	3,295	4.24	0.884	4.23	0.363	
		47.22%	34.14%	14.26%	2.12%	1.49%	0.76%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	1,345	1,058	613	146	85	48	3,295	4.06	1.008	4.08	0.382	
		40.82%	32.11%	18.60%	4.43%	2.58%	1.46%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,222	1,107	647	192	89	38	3,295	3.98	1.027	3.96	0.431	
		37.09%	33.60%	19.64%	5.83%	2.70%	1.15%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	1,308	1,080	539	207	78	83	3,295	4.04	1.025	4.01	0.454	
		39.70%	32.78%	16.36%	6.28%	2.37%	2.52%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	97	14	145	-	-	29	285	-	-	-	-	
		34.04%	4.91%	50.88%	-	-	10.18%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	1,081	1,094	762	200	118	40	3,295	3.87	1.059	3.84	0.340	
		32.81%	33.20%	23.13%	6.07%	3.58%	1.21%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 37.85%)	724	698	352	47	22	205	3,295	4.12	0.883	4.12	0.289	
		21.97%	21.18%	10.68%	1.43%	0.67%	6.22%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,178	1,197	674	144	66	36	3,295	4.01	0.963	4.00	0.377	
		35.75%	36.33%	20.46%	4.37%	2.00%	1.09%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,423	1,036	498	143	71	124	3,295	4.13	0.985	4.16	0.402
			43.19%	31.44%	15.11%	4.34%	2.15%	3.76%	100.00%				
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	1,329	1,050	611	92	67	146	3,295	4.11	0.956	4.13	0.364
			40.33%	31.87%	18.54%	2.79%	2.03%	4.43%	100.00%				

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

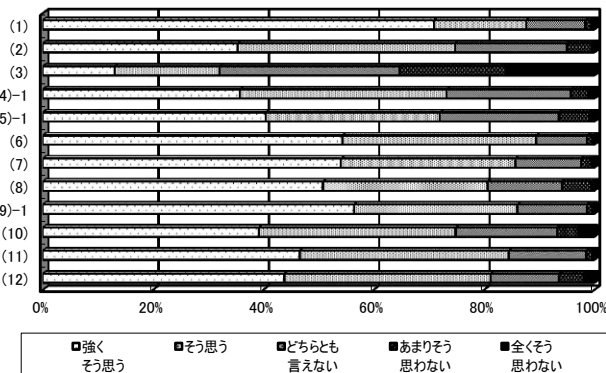
部門名 国際社会科学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	372	449	82.85%

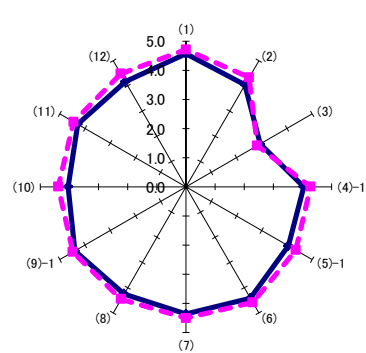
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	264	62	40	4	2	0	372	4.56	0.769	4.57	0.271
			70.97%	16.67%	10.75%	1.08%	0.54%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	129	144	74	16	2	7	372	4.05	0.884	4.05	0.295
			34.68%	38.71%	19.89%	4.30%	0.54%	1.88%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	48	70	120	71	59	4	372	2.94	1.244	2.93	0.493
			12.90%	18.82%	32.26%	19.09%	15.86%	1.08%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	132	138	83	12	4	3	372	4.04	0.901	4.04	0.406
			35.48%	37.10%	22.31%	3.23%	1.08%	0.81%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	13	1	-	-	-	2	16	-	-	-	-
			81.25%	6.25%	-	-	-	12.50%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	150	117	80	21	3	1	372	4.05	0.959	4.06	0.491
			40.32%	31.45%	21.51%	5.65%	0.81%	0.27%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	13	8	-	-	-	3	24	-	-	-	-	
		54.17%	33.33%	-	-	-	12.50%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	201	130	34	4	1	2	372	4.42	0.726	4.42	0.319	
		54.03%	34.95%	9.14%	1.08%	0.27%	0.54%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	200	117	44	7	2	2	372	4.37	0.807	4.37	0.372	
		53.76%	31.45%	11.83%	1.88%	0.54%	0.54%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	189	111	50	20	2	0	372	4.25	0.920	4.25	0.448	
		50.81%	29.84%	13.44%	5.38%	0.54%	0.00%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	206	108	46	4	1	7	372	4.41	0.771	4.40	0.439	
		55.38%	29.03%	12.37%	1.08%	0.27%	1.88%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	0	3	2	-	-	0	5	-	-	-	-	
		0.00%	60.00%	40.00%	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	145	132	68	14	11	2	372	4.04	0.998	4.02	0.412	
		38.98%	35.48%	18.28%	3.76%	2.96%	0.54%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 39.25%)	96	78	29	2	1	20	372	4.29	0.779	4.31	0.388	
		25.81%	20.97%	7.80%	0.54%	0.27%	5.38%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	163	139	46	17	7	0	372	4.17	0.943	4.16	0.455	
		43.82%	37.37%	12.37%	4.57%	1.88%	0.00%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	201	116	26	4	2	23	372	4.46	0.733	4.45	0.278
			54.03%	31.18%	6.99%	1.08%	0.54%	6.18%	100.00%				
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	183	118	35	7	3	26	372	4.36	0.813	4.36	0.342
			49.19%	31.72%	9.41%	1.88%	0.81%	6.99%	100.00%				

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

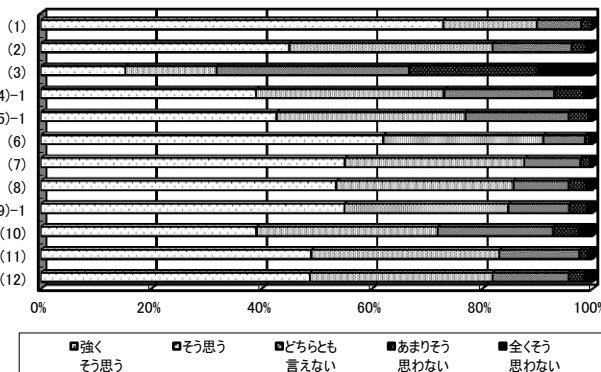
部門名 国際社会科学部

形態名 語学

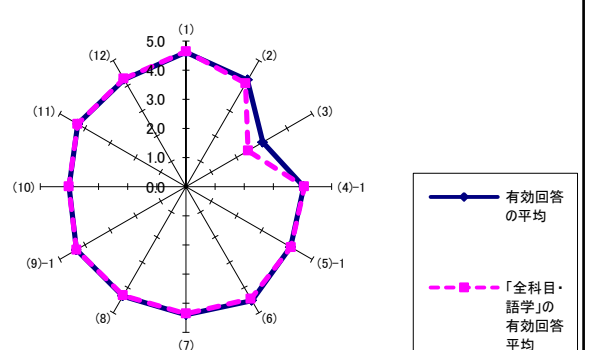
	合計	総履修者数	回答率
回答数	2,185	2,579	84.72%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5: 90%以上 4: 80%以上 3: 70%以上 2: 50%以上 1: 50%未満	1,593	371	176	42	1	2	2,185	4.61	0.721	4.59	0.260
			72.91%	16.98%	8.05%	1.92%	0.05%	0.09%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	975	797	310	56	25	22	2,185	4.22	0.868	4.21	0.314
			44.62%	36.48%	14.19%	2.56%	1.14%	1.01%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満	332	357	755	503	215	23	2,185	3.04	1.187	3.02	0.553
			15.19%	16.34%	34.55%	23.02%	9.84%	1.05%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	848	740	435	115	34	13	2,185	4.04	0.971	4.03	0.412
			38.81%	33.87%	19.91%	5.26%	1.56%	0.59%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5: 難しすぎる 4: 易しすぎる	96	44	-	-	-	9	149	-	-	-	-
			64.43%	29.53%	-	-	-	6.04%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	929	743	407	77	16	13	2,185	4.15	0.895	4.14	0.418
			42.52%	34.00%	18.63%	3.52%	0.73%	0.59%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる	59	21	-	-	-	13	93	-	-	-	-	
		63.44%	22.58%	-	-	-	13.98%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,353	632	166	18	10	6	2,185	4.51	0.712	4.50	0.289	
		61.92%	28.92%	7.60%	0.82%	0.46%	0.27%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	1,190	702	220	36	10	27	2,185	4.40	0.775	4.39	0.325	
		54.46%	32.13%	10.07%	1.65%	0.46%	1.24%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,168	700	218	73	21	5	2,185	4.34	0.861	4.33	0.446	
		53.46%	32.04%	9.98%	3.34%	0.96%	0.23%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	1,181	637	237	67	23	40	2,185	4.35	0.874	4.33	0.458	
		54.05%	29.15%	10.85%	3.07%	1.05%	1.83%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5: 速すぎる 4: 遅すぎる 3: その他/聞き取りにくい	42	7	26	-	-	15	90	-	-	-	-	
		46.67%	7.78%	28.89%	-	-	16.67%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	849	712	454	105	50	15	2,185	4.02	1.001	4.03	0.395	
		38.86%	32.59%	20.78%	4.81%	2.29%	0.69%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 37.48%)	594	413	176	17	11	155	2,185	4.29	0.831	4.28	0.381	
		27.19%	18.90%	8.05%	0.78%	0.50%	7.09%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,063	722	300	61	33	6	2,185	4.25	0.901	4.24	0.422	
		48.65%	33.04%	13.73%	2.79%	1.51%	0.27%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,010	741	308	44	12	70	2,185	4.27	0.826	4.27	0.375
			46.22%	33.91%	14.10%	2.01%	0.55%	3.20%	100.00%				
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	1,006	739	308	43	16	73	2,185	4.27	0.837	4.26	0.353
		46.04%	33.82%	14.10%	1.97%	0.73%	3.34%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	1,142	637	244	27	14	121	2,185	4.39	0.796	4.39	0.333
			52.27%	29.15%	11.17%	1.24%	0.64%	5.54%	100.00%				
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	1,092	656	255	39	22	121	2,185	4.34	0.844	4.33	0.381
		49.98%	30.02%	11.67%	1.78%	1.01%	5.54%	100.00%					
「語学」 のみ	(17)	1回1回の授業のねらいが明確である	965	627	289	61	26	217	2,185	4.24	0.907	4.25	0.387
			44.16%	28.70%	13.23%	2.79%	1.19%	9.93%	100.00%				
	(18)	教員は授業時間を有効に活用している	979	653	264	44	23	222	2,185	4.28	0.865	4.28	0.400
		44.81%	29.89%	12.08%	2.01%	1.05%	10.16%	100.00%					

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 国際社会学部
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1														
Q2	.329(**)	1												
Q3	.101(**)	.388(**)	1											
Q4	.174(**)	.411(**)	.211(**)	1										
Q5	.151(**)	.390(**)	.179(**)	.736(**)	1									
Q6	.233(**)	.402(**)	.138(**)	.484(**)	.544(**)	1								
Q7	.183(**)	.414(**)	.186(**)	.458(**)	.499(**)	.688(**)	1							
Q8	.165(**)	.438(**)	.194(**)	.641(**)	.664(**)	.656(**)	.659(**)	1						
Q9	.152(**)	.350(**)	.169(**)	.574(**)	.665(**)	.591(**)	.567(**)	.780(**)	1					
Q10	.167(**)	.499(**)	.253(**)	.535(**)	.524(**)	.536(**)	.523(**)	.652(**)	.580(**)	1				
Q11	.080(**)	.292(**)	.262(**)	.207(**)	.217(**)	.166(**)	.182(**)	.224(**)	.194(**)	.284(**)	1			
Q12	.191(**)	.484(**)	.222(**)	.630(**)	.633(**)	.648(**)	.640(**)	.761(**)	.683(**)	.742(**)	.281(**)	1		
Q13	.165(**)	.350(**)	.155(**)	.507(**)	.573(**)	.519(**)	.505(**)	.611(**)	.584(**)	.499(**)	.192(**)	.611(**)	1	
Q14	.182(**)	.343(**)	.166(**)	.518(**)	.565(**)	.537(**)	.523(**)	.616(**)	.568(**)	.508(**)	.210(**)	.609(**)	.814(**)	1

相関係数表 部門名 国際社会学部
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1														
Q2	.367(**)	1												
Q3	0.073	.292(**)	1											
Q4	.156(**)	.458(**)	0.087	1										
Q5	.141(**)	.335(**)	0.016	.667(**)	1									
Q6	.126(**)	.322(**)	0.076	.434(**)	.544(**)	1								
Q7	.122(**)	.369(**)	0.097	.440(**)	.558(**)	.744(**)	1							
Q8	.170(**)	.328(**)	0.042	.531(**)	.617(**)	.657(**)	.721(**)	1						
Q9	.162(**)	.317(**)	0.01	.496(**)	.589(**)	.659(**)	.711(**)	.744(**)	1					
Q10	.159(**)	.489(**)	.112(**)	.541(**)	.543(**)	.498(**)	.511(**)	.638(**)	.567(**)	1				
Q11	0.001	.184(**)	.141(**)	.131(**)	.127(**)	0.049	.106(**)	.158(**)	.128(**)	.281(**)	1			
Q12	.108(**)	.488(**)	0.094	.624(**)	.630(**)	.612(**)	.648(**)	.720(**)	.634(**)	.721(**)	.228(**)	1		
Q15	.206(**)	.355(**)	0.077	.351(**)	.346(**)	.588(**)	.569(**)	.535(**)	.529(**)	.498(**)	0.049	.551(**)	1	
Q16	.193(**)	.305(**)	0.024	.414(**)	.431(**)	.510(**)	.531(**)	.653(**)	.501(**)	.561(**)	0.103	.599(**)	.663(**)	1

相関係数表 部門名 国際社会学部
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17	Q18
Q1																		
Q2	.378(**)	1																
Q3	.057(**)	.259(**)	1															
Q4	.191(**)	.446(**)	.083(**)	1														
Q5	.189(**)	.408(**)	0.021	.745(**)	1													
Q6	.222(**)	.422(**)	.064(**)	.468(**)	.524(**)	1												
Q7	.180(**)	.413(**)	0.032	.484(**)	.563(**)	.710(**)	1											
Q8	.170(**)	.427(**)	0.016	.578(**)	.617(**)	.637(**)	.725(**)	1										
Q9	.164(**)	.348(**)	-0.029	.539(**)	.588(**)	.545(**)	.623(**)	.742(**)	1									
Q10	.139(**)	.457(**)	.145(**)	.497(**)	.488(**)	.514(**)	.535(**)	.568(**)	.465(**)	1								
Q11	0.003	.187(**)	.140(**)	.232(**)	.209(**)	.153(**)	.189(**)	.206(**)	.185(**)	.294(**)	1							
Q12	.153(**)	.487(**)	.063(**)	.616(**)	.630(**)	.627(**)	.674(**)	.733(**)	.612(**)	.680(**)	.257(**)	1						
Q13	.157(**)	.385(**)	0.037	.482(**)	.554(**)	.564(**)	.609(**)	.640(**)	.572(**)	.534(**)	.232(**)	.619(**)	1					
Q14	.124(**)	.382(**)	.044(**)	.505(**)	.549(**)	.542(**)	.565(**)	.599(**)	.538(**)	.539(**)	.231(**)	.609(**)	.766(**)	1				
Q15	.151(**)	.414(**)	0.023	.483(**)	.521(**)	.594(**)	.647(**)	.605(**)	.549(**)	.517(**)	.168(**)	.613(**)	.624(**)	.642(**)	1			
Q16	.131(**)	.419(**)	0.03	.509(**)	.544(**)	.568(**)	.644(**)	.651(**)	.562(**)	.512(**)	.189(**)	.644(**)	.662(**)	.658(**)	.739(**)	1		
Q17	.126(**)	.410(**)	.051(**)	.459(**)	.504(**)	.555(**)	.576(**)	.610(**)	.509(**)	.590(**)	.218(**)	.635(**)	.635(**)	.623(**)	.618(**)	.649(**)	1	
Q18	.134(**)	.428(**)	.075(**)	.452(**)	.507(**)	.571(**)	.614(**)	.586(**)	.508(**)	.545(**)	.220(**)	.637(**)	.634(**)	.638(**)	.628(**)	.664(**)	.741(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、②50%以上、①50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で(⑤3時間以上、④2時間以上3時間未満、③1時間以上2時間未満、②30分以上1時間未満、①30分未満)
- Q 4 この授業のレベルは適切である
- Q 5 この授業を進める速さは適切である
- Q 6 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 7 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 8 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 9 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q 10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした
- Q 11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である
- Q 14 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【授業形態が「語学」の場合のみ回答】

- Q 17 1回1回の授業のねらいが明確である
- Q 18 教員は授業時間を有効に活用している



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 国際社会科学部
形態名 講義

		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度				
回答対象	番号	回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
		学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.77	0.586	4.78	0.091	4.63	0.728	4.61	0.218	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.78	1.097	3.80	0.368	3.72	1.082	3.78	0.350	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.16	1.259	2.22	0.299
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.81	1.106	3.80	0.460	3.85	1.021	3.80	0.402	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.87	1.085	3.86	0.458	3.96	0.958	3.93	0.374	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.24	0.921	4.22	0.338	4.24	0.884	4.23	0.363	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	1.133	3.93	0.423	4.06	1.008	4.08	0.382	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.72	1.237	3.66	0.590	3.98	1.027	3.96	0.431	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.82	1.177	3.79	0.558	4.04	1.025	4.01	0.454	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.78	1.178	3.73	0.456	3.87	1.059	3.84	0.340	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.932	4.12	0.313	4.12	0.883	4.12	0.289	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.79	1.154	3.74	0.542	4.01	0.963	4.00	0.377	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	1.112	4.00	0.467	4.13	0.985	4.16	0.402	
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.97	1.083	3.95	0.381	4.11	0.956	4.13	0.364	

部門名 国際社会科学部
形態名 演習

		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度				
回答対象	番号	回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
		学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.64	0.655	4.64	0.201	4.56	0.769	4.57	0.271	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.18	0.835	4.17	0.348	4.05	0.884	4.05	0.295	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.94	1.244	2.93	0.493
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.21	0.860	4.21	0.442	4.04	0.901	4.04	0.406	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.893	4.20	0.402	4.05	0.959	4.06	0.491	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.51	0.710	4.51	0.311	4.42	0.726	4.42	0.319	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.37	0.818	4.36	0.435	4.37	0.807	4.37	0.372	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.28	0.959	4.28	0.535	4.25	0.920	4.25	0.448	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.39	0.859	4.39	0.434	4.41	0.771	4.40	0.439	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.07	1.017	4.07	0.418	4.04	0.998	4.02	0.412	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.36	0.816	4.35	0.441	4.29	0.779	4.31	0.388	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.22	0.953	4.23	0.517	4.17	0.943	4.16	0.455	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.56	0.683	4.56	0.284	4.46	0.733	4.45	0.278	
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.46	0.787	4.45	0.453	4.36	0.813	4.36	0.342	



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 国際社会科学部
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度							
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース					
			学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差				
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.68	0.622	4.67	0.239	4.61	0.721	4.59	0.260		
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.36	0.769	4.35	0.255	4.22	0.868	4.21	0.314		
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で 学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.04	1.187	3.02	0.553
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.23	0.912	4.22	0.326	4.04	0.971	4.03	0.412		
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.30	0.847	4.29	0.338	4.15	0.895	4.14	0.418		
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.61	0.653	4.60	0.274	4.51	0.712	4.50	0.289		
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境 になるように配慮している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.47	0.741	4.45	0.291	4.40	0.775	4.39	0.325		
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.41	0.830	4.40	0.393	4.34	0.861	4.33	0.446		
	(9)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.43	0.848	4.42	0.402	4.35	0.874	4.33	0.458		
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激 されたり、新しいものの見方が得られたりした	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.08	1.002	4.08	0.372	4.02	1.001	4.03	0.395		
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.37	0.771	4.36	0.325	4.29	0.831	4.28	0.381		
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.33	0.867	4.32	0.380	4.25	0.901	4.24	0.422		
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は 適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.43	0.758	4.42	0.318	4.27	0.826	4.27	0.375			
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.37	0.805	4.37	0.289	4.27	0.837	4.26	0.353			
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論 が行えるよう心がけていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.47	0.743	4.47	0.296	4.39	0.796	4.39	0.333			
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを 助けた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.47	0.733	4.46	0.279	4.34	0.844	4.33	0.381			
「語学」 のみ	(17)	1回1回の授業のねらいが明確である	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.28	0.907	4.27	0.401	4.24	0.907	4.25	0.387			
	(18)	教員は授業時間を有効に活用している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.35	0.834	4.34	0.341	4.28	0.865	4.28	0.400			

VI. 計算機センター

計算機センターで開講している科目には次のような特徴がある。授業形態は講義のみである。しかし座学だけではない。学生一人一人に1台のコンピューター端末を割り当て、操作しながら実際に体験し学ぶ実習を講義の中に取り入れている。この特徴をふまえて、授業評価アンケートのQ1からQ14の集計結果について、平成25年度～平成29年度の過去5年間の経年変化を分析し、今後の改善点について検討する。

この際、次の点を考慮することは、非常に重要である。すなわち、計算機センターが管理する学内の実習室等にあるコンピューターを卒業するまで利用できる権利を得るためには、「初等情報処理1」の単位取得が必要である。そのため、「初等情報処理1」は、ほとんどの学科において選択科目であるが、全学生にとっては実質的に必修であることと同様となる。また、コマ数も履修者数も多い科目のため、複数の教員が担当している。

1. 集計データからわかること

Q1 出席率：

計算機センターの部門平均4.74（標準偏差0.221）は、大学全体の講義科目の平均4.60（標準偏差0.283）と比べ大きく、標準偏差も小さい。計算機センターで開講している講義科目は、学生全体の出席率が高い。一方、高い出席率（Q1）が、学習意欲（Q2）に反映されているわけではない。過去5年間にさかのぼっても、数値は微増しているものの、この傾向は大きく変化していない。その理由は次のように説明できる。計算機センターの開講科目のうち約75%を占める「初等情報処理1」の単位取得は、計算機センターのコンピューターを卒業まで利用するための条件となっている。従って、必修の科目と変わらぬ態度で授業を受ける学生が多いためと考えられる。

Q2 意欲的か：

計算機センターの部門平均3.94（標準偏差0.302）は、大学全体の講義科目の平均3.79（標準偏差0.393）よりも大きい。過去にさかのぼると、前年度までは微増傾向であったが、本年度は前年度より減少した。しかし値そのものは、過去5年間大きく変化していない。学生は意欲をもって授業に臨んでいると思われる。しかしながら、総合評価（Q12）は大学全体の講義の平均より低い。学生の学習意欲に十分に答える授業内容になっていない可能性がある。

Q3 授業時間外で学習に使った時間：

計算機センターの部門平均2.20（標準偏差0.522）は、大学全体の講義科目の平均2.16（標準偏差0.523）とほぼ同じである。他の授業の関連でコンピューターを使った時間も含

まれている可能性は否定できない。

Q4 授業レベルの適切さ・Q4-2 授業レベルへの感想：

授業レベル (Q4) の評価についての計算機センターの部門平均 3.70 (標準偏差 0.518) は、大学全体の講義科目の平均 3.92 (標準偏差 0.450) より小さい。一方、授業レベルへの感想 (Q4-2) については、難しすぎる (89.04%) 易しすぎる (10.96%) であった。大学全体の講義科目では、難しすぎる (92.14%) 易しすぎる (7.86%) であった。大学全体の講義と比較して授業レベルが易しいと感ずる割合の高い結果、授業レベルの適切さが大学全体より低い可能性がある。しかしながら、学内の計算機センターが管理するコンピューターを卒業するまで利用できる権利を得るための科目でもある「初等情報処理1」の影響を考慮する必要がある。なぜならば、この科目は本来、ほぼ全員が合格するレベルに設定しているからである。詳しくは、計算機センター開講科目別に調べる必要がある。

Q5 授業の速さの適切さ・Q5-2 授業の速さへの感想：

授業の速さ (Q5) の評価においては、計算機センターの部門平均 3.68 (標準偏差 0.505) は、大学全体の講義科目の平均 4.02 (標準偏差 0.430) より小さい。大学全体より標準偏差が大きいことの意味を推測すると、学科別に割り当てられたクラスの中でコンピューターの習熟度には大きな差があること、同じ科目でも教員間でレベル設定に差があることが考えられる。

授業の速さへの感想 (Q5-2) は、速すぎる (84.95%) 遅すぎる (15.05%) であった。大学全体の講義科目では、速すぎる (83.94%) 遅すぎる (16.06%) であった。大学全体の講義科目において、速すぎるという回答は、学年とともに減少する。この傾向は、計算機センターの開講科目のほとんどは1～2年生を対象としていることとも一致する。

Q6 教員の熱意・Q7 集中できる授業環境への配慮：

Q6 及び Q7 の計算機センターの部門平均は、それぞれ 3.98 (標準偏差 0.399)、4.00 (標準偏差 0.399) であり、両方とも大学全体の講義科目の平均 4.35 (標準偏差 0.366)、4.23 (標準偏差 0.364) より小さい。これら熱意と配慮の一層の向上により、授業評価は改善されるだろう。

Q8 理解しやすい・Q9 教員の話し方・Q9-2 教員の話し方への感想：

計算機センターの部門平均は、それぞれ Q8 : 3.83 (標準偏差 0.531)、Q9 : 3.94 (標準偏差 0.405) であり、大学全体の講義科目の平均 Q8 : 4.10 (標準偏差 0.483)、Q9 : 4.17 (標準偏差 0.445) より小さい。

教員の話し方への感想 (Q9-2) は、速すぎる (52.62%) 遅すぎる (6.61%) その他／聞き取りにくい (40.77%) であった。大学全体の講義科目では、速すぎる (40.20%) 遅す

ざる（4.77%）その他／聞き取りにくい（55.03%）であった。理解しやすい話し方やその速度を工夫すれば、授業評価は改善されるだろう。

Q10 知的好奇心と新しい見方：

計算機センターの部門平均は 3.69（標準偏差 0.379）であり、大学全体の講義科目の平均 4.04（標準偏差 0.430）より小さい。講義内容の工夫が今後求められる。

Q11 シラバスと授業内容：

計算機センターの部門平均 4.09（標準偏差 0.308）は、大学全体の講義科目の平均 4.22（標準偏差 0.345）よりやや小さい。1年生に対する計算機センターの開講科目「初等情報処理1」は、あらかじめ学科ごとにクラスが割り振られているために、シラバスを参考に選択する余地がないため評価が低いのであろう。

Q12 総合評価：

計算機センターの部門平均は、3.86（標準偏差 0.473）であり、大学全体の講義科目の平均 4.15（標準偏差 0.440）より小さい。Q8、Q9、Q12 の評価には比較的強い相関があり、授業の分かりやすさは、学生の主体性がそもそも前提になっているので、授業が理解できた学生にとっては、授業の評価が高いという至極当然のことを表しているにすぎない可能性はある。計算機センターの部門平均は、過去5年間の結果と同様に、大学全体よりも評価が低い。

Q13 板書・スライドの提示、Q14 教材（教科書、配布資料等）の内容：

計算機センターの部門平均は、それぞれ 4.07（標準偏差 0.399）と 4.09（標準偏差 0.373）であり、全体全体の講義科目の平均 4.14（標準偏差 0.443）と 4.20（標準偏差 0.390）より小さい。

2. 今後の授業改善に向けて

例年の傾向であるが、概して学生の授業への評価が大学全体よりも低い。ただし、計算機センター開講科目の特色として、次の二点に留意しなくてはならない。

- (1) 計算機センターで開講している科目のほとんど（約 75%）は、コンピューターの基本操作等の情報リテラシー教育を行う「初等情報処理」であり、その受講生の大部分は1年生である。講義科目ではあるが、一人1台のコンピューター端末を操作する半分実習の形式が特徴である。また 90名を超える規模のクラスも少なくない。一般的な傾向として、総履修者数が多くなるほど、授業の総合評価は低くなる。また学年が下るほど、授業の総合評価は低くなる。実際にコンピューターを操作しながら授業

を進める半分実習の形式であることから、授業に一度ついていけなくなると、その後、授業内容が分からないままに、ただ受動的に授業に出席するという状態に陥りやすい。

- (2) 「初等情報処理」の第1学期開講科目である「初等情報処理1」は、この単位を修得した学生に限り、卒業まで継続して学内のコンピューターを利用できる権利を与えられる。すなわち在学中に継続して学内のコンピューターを利用したい学生の大部分は、「初等情報処理1」の単位を修得する必要がある。この自動車運転の免許のような制度が、学生をただ義務的に「初等情報処理1」の授業に出席させる状態にしている可能性もある。

今後、義務的に出席している学生が、より一層学習意欲や好奇心を感じられるように、授業を改善してゆく必要がある。新生のコンピューター操作のスキルには、大きな個人差がある。学習意欲はあるにもかかわらず(Q2)、学生の好奇心を十分に満たせていない状況(Q10)も読み取れる。これは、授業がコンピューター操作の訓練の場として受け止められており、他の講義科目と同様に予習・復習を前提とした科目であるという認識が薄いことも一因であろう。コンピューターの操作に終始せず、その背後にある原理や、受講学生の属する学科の学問領域との関連性についても触れ、学生の知的好奇心を満たすことができる充実した内容にしてゆくことが望まれる。

学生のコンピューターへの習熟度は、入学時に既に大きな開きがあり、すべての学生に満足のいくレベルの授業を行うことは一層難しくなりつつある。今後は、学生の学習意欲を高めるために、情報科目の再編などの柔軟な情報教育体制も視野に入れて、授業の改善を進める必要がある。

「初等情報処理1・2」はクラスが多く、多数の教員が担当している。Q4、Q5、Q8は、他の項目と比較して標準偏差が大きく、学生に理解しやすい授業をしているクラスとそうでないクラスの差が大きいのであろう。このような状況を鑑み、共通のシラバスのもとで多数の教員が授業をする科目については、特に教員間で授業改善のための工夫を共有し、学生の声を反映させるための仕組みを作ることが望まれる。



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

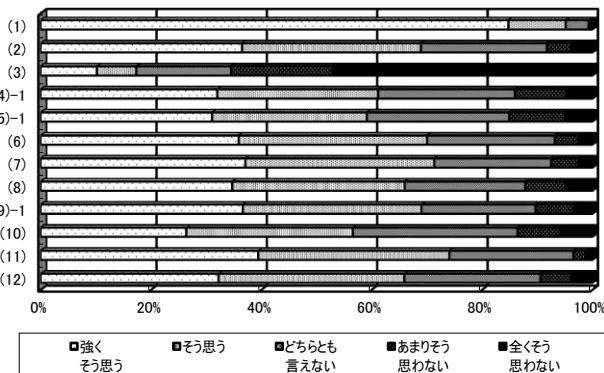
部門名 計算機センター

	合計	総履修者数	回答率
回答数	3,849	5,080	75.77%

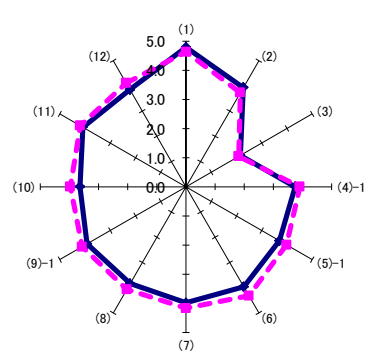
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	3,252	398	159	20	6	14	3,849	4.79	0.546	4.74	0.221
			84.49%	10.34%	4.13%	0.52%	0.16%	0.36%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,392	1,236	871	164	150	36	3,849	3.93	1.056	3.94	0.302
			36.17%	32.11%	22.63%	4.26%	3.90%	0.94%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	388	270	652	695	1,792	52	3,849	2.15	1.351	2.20	0.522
			10.08%	7.01%	16.94%	18.06%	46.56%	1.35%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	1,223	1,113	945	359	178	31	3,849	3.74	1.140	3.70	0.518
			31.77%	28.92%	24.55%	9.33%	4.62%	0.81%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	463	57	-	-	-	17	537	-	-	-	-
			86.22%	10.61%	-	-	-	3.17%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	1,185	1,070	983	386	189	36	3,849	3.70	1.154	3.68	0.505
			30.79%	27.80%	25.54%	10.03%	4.91%	0.94%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	474	84	-	-	-	17	575	-	-	-	-	
		82.43%	14.61%	-	-	-	2.96%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,371	1,305	883	165	95	30	3,849	3.97	0.993	3.98	0.399	
		35.62%	33.90%	22.94%	4.29%	2.47%	0.78%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	1,409	1,300	804	185	99	52	3,849	3.98	1.006	4.00	0.399	
		36.61%	33.78%	20.89%	4.81%	2.57%	1.35%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,327	1,193	834	280	185	30	3,849	3.84	1.126	3.83	0.531	
		34.48%	31.00%	21.67%	7.27%	4.81%	0.78%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	1,382	1,221	779	259	129	79	3,849	3.92	1.072	3.94	0.405	
		35.91%	31.72%	20.24%	6.73%	3.35%	2.05%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	191	24	148	-	-	25	388	-	-	-	-	
		49.23%	6.19%	38.14%	-	-	6.44%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	1,009	1,152	1,139	300	218	31	3,849	3.64	1.122	3.69	0.379	
		26.21%	29.93%	29.59%	7.79%	5.66%	0.81%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 41.73%)	816	717	464	49	23	174	3,849	4.09	0.898	4.09	0.308	
		21.20%	18.63%	12.06%	1.27%	0.60%	4.52%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,230	1,285	940	210	150	34	3,849	3.85	1.058	3.86	0.473	
		31.96%	33.39%	24.42%	5.46%	3.90%	0.88%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	1,504	1,179	683	140	85	258	3,849	4.08	0.986	4.07	0.399
			39.08%	30.63%	17.74%	3.64%	2.21%	6.70%	100.00%				
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	1,494	1,223	662	109	78	283	3,849	4.11	0.955	4.09	0.373
			38.82%	31.77%	17.20%	2.83%	2.03%	7.35%	100.00%				

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 **計算機センター**
 形態名 **講義**

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.253(**)	1												
Q3	-.001	.223(**)	1											
Q4	.088(**)	.382(**)	.101(**)	1										
Q5	.091(**)	.349(**)	.086(**)	.771(**)	1									
Q6	.134(**)	.382(**)	.116(**)	.519(**)	.554(**)	1								
Q7	.118(**)	.391(**)	.090(**)	.532(**)	.570(**)	.764(**)	1							
Q8	.101(**)	.373(**)	.077(**)	.655(**)	.681(**)	.717(**)	.752(**)	1						
Q9	.111(**)	.344(**)	.062(**)	.599(**)	.683(**)	.644(**)	.688(**)	.780(**)	1					
Q10	.070(**)	.456(**)	.178(**)	.538(**)	.532(**)	.581(**)	.593(**)	.612(**)	.560(**)	1				
Q11	0.021	.241(**)	.209(**)	.251(**)	.265(**)	.260(**)	.259(**)	.266(**)	.233(**)	.319(**)	1			
Q12	.099(**)	.409(**)	.103(**)	.665(**)	.670(**)	.712(**)	.728(**)	.810(**)	.740(**)	.715(**)	.320(**)	1		
Q13	.100(**)	.368(**)	.084(**)	.573(**)	.583(**)	.623(**)	.660(**)	.692(**)	.670(**)	.545(**)	.264(**)	.717(**)	1	
Q14	.094(**)	.343(**)	.085(**)	.576(**)	.558(**)	.580(**)	.612(**)	.662(**)	.622(**)	.543(**)	.254(**)	.691(**)	.819(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、②45%以上、①50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む) は、1週間あたり平均で (⑤3時間以上、④2時間以上3時間未満、③1時間以上2時間未満、②30分以上1時間未満、①30分未満)
- Q 4 この授業のレベルは適切である
- Q 5 この授業を進める速さは適切である
- Q 6 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 7 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 8 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 9 教員の話し方 (スピード、聞き取りやすさ) は適切である
- Q 10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している
(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である
- Q 14 教材 (教科書、配布資料等) の内容は適切である



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 計算機センター
形態名 講義

		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度					
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース			
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.73	0.628	4.69	0.188	4.75	0.602	4.69	0.247	4.76	0.585	4.71	0.229	4.78	0.580	4.71	0.252	4.79	0.546	4.74	0.221	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3.86	1.001	3.85	0.279	3.88	0.967	3.86	0.316	4.00	0.988	3.99	0.346	4.07	0.984	4.07	0.311	3.93	1.056	3.94	0.302	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で 学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.15	1.351	2.20	0.522
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	3.72	1.116	3.72	0.479	3.73	1.059	3.70	0.403	3.78	1.130	3.74	0.561	3.81	1.150	3.82	0.500	3.74	1.140	3.70	0.518	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	3.66	1.136	3.67	0.467	3.62	1.117	3.62	0.390	3.73	1.112	3.73	0.530	3.73	1.164	3.77	0.459	3.70	1.154	3.68	0.505	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	3.81	1.028	3.86	0.434	3.77	1.005	3.82	0.387	3.97	1.005	4.01	0.487	4.04	0.979	4.10	0.424	3.97	0.993	3.98	0.399	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境 になるように配慮している	3.94	0.979	3.97	0.353	3.91	0.981	3.96	0.346	3.98	0.998	4.03	0.434	4.07	0.965	4.13	0.359	3.98	1.006	4.00	0.399	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.78	1.121	3.79	0.528	3.74	1.107	3.75	0.447	3.83	1.127	3.83	0.610	3.85	1.146	3.88	0.553	3.84	1.126	3.83	0.531	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	3.86	1.069	3.88	0.442	3.81	1.056	3.85	0.408	3.93	1.050	3.96	0.488	3.94	1.064	3.99	0.410	3.92	1.072	3.94	0.405	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激 されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.59	1.109	3.67	0.421	3.60	1.089	3.66	0.337	3.64	1.104	3.71	0.459	3.68	1.118	3.78	0.439	3.64	1.122	3.69	0.379	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	3.71	1.027	3.72	0.340	3.65	1.027	3.65	0.373	4.12	0.864	4.13	0.353	4.21	0.853	4.22	0.285	4.09	0.898	4.09	0.308	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.76	1.056	3.80	0.480	3.75	1.023	3.79	0.408	3.86	1.046	3.89	0.545	3.87	1.065	3.95	0.479	3.85	1.058	3.86	0.473	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は 適切である	3.99	0.983	3.99	0.400	3.94	1.000	3.94	0.387	4.03	0.970	4.01	0.473	4.12	0.956	4.15	0.382	4.08	0.986	4.07	0.399	
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は 適切である	4.01	0.957	4.01	0.363	3.97	0.958	3.97	0.359	4.07	0.948	4.05	0.433	4.12	0.943	4.14	0.348	4.11	0.955	4.09	0.373	

Ⅶ. 外国語教育研究センター

1. 集計データからわかること

外国語教育研究センターの授業評価アンケート実施率は、平成 28 年度は対象とする 521 科目に対して実施は 494 科目であり、94.82%であったが、平成 29 年度は対象とする 517 科目に対して実施は 500 科目であり、96.71%となった。平成 28 年度は未実施科目が 27 科目であったのに対し、平成 29 年度は 17 科目となり、だいぶ改善がなされたが、まだ未実施のクラスが多く、さらなる改善が望まれる。下の項目別分析で見ると、多くの項目において数値が悪化しており、前々年度に近い数値に戻っている。前年度、特別に数値が高かったのは実施率の低さと関連があるかもしれない。今回は実施率が上がったので、前々年度の数値に戻ったのかもしれない。

回答率については、平成 29 年度は前年度の 81.90%から 0.42 ポイント上昇の 82.32%であり、この 5 年間はほぼ 78%以上の数値で推移している。語学科目が、のべ 12,000 人を超える総履修者でも他学部・課程の演習科目並みの回答率を得ているのは、授業の規模が小さいこととの関連が考えられる。

全体として、前年度と比べ、科目ベースでいずれの項目においても下降を示す結果となっているが、大きな変化は見られない。以下、各項目に関して分析結果を示す。

Q1「私のこの授業への出席率は」

この項目の科目ベースの平均値は 4.65 となっており、前年度に比べて 0.03 上昇した。過去の授業評価アンケートと同様に、4.5 を上回る高い数値となっている。これは、語学が必修科目となっていることだけでなく、3 分の 2 以上出席しなくてはならないという規定が学生に広く認識され、授業において教員による出席確認も十分に行われているためであると思われる。また、40 人以下という比較的少人数で授業が実施されていることも学生の高い出席率に結びついていると思われる。

なお、平成 29 年度は 350 科目 (58.14%) が履修者 25 名以下のクラスで、252 科目 (41.86%) が履修者 26~52 名のクラスであった。平成 28 年度は 174 科目 (35.22%) が履修者 25 名以下のクラスであった。従って、前年度に比べ、1 クラスの人数増大傾向はいくぶん緩和した。

Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」

この項目は、平成 28 年度に科目ベースで平均値 4.19 と、それまでのアンケートで最も高い数値であったが、平成 29 年度には平均値 4.07 と低下した。また、平成 28 年度は 80.25% の学生が意欲的に取り組んでいると回答した（「強くそう思う」、「そう思う」）のに対し、平成 29 年度は 74.9%と 5.35 ポイント低くなっている。「強くそう思う」という回答が平成

28年度では41.42%、平成29年度は37.46%であり、こちらも3.96ポイント下回っている。学生が意欲的に授業に取り組めるような工夫が教員に求められるだろう。課題や小テスト等により、学生自身が授業に意欲的に取り組んでいることを自覚できる環境づくりもその手段の一つとなると考えられる。

Q3「私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間」

この新項目は、3時間以上が7.38%、2時間以上3時間未満が7.81%、1時間以上2時間未満が25.01%、30分以上1時間未満が28.45%、30分未満が29.75%という結果になった。語学は日々の積み重ねが重要であるため、30分未満がおよそ3割という数値は改善が望まれる。ここでもやはり、課題や小テストなどにより、学生自身が普段から語学修得に取り組むよう教員が工夫することが必要であろう。

Q4「この授業のレベルは適切である」

Q4-2「授業のレベルについて、どのように感じましたか」

Q4に関しても適切であると回答した（「強くそう思う」、「そう思う」）学生の割合も、前年度80.25%から6.04ポイント下降し、74.21%となっている。前年度に比べ低下はしているが、開講されている授業のレベルは概ね適切なものと言えよう。

Q4-2に関しては、上の設問で否定的な答えをした者のうち、平成28年度は「難しすぎる」73.32%、「易しすぎる」22.42%、無回答4.28%であったが、平成29年度は「難しすぎる」67.36%、「易しすぎる」29.32%、無回答3.32%となり、前年度に比べ易しすぎると感じている学生が若干増えている。いずれにせよ、のべ573名の学生が、授業のレベルに不満を感じており、習熟度別クラスなどが今後増やせれば、改善ができるかもしれない。

Q5「この授業を進める速さは適切である」

Q5-2「この授業を進める速さについて、どのように感じましたか」

この項目も、肯定的な回答をする学生の割合は78.53%であり、前年度83.35%より4.82ポイント下降している。概ね適切な速さで授業が進められていると考えることができるものの、前年度より低下しているのが気になりなところである。

Q6「教員は熱意を持って授業を行っている」

この項目の科目ベースの平均値は4.52で、過去最高であった前年度4.49を0.03上回ったが、肯定的な回答の割合は89.15%と前年90.94%よりわずかに下降した。否定的な回答の割合は1.74%と前年度1.44%とほぼ同程度に留まっており、前年度同様に熱意をもって授業を行っている教員が多いと学生に認められていると考えてよいだろう。

Q7「教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している」

この項目も、肯定的な回答の割合は 85.80%であり、前年度の 87.45%よりやや低い数値となっている。ただし、肯定的な回答が 85%を超えているということから、概ね授業環境は良好といえそうである。

Q8「教員は理解しやすい授業を行っている」

この項目の科目ベースの平均値は 4.33 であり、過去最高であった前年度の 4.37 を若干下回ったものの、前々年度の 4.32 とはほぼ同じ数値である。肯定的な回答の割合が 84.26%と、前年度 85.58%より 1.32 ポイント下降している。84.26%は悪い数字ではないが、さらなる工夫の余地があるともいえよう。

Q9「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」

この項目は科目ベースの平均値が 4.36 となっており、前年度を 0.03 下回った。また、肯定的な回答の割合が 83.97%で、前年度 85.65%より 1.68 ポイントの下降が見られる一方、否定的な回答の割合も 3.28%と前年度 3.40%より 0.12 ポイントの下降を示している。この項目については、ここ数年にわたって見ると数値の変化は小さくなく、教員は概ね適切な話し方をしていると考えてよいだろう。ただ、「どちらとも言えない」という回答も 10.99%あり、教員が話し方を改善すべき余地はまだ残されていると思われる。

具体的には、Q9-2 を見ると改善方法が分かる。およそ 3%にあたる者が回答しているが、「早すぎる」と答えた者が 125 名（9960 名中）、「その他／聞き取りにくい」と答えた者が 160 名（9960 名中）であった。外国語教育研究センターの授業は、日本人教員による日本語、日本人教員による外国語、外国人教員による外国語、外国人教員による日本語など多様であるため、具体的に何が早すぎ、何が聞き取りにくいのかは一概にはいえないが、個々の教員がアンケートの結果から改善してくれることを期待する。

例年、Q9 と Q8 の相関係数の値は高く、理解しやすい授業であることと教員の話し方が適切であることは関連性が高いことが分かる。これは、教員の話し方の工夫により学生の理解度が上がることを意味しており、教員がさらに適切な話し方をすることが求められるであろう。

Q10「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

この項目は、科目ベースの平均値が 4.05 で、前年度 4.13 より 0.08 下降した。肯定的な回答の割合も 72.44%と前年度の 75.86%から 3.42 ポイント下降し、否定的な回答の割合は 6.28%で前年の 4.13%から 2.1 ポイント上昇した。大きな変化とは言えないものの、やや評価が下がっていることが分かる。ただし、「どちらとも言えない」の数値は 20.81%で前年度より 1.91 ポイント上昇しており、今後なお工夫の余地が残されていることを示している。

初習言語の場合、基礎的な発音練習や会話練習、文法練習に時間が割かれることが多く、知的好奇心が刺激される段階まではなかなか達しにくいことも影響していると思われる。そのような状況の中で、学生の知的好奇心を刺激し、新しいものの見方に触れる機会を作るためには、その言語が使用されている国の様子や文化的特徴を示している映画やビデオ、写真等を活用していくことが一つの手段となるであろう。ビジュアルな情報を用いることにより、学生が訪れたことがない文化圏であっても、学生の興味、関心を高めることが可能となり、実際に訪れるきっかけになることもあると思われるからである。

Q10「この授業はシラバスに示されていた授業内容と合致している」

この項目の平成29年度の科目ベースの平均値は4.31で、前年度4.39を0.08下回り、前々年度と同じ数値となった。肯定的な回答の割合は43.84%に留まり、この項目が教員に関する評価項目の中では相対的に低い値となっていることも前年度と同様である。また、自分が履修している科目のシラバスを読まなかった学生が42.57%に上る。その原因は、語学科目では、履修する言語・クラスが予め限定されている学科も多いことや、初習言語の場合には、基礎的な会話表現や文法を学ぶということが分かっているために、シラバスを確認しない学生が多いことなどが考えられる。一方、中級以上の科目で履修すべきクラスが指定されていない場合には、シラバスの内容によって履修科目を決定する学生が多いため、今後も履修科目選択の際に役立つシラバス作成が求められるであろう。

Q12「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

この項目は、科目ベースの平均値が4.30と前年度4.36より0.06低くなっている。また、肯定的な回答の割合が前年度より2.31ポイント低い83.45%、否定的な回答の割合が前年度より0.46ポイント高い3.72%と、数値が若干悪化した。ただし、概ね学生は授業を高く評価しているといえる範囲だろう。

この項目と最も相関が強いのは、Q8「教員は理解しやすい授業を行っている」の.784（相関係数）、次いでQ9「教員の話し方は適切である」の.710、Q7「教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している」の.720、Q18「教員は授業時間を有効に活用している」の.720、Q10「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」の.704、Q6「授業に対する教員をもって授業を行っている」の.693となっている。つまり、総合的に評価が高い授業とは、教員の熱意が感じられ、時間の使い方が適切で、かつ話し方が適切で理解しやすく、知的好奇心が刺激される授業であることが分かる。このような授業を提供できるようにするには、熱意のある教員をさらに支援できる体制を確立する必要があるだろう。

Q13「板書の仕方やスライドの提示の仕方は適切である」

科目ベースの平均値は 4.25 となっており、前年度より 0.06 低く、前々年と同じ数値である。肯定的な回答の割合は全体の 78.03%に達しているものの、前年度より 2.89 ポイント低い。「どちらとも言えない」との回答が 14.67%に上ることから、まだ改善の余地があると思われる。授業における教員の一層の努力と工夫とともに、使用しやすい機器をはじめとするハード面での授業環境の改善もさらに求められるであろう。

Q14 「教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である」

科目ベースの平均値は 4.32 と、去年より 0.06 低下した。肯定的な回答の割合も 81.23%であり、前年度の 83.82%より低い。概ね学生の要望や期待を満たすことはできていると思われるが、この数値をさらに高くするためには教員の事前準備を含む一層の努力が求められるであろう。

Q15 「教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心掛けていた」

科目ベースの平均値は 4.31 であり、前年度 4.36 よりも 0.05 低かった。肯定的な回答の割合は 77%で、前年度 80.29%より 3.29 ポイント低下している。「どちらとも言えない」との回答は 12.79%と前年度よりもわずかに増加しているが、大きな変化は見られない。初習言語の場合はドリル的な練習が多いことから、学生が活発に発言や議論を行っているとは感じ取りにくい可能性も考えられる。一方で、学生が発言する機会が不十分な可能性もあることから、今後も数値の変動を確認していく必要があるだろう。

Q16 「教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」

科目ベースの平均値は 4.30 で、これも前年度より 0.06 低い数値であった。肯定的な回答の割合は 77.18%で、前年度の 80.31%より 3.13 ポイント低い。否定的な回答の割合は 3.12%と前年の 2.58%より 0.54 ポイント高くなり、前々年とはほぼ同じ数字である。とはいえ、教員の多くは学生の学習をしっかりと支援していることがうかがえる。この数値をさらに高いものにするためには、例文の暗唱、音読、プレゼンテーションやレポート、グループワーク等、語学の授業ならではの特徴を活かした課題を用いていくことが求められるであろう。

Q17 「1回1回の授業のねらいが明確である」

科目ベースの平均値は 4.24 となり、これも前年の 4.30 と比べて若干低い数値であった。同じく肯定的な回答の割合も 74.51%と、前年度の 77.83%よりも 3.32 ポイント低下している。講読の授業の場合、一年を通した授業全体としてのねらい・目標は明確であっても、一回一回の授業のねらい・目標は意識されないことも多いと思われる。教員側が意識的にねらい・目標を明確に示し、学生に伝えていくことも必要となるであろう。

Q18 「教員は授業時間を有効に活用している」

科目ベースの平均値は4.31と、前年度4.36より0.05低い。肯定的な回答の割合も77.77%と、前年度80.60%から2.83ポイント低下しているが、概ね授業時間は有効に活用されているといえそうである。ただし、無回答が7.43%と比較的高い数値を示しており、教員がさらに努力を重ねていく必要があるであろう。

2. 今後の授業改善に向けて

外国語教育研究センターが提供している語学科目では、全般的に学生からの評価は肯定的であると考えてよいと思われる。高い数値を示す項目が大半を占めてはいるが、まだ改善の余地がある項目も見受けられる。従って、今後も継続して授業をより良いものにしていくための、教員の努力と環境の整備が求められるだろう。

学生のモチベーションを強化するためには、学部学科の履修規定を見直し、必修単位に認められる語学科目を増やすなどの方法も考えられる。

授業をより良いものにしていくためには、カリキュラムの見直しや、さらなる少人数教育の強化といった大きなものから、指導法の工夫やテキストの選択等の比較的小さな改善まで、様々なレベルの手段がある。中でも、学生の語学力を伸ばしていくには、さらなる少人数教育の徹底が特に重要である。

また、英語に関しては習熟度別クラス編成が必要となってくるであろう。本学ではすべての1年生が入学時にTOEICを受験しているが、ここから、入学時の英語習熟度にかかなりの開きが見られるようになってきていることが分かる。このTOEICのスコアを活用することで、習熟度別クラス編成を行うことが可能である。

習熟度別クラス編成は、平成27年度より法学部法学科（1年生）で導入され、現在、法学部と理学部の全学科で導入されているが、結果、担当教員からは授業が行いやすくなったという感想が出ている。学生側から見ても適切な授業レベルを保証するものとして受け入れられているかを確認する必要があるが、全学的に習熟度別クラス編成が行われれば、さらなる教育効果の向上が望めることにもなるだろう。

また、現在の授業評価アンケートはすべてマークシート方式となっており、数値による分析のみが行われている。学生が具体的に何を語学科目に求めているのかを確認するためにも、今後、記述式の項目を取り入れ、学生が具体的な意見を述べる機会を提供することも検討が必要ではないかと思われる。



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

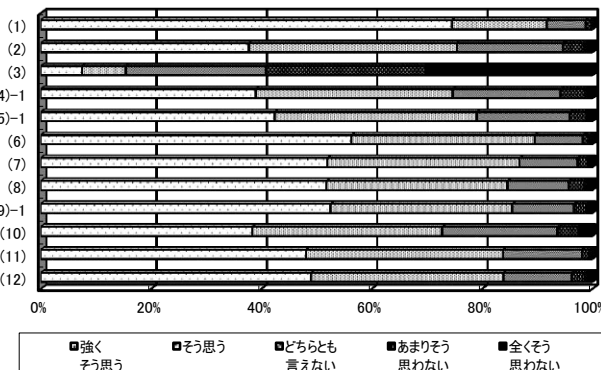
部門名 外国語教育研究センター

形態名 語学

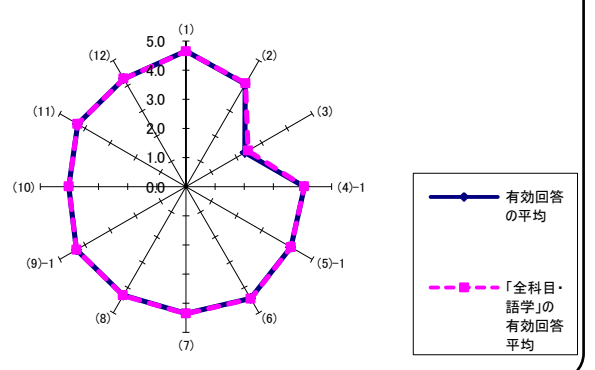
	合計	総履修者数	回答率
回答数	9,960	12,099	82.32%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース							科目ベース			
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	7,413	1,710	699	116	7	15	9,960	4.65	0.668	4.62	0.239
			74.43%	17.17%	7.02%	1.16%	0.07%	0.15%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	3,731	3,729	1,892	374	157	77	9,960	4.06	0.927	4.07	0.315
			37.46%	37.44%	19.00%	3.76%	1.58%	0.77%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	735	778	2,491	2,833	2,963	160	9,960	2.34	1.199	2.36	0.520
			7.38%	7.81%	25.01%	28.44%	29.75%	1.61%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	3,859	3,533	1,933	434	139	62	9,960	4.06	0.940	4.08	0.402
			38.74%	35.47%	19.41%	4.36%	1.40%	0.62%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	386	168	-	-	-	19	573	-	-	-	-
			67.36%	29.32%	-	-	-	3.32%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4,198	3,623	1,662	306	107	64	9,960	4.16	0.887	4.17	0.389
			42.15%	36.38%	16.69%	3.07%	1.07%	0.64%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	274	128	-	-	-	11	413	-	-	-	-	
		66.34%	30.99%	-	-	-	2.66%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	5,583	3,292	862	119	55	49	9,960	4.44	0.747	4.45	0.331	
		56.05%	33.05%	8.65%	1.19%	0.55%	0.49%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	5,119	3,430	1,038	178	84	111	9,960	4.35	0.806	4.38	0.346	
		51.40%	34.44%	10.42%	1.79%	0.84%	1.11%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	5,138	3,254	1,101	285	141	41	9,960	4.31	0.882	4.33	0.455	
		51.59%	32.67%	11.05%	2.86%	1.42%	0.41%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	5,140	3,223	1,095	234	93	175	9,960	4.34	0.840	4.36	0.395	
		51.61%	32.36%	10.99%	2.35%	0.93%	1.76%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	125	22	160	-	-	20	327	-	-	-	-	
		38.23%	6.73%	48.93%	-	-	6.12%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	3,806	3,409	2,073	371	255	46	9,960	4.02	0.987	4.05	0.432	
		38.21%	34.23%	20.81%	3.72%	2.56%	0.46%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 42.57%)	2,507	1,860	746	69	30	508	9,960	4.29	0.802	4.31	0.355	
		25.17%	18.67%	7.49%	0.69%	0.30%	5.10%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4,858	3,453	1,226	230	140	53	9,960	4.28	0.870	4.30	0.436	
		48.78%	34.67%	12.31%	2.31%	1.41%	0.53%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4,375	3,396	1,461	254	84	390	9,960	4.23	0.863	4.25	0.381
			43.93%	34.10%	14.67%	2.55%	0.84%	3.92%	100.00%				
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	4,708	3,384	1,196	170	87	415	9,960	4.30	0.824	4.32	0.355
		47.27%	33.98%	12.01%	1.71%	0.87%	4.17%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	4,670	2,999	1,298	218	112	663	9,960	4.28	0.875	4.31	0.414
			46.89%	30.11%	13.03%	2.19%	1.12%	6.66%	100.00%				
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4,567	3,120	1,274	226	97	676	9,960	4.27	0.863	4.30	0.415
		45.85%	31.33%	12.79%	2.27%	0.97%	6.79%	100.00%					
「語学」 のみ	(17)	1回1回の授業のねらいが明確である	4,256	3,165	1,464	246	110	719	9,960	4.21	0.887	4.24	0.403
			42.73%	31.78%	14.70%	2.47%	1.10%	7.22%	100.00%				
	(18)	教員は授業時間を有効に活用している	4,538	3,208	1,151	208	115	740	9,960	4.28	0.859	4.31	0.386
		45.56%	32.21%	11.56%	2.09%	1.15%	7.43%	100.00%					

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q15	Q16	Q17	Q18	
Q1																			
Q2	.305(**)	1																	
Q3	.034(**)	.315(**)	1																
Q4	.122(**)	.408(**)	.126(**)	1															
Q5	.109(**)	.374(**)	.099(**)	.752(**)	1														
Q6	.110(**)	.376(**)	.084(**)	.539(**)	.581(**)	1													
Q7	.111(**)	.396(**)	.090(**)	.544(**)	.589(**)	.770(**)	1												
Q8	.092(**)	.372(**)	.073(**)	.614(**)	.651(**)	.715(**)	.788(**)	1											
Q9	.092(**)	.345(**)	.067(**)	.595(**)	.655(**)	.688(**)	.708(**)	.810(**)	1										
Q10	.094(**)	.454(**)	.174(**)	.548(**)	.545(**)	.576(**)	.602(**)	.630(**)	.602(**)	1									
Q11	0.016	.209(**)	.201(**)	.190(**)	.190(**)	.176(**)	.197(**)	.187(**)	.186(**)	.270(**)	1								
Q12	.109(**)	.419(**)	.103(**)	.638(**)	.659(**)	.693(**)	.720(**)	.784(**)	.742(**)	.704(**)	.238(**)	1							
Q13	.100(**)	.376(**)	.108(**)	.557(**)	.577(**)	.618(**)	.639(**)	.675(**)	.651(**)	.574(**)	.223(**)	.669(**)	1						
Q14	.107(**)	.376(**)	.098(**)	.598(**)	.597(**)	.617(**)	.639(**)	.683(**)	.654(**)	.589(**)	.213(**)	.694(**)	.783(**)	1					
Q15	.102(**)	.365(**)	.097(**)	.490(**)	.523(**)	.595(**)	.619(**)	.602(**)	.592(**)	.589(**)	.184(**)	.633(**)	.622(**)	.631(**)	1				
Q16	.090(**)	.381(**)	.087(**)	.552(**)	.564(**)	.622(**)	.655(**)	.677(**)	.650(**)	.591(**)	.204(**)	.689(**)	.684(**)	.662(**)	.762(**)	1			
Q17	.105(**)	.400(**)	.125(**)	.541(**)	.560(**)	.626(**)	.646(**)	.664(**)	.629(**)	.605(**)	.242(**)	.688(**)	.681(**)	.673(**)	.652(**)	.699(**)	1		
Q18	.097(**)	.382(**)	.108(**)	.538(**)	.589(**)	.639(**)	.682(**)	.686(**)	.652(**)	.599(**)	.219(**)	.720(**)	.675(**)	.689(**)	.668(**)	.703(**)	.786(**)	1	

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、②50%以上、①50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む) は、1週間あたり平均で (⑤3時間以上、④2時間以上3時間未満、③1時間以上2時間未満、②30分以上1時間未満、①30分未満)
- Q 4 この授業のレベルは適切である
- Q 5 この授業を進める速さは適切である
- Q 6 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 7 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 8 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 9 教員の話し方 (スピード、聞き取りやすさ) は適切である
- Q 10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である
- Q 14 教材 (教科書、配布資料等) の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【授業形態が「語学」の場合のみ回答】

- Q 17 1回1回の授業のねらいが明確である
- Q 18 教員は授業時間を有効に活用している



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 外国語教育研究センター
形態名 語学

		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度					
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース			
回答対象	番号	質問内容	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	
			単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計
				平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.58	0.709	4.55	0.236	4.58	0.709	4.57	0.243	4.59	0.712	4.56	0.271	4.64	0.669	4.62	0.246	4.65	0.668	4.62	0.239	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	4.05	0.868	4.06	0.323	4.05	0.867	4.08	0.330	4.11	0.847	4.12	0.309	4.18	0.840	4.19	0.296	4.06	0.927	4.07	0.315	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.34	1.199	2.36	0.520
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	4.11	0.891	4.12	0.378	4.13	0.880	4.15	0.401	4.18	0.878	4.18	0.373	4.21	0.892	4.22	0.380	4.06	0.940	4.08	0.402	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4.16	0.884	4.18	0.376	4.17	0.877	4.20	0.405	4.23	0.863	4.24	0.377	4.28	0.845	4.29	0.365	4.16	0.887	4.17	0.389	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.35	0.798	4.37	0.357	4.37	0.776	4.39	0.356	4.48	0.721	4.49	0.316	4.50	0.717	4.52	0.317	4.44	0.747	4.45	0.331	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.29	0.816	4.32	0.322	4.31	0.795	4.34	0.326	4.36	0.787	4.38	0.328	4.41	0.784	4.43	0.320	4.35	0.806	4.38	0.346	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.25	0.896	4.27	0.426	4.28	0.864	4.31	0.422	4.30	0.863	4.32	0.423	4.35	0.856	4.37	0.411	4.31	0.882	4.33	0.455	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.26	0.879	4.29	0.388	4.29	0.843	4.32	0.389	4.34	0.835	4.36	0.380	4.38	0.838	4.39	0.395	4.34	0.840	4.36	0.395	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.03	0.961	4.07	0.411	4.06	0.948	4.10	0.430	4.07	0.931	4.10	0.402	4.11	0.936	4.13	0.388	4.02	0.987	4.05	0.432	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	3.98	0.961	3.99	0.407	4.04	0.922	4.06	0.427	4.32	0.788	4.31	0.357	4.39	0.771	4.39	0.363	4.29	0.802	4.31	0.355	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.23	0.864	4.26	0.407	4.27	0.843	4.29	0.416	4.31	0.845	4.33	0.412	4.35	0.836	4.36	0.399	4.28	0.870	4.30	0.436	
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.14	0.882	4.16	0.384	4.17	0.860	4.19	0.396	4.23	0.844	4.25	0.376	4.29	0.833	4.31	0.363	4.23	0.863	4.25	0.381	
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.21	0.863	4.23	0.363	4.24	0.832	4.26	0.367	4.32	0.810	4.33	0.352	4.37	0.805	4.38	0.343	4.30	0.824	4.32	0.355	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.22	0.891	4.25	0.400	4.25	0.872	4.28	0.430	4.29	0.858	4.32	0.411	4.34	0.841	4.36	0.380	4.28	0.875	4.31	0.414	
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.22	0.872	4.25	0.395	4.27	0.850	4.29	0.416	4.29	0.848	4.32	0.401	4.34	0.832	4.36	0.363	4.27	0.863	4.30	0.415	
「語学」 のみ	(17)	1回1回の授業のねらいが明確である	4.15	0.911	4.17	0.389	4.17	0.896	4.20	0.419	4.22	0.873	4.25	0.397	4.27	0.869	4.30	0.370	4.21	0.887	4.24	0.403	
	(18)	教員は授業時間を有効に活用している	4.24	0.872	4.26	0.370	4.25	0.869	4.27	0.409	4.30	0.847	4.32	0.383	4.34	0.836	4.36	0.359	4.28	0.859	4.31	0.386	

VIII. スポーツ・健康科学センター

本年度のスポーツ・健康科学科目における実施率は100%、回答率は81.86%であった。実施率、回答率共に昨年度よりポイントが上昇した。

1. 項目別

Q1「私のこの授業への出席率は」については、平均値 4.49 であり、出席率 80%以上と回答した学生は 86.01%であった。他部門と比較すると、出席率 90%以上と回答した学生は 66.99%でやや低めの値となっている。これは、必修科目である「スポーツ・健康科学Ⅰ・Ⅱ」と選択科目である「スポーツ・健康科学Ⅲ」がまとまった形で集計されていることも要因であると考えられる。文学部と理学部の1年生及び理学部の2年生が主な履修者となるⅠとⅡでは、出席率は比較的高いが、全学対象の選択科目であるⅢは、3年生・4年生の履修者が比較的多く、就職活動等で欠席がちになることなどが、影響しているものと考えられる。科目の性質を考慮した集計も必要であると考えられる。

Q2「私は、この授業に意欲的に取り組んでいる」については、平均値 4.48 であった。88.09%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答しているが、「どちらとも言えない」が 9.54%という点にも着目すべきである。必修科目として履修している学生の中には、単位のために仕方なく受講している者もいることが予想されるが、そのような学生にとっても、必要な知識の習得とともに、充実感や達成感を持って意欲的に授業に参加してもらえるような工夫が必要であると考えられる。

Q3「私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間（予習復習・課題作成等を含む）は、一週間あたり平均で」は、平均値 1.82 であった。「30分未満」と回答した学生が 71.95%と最も多かった。実技科目であるため、種目の用語やゲームのルールを学習することなども課題としているが、実際に学習している学生は少ないようである。

Q4「この授業レベルは適切である」については、平均値 4.48 であった。87.61%の学生が、「強くそう思う」「そう思う」と回答しているが、「どちらともいえない」が 10.94%、「あまりそう思わない」1.09%も注目すべき点であると思われる。履修者は経験者から初心者まで、また、体力レベルの高い者から低いものまで幅が広い。実技という特性から、非常に難しいことではあるが、いずれの学生に対しても適切なレベルで授業を展開できるような技量を身に着けることが教員には求められるのではないかと思われる。

Q4-2「授業のレベルについて、どのように感じましたか」については、24名中10名(41.67%)が「難しすぎる」、14名(58.33%)が「易しすぎる」と回答している。

Q5「この授業を進める速さは適切である」については、平均値 4.57 と高い評価を受けている。学生の反応や技術の習得具合、各授業に対するリアクションペーパー等の内容から授業ごとに進度を調整していると思われる。今後も、適切な進度となるよう努めたい。

Q5-2「授業を進める速さについて、どのように感じましたか」については、13名中1名(7.69%)が「速すぎる」、12名(92.31%)が「遅すぎる」と回答している。

Q6「教員は熱意を持って授業を行っている」については、平均値 4.72 と高い評価を受けている。95.69%の学生が「強く思う」「そう思う」と回答している。今後も熱意を持って授業に臨めるようにしていきたい。

Q7「教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している」については、平均値 4.68 と高い評価を受けている。94.41%の学生が「強く思う」「そう思う」と回答している。また、「どちらとも言えない」と回答した学生が 4.94%存在しており、引き続き学習にふさわしい状況を保てるよう努めていきたい。

Q8「教員は理解しやすい授業を行っている」については、平均値 4.68 と高い評価を受けている。94.60%の学生が「強く思う」「そう思う」と回答している。実技科目の特性上、視覚的に課題の情報を捉えることによって、学習が進められることが多いと思われるが、言語による教示や適切な資料の配布など、理解しやすい授業となるよう努めていきたい。

Q9「教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である」については、平均値 4.72 と高い評価を受けている。95.30%の学生が「強く思う」「そう思う」と回答している。グラウンドや体育館、テニスコートといった教場が広く声が届きづらい状況ではあるが、集合のさせ方や話し方に工夫をし、適切な話し方となるよう努めていきたい。

Q9-2「教員の話し方について、どのように感じましたか」については、7名中1名が「速すぎる」、6名が「その他/聞き取りにくい」と回答している。

Q10「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」については、平均値 4.39 と他の項目に比べてやや低めの回答であった。実技科目の特性上、実際の活動に主眼が置かれがちであるが、科学的なトレーニング方法の紹介や、効果的な技能習得方法の提示(様々な練習ドリルの紹介)、スポーツ種目にまつわる歴史やルールの解説など、学生に興味や関心を持たせることも必要であると思われる。教員自身の技量の向上や知識の獲得のために、情報の収集や研修会への参加を積極的に行っていかなければならない。

Q11「この授業はシラバスに示されていた授業内容と合致している」については、平均値 4.61 であった。シラバスを読まなかったと回答した学生が、43.08%いた。シラバスの記載方法については、工夫を凝らしてきているが、より情報が伝わりやすくすることやシラバスを見てもらえるような工夫も必要であると思われる。

Q12「総合的に見てこの授業は高く評価できる」については、平均値 4.69 であった。「強く思う」「そう思う」と回答した学生の合計は 94.41%であり、かなり高い評価を受けていると考えられる。今回の評価に甘んじることなく更なる改善に向けて努力していかなければならない。

Q23「運動量は」については、平均値 4.53 であった。91.15%の学生が「十分」「おおむ

ね十分」と回答している。また、「どちらとも言えない」と回答した学生が6.31%いる。経験者、初心者、体力のある者ない者ともに十分な運動量を確保できるような授業となるよう努めたい。

Q24「体力・健康状態が改善された」については、平均値は4.25と他の項目と比較してやや低い評価となった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計が78.45%と他の項目と比較してやや低い数値となった。週間頻度2～3回の運動実践が体力向上に必要なであるとされていることから、週1回の授業のみでの効果は小さいと思われる。履修することによって、授業外での自発的な運動実践に結びつくよう指導できるよう努めたい。

Q25「運動技術が向上した」については、平均値4.31であった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計が81.55%であった。「どちらとも言えない」と回答した学生が15.02%おり、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせると3.43%となる。初心者レベルから向上しなかったのか、それともある程度のレベルから向上しなかったのかは、不明である。一斉指導では様々なレベルの学生に対応することは困難ではあるが、より多くの学生の技術が向上するよう努めていきたい。

Q26「履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた」については、平均値4.43であった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計が86.82%であった。

Q27「身体・運動に対する関心が高まった」については、平均値4.34であった。「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生の合計が83.18%であった。Q9とも関連することであるが、教員自身の技量の向上や知識の獲得のために、情報の収集や研修会への参加を積極的に行っていかなければならない。

Q28「自分の身体の健康・体力の再認識ができた」については、平均値4.49であった。例年、一学期中に受講者全員を対象として体力テストを実施している。その結果のフィードバックの方法をさらに向上させることによって、この項目に対する認識がさらに深まるものと期待できる。

Q29「自分の生活習慣を見直す機会となった」については、平均値4.30とやや低めの数値であった。学生の時期は一般的に健康に対して無関心なこともあり、授業そのものが本学学生のライフスタイルに及ぼす影響は小さいかもしれないが、授業で運動や栄養・休養の重要性については言及し、健康的な生活習慣が身につくよう指導していきたい。

Q30「施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた」については、平均値4.65と比較的高い評価となった。施設については、グラウンドの人工芝化など比較的好条件の中で授業が行われていると考えられるが、雨天時の体育館更衣室から卓球場への移動や、テニスコートにおける暑熱環境下への対策など改善していくべき点もあると考えられる。用具についても、受講者数、破損、劣化具合を考慮して適宜整備していきたい。

2. 学年別

Q23～Q30の質問項目について、強くそう思うと回答した割合は、学年が高くなるにつ

れて高くなる傾向がみられた。学部1年生では50%前後、学部4年生では80%前後が強くそう思うと回答している。これは、1年生は文学部・理学部の必修選択として受講している学生が多く、授業内容が基礎体力作りや基本的な技術練習からスタートした内容が多いが、上級生は選択科目として受講した者が多く、試合形式の内容が多く実施されていることなどが影響していると思われる。また、本アンケートに対する姿勢として、低学年ほど真剣に回答しており、上級生になるほど項目を熟読せず「⑤」を機械的にマークして提出しているような様子も感じられ、アンケートの実施に際して、真剣に取り組ませるような配慮も必要ではないかと思われる。

3. 相関係数から

Q1「私のこの授業への出席率は」とQ11「この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」、Q29「自分の生活習慣を見直す機会となった」では、有意な相関は認められなかった。Q1「私のこの授業への出席率は」とQ25「運動技能が向上した」、Q26「履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた」では、5%水準で有意な相関が認められた。それ以外の項目では、全て1%水準で有意な相関が認められた。Q1・Q2については、他の設問と相関係数0.6以上の項目はなかった。Q4からQ10に関しては、相互に相関係数0.5以上が認められ、0.7以上の項目もあった。Q11は、シラバスに関する項目であるが、こちらはどの設問とも相関係数0.3未満であった。Q12「総合的に見てこの授業は高く評価できる」については、Q5～Q10との間で相関係数が0.6以上であった。Q23～Q27の間でも相関係数0.6以上の項目が見られた。

全体的に見ると、Q1、Q2は学生自身の授業に対する姿勢、Q10はシラバスに関する項目、Q22は運動量である。これらの設問は、他の設問との相関が比較的低いと考えられる。

「全員」回答項目と「スポ健」のみ回答項目で特に相関係数の高かったものは、Q10「この授業によって知的好奇心が刺激されたり新しい物の見方が得られたりした」とQ26「身体・運動に対する関心が高まった」であった。

4. 経年比較から

過去5年間の経年変化をみると、実施率はほぼ100%近くで推移している。回答率は、平成25年度～平成27年度は75%～77%台での推移であったが、平成28年度は80.68%、平成29年度は81.86%と上昇した。回答者ベース、科目ベース双方の平均点は、いずれも平成25年度～平成28年度までは4.50付近の値を示しており大幅な変化は認められないが、平成29年度はそれぞれ4.35（回答者ベース）、4.40（科目ベース）と低下した。これは、平成29年度から加えられたQ3「私が授業のために、授業時間外で学習に使った時間は1週間あたり平均で」の値が影響しているものと思われる。こちらの平均値はそれぞれ、1.82（回答者ベース）、1.94（科目ベース）であった。



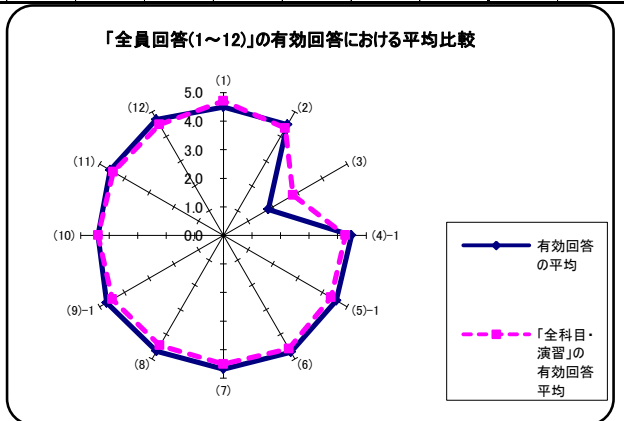
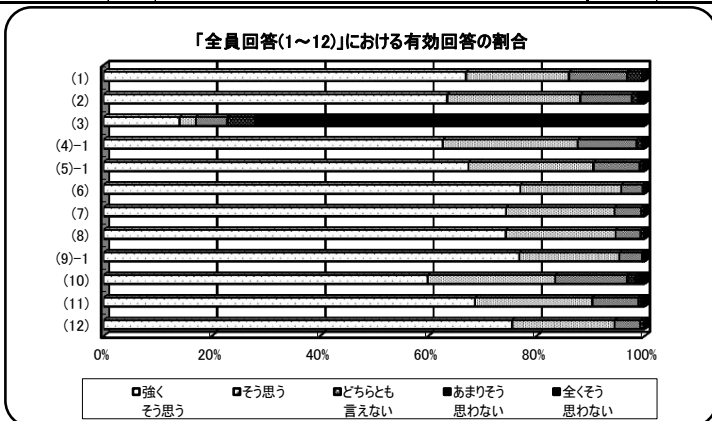
学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 スポーツ・健康科学センター

形態名 演習

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,656	2,023	81.86%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,106	314	177	46	8	5	1,656	4.49	0.831	4.51	0.317
			66.79%	18.96%	10.69%	2.78%	0.48%	0.30%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,045	404	157	19	20	11	1,656	4.48	0.810	4.53	0.296
			63.10%	24.40%	9.48%	1.15%	1.21%	0.66%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	228	49	93	85	1,167	34	1,656	1.82	1.460	1.94	0.620
			13.77%	2.96%	5.62%	5.13%	70.47%	2.05%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	1,032	410	180	18	6	10	1,656	4.48	0.760	4.53	0.248
			62.32%	24.76%	10.87%	1.09%	0.36%	0.60%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易すぎる	10	14	-	-	-	0	24	-	-	-	-
			41.67%	58.33%	-	-	-	0.00%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	1,110	380	141	9	6	10	1,656	4.57	0.703	4.61	0.231
			67.03%	22.95%	8.51%	0.54%	0.36%	0.60%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	1	12	-	-	-	2	15	-	-	-	-	
		6.67%	80.00%	-	-	-	13.33%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	1,269	307	65	4	2	9	1,656	4.72	0.556	4.76	0.211	
		76.63%	18.54%	3.93%	0.24%	0.12%	0.54%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	1,219	329	81	8	2	17	1,656	4.68	0.600	4.73	0.235	
		73.61%	19.87%	4.89%	0.48%	0.12%	1.03%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	1,226	334	77	10	2	7	1,656	4.68	0.601	4.72	0.229	
		74.03%	20.17%	4.65%	0.60%	0.12%	0.42%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	1,243	299	69	6	1	38	1,656	4.72	0.564	4.75	0.202	
		75.06%	18.06%	4.17%	0.36%	0.06%	2.29%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	1	0	6	-	-	0	7	-	-	-	-	
		14.29%	0.00%	85.71%	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	986	388	219	26	27	10	1,656	4.39	0.892	4.45	0.351	
		59.54%	23.43%	13.22%	1.57%	1.63%	0.60%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 40.22%)	604	191	75	5	5	110	1,656	4.57	0.720	4.61	0.314	
		36.47%	11.53%	4.53%	0.30%	0.30%	6.64%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,244	311	78	11	3	9	1,656	4.69	0.609	4.74	0.243	
		75.12%	18.78%	4.71%	0.66%	0.18%	0.54%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	676	274	191	13	10	492	1,656	4.37	0.855	4.44	0.390
			40.82%	16.55%	11.53%	0.79%	0.60%	29.71%	100.00%				
(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	763	268	116	10	6	493	1,656	4.52	0.750	4.58	0.325	
		46.07%	16.18%	7.00%	0.60%	0.36%	29.77%	100.00%					
スポーツ・ 健康科学科目	(23)	運動量は 5:十分 4:おおよそ 3:どちらとも言えない 2:やや不足 1:不十分	953	375	92	29	8	199	1,656	4.53	0.749	4.60	0.300
			57.55%	22.64%	5.56%	1.75%	0.48%	12.02%	100.00%				
	(24)	体力・健康状態が改善された	733	410	272	26	16	199	1,656	4.25	0.894	4.35	0.384
			44.26%	24.76%	16.43%	1.57%	0.97%	12.02%	100.00%				
	(25)	運動技術が向上した	780	409	219	35	15	198	1,656	4.31	0.884	4.41	0.377
			47.10%	24.70%	13.22%	2.11%	0.91%	11.96%	100.00%				
	(26)	履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた	876	389	151	26	15	199	1,656	4.43	0.827	4.50	0.321
			52.90%	23.49%	9.12%	1.57%	0.91%	12.02%	100.00%				
	(27)	身体や運動に対する関心が高まった	803	409	193	35	17	199	1,656	4.34	0.879	4.43	0.373
			48.49%	24.70%	11.65%	2.11%	1.03%	12.02%	100.00%				
(28)	自分の身体の健康、体力の再確認ができた	902	400	134	13	8	199	1,656	4.49	0.744	4.57	0.303	
		54.47%	24.15%	8.09%	0.79%	0.48%	12.02%	100.00%					
(29)	自分の生活習慣を見直す機会となった	806	362	226	41	21	200	1,656	4.30	0.929	4.39	0.385	
		48.67%	21.86%	13.65%	2.48%	1.27%	12.08%	100.00%					
(30)	施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた	1,056	307	82	3	6	202	1,656	4.65	0.634	4.71	0.241	
		63.77%	18.54%	4.95%	0.18%	0.36%	12.20%	100.00%					



相関係数表 部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16	Q23	Q24	Q25	Q26	Q27	Q28	Q29	Q30	
Q1	1																						
Q2	.276(**)	1																					
Q3	.065(**)	.208(**)	1																				
Q4	.152(**)	.396(**)	.185(**)	1																			
Q5	.125(**)	.380(**)	.180(**)	.773(**)	1																		
Q6	.094(**)	.380(**)	.113(**)	.537(**)	.597(**)	1																	
Q7	.096(**)	.400(**)	.126(**)	.559(**)	.603(**)	.809(**)	1																
Q8	.090(**)	.406(**)	.113(**)	.559(**)	.611(**)	.782(**)	.839(**)	1															
Q9	.107(**)	.358(**)	.105(**)	.530(**)	.562(**)	.730(**)	.793(**)	.789(**)	1														
Q10	.099(**)	.425(**)	.233(**)	.432(**)	.449(**)	.501(**)	.519(**)	.529(**)	.489(**)	1													
Q11	-0.027	.163(**)	.239(**)	.158(**)	.173(**)	.151(**)	.147(**)	.141(**)	.151(**)	.212(**)	1												
Q12	.097(**)	.399(**)	.143(**)	.562(**)	.602(**)	.708(**)	.734(**)	.739(**)	.892(**)	.603(**)	.166(**)	1											
Q15	0.02	.348(**)	.216(**)	.384(**)	.423(**)	.483(**)	.490(**)	.508(**)	.459(**)	.480(**)	.230(**)	.495(**)	1										
Q16	0.04	.351(**)	.189(**)	.405(**)	.438(**)	.532(**)	.574(**)	.567(**)	.534(**)	.477(**)	.191(**)	.531(**)	.724(**)	1									
Q23	.102(**)	.309(**)	.128(**)	.390(**)	.391(**)	.337(**)	.350(**)	.379(**)	.320(**)	.337(**)	.162(**)	.403(**)	.328(**)	.376(**)	1								
Q24	.072(**)	.370(**)	.245(**)	.413(**)	.429(**)	.370(**)	.408(**)	.439(**)	.364(**)	.449(**)	.234(**)	.449(**)	.434(**)	.419(**)	.557(**)	1							
Q25	.085(**)	.375(**)	.253(**)	.420(**)	.436(**)	.372(**)	.399(**)	.413(**)	.369(**)	.517(**)	.229(**)	.481(**)	.389(**)	.431(**)	.591(**)	.724(**)	1						
Q26	.090(**)	.303(**)	.187(**)	.398(**)	.429(**)	.429(**)	.431(**)	.445(**)	.403(**)	.552(**)	.201(**)	.507(**)	.418(**)	.491(**)	.462(**)	.550(**)	.665(**)	1					
Q27	.074(**)	.425(**)	.245(**)	.438(**)	.465(**)	.445(**)	.477(**)	.508(**)	.444(**)	.638(**)	.236(**)	.562(**)	.489(**)	.518(**)	.481(**)	.676(**)	.695(**)	.715(**)	1				
Q28	.091(**)	.398(**)	.195(**)	.471(**)	.510(**)	.493(**)	.508(**)	.511(**)	.460(**)	.549(**)	.215(**)	.558(**)	.439(**)	.503(**)	.448(**)	.619(**)	.620(**)	.603(**)	.759(**)	1			
Q29	0.031	.332(**)	.225(**)	.428(**)	.464(**)	.434(**)	.448(**)	.468(**)	.416(**)	.529(**)	.223(**)	.494(**)	.459(**)	.482(**)	.418(**)	.657(**)	.610(**)	.598(**)	.715(**)	.747(**)	1		
Q30	.079(**)	.327(**)	.128(**)	.433(**)	.476(**)	.552(**)	.565(**)	.550(**)	.541(**)	.437(**)	.131(**)	.582(**)	.413(**)	.511(**)	.403(**)	.481(**)	.482(**)	.558(**)	.568(**)	.600(**)	.534(**)	1	

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。
* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q1 私のこの授業への出席率は(⑤90%以上、④80%以上、③70%、④50%以上、⑤50%未満)
- Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)
- Q3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で(⑤3時間以上、④2時間以上3時間未満、③1時間以上2時間未満、②30分以上1時間未満、①30分未満)
- Q4 この授業のレベルは適切である
- Q5 この授業を進める速さは適切である
- Q6 教員は熟意を持って授業を行っている
- Q7 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q8 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q9 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である
- Q10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している(シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「スポーツ・健康科学センター」の場合のみ回答】

- Q23 運動量は(⑤十分、④おおむね十分、③どちらとも言えない、④やや不足、⑤不十分)
- Q24 体力・健康状態が改善された
- Q25 運動技術が向上した
- Q26 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた
- Q27 身体や運動に対する関心が高まった
- Q28 自分の身体の健康、体力の再確認ができた
- Q29 自分の生活習慣を見直す機会となった
- Q30 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 スポーツ・健康科学センター
形態名 演習

		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度					
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース			
回答対象	番号	質問内容	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	
			単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計
		平均		標準偏差		平均		標準偏差		平均		標準偏差		平均		標準偏差		平均		標準偏差			
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.49	0.784	4.49	0.264	4.43	0.844	4.42	0.304	4.42	0.831	4.41	0.334	4.47	0.822	4.50	0.323	4.49	0.831	4.51	0.317	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	4.45	0.786	4.52	0.282	4.43	0.752	4.47	0.289	4.44	0.775	4.52	0.314	4.55	0.707	4.60	0.271	4.48	0.810	4.53	0.296	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で 学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.82	1.460	1.94	0.620
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	4.49	0.771	4.54	0.296	4.49	0.766	4.52	0.305	4.48	0.766	4.54	0.292	4.55	0.735	4.60	0.253	4.48	0.760	4.53	0.248	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4.56	0.698	4.62	0.254	4.54	0.697	4.58	0.287	4.55	0.717	4.60	0.263	4.65	0.634	4.70	0.235	4.57	0.703	4.61	0.231	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.70	0.554	4.74	0.196	4.67	0.599	4.69	0.219	4.72	0.556	4.74	0.199	4.76	0.530	4.79	0.183	4.72	0.556	4.76	0.211	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境 になるように配慮している	4.60	0.647	4.64	0.246	4.58	0.673	4.61	0.259	4.66	0.629	4.70	0.239	4.71	0.590	4.75	0.226	4.68	0.600	4.73	0.235	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.62	0.646	4.65	0.261	4.57	0.685	4.60	0.315	4.62	0.675	4.67	0.282	4.70	0.611	4.74	0.248	4.68	0.601	4.72	0.229	
	(9)-1	教員の話方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.65	0.615	4.68	0.236	4.62	0.644	4.65	0.260	4.68	0.613	4.72	0.235	4.75	0.540	4.78	0.195	4.72	0.564	4.75	0.202	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激 されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.39	0.845	4.48	0.400	4.39	0.830	4.44	0.353	4.35	0.879	4.45	0.385	4.45	0.798	4.52	0.331	4.39	0.892	4.45	0.351	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた 授業内容と合致している	4.36	0.855	4.39	0.430	4.28	0.890	4.32	0.384	4.57	0.700	4.62	0.327	4.61	0.662	4.66	0.310	4.57	0.720	4.61	0.314	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.62	0.657	4.67	0.288	4.61	0.652	4.65	0.289	4.62	0.685	4.68	0.306	4.70	0.609	4.75	0.253	4.69	0.609	4.74	0.243	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論 が行えるよう心がけていた	4.27	0.890	4.35	0.455	4.27	0.884	4.31	0.427	4.28	0.892	4.39	0.432	4.45	0.815	4.53	0.383	4.37	0.855	4.44	0.390	
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを 助けた	4.46	0.773	4.52	0.390	4.41	0.810	4.44	0.414	4.45	0.791	4.53	0.372	4.58	0.729	4.66	0.313	4.52	0.750	4.58	0.325	
「スポ健」 のみ	(23)	運動量は 5:十分 4:おおむね十分 3:どちらとも 言えない 2:やや不足 1:不十分	4.51	0.732	4.56	0.271	4.47	0.738	4.51	0.291	4.51	0.736	4.56	0.266	4.52	0.736	4.59	0.314	4.53	0.749	4.60	0.300	
	(24)	体力・健康状態が改善された	4.28	0.842	4.37	0.404	4.24	0.817	4.30	0.374	4.22	0.887	4.31	0.422	4.31	0.840	4.38	0.413	4.25	0.894	4.35	0.384	
	(25)	運動技術が向上した	4.30	0.854	4.38	0.383	4.26	0.841	4.33	0.385	4.26	0.874	4.36	0.406	4.34	0.864	4.42	0.406	4.31	0.884	4.41	0.377	
	(26)	履修したスポーツ種目等について新しい 知識が得られた	4.44	0.775	4.50	0.300	4.40	0.794	4.43	0.337	4.42	0.802	4.47	0.325	4.45	0.826	4.51	0.363	4.43	0.827	4.50	0.321	
	(27)	身体や運動に対する関心が高まった	4.34	0.845	4.43	0.390	4.36	0.794	4.42	0.330	4.31	0.877	4.40	0.398	4.39	0.831	4.46	0.385	4.34	0.879	4.43	0.373	
	(28)	自分の身体の健康、体力の再確認 ができた	4.47	0.727	4.53	0.313	4.48	0.703	4.52	0.311	4.47	0.752	4.53	0.320	4.52	0.745	4.55	0.325	4.49	0.744	4.57	0.303	
	(29)	自分の生活習慣を見直す機会となっ た	4.31	0.890	4.39	0.383	4.32	0.834	4.36	0.348	4.29	0.884	4.37	0.403	4.34	0.881	4.39	0.406	4.30	0.929	4.39	0.385	
	(30)	施設・用具も含め授業の準備は 十分なされていた	4.62	0.621	4.67	0.255	4.60	0.651	4.61	0.273	4.60	0.667	4.66	0.256	4.70	0.588	4.73	0.243	4.65	0.634	4.71	0.241	

IX. 基礎教養科目運営委員会

本章では、「総合基礎科目」のうち、外国語科目、スポーツ・健康科学科目、情報科目を除く、「基礎教養科目」について分析する。

1. 集計データからわかること

平成 29 年度の「基礎教養科目」開設科目数は 98 科目、内訳として講義形態が 95 科目、演習形態が 3 科目となっており、アンケート実施率は講義形態が 93.68% で 6 科目が未実施、演習形態は 100% であった。のべ履修者数は、11,131 名であるが、このうちアンケート回答者数は 6,334 名に留まり、回答率は 56.90% という結果となった。前年度の回答率 54.48% と比較すると 2.42 ポイント上昇しており、依然として半数を維持している。

また、「基礎教養科目」の回答率 56.90% という値は全科目平均の 60.02% を下回っているが、講義科目のみの平均値 51.93% よりは上回っており、概ね平均的な範囲に留まっているといえよう。

以下、質問項目別に分析するが、前述のとおり、基礎教養科目は演習形態の科目が 3 科目のみであるため、記載する数値は演習に特化した Q14・Q15 を除き、すべて講義形態のものを引用する。

Q1 「私のこの授業への出席率は」

出席率 80% 以上と回答した学生の合計は 5,639 名であり、回答者の 90.13% となった。よく出席している学生がアンケート実施時の回答者として多く含まれる可能性は高いであろうから、出席状況は良好な数値となるはずであり、これはどの開設部門にも共通の傾向である。講義形態の全体平均 90.78% との比較では若干低いのが、0.65 ポイントの僅差であるため、顕著な差異は見られない。

Q2 「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」

学生の授業への意欲度については、肯定を意味する「強くそう思う」、「そう思う」という回答の合計比率（以下、「肯定の割合」と略す）が 58.20% となり、平成 28 年度の 61.25% からはやや低下した。この値は、講義形態全体としての肯定の割合である 60.81% と比較しても低くなっている。ただし講義形態全体の数値も平成 28 年度の 65.91% から低下していることから、本結果から見た学生の意欲についての判断は引き続き考察する必要がある。

Q3 「私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間は、1 週間あたり平均で」

平成 29 年度からの新規項目であるが、2 時間以上が 10.76% である一方、1 時間未満は 76.83% となっている。大学設置基準上の予習・復習時間の目安が講義時間の 3 倍とされて

いる点を鑑みると、授業外の学習時間数が不足しがちである傾向がうかがえる。

Q4「この授業のレベルは適切である」

授業のレベルの適切度について、肯定の割合は 74.64%であり、平成 28 年度の 78.18%よりは低下する結果になったものの、依然として大学全体の講義形態の平均 67.28%を上回っているため、レベル設定の妥当性に対する満足度は比較的高いことを示す結果となった。

Q4-2「授業のレベルについて、どのように感じましたか」

「難しすぎる」という比率が 91.95%を占めているが、前項で否定的な回答をした学生に占める割合であり、講義形態全体でも 92.14%と高い数値を示していることから、二者択一の回答方式ではこうした傾向が表れるのではないかと解釈している。

Q5「この授業を進める速さは適切である」

授業を進める速さの適切度については、大学全体の平均 70.98%を上回り、肯定の割合は 78.50%となった。平成 28 年度の 82.96%との比較では減少しているが、全体平均との差は比較的大きいため、基礎教養科目の本項目における一定の満足度は保たれているといえよう。

Q5-2「授業を進める速さについて、どのように感じましたか」

「速すぎる」の割合が 79.33%となっており、大学全体の 83.94%より低くなっているが、前項で否定的な回答をした学生に占める割合であるため、Q4-2 と同様に二者択一の回答方式ではこのような結果となることが通常想定されよう。

Q6「教員は熱意を持って授業を行っている」

授業に対する教員の熱意については、回答者の半数以上、率にして 56.45%の学生が「強くそう思う」と回答しており、平成 27 年度が 56.29%、平成 28 年度が 57.83%であったことから、数字上半数以上を維持している点は評価できよう。肯定の割合で見た場合でも 88.61%となり、大学全体の 84.61%より高い評価となっているため、基礎教養科目を担当する教員の熱意は学生に十分に伝わっていると考えられる。

Q7「教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している」

教室内が学習にふさわしい状態に保たれているかについては、講義科目全体の平均 78.76%を上回り、肯定の割合は 80.77%であった。全体平均との差は大きくないが、80%を超える比率を維持している点においては好ましい状況が続いていると理解できる。

Q8「教員は理解しやすい授業を行っている」

授業の理解しやすさについては、講義科目全体の平均 74.84%（前年度 75.72%）を上回り、肯定の割合は 80.01%（前年度 81.80%）となっている。両年度とも全体平均よりは高い値を示しており、傾向に大きな変化はない。

Q9 「教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である」

教員の話し方についても、講義科目全体の平均 76.96%を上回り、肯定の割合は 82.51%であった。本項目の肯定の割合の高さが、前項目の結果と関連していると考えられる。

Q9-2 「教員の話し方について、どのように感じましたか」

前項で否定的な回答をした学生に占める割合であるが、「その他／聞き取りにくい」が 52.42%となり、講義科目全体の平均 55.03%よりも低くなっているほか、対前年度において大きく改善が見られる点を特筆したい（前年度 71.28%）。

Q10 「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

知的好奇心の刺激についても、講義科目全体の平均 70.61%を上回り、肯定の割合は 79.95%であった。

Q11 「この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」

肯定の割合は 51.76%であり、講義科目全体の 48.05%よりは上回ったが、全設問中、肯定の割合がかなり低い部類となる数値を示した。一方で、シラバスを読まなかったという学生は 37.50%（2,236名）に上り、講義概要を把握しないまま履修している実態が分かることから、この点は今後の課題といえよう。この傾向は大学全体でも同様であり、全体平均で 39.71%が「読まなかった」と回答している。前回の本報告でも指摘されていたが、シラバスにおいて、学習の到達目標や準備学習の目安を記載し、学修成果をあげることが期待されていることから、新入生への履修指導やシラバスの活用方法を丁寧に周知することの必要性があらためて認識された。

Q12 「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

授業への総合的評価についての肯定の割合は 81.03%であり、対前年度ではやや低下した（前年度 83.42%）が、前々年度が 84.68%であった点を考慮すると、近年は 80%を超える高水準を維持していると評価できる。

Q13 「板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である」

板書の仕方やスライド提示の仕方については、肯定の割合が 81.52%であり、前年度とほぼ同様の結果となった（前年度 81.87%）。講義科目全体の平均 76.25%との比較ではこれを上回っており、各授業担当者における授業改善の取り組みが進行中であることがうかが

える。

Q14 「教材（教科書、配付資料等）の内容は適切である」

教材の内容の適切度についての肯定の割合は、講義科目全体の平均 78.12%を上回る 82.93%となった。年度により科目ごとの教材の内容が異なる可能性があることは想定しているが、教材の適切性を示すデータの一つとなる本指標については今後も注視していく必要がある。

Q15 「教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた」

本設問は演習に特化されたものである。本年度は肯定的な回答の割合が 73.33%となり、演習全体の数値 87.73%との差が大きくなっているが、基礎教養科目における調査対象が3科目のみであるため、本結果のみをもって評価することは難しいと考えられる。

Q16 「教員は参加者が課題に取り組むのを助けた」

本設問も演習に特化されたものである。これについても基礎教養科目における肯定的な回答の割合である 78.34%と、演習全体の数値 88.63%との間に差異が生じているが、サンプル数が少なく3科目のみという点で前項と同様である。

Q19 「授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった」

本設問は基礎教養科目に特化した項目であり、肯定の割合は 85.50%であった。前年度 87.33%と比較するとやや減少しているが、引き続き高水準を維持しているといえよう。

Q20 「授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった」

この設問については、回答者数が 1,896 名となり、他項目と比較して少ない結果となった。前年度の回答者数 1,582 名からは増えているものの、他項目との比べて回答者数が低調となった要因として、この設問は判断が難しく、学生はどう評価したらいいのか分からず、回答を見送ったケースが多かったのではないかと推察される。

2. 今後の授業改善に向けて

授業評価アンケートは今回で 12 回目の実施となったが、前年に引き続き、全設問において肯定の割合が高い結果となった。これは過去のアンケート結果等を踏まえた近年の各担当教員における授業内容改善の努力が結果としてあらわれたものと考えられ、各授業担当者に感謝したい。

なお、例年半数程度に留まっている回答率が毎年の課題となっているが、平成 29 年度については平成 28 年度の 54.48%から上昇し 56.90%という結果となった。

単年度の動きのみで判断せず中期的な推移を捉える必要があるが、こうした結果をふま

え、平成 28 年度からの G P A 制度導入に伴う「棄権」の廃止や、平成 30 年度新入学生以降のキャップ制の完全導入等、履修や成績評価に関する諸制度の改正に伴う学生の意識の変化を引き続き注視していきたい。



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

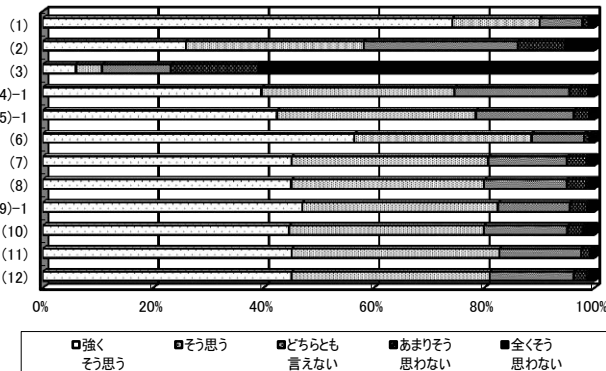
部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回答率
回答数	6,271	11,033	56.84%

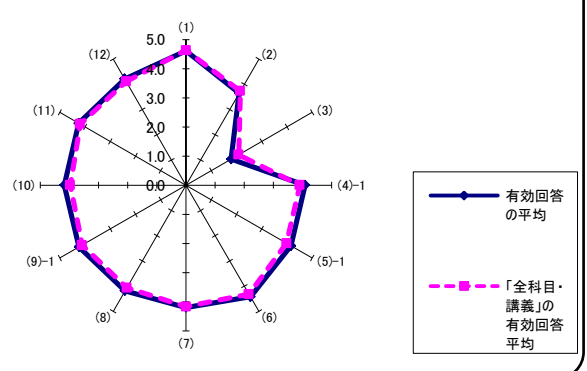
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
			5	4	3	2	1	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4,645	994	483	72	63	14	6,271	4.61	0.763	4.56	0.307	
			74.07%	15.85%	7.70%	1.15%	1.00%	0.22%	100.00%					
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	1,619	2,005	1,736	536	330	45	6,271	3.65	1.113	3.68	0.449	
			25.82%	31.97%	27.68%	8.55%	5.26%	0.72%	100.00%					
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	372	292	766	985	3,757	99	6,271	1.79	1.192	1.82	0.490	
			5.93%	4.66%	12.21%	15.71%	59.91%	1.58%	100.00%					
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	2,475	2,183	1,298	209	75	31	6,271	4.09	0.916	4.10	0.392	
			39.47%	34.81%	20.70%	3.33%	1.20%	0.49%	100.00%					
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	240	21	-	-	-	-	23	284	-	-	-	-
			84.51%	7.39%	-	-	-	-	8.10%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	2,643	2,243	1,105	170	63	47	6,271	4.16	0.881	4.18	0.370	
			42.15%	35.77%	17.62%	2.71%	1.00%	0.75%	100.00%					
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	165	43	-	-	-	-	25	233	-	-	-	-	
		70.82%	18.45%	-	-	-	-	10.73%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	3,524	2,008	592	66	53	28	6,271	4.42	0.774	4.44	0.321		
		56.20%	32.02%	9.44%	1.05%	0.85%	0.45%	100.00%						
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	2,797	2,211	885	220	88	70	6,271	4.19	0.909	4.27	0.348		
		44.60%	35.26%	14.11%	3.51%	1.40%	1.12%	100.00%						
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	2,809	2,180	932	217	97	36	6,271	4.18	0.919	4.23	0.440		
		44.79%	34.76%	14.86%	3.46%	1.55%	0.57%	100.00%						
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	2,894	2,181	800	197	79	120	6,271	4.24	0.888	4.29	0.411		
		46.15%	34.78%	12.76%	3.14%	1.26%	1.91%	100.00%						
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	98	20	130	-	-	-	28	276	-	-	-	-	
		35.51%	7.25%	47.10%	-	-	-	10.14%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	2,781	2,196	942	177	129	46	6,271	4.18	0.931	4.22	0.358		
		44.35%	35.02%	15.02%	2.82%	2.06%	0.73%	100.00%						
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 35.66%)	1,682	1,404	551	59	31	308	6,271	4.25	0.823	4.27	0.350		
		26.82%	22.39%	8.79%	0.94%	0.49%	4.91%	100.00%						
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,807	2,237	943	154	84	46	6,271	4.21	0.883	4.26	0.393		
		44.76%	35.67%	15.04%	2.46%	1.34%	0.73%	100.00%						
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	2,726	2,124	811	207	81	322	6,271	4.21	0.901	4.26	0.386	
			43.47%	33.87%	12.93%	3.30%	1.29%	5.13%	100.00%					
(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	2,704	2,152	794	144	61	416	6,271	4.25	0.854	4.30	0.339		
		43.12%	34.32%	12.66%	2.30%	0.97%	6.63%	100.00%						
基礎教養科目 運営委員会	(19)	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	1,850	1,279	409	88	34	2,611	6,271	4.32	0.834	4.34	0.385	
			29.50%	20.40%	6.52%	1.40%	0.54%	41.64%	100.00%					
(20)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった (複数講師による授業の場合のみ回答)	793	719	311	54	19	4,375	6,271	4.17	0.871	4.28	0.423		
		12.65%	11.47%	4.96%	0.86%	0.30%	69.77%	100.00%						

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

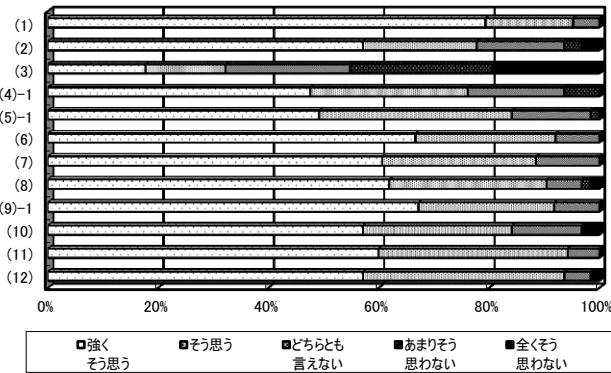
部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回答率
回答数	63	98	64.29%

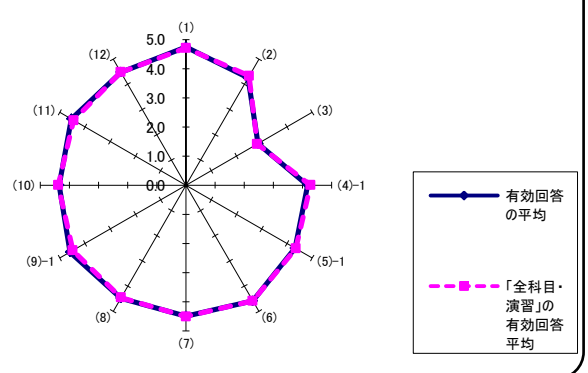
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5 強く そう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	50	10	3	0	0	0	63	4.75	0.538	4.77	0.169
			79.37%	15.87%	4.76%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	36	13	10	2	2	0	63	4.25	1.047	4.33	0.552
			57.14%	20.63%	15.87%	3.17%	3.17%	0.00%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	11	9	14	16	12	1	63	2.85	1.377	2.92	0.532
			17.46%	14.29%	22.22%	25.40%	19.05%	1.59%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	30	18	11	4	0	0	63	4.17	0.943	4.25	0.526
			47.62%	28.57%	17.46%	6.35%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	2	1	-	-	-	1	4	-	-	-	-
			50.00%	25.00%	-	-	-	25.00%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	31	22	9	1	0	0	63	4.32	0.779	4.35	0.270
			49.21%	34.92%	14.29%	1.59%	0.00%	0.00%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	0	1	-	-	-	0	1	-	-	-	-	
		0.00%	100.00%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	42	16	5	0	0	0	63	4.59	0.638	4.61	0.199	
		66.67%	25.40%	7.94%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	37	17	7	0	0	2	63	4.49	0.698	4.54	0.351	
		58.73%	26.98%	11.11%	0.00%	0.00%	3.17%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	39	18	4	1	1	0	63	4.48	0.820	4.53	0.430	
		61.90%	28.57%	6.35%	1.59%	1.59%	0.00%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	41	15	5	0	0	2	63	4.59	0.642	4.63	0.304	
		65.08%	23.81%	7.94%	0.00%	0.00%	3.17%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	0	0	0	-	-	0	0	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	36	17	8	0	2	0	63	4.35	0.936	4.41	0.460	
		57.14%	26.98%	12.70%	0.00%	3.17%	0.00%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 36.51%)	21	12	2	0	0	5	63	4.54	0.611	4.54	0.187	
		33.33%	19.05%	3.17%	0.00%	0.00%	7.94%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	36	23	3	0	1	0	63	4.48	0.737	4.52	0.295	
		57.14%	36.51%	4.76%	0.00%	1.59%	0.00%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	36	8	8	4	4	3	63	4.13	1.268	4.31	0.998
			57.14%	12.70%	12.70%	6.35%	6.35%	4.76%	100.00%				
(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	34	13	10	2	1	3	63	4.28	0.976	4.39	0.603	
		53.97%	20.63%	15.87%	3.17%	1.59%	4.76%	100.00%					
基礎教養科目 運営委員会	(19)	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	17	2	1	1	0	42	63	4.67	0.796	4.14	1.015
			26.98%	3.17%	1.59%	1.59%	0.00%	66.67%	100.00%				
(20)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった (複数講師による授業の場合のみ回答)	4	2	1	0	0	56	63	4.43	0.787	4.00	1.000	
		6.35%	3.17%	1.59%	0.00%	0.00%	88.89%	100.00%					

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 基礎教養
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14	Q19	Q20
Q1																
Q2	309(**)															
Q3	068(**)	278(**)	1													
Q4	122(**)	415(**)	131(**)	1												
Q5	107(**)	372(**)	102(**)	723(**)	1											
Q6	134(**)	348(**)	100(**)	515(**)	547(**)	1										
Q7	123(**)	383(**)	116(**)	508(**)	537(**)	644(**)	1									
Q8	106(**)	397(**)	118(**)	667(**)	663(**)	647(**)	712(**)	1								
Q9	097(**)	338(**)	098(**)	577(**)	670(**)	615(**)	637(**)	774(**)	1							
Q10	136(**)	439(**)	149(**)	577(**)	537(**)	546(**)	527(**)	627(**)	548(**)	1						
Q11	041(**)	266(**)	192(**)	213(**)	202(**)	192(**)	219(**)	224(**)	204(**)	275(**)	1					
Q12	120(**)	451(**)	135(**)	657(**)	643(**)	642(**)	661(**)	769(**)	669(**)	719(**)	275(**)	1				
Q13	096(**)	360(**)	121(**)	535(**)	580(**)	549(**)	582(**)	658(**)	631(**)	521(**)	207(**)	645(**)	1			
Q14	096(**)	353(**)	112(**)	570(**)	574(**)	568(**)	578(**)	661(**)	615(**)	546(**)	216(**)	662(**)	782(**)	1		
Q19	087(**)	360(**)	085(**)	631(**)	568(**)	528(**)	529(**)	666(**)	583(**)	600(**)	212(**)	702(**)	588(**)	614(**)	1	
Q20	053(*)	372(**)	128(**)	536(**)	535(**)	550(**)	526(**)	622(**)	581(**)	535(**)	250(**)	656(**)	624(**)	652(**)	733(**)	1

相関係数表 部門名 基礎教養
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16	Q19	Q20
Q1																
Q2	517(**)	1														
Q3	0.213	489(**)	1													
Q4	534(**)	739(**)	346(**)	1												
Q5	465(**)	651(**)	286(*)	714(**)	1											
Q6	394(**)	304(*)	0.078	524(**)	430(**)	1										
Q7	433(**)	487(**)	0.252	579(**)	506(**)	791(**)	1									
Q8	425(**)	608(**)	306(*)	621(**)	517(**)	597(**)	741(**)	1								
Q9	450(**)	370(**)	0.173	556(**)	433(**)	777(**)	631(**)	635(**)	1							
Q10	307(*)	534(**)	381(**)	405(**)	420(**)	299(*)	446(**)	641(**)	418(**)	1						
Q11	0.155	0.204	0.11	288(*)	392(**)	391(**)	446(**)	436(**)	436(**)	400(**)	1					
Q12	391(**)	614(**)	277(*)	595(**)	687(**)	321(*)	505(**)	739(**)	380(**)	713(**)	469(**)	1				
Q15	515(**)	580(**)	326(*)	586(**)	316(*)	317(*)	552(**)	662(**)	482(**)	623(**)	327(*)	559(**)	1			
Q16	429(**)	605(**)	365(**)	536(**)	505(**)	433(**)	661(**)	794(**)	562(**)	664(**)	505(**)	722(**)	791(**)	1		
Q19	487(*)	722(**)	0.255	788(**)	0.353	508(*)	550(*)	617(**)	825(**)	675(**)	0.303	585(**)	989(**)	752(**)	1	
Q20	801(*)	806(*)	0.486	0.734	0.482	0.731	885(**)	1.000(**)	841(*)	1.000(**)	0.546	881(**)	0.693	0.635	.797(*)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、②50%以上、①50%未満)
- Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む) は、1週間あたり平均で (⑤3時間以上、④2時間以上3時間未満、③1時間以上2時間未満、②30分以上1時間未満、①30分未満)
- Q4 この授業のレベルは適切である
- Q5 この授業を進める速さは適切である
- Q6 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q7 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q8 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q9 教員の話し方 (スピード、聞き取りやすさ) は適切である
- Q10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q13 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q14 教材 (教科書、配布資料等) の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【開設部門が「基礎教養科目運営委員会」の場合のみ回答】

- Q19 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった
- Q20 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった (複数講師による授業の場合のみ)



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 基礎教養
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.50	0.840	4.50	0.274	4.47	0.862	4.47	0.221	4.50	0.835	4.47	0.262	4.55	0.800	4.51	0.294	4.61	0.763	4.56	0.307
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	3.62	0.993	3.65	0.381	3.61	0.983	3.68	0.380	3.76	0.985	3.76	0.368	3.75	1.004	3.82	0.410	3.65	1.113	3.68	0.449
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.79	1.192	1.82	0.490
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	4.07	0.870	4.06	0.391	4.05	0.850	4.04	0.389	4.16	0.848	4.13	0.343	4.12	0.905	4.15	0.388	4.09	0.916	4.10	0.392
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4.13	0.849	4.15	0.333	4.11	0.846	4.10	0.399	4.22	0.795	4.20	0.257	4.25	0.812	4.26	0.322	4.16	0.881	4.18	0.370
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.29	0.811	4.31	0.321	4.28	0.812	4.32	0.377	4.44	0.748	4.43	0.315	4.45	0.754	4.46	0.352	4.42	0.774	4.44	0.321
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.10	0.903	4.15	0.304	4.07	0.889	4.11	0.368	4.23	0.854	4.24	0.321	4.24	0.871	4.29	0.368	4.19	0.909	4.27	0.348
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.13	0.908	4.13	0.440	4.12	0.897	4.13	0.438	4.24	0.869	4.25	0.386	4.22	0.892	4.26	0.441	4.18	0.919	4.23	0.440
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.18	0.875	4.20	0.360	4.14	0.881	4.15	0.420	4.28	0.833	4.29	0.344	4.29	0.846	4.31	0.396	4.24	0.888	4.29	0.411
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.15	0.921	4.18	0.348	4.12	0.910	4.17	0.362	4.24	0.872	4.23	0.319	4.22	0.906	4.25	0.362	4.18	0.931	4.22	0.358
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	3.89	0.915	3.90	0.329	3.86	0.931	3.89	0.296	4.23	0.813	4.22	0.278	4.29	0.798	4.30	0.290	4.25	0.823	4.27	0.350
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.15	0.866	4.17	0.396	4.12	0.866	4.15	0.404	4.26	0.844	4.26	0.351	4.25	0.865	4.29	0.400	4.21	0.883	4.26	0.393
「講義」「語学」のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.06	0.939	4.09	0.413	4.00	0.943	4.05	0.457	4.18	0.889	4.18	0.386	4.22	0.887	4.26	0.359	4.21	0.901	4.26	0.386
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.14	0.877	4.17	0.364	4.09	0.869	4.13	0.393	4.23	0.841	4.24	0.351	4.25	0.858	4.29	0.338	4.25	0.854	4.30	0.339
「基礎教養」のみ	(19)	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	4.34	0.791	4.26	0.428	4.27	0.845	4.23	0.484	4.35	0.806	4.30	0.415	4.37	0.819	4.39	0.425	4.32	0.834	4.34	0.385
	(20)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	4.20	0.858	4.23	0.526	4.08	0.900	4.19	0.509	4.26	0.842	4.25	0.519	4.28	0.874	4.33	0.464	4.17	0.871	4.28	0.423

部門名 基礎教養
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.33	0.920	4.33	-	4.42	0.992	4.42	-	4.60	0.770	4.60	-	4.60	0.681	4.60	-	4.75	0.538	4.77	0.169
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	3.22	1.155	3.22	-	3.48	1.208	3.48	-	3.93	0.980	3.93	-	4.00	0.725	4.00	-	4.25	1.047	4.33	0.552
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.85	1.377	2.92	0.532
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	3.70	0.993	3.70	-	3.77	0.956	3.77	-	3.90	1.094	3.90	-	4.10	0.718	4.10	-	4.17	0.943	4.25	0.526
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4.00	0.877	4.00	-	4.19	0.873	4.19	-	4.14	0.756	4.14	-	4.15	0.745	4.15	-	4.32	0.779	4.35	0.270
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	3.96	0.980	3.96	-	4.19	0.873	4.19	-	4.37	0.765	4.37	-	4.40	0.681	4.40	-	4.59	0.638	4.61	0.199
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	3.85	1.223	3.85	-	3.97	0.912	3.97	-	4.07	0.868	4.07	-	4.20	0.768	4.20	-	4.49	0.698	4.54	0.351
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	3.92	0.954	3.92	-	3.97	1.048	3.97	-	4.13	0.900	4.13	-	4.25	0.716	4.25	-	4.48	0.820	4.53	0.430
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.08	0.891	4.08	-	4.13	0.806	4.13	-	4.17	0.834	4.17	-	4.45	0.686	4.45	-	4.59	0.642	4.63	0.304
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.96	1.038	3.96	-	4.03	0.983	4.03	-	4.33	0.802	4.33	-	4.20	0.894	4.20	-	4.35	0.936	4.41	0.460
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.00	0.837	4.00	-	3.70	1.031	3.70	-	4.05	0.970	4.05	-	4.40	0.699	4.40	-	4.54	0.611	4.54	0.187
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.85	0.967	3.85	-	4.16	0.860	4.16	-	4.33	0.758	4.33	-	4.35	0.875	4.35	-	4.48	0.737	4.52	0.295
「演習」「語学」のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	3.35	1.229	3.35	-	3.71	1.042	3.71	-	3.67	0.961	3.67	-	3.95	0.759	3.95	-	4.13	1.268	4.31	0.998
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	3.63	1.135	3.63	-	3.96	0.999	3.96	-	4.07	0.781	4.07	-	4.10	0.718	4.10	-	4.28	0.976	4.39	0.603
「基礎教養」のみ	(19)	授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった	4.25	0.775	4.25	-	4.19	0.834	4.19	-	3.00	-	3.00	-	4.14	0.864	4.14	-	4.67	0.796	4.14	1.015
	(20)	授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった(複数講師による授業の場合のみ回答)	4.25	0.754	4.25	-	5.00	0.000	5.00	-	3.00	-	3.00	-	4.20	0.837	4.20	-	4.43	0.787	4.00	1.000

X. 教職課程

教職課程開設科目の履修は、卒業要件とはなっておらず、教員免許取得を希望する学生が自発的に行うものである。しかし他方で、教職課程開設科目と履修単位数等は、教育職員免許法等に基づいて規定されており、その授業内容も国の課程認定行政指導等によって、大学や担当教員等の全く自由というわけにはいかない。また、授業形態も、教育学・心理学の基礎理論領域を担当する授業は講義形式でかつ履修者も比較的多い形態をとらざるを得ないのが現状である。しかし、近年の政策的重点事項の一つである「(学校教員としての)実践的指導力の育成」強化を受けて、教科教育法の授業を中心に模擬授業や場面指導などの具体的かつ実践的な内容及び方法を取り入れてきている。

以上のような現状のもと、平成 29 年度あるいは経年変化比較においても、履修者の出席状況は他部門と比較して相対的に良いとはいえものの、意欲的に取り組んでいるかといえ、専門科目の学習活動と比較すると、やむを得ないこととはいえ、必ずしも良いとはいえない実態が、ほぼ同様に続いてきている。また、予習・復習等の授業外の学習時間に関しても、同様の実態が続いてきている。履修者にとっては、それぞれの専門分野の学習に加えての「教職課程履修」ということでもあるために、出席はするが、意欲の注ぎ方は各専門分野の学習に比べればやや劣るといった状況になりがちであるといえよう。教職課程としては、決して、やむを得ないことだと諦めているわけではなく、そのような実態に傾きがちであるという現実をふまえ、授業内容の改善及び授業時間内での確実なる定着の工夫など、なお一層の改善努力をしていきたいと考えている。

履修者による授業評価結果は、他部門と引き比べるならば、全体としていずれの項目もほぼ同様の結果であるといえよう。しかし、講義形態の科目に関しては、講義内容のレベルや進み方の速さといった点で、やや困難を感じている学生がいると思われる結果が続いてきている。今後の改善課題の一つであることは確かだが、その一方で、学校現場において児童・生徒に関する多様な問題の発生とその対応としての新しい政策的動向を鑑みるに、学校教員養成に必要な教育内容の量は増加し、レベルは高まるばかりであるため、指導計画上の困難さを抱えている。

教職課程では、現在、『教職課程年報』を毎年度発行しており、その中で、専任教員のみならず教職課程開設科目を担当する非常勤講師及び関係者との相互交流を図り、そうした困難さについても共有するとともに、その打開・改善に向けて努めていこうとしている。



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

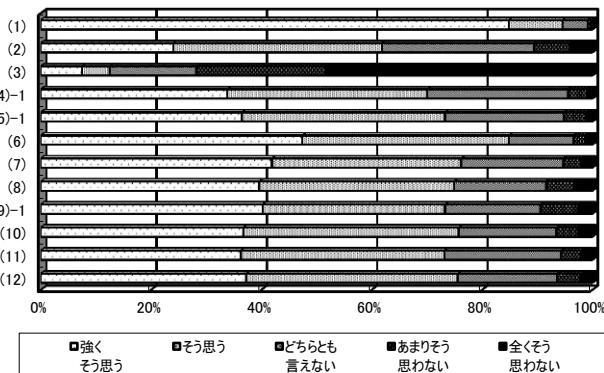
部門名 教職課程

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,285	1,854	69.31%

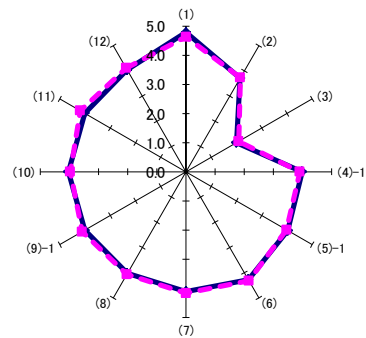
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,088	125	58	8	3	3	1,285	4.78	0.571	4.76	0.130
			84.67%	9.73%	4.51%	0.62%	0.23%	0.23%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	307	483	352	83	52	8	1,285	3.71	1.030	3.78	0.293
			23.89%	37.59%	27.39%	6.46%	4.05%	0.62%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	95	63	198	297	610	22	1,285	2.00	1.232	1.96	0.361
			7.39%	4.90%	15.41%	23.11%	47.47%	1.71%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	431	462	326	43	13	10	1,285	3.98	0.906	4.08	0.393
			33.54%	35.95%	25.37%	3.35%	1.01%	0.78%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	50	4	-	-	-	2	56	-	-	-	-
			89.29%	7.14%	-	-	-	3.57%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	466	470	275	51	15	8	1,285	4.03	0.919	4.14	0.438
			36.26%	36.58%	21.40%	3.97%	1.17%	0.62%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	38	23	-	-	-	5	66	-	-	-	-	
		57.58%	34.85%	-	-	-	7.58%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	605	478	149	30	14	9	1,285	4.28	0.841	4.39	0.318	
		47.08%	37.20%	11.60%	2.33%	1.09%	0.70%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	534	437	236	41	26	11	1,285	4.11	0.952	4.23	0.404	
		41.56%	34.01%	18.37%	3.19%	2.02%	0.86%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	506	451	213	64	43	8	1,285	4.03	1.033	4.19	0.555	
		39.38%	35.10%	16.58%	4.98%	3.35%	0.62%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	508	417	218	87	32	23	1,285	4.02	1.039	4.16	0.562	
		39.53%	32.45%	16.96%	6.77%	2.49%	1.79%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	33	5	71	-	-	10	119	-	-	-	-	
		27.73%	4.20%	59.66%	-	-	8.40%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	470	499	227	51	32	6	1,285	4.04	0.964	4.15	0.400	
		36.58%	38.83%	17.67%	3.97%	2.49%	0.47%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 43.50%)	244	248	142	24	14	54	1,285	4.02	0.952	4.11	0.422	
		18.99%	19.30%	11.05%	1.87%	1.09%	4.20%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	476	490	230	55	27	7	1,285	4.04	0.956	4.18	0.491	
		37.04%	38.13%	17.90%	4.28%	2.10%	0.54%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	466	378	217	101	72	51	1,285	3.86	1.178	4.07	0.720
			36.26%	29.42%	16.89%	7.86%	5.60%	3.97%	100.00%				
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	478	422	219	74	40	52	1,285	3.99	1.048	4.18	0.568
			37.20%	32.84%	17.04%	5.76%	3.11%	4.05%	100.00%				

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較





学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

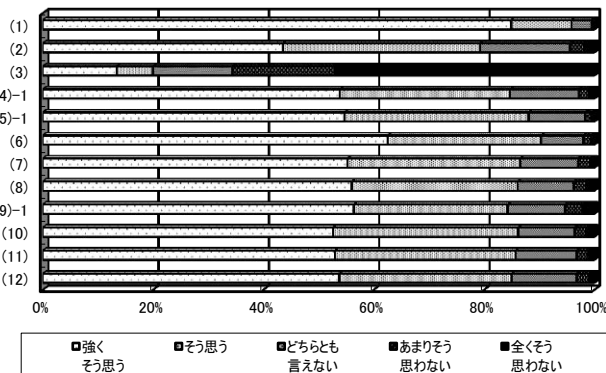
部門名 教職課程

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,323	1,690	78.28%

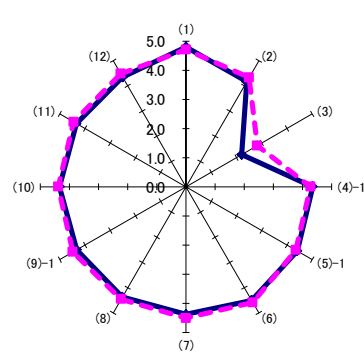
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5	4	3	2	1	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	1,122	144	48	3	4	2	1,323	4.80	0.532	4.81	0.135
			84.81%	10.88%	3.63%	0.23%	0.30%	0.15%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	573	470	215	34	24	7	1,323	4.17	0.916	4.23	0.287
			43.31%	35.53%	16.25%	2.57%	1.81%	0.53%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	176	85	188	243	614	17	1,323	2.21	1.430	2.40	0.737
			13.30%	6.42%	14.21%	18.37%	46.41%	1.28%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	708	406	164	24	13	8	1,323	4.35	0.840	4.41	0.276
			53.51%	30.69%	12.40%	1.81%	0.98%	0.60%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	26	6	-	-	-	5	37	-	-	-	-
			70.27%	16.22%	-	-	-	13.51%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	717	438	134	16	6	12	1,323	4.41	0.758	4.46	0.257
			54.20%	33.11%	10.13%	1.21%	0.45%	0.91%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	12	6	-	-	-	4	22	-	-	-	-	
		54.55%	27.27%	-	-	-	18.18%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	821	365	101	18	8	10	1,323	4.50	0.748	4.56	0.251	
		62.06%	27.59%	7.63%	1.36%	0.60%	0.76%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	727	412	138	29	10	7	1,323	4.38	0.818	4.46	0.289	
		54.95%	31.14%	10.43%	2.19%	0.76%	0.53%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	737	395	134	29	20	8	1,323	4.37	0.867	4.46	0.328	
		55.71%	29.86%	10.13%	2.19%	1.51%	0.60%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	731	361	135	42	27	27	1,323	4.33	0.936	4.46	0.370	
		55.25%	27.29%	10.20%	3.17%	2.04%	2.04%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	2	3	56	-	-	8	69	-	-	-	-	
		2.90%	4.35%	81.16%	-	-	11.59%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいもの見方が得られたりした	693	442	135	28	19	6	1,323	4.34	0.854	4.39	0.306	
		52.38%	33.41%	10.20%	2.12%	1.44%	0.45%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 46.86%)	330	204	69	13	7	80	1,323	4.34	0.842	4.44	0.313	
		24.94%	15.42%	5.22%	0.98%	0.53%	6.05%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	706	410	154	30	13	10	1,323	4.35	0.847	4.44	0.344	
		53.36%	30.99%	11.64%	2.27%	0.98%	0.76%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	678	341	103	17	10	174	1,323	4.44	0.787	4.50	0.303
			51.25%	25.77%	7.79%	1.28%	0.76%	13.15%	100.00%				
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	614	363	133	26	10	177	1,323	4.35	0.837	4.41	0.302
			46.41%	27.44%	10.05%	1.97%	0.76%	13.38%	100.00%				

「全員回答(1~12)」における有効回答の割合



「全員回答(1~12)」の有効回答における平均比較



相関係数表 部門名 教職課程
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.151(**)	1												
Q3	0.04	.231(**)	1											
Q4	0.024	.317(**)	.133(**)	1										
Q5	0.008	.279(**)	.088(**)	.740(**)	1									
Q6	.068(**)	.287(**)	.094(**)	.541(**)	.541(**)	1								
Q7	0.024	.255(**)	.132(**)	.559(**)	.539(**)	.653(**)	1							
Q8	0.022	.293(**)	.135(**)	.657(**)	.611(**)	.632(**)	.706(**)	1						
Q9	0.015	.250(**)	.087(**)	.597(**)	.604(**)	.576(**)	.606(**)	.740(**)	1					
Q10	0.041	.383(**)	.171(**)	.547(**)	.489(**)	.556(**)	.561(**)	.625(**)	.544(**)	1				
Q11	0.05	.191(**)	.216(**)	.138(**)	.119(**)	.121(**)	.124(**)	.136(**)	.153(**)	.217(**)	1			
Q12	.061(*)	.361(**)	.165(**)	.662(**)	.639(**)	.665(**)	.668(**)	.807(**)	.705(**)	.705(**)	.227(**)	1		
Q13	0.013	.244(**)	.194(**)	.549(**)	.537(**)	.507(**)	.572(**)	.680(**)	.579(**)	.463(**)	.136(**)	.671(**)	1	
Q14	0.005	.247(**)	.202(**)	.571(**)	.528(**)	.533(**)	.583(**)	.685(**)	.574(**)	.496(**)	.125(**)	.683(**)	.821(**)	1

相関係数表 部門名 教職課程
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1	1													
Q2	.204(**)	1												
Q3	0.027	.303(**)	1											
Q4	.126(**)	.398(**)	.156(**)	1										
Q5	.145(**)	.416(**)	.171(**)	.792(**)	1									
Q6	.128(**)	.430(**)	.148(**)	.636(**)	.651(**)	1								
Q7	.095(**)	.444(**)	.188(**)	.635(**)	.645(**)	.765(**)	1							
Q8	.082(**)	.406(**)	.155(**)	.686(**)	.686(**)	.780(**)	.796(**)	1						
Q9	.108(**)	.426(**)	.181(**)	.613(**)	.634(**)	.708(**)	.734(**)	.787(**)	1					
Q10	.124(**)	.460(**)	.203(**)	.569(**)	.570(**)	.642(**)	.630(**)	.649(**)	.615(**)	1				
Q11	-0.004	.189(**)	.196(**)	.170(**)	.182(**)	.151(**)	.187(**)	.186(**)	.166(**)	.217(**)	1			
Q12	.111(**)	.447(**)	.170(**)	.673(**)	.677(**)	.757(**)	.752(**)	.806(**)	.748(**)	.724(**)	.245(**)	1		
Q15	.095(**)	.362(**)	.149(**)	.568(**)	.571(**)	.661(**)	.629(**)	.628(**)	.598(**)	.579(**)	.178(**)	.658(**)	1	
Q16	.060(*)	.396(**)	.188(**)	.609(**)	.624(**)	.692(**)	.674(**)	.705(**)	.641(**)	.590(**)	.237(**)	.711(**)	.771(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、②50%以上、①50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む) は、1週間あたり平均で (⑤3時間以上、④2時間以上3時間未満、③1時間以上2時間未満、②30分以上1時間未満、①30分未満)
- Q 4 この授業のレベルは適切である
- Q 5 この授業を進める速さは適切である
- Q 6 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 7 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 8 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 9 教員の話し方 (スピード、聞き取りやすさ) は適切である
- Q 10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 14 教材 (教科書、配布資料等) の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 教職課程
形態名 講義

		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度					
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース			
回答対象	番号	質問内容	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	
			単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計
				平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.74	0.624	4.73	0.144	4.68	0.681	4.63	0.191	4.71	0.658	4.70	0.163	4.72	0.623	4.70	0.148	4.78	0.571	4.76	0.130	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	3.86	0.921	3.95	0.390	3.70	0.994	3.83	0.396	3.76	0.997	3.80	0.298	3.92	0.956	3.99	0.286	3.71	1.030	3.78	0.293	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	1.232	1.96	0.361
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	4.13	0.861	4.25	0.333	4.07	0.857	4.19	0.377	4.10	0.833	4.13	0.292	4.13	0.901	4.17	0.327	3.98	0.906	4.08	0.393	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4.14	0.869	4.21	0.320	4.10	0.874	4.20	0.359	4.15	0.811	4.19	0.278	4.17	0.876	4.22	0.330	4.03	0.919	4.14	0.438	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.30	0.847	4.41	0.343	4.27	0.830	4.37	0.320	4.30	0.796	4.38	0.228	4.35	0.803	4.42	0.297	4.28	0.841	4.39	0.318	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.16	0.927	4.29	0.349	4.06	0.936	4.20	0.362	4.09	0.894	4.16	0.242	4.12	0.925	4.20	0.342	4.11	0.952	4.23	0.404	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.09	0.985	4.25	0.409	4.07	0.963	4.22	0.433	4.03	0.948	4.14	0.343	4.12	0.977	4.19	0.434	4.03	1.033	4.19	0.555	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.08	0.983	4.24	0.444	4.11	0.946	4.24	0.398	4.04	0.976	4.13	0.357	4.15	0.940	4.24	0.359	4.02	1.039	4.16	0.562	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.15	0.939	4.26	0.375	4.07	0.955	4.21	0.367	4.02	0.991	4.12	0.333	4.09	0.985	4.16	0.324	4.04	0.964	4.15	0.400	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	3.84	0.957	3.98	0.359	3.84	0.983	3.99	0.361	4.12	0.842	4.15	0.200	4.25	0.843	4.30	0.251	4.02	0.952	4.11	0.422	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.11	0.924	4.29	0.391	4.08	0.923	4.24	0.410	4.04	0.933	4.15	0.352	4.13	0.905	4.22	0.366	4.04	0.956	4.18	0.491	
「講義」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	3.96	1.085	4.10	0.514	3.91	1.060	4.03	0.556	3.92	1.036	4.02	0.478	4.01	1.039	4.07	0.530	3.86	1.178	4.07	0.720	
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.14	0.925	4.26	0.373	4.10	0.931	4.20	0.410	4.11	0.883	4.19	0.306	4.18	0.901	4.26	0.359	3.99	1.048	4.18	0.568	

部門名 教職課程
形態名 演習

		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度					
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース			
回答対象	番号	質問内容	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	
			単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計	単体集計	形態別	形態別	単体集計
				平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.79	0.514	4.77	0.156	4.81	0.501	4.80	0.149	4.73	0.608	4.73	0.179	4.71	0.642	4.72	0.165	4.80	0.532	4.81	0.135	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	4.22	0.817	4.28	0.265	4.15	0.869	4.29	0.312	4.11	0.899	4.21	0.347	4.25	0.811	4.30	0.269	4.17	0.916	4.23	0.287	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.21	1.430	2.40	0.737
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	4.36	0.843	4.39	0.302	4.23	0.946	4.36	0.398	4.28	0.844	4.35	0.341	4.41	0.781	4.44	0.281	4.35	0.840	4.41	0.276	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4.36	0.817	4.37	0.288	4.27	0.917	4.38	0.346	4.28	0.834	4.35	0.354	4.45	0.742	4.48	0.272	4.41	0.758	4.46	0.257	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.57	0.733	4.55	0.265	4.44	0.860	4.53	0.326	4.41	0.847	4.47	0.387	4.55	0.758	4.58	0.285	4.50	0.748	4.56	0.251	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.39	0.847	4.39	0.296	4.31	0.890	4.42	0.326	4.27	0.920	4.37	0.403	4.45	0.783	4.48	0.305	4.38	0.818	4.46	0.289	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.35	0.914	4.39	0.371	4.21	1.033	4.35	0.476	4.20	0.978	4.28	0.466	4.37	0.883	4.42	0.400	4.37	0.867	4.46	0.328	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.40	0.855	4.47	0.332	4.31	0.937	4.45	0.373	4.27	0.922	4.39	0.438	4.47	0.787	4.49	0.304	4.33	0.936	4.46	0.370	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.45	0.841	4.47	0.318	4.35	0.926	4.44	0.312	4.28	0.907	4.32	0.347	4.38	0.877	4.42	0.320	4.34	0.854	4.39	0.306	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	3.99	1.026	4.03	0.338	4.05	0.975	4.17	0.322	4.21	0.911	4.29	0.381	4.38	0.856	4.40	0.345	4.34	0.842	4.44	0.313	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.40	0.878	4.43	0.348	4.25	0.971	4.41	0.419	4.25	0.949	4.34	0.425	4.42	0.844	4.47	0.345	4.35	0.847	4.44	0.344	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.35	0.878	4.34	0.592	4.28	0.943	4.41	0.422	4.24	0.920	4.31	0.398	4.44	0.793	4.48	0.323	4.44	0.787	4.50	0.303	
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.29	0.895	4.37	0.343	4.18	1.003	4.34	0.437	4.08	1.020	4.19	0.512	4.35	0.861	4.42	0.351	4.35	0.837	4.41	0.302	

XI. 学芸員課程委員会

1. 集計データからわかること

学芸員課程開設科目の中心は、4年次に履修が割り当てられている「博物館実習」（通年の演習形態科目）であるが、この授業に対する学生の評価は、全体として高いものとなっている。回答率は92.11%で、前年度の83.91%からさらに高まり、学生の意欲はきわめて高いと考えられる。

Q1「私のこの授業の出席率は」では80%以上の割合が95%（前年度は98%。以下、括弧内は前年度。小数点以下は四捨五入）、90%以上の割合も71%（74%）ときわめて高い水準を維持している。Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」の項目の「強くそう思う」、「そう思う」の合計の割合も86%（80%）と高水準となっている。ただし、Q2の「強くそう思う」の割合が44%と相対的に低いのは、「まじめに授業に取り組んでいる者ほど、自己に対する評価が厳しい」という専門科目の演習にも見られる傾向を反映していると思われる。学習時間を問うQ3については、そもそも学習の「質」を「時間」で見るという手法には疑問があるのでコメントは控える。授業のレベルと進行の速度の適切さを問うQ4、Q5、またQ6「授業に対する教員の熱意が感じられる」についても、「強くそう思う」、「そう思う」の割合が、それぞれ96%（97%）、94%（97%）、90%（100%）となっている。Q6からQ10についても「強くそう思う」が69～79%（67～79%）、「そう思う」との合計は90%以上を占め、高い評価を得ていることが分かる。Q11「この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している」についても「強くそう思う」、「そう思う」の合計は、シラバスを読んだ学生では95%となっている。また「読まなかった」の18%が、他の部門に比して低いのは、科目の特殊性とともに、独自の「手引き」を作成しているためと思われる。総合的な評価を問うQ11「総合的に見てこの授業は高く評価できる」で過去5年間の経年変化を見ると、平成24（2012）年度から回答者ベースの単純平均で、4.84・4.74・4.70・4.68・4.73と高水準で推移している。若干の変化はあるものの、きわめて高い値での変化であり、この設問に対する「強くそう思う」が77%、「そう思う」が19%と、96%の履修者から高く評価されており、現在のレベルを維持する段階に入っていると考えられる。

このような評価は、資格取得のため卒業に必要な単位を超えて自発的に選択するという学生の意識と、優れた後進を育てたいと考える授業担当者（多くが美術館・博物館・資料館等の現場で活躍する学芸員である）の意欲とがうまく噛み合っている結果である。そうした両者の意識がうまく噛み合うという状況は、単に個々の授業の内容、進め方の良し悪しというだけではなく、カリキュラムの設定、非常勤講師の選任に関しての十分な検討、実習に必要な設備や備品の充実、学生に対して行われる徹底したガイダンス、課程事務室

窓口でのきめ細かい指導・アドバイスなど、授業以前の、あるいは授業を取り巻く環境の整備によるところが大きいと考えられる。

言い換えれば、FDにとって重要なのは、個々の教員の意識の問題だけではなく、教員が自らの理想とする授業を展開できる状況や枠組、学生が自ら積極的に参加したいと考えるような授業を用意できる状況や枠組を、外側から積極的に構築してゆくということであり、そのような全体としての仕組みが学芸員資格取得関係の履修システムの中に組み込まれているということである。こうした環境は今後とも維持してゆきたいと考えている。

文部科学省による博物館法施行規則の改正により、平成24年4月から学芸員資格取得に関するカリキュラムが変更された。本学では以前より博物館関係の授業は充実しており、さほど大幅な変更は生じなかったが、各科目で網羅すべき内容が文科省から細かく指定され、それに沿って授業内容が組み立てられたので、履修者は必要な知識や技術をより系統立てて理解しやすくなったと考えられる。その一方で、科目は以前よりも細分化されて、専門性が強くなり、各科目の内容設定と分かりやすい説明に工夫を要することとなった。この点については、今後ともさらに改善してゆきたい。

2. 今後の授業改善に向けて

毎年度初めに、学芸員課程の非常勤講師との意見交換会を設けて情報を交換し、また授業の改善等についても話題としている。学芸員課程は、とりわけ4年次の実習クラス（演習）が資格取得の総仕上げとして重要なものとなるので、学生の意見も十分に聞いたうえで、実習環境の整備を常に心がけている。さらに出席率を上げるように努めるとともに、館園実習の終了後も、年度末まできちんと授業に取り組ませるようにしたい。また、学生の意見・希望等は常時、課程事務室において聴き取り、必要な場合に担当教員に伝えるようにしている。近年の博物館実習では、文部科学省の「博物館実習ガイドライン」で推奨される学生教育への大学博物館（本学においては史料館）の活用（所蔵資料や展覧会、収蔵庫等施設の授業への活用）を進めているが、これをさらに推進したいと考えている。



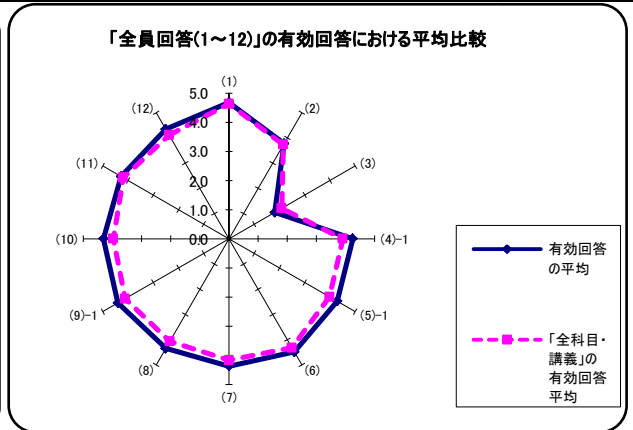
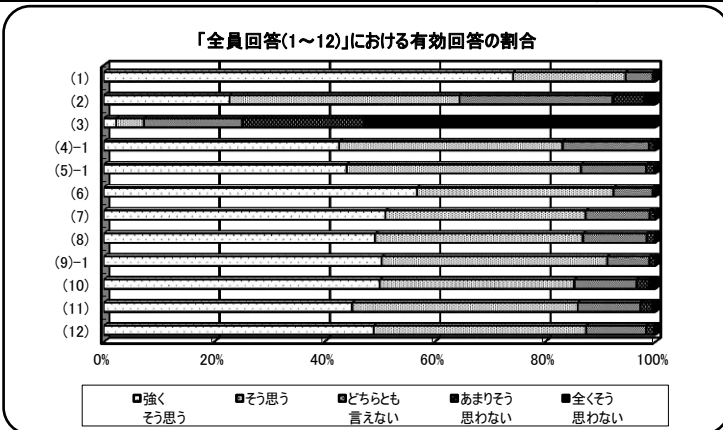
学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 学芸員

形態名 講義

	合計	総履修者数	回答率
回答数	757	912	83.00%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
			5	4	3	2	1	無回答				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	561	154	37	3	1	1	757	4.68	0.596	4.68	0.160
			74.11%	20.34%	4.89%	0.40%	0.13%	0.13%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	172	313	209	43	15	5	757	3.78	0.931	3.85	0.346
			22.72%	41.35%	27.61%	5.68%	1.98%	0.66%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	17	37	132	163	393	15	757	1.82	1.040	2.00	0.709
			2.25%	4.89%	17.44%	21.53%	51.92%	1.98%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	320	304	117	8	1	7	757	4.25	0.760	4.24	0.181
			42.27%	40.16%	15.46%	1.06%	0.13%	0.92%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	4	2	-	-	-	3	9	-	-	-	-
			44.44%	22.22%	-	-	-	33.33%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	333	321	89	11	2	1	757	4.29	0.748	4.28	0.180
			43.99%	42.40%	11.76%	1.45%	0.26%	0.13%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	3	6	-	-	-	4	13	-	-	-	-	
		23.08%	46.15%	-	-	-	30.77%	100.00%					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	427	268	53	3	1	5	757	4.49	0.657	4.53	0.204	
		56.41%	35.40%	7.00%	0.40%	0.13%	0.66%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	384	273	87	8	0	5	757	4.37	0.728	4.41	0.200	
		50.73%	36.06%	11.49%	1.06%	0.00%	0.66%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	371	284	87	11	1	3	757	4.34	0.749	4.37	0.185	
		49.01%	37.52%	11.49%	1.45%	0.13%	0.40%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	375	304	57	7	1	13	757	4.40	0.684	4.42	0.185	
		49.54%	40.16%	7.53%	0.92%	0.13%	1.72%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	1	1	6	-	-	0	8	-	-	-	-	
		12.50%	12.50%	75.00%	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	378	266	85	17	9	2	757	4.31	0.847	4.38	0.257	
		49.93%	35.14%	11.23%	2.25%	1.19%	0.26%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 37.52%)	195	177	49	9	3	40	757	4.27	0.797	4.26	0.390	
		25.76%	23.38%	6.47%	1.19%	0.40%	5.28%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	370	291	82	11	2	1	757	4.34	0.750	4.38	0.218	
		48.88%	38.44%	10.83%	1.45%	0.26%	0.13%	100.00%					
「講義」 「語学」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	358	270	107	14	1	7	757	4.29	0.788	4.28	0.261
			47.29%	35.67%	14.13%	1.85%	0.13%	0.92%	100.00%				
	(14)	教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である	349	278	106	15	2	7	757	4.28	0.797	4.29	0.248
			46.10%	36.72%	14.00%	1.98%	0.26%	0.92%	100.00%				





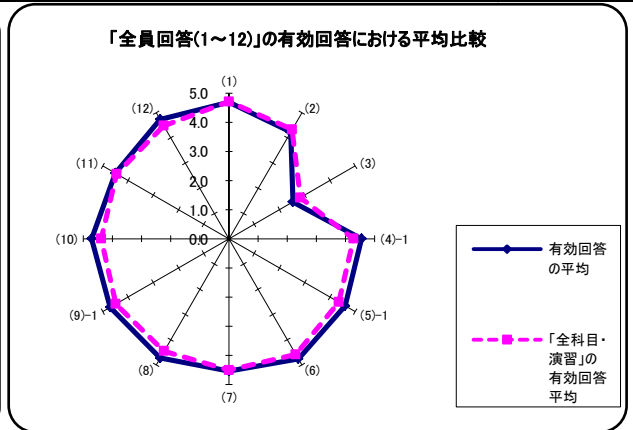
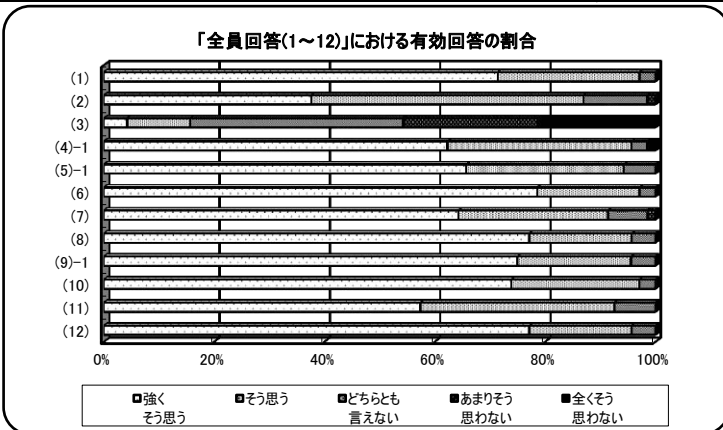
学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 学芸員

形態名 演習

	合計	総履修者数	回答率
回答数	70	76	92.11%

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は 5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	50	18	2	0	0	0	70	4.69	0.526	4.68	0.295
			71.43%	25.71%	2.86%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)	26	34	8	1	0	1	70	4.23	0.710	4.27	0.348
			37.14%	48.57%	11.43%	1.43%	0.00%	1.43%	100.00%				
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で 5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	3	8	27	17	15	0	70	2.53	1.086	2.56	0.481
			4.29%	11.43%	38.57%	24.29%	21.43%	0.00%	100.00%				
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	43	23	2	0	1	1	70	4.55	0.697	4.54	0.389
			61.43%	32.86%	2.86%	0.00%	1.43%	1.43%	100.00%				
	(4)-2	授業のレベルについて、どのように感じましたか 5:難しすぎる 4:易しすぎる	1	0	-	-	-	0	1	-	-	-	-
			100.00%	0.00%	-	-	-	0.00%	100.00%				
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	46	20	4	0	0	0	70	4.60	0.600	4.59	0.263
			65.71%	28.57%	5.71%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%				
(5)-2	授業を進める速さについて、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-					
(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	55	13	2	0	0	0	70	4.76	0.494	4.77	0.205	
		78.57%	18.57%	2.86%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	45	19	5	1	0	0	70	4.54	0.695	4.56	0.341	
		64.29%	27.14%	7.14%	1.43%	0.00%	0.00%	100.00%					
(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	54	13	3	0	0	0	70	4.73	0.536	4.74	0.309	
		77.14%	18.57%	4.29%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	51	14	3	0	0	2	70	4.71	0.548	4.72	0.205	
		72.86%	20.00%	4.29%	0.00%	0.00%	2.86%	100.00%					
(9)-2	教員の話し方について、どのように感じましたか 5:速すぎる 4:遅すぎる 3:その他/聞き取りにくい	0	0	0	-	-	0	0	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-					
(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした	51	16	2	0	0	1	70	4.71	0.517	4.71	0.159	
		72.86%	22.86%	2.86%	0.00%	0.00%	1.43%	100.00%					
(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人 ⇒ 17.14%)	31	19	4	0	0	4	70	4.50	0.637	4.49	0.117	
		44.29%	27.14%	5.71%	0.00%	0.00%	5.71%	100.00%					
(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	54	13	3	0	0	0	70	4.73	0.536	4.73	0.179	
		77.14%	18.57%	4.29%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう 心がけていた	34	23	8	0	0	5	70	4.40	0.703	4.44	0.379
			48.57%	32.86%	11.43%	0.00%	0.00%	7.14%	100.00%				
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	42	19	4	0	0	5	70	4.58	0.610	4.64	0.273
			60.00%	27.14%	5.71%	0.00%	0.00%	7.14%	100.00%				



相関係数表 部門名 学芸員
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q1	1													
Q2	.272(**)	1												
Q3	0.014	.294(**)	1											
Q4	.120(**)	.409(**)	.104(**)	1										
Q5	0.065	.355(**)	.091(*)	.760(**)	1									
Q6	.090(*)	.277(**)	.130(**)	.541(**)	.570(**)	1								
Q7	.085(*)	.309(**)	.160(**)	.506(**)	.552(**)	.622(**)	1							
Q8	0.049	.317(**)	.116(**)	.622(**)	.649(**)	.666(**)	.657(**)	1						
Q9	.126(**)	.281(**)	.079(*)	.598(**)	.621(**)	.613(**)	.586(**)	.706(**)	1					
Q10	.105(**)	.389(**)	.150(**)	.577(**)	.565(**)	.560(**)	.539(**)	.652(**)	.549(**)	1				
Q11	0.006	.150(**)	.113(**)	.200(**)	.184(**)	.205(**)	.204(**)	.223(**)	.183(**)	.257(**)	1			
Q12	0.062	.345(**)	0.068	.640(**)	.661(**)	.699(**)	.620(**)	.744(**)	.649(**)	.717(**)	.228(**)	1		
Q13	0.053	.259(**)	0.042	.470(**)	.557(**)	.548(**)	.536(**)	.579(**)	.578(**)	.460(**)	.134(**)	.616(**)	1	
Q14	0.059	.300(**)	0.039	.452(**)	.513(**)	.511(**)	.512(**)	.587(**)	.521(**)	.465(**)	.157(**)	.597(**)	.713(**)	1

相関係数表 部門名 学芸員
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q15	Q16
Q1	1													
Q2	0.2	1												
Q3	0.143	.254(*)	1											
Q4	0.023	0.188	0.003	1										
Q5	0.009	0.12	-0.093	.680(**)	1									
Q6	-0.019	.247(*)	-0.027	.652(**)	.645(**)	1								
Q7	-0.042	.368(**)	-0.19	.411(**)	.459(**)	.515(**)	1							
Q8	0.104	.323(**)	0.101	.683(**)	.604(**)	.786(**)	.517(**)	1						
Q9	0.094	.276(*)	-0.128	.423(**)	.620(**)	.708(**)	.668(**)	.573(**)	1					
Q10	-0.128	.328(**)	-0.041	.459(**)	.435(**)	.602(**)	.434(**)	.522(**)	.604(**)	1				
Q11	0.052	0.1	0.029	0.03	0.056	0.066	0.128	0.04	0.122	0.072	1			
Q12	-0.101	.323(**)	0.051	.644(**)	.514(**)	.732(**)	.517(**)	.798(**)	.624(**)	.690(**)	0.04	1		
Q15	-0.042	.344(**)	0.176	.466(**)	.503(**)	.516(**)	.464(**)	.589(**)	.443(**)	.543(**)	0.207	.468(**)	1	
Q16	-0.112	.415(**)	-0.12	.304(*)	.285(*)	.400(**)	.495(**)	.330(**)	.549(**)	.628(**)	0.243	.470(**)	.540(**)	1

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私のこの授業への出席率は (⑤90%以上、④80%以上、③70%、②45%以上、①50%未満)
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む)
- Q 3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間 (予習復習・課題作成等を含む) は、1週間あたり平均で (⑤3時間以上、④2時間以上3時間未満、③1時間以上2時間未満、②30分以上1時間未満、①30分未満)
- Q 4 この授業のレベルは適切である
- Q 5 この授業を進める速さは適切である
- Q 6 教員は熱意を持って授業を行っている
- Q 7 教員は学生が集中できる授業環境になるよう配慮している
- Q 8 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 9 教員の話し方 (スピード、聞き取りやすさ) は適切である
- Q 10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している (シラバスを読まなかった人は「0」をマーク)
- Q 12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 13 板書の仕方やすライド提示の仕方は適切である
- Q 14 教材 (教科書、配布資料等) の内容は適切である

【授業形態が「演習」「語学」の場合のみ回答】

- Q 15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた
- Q 16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた



学習院大学 平成29(2017)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 学芸員
形態名 講義

		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度					
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース			
回答対象	番号	質問内容	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	
			単体集計	単体集計	形別別	形別別	単体集計	単体集計	形別別	形別別	単体集計	単体集計	形別別	形別別	単体集計	単体集計	形別別	形別別	単体集計	単体集計	形別別	形別別	単体集計
				平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.68	0.600	4.66	0.157	4.69	0.655	4.67	0.156	4.60	0.669	4.52	0.220	4.64	0.649	4.61	0.168	4.68	0.596	4.68	0.160	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	3.69	0.928	3.77	0.304	3.72	0.903	3.74	0.226	3.74	0.836	3.80	0.263	3.96	0.811	3.95	0.211	3.78	0.931	3.85	0.346	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.82	1.040	2.00	0.709
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	4.13	0.782	4.16	0.229	4.15	0.744	4.17	0.178	4.20	0.708	4.18	0.186	4.30	0.737	4.28	0.265	4.25	0.760	4.24	0.181	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4.16	0.748	4.17	0.167	4.15	0.787	4.16	0.136	4.21	0.684	4.21	0.183	4.34	0.722	4.34	0.262	4.29	0.748	4.28	0.180	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.37	0.737	4.38	0.174	4.35	0.751	4.35	0.163	4.48	0.656	4.49	0.205	4.58	0.611	4.57	0.216	4.49	0.657	4.53	0.204	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.17	0.817	4.20	0.181	4.16	0.834	4.19	0.183	4.24	0.791	4.22	0.193	4.39	0.724	4.37	0.246	4.37	0.728	4.41	0.200	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.17	0.839	4.22	0.256	4.20	0.798	4.23	0.204	4.24	0.749	4.23	0.218	4.43	0.709	4.42	0.296	4.34	0.749	4.37	0.185	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.27	0.762	4.28	0.143	4.25	0.751	4.27	0.156	4.28	0.745	4.30	0.206	4.43	0.712	4.43	0.244	4.40	0.684	4.42	0.185	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.21	0.840	4.25	0.181	4.29	0.745	4.29	0.139	4.33	0.726	4.38	0.142	4.44	0.706	4.45	0.223	4.31	0.847	4.38	0.257	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	3.86	0.841	3.89	0.177	3.91	0.835	3.92	0.174	4.11	0.690	4.12	0.194	4.35	0.686	4.33	0.205	4.27	0.797	4.26	0.390	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.18	0.801	4.21	0.152	4.26	0.785	4.26	0.162	4.28	0.728	4.29	0.180	4.39	0.701	4.38	0.261	4.34	0.750	4.38	0.218	
「講義」 のみ	(13)	板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である	4.06	0.894	4.10	0.356	4.09	0.862	4.13	0.282	4.13	0.816	4.14	0.242	4.31	0.759	4.29	0.289	4.29	0.788	4.28	0.261	
	(14)	教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である	4.09	0.834	4.12	0.228	4.13	0.792	4.14	0.241	4.16	0.788	4.19	0.224	4.30	0.791	4.32	0.303	4.28	0.797	4.29	0.248	

部門名 学芸員
形態名 演習

		2013年度				2014年度				2015年度				2016年度				2017年度					
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース			
回答対象	番号	質問内容	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	学生回答	学生回答	部門別	部門別	
			単体集計	単体集計	形別別	形別別	単体集計	単体集計	形別別	形別別	単体集計	単体集計	形別別	形別別	単体集計	単体集計	形別別	形別別	単体集計	単体集計	形別別	形別別	単体集計
				平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差	平均	標準偏差
「全員」 回答	(1)	私のこの授業への出席率は5:90%以上 4:80%以上 3:70%以上 2:50%以上 1:50%未満	4.63	0.619	4.60	0.317	4.74	0.553	4.73	0.234	4.42	0.929	4.43	0.452	4.73	0.479	4.71	0.121	4.69	0.526	4.68	0.295	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んでいる(事前の準備や復習等を含む)	4.30	0.712	4.27	0.285	4.46	0.650	4.46	0.191	4.23	0.724	4.21	0.153	4.33	0.647	4.34	0.221	4.23	0.710	4.27	0.348	
	(3)	私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間(予習復習・課題作成等を含む)は、1週間あたり平均で5:3時間以上 4:2時間以上3時間未満 3:1時間以上2時間未満 2:30分以上1時間未満 1:30分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.53	1.086	2.56	0.481
	(4)-1	この授業のレベルは適切である	4.73	0.559	4.71	0.296	4.66	0.619	4.66	0.203	4.58	0.602	4.60	0.214	4.59	0.550	4.60	0.162	4.55	0.697	4.54	0.389	
	(5)-1	この授業を進める速さは適切である	4.72	0.533	4.70	0.242	4.65	0.655	4.65	0.227	4.57	0.537	4.56	0.179	4.53	0.555	4.54	0.157	4.60	0.600	4.59	0.263	
	(6)	教員は熱意を持って授業を行っている	4.85	0.385	4.84	0.160	4.84	0.383	4.84	0.130	4.62	0.562	4.62	0.135	4.75	0.436	4.76	0.179	4.76	0.494	4.77	0.205	
	(7)	教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している	4.72	0.608	4.70	0.259	4.70	0.534	4.70	0.180	4.62	0.527	4.63	0.185	4.71	0.455	4.72	0.136	4.54	0.695	4.56	0.341	
	(8)	教員は理解しやすい授業を行っている	4.80	0.461	4.77	0.245	4.70	0.606	4.70	0.264	4.64	0.558	4.63	0.256	4.67	0.502	4.68	0.116	4.73	0.536	4.74	0.309	
	(9)-1	教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である	4.85	0.377	4.83	0.183	4.68	0.658	4.68	0.328	4.75	0.477	4.76	0.205	4.78	0.451	4.78	0.130	4.71	0.548	4.72	0.205	
	(10)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.89	0.344	4.88	0.111	4.80	0.497	4.80	0.200	4.72	0.533	4.73	0.249	4.64	0.537	4.66	0.240	4.71	0.517	4.71	0.159	
	(11)	この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している	4.42	0.772	4.36	0.321	4.38	0.737	4.38	0.306	4.31	0.800	4.32	0.377	4.47	0.604	4.53	0.269	4.50	0.637	4.49	0.117	
	(12)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.84	0.408	4.82	0.214	4.74	0.585	4.74	0.242	4.70	0.503	4.71	0.211	4.68	0.497	4.70	0.160	4.73	0.536	4.73	0.179	
「演習」 「語学」 のみ	(15)	教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた	4.73	0.580	4.71	0.328	4.60	0.695	4.60	0.324	4.58	0.609	4.59	0.288	4.49	0.656	4.53	0.348	4.40	0.703	4.44	0.379	
	(16)	教員は参加者が課題に取り組むのを助けた	4.81	0.433	4.80	0.195	4.70	0.576	4.70	0.229	4.58	0.609	4.59	0.177	4.71	0.459	4.73	0.242	4.58	0.610	4.64	0.273	

第4章

授業への取り組み例

I. 法学部

● 「特設演習（会社法の基礎を学ぶ）」、「商法演習」

履修者全員が、分かりやすく他者に伝える技法・能力を鍛え、他者の報告をもとに建設的な議論を展開する能力を身につけられるよう、peer review を活用している。具体的には、毎回の報告者による報告の後、まず、①報告を聞いていた学生を指名し、報告の良かった点、手本とすべき点を訊き、その後、②別の学生を指名し、より良い報告とするために改善すべき点を指摘してもらうようにする。②の改善点を問われた学生は、特に授業の初期段階においては、報告者に遠慮し「特に改善点はありません。」と回答することもあるが、それで終わらせることはせず、どんなに小さなことでも良いので指摘するように促す。このように報告を客観的に評価する訓練を重ねることで、授業が進むにつれて、他の学生の報告を評価する力、ひいては、自分自身の報告を評価する力が養われ、報告内容の洗練化と、(いいがかりではない) 議論の活性化につながっていくことが期待できる。

● 「刑法 I・II」

1年分のレジュメを、4月初めの授業で冊子の形で一括配布している。レジュメについては、前年度末時点での最先端の知見を反映させるとともに、学生にとってより分かりやすいものとなるように、前年度のものに改定を加えている。その際、過去の授業における学生の反応を踏まえて、必要に応じて構成自体を変更することもある。前年度末以降に出た重要判例等については、授業時に配布することで、常にアップデートされた情報が提供できるようにしている。

このようにレジュメを冊子の形で配布するメリットは、授業回毎の印刷・配布の手間と時間を省略するという事務的な問題に加えて、当該科目において何をどのような順番で学ぶのかを示すことにより、履修者が予習－授業－復習を有機的に結びつけながら体系立てて学修を進めることを可能にするという教育上のものがある。また、裁判例における複雑な事実関係や難解な学説などを、丁寧に板書しつつかみ砕いて説明する一方で、そうでもない部分については「レジュメ参照」というかたちで簡単に済ませるなど、授業の進行にメリハリを付けられる効果も認められる。ただし、レジュメを充実させると、授業に出なくとも当該科目を理解できると判断されるらしく、出席者の減少に繋がるという弊害もあるように見受けられる。

● 「アメリカ政治 I・II」

PPT を利用して視覚性を高め、学生が授業内容を理解しやすいように心がけている。その際、文字情報と画像情報に分け、文字情報を扱った PPT ファイルは G-Port からダウ

ンロードできるようにしておくが、PPT に全ての情報を書き込むことはせず、必要に応じて重要ポイントを空欄にするなど、授業への出席を促し、かつ授業中の学生の集中力を維持させるための工夫を施している。画像情報は、授業で扱っている内容を裏付けるデータやグラフのみならず、学生の興味を惹きつけるような写真・イラスト・風刺画等も活用する。ただし、著作権等の問題を回避するため、画像情報を扱っている PPT ファイルは G-Port 経由で配布することはしていない。

● 「アメリカ政治演習」

履修者同士の関係性を深め、クラス内で積極的に発言することが自然となるよう、授業の早い段階でグループ単位での作業を課すようにしている。また、4年生の就職活動に伴う日中の拘束時間の長期化や、学生の多忙化に伴うスケジュール調整の困難さを考慮し、5時限に開講することで、学生同士が話し合う時間を授業後にとれるようにしている。こうした授業運営全般に関わる工夫に加え、以下のような活動・作業を通じて学生による理解の深化と、主体的な学修姿勢の会得を目指している。

- ・英文記事読解：アメリカ政治の舞台でリアルタイムに起きていることを読みながら、アメリカ政治の制度的枠組みや政治文化などに対する理解を深めていくため、英字新聞から興味深い記事を1本選んで配付し、翌週、簡単な記述問題を授業内で解かせる。これを解説しながら、英語力も鍛えていく。

- ・ディベート：第1学期は、クラスを4チームに分け、アメリカ政治の最新の争点を取り上げてディベートを行う。第2学期には他大学のアメリカ政治ゼミとディベートを行い、第1学期の経験を活用していく。

- ・ターム・ペーパー執筆：授業内で2～3回、全員が自らのリサーチ・クエスチョンや検証したい仮説と、研究の進捗を報告し、これに対して教員やTAだけでなく履修者同士がコメントすることで、リサーチの組み立て方などを学ぶ。

● 「東アジア政治Ⅱ」

学生が前回までの授業の内容をどれだけ理解しているかを把握するとともに、当該回の授業の内容が授業全体においてどのような文脈の中に位置づけられるのかを示すために、授業の冒頭10分程度を利用して、学生をランダムに指名する形でのQ&Aの時間を設ける。質問は専ら前回の授業で扱った内容に関するものとなるが、学生の回答内容から前回の授業内容を補足したり、回答内容を足がかりに当該回の内容につなげたりしながら、教員からの一方通行になりがちな講義形態の授業において、双方向性のコミュニケーションの要素を組み込むようにしている。ただし、このような手法を採用するには、履修者数が一定以下でないと困難であると思われる。

加えて、映像資料も積極的に活用している。学生にとって、自分たちの経験を越えることを想像するのは難しいらしく、この映像資料によってその点を補うことが期待できる。

しかしながら、映像で見たことだけを断片的に覚えている傾向も認められるため、映像資料を使う場合は、「映像を編集し、番組を作っている人の考えがある」ことも強調して、メディアリテラシーの重要性を伝えるよう心がけている。

● 「地方政治Ⅰ・Ⅱ」

本科目の目的は、講義で学んだことを身近な自治体の問題に当てはめて分析することで、地方自治を切り口に、現代日本社会に対する自分の考えを学生が形成できるようにすることにある。そのための工夫として、学生によるターゲット自治体についての調査を授業に組み込んでいる。履修者に対する課題はインターネットで調べられる範囲のものとし、調査結果の一部は有志による報告という形で、クラス内で共有される。同時に、報告者を含めた履修者全員の調査結果は、ラーニング・ポートフォリオシステム「manaba」を通じて教員に提出され、それ以後の授業の内容に反映される。加えて、授業で得た知識を具体的事例に当てはめて分析する能力を養うために、ビデオや新聞記事を題材とした討論の機会も用意している。

II. 経済学部

● 「計量経済学」

(1) 昨年度の授業評価アンケートにおいて、話すスピードや授業の進行について「速い」とする割合が増えたため (Q4)、今年度は講義スライドを次に進める前に少し考える間を作り、関連する質問をするなどして、学生が講義内容をフォローしやすい環境を保つように工夫している (Q3)。また、本年度から電子ボードを有効活用し、スライド上に手書きでポイントを書き込むことにより、講義スピードを抑えつつ、スライドと板書の双方の利点を活かすようにしている。

(2) 試験では書籍類と自筆ノートを持ち込み可としているので、授業に出ず、試験直前に過去問について出回っている「模範解答」を書き写して持ち込む学生がいる場合がある。そこで、過去問にあたる問題でも毎年新しい考察を授業で話し、試験では「〇〇について、今年の授業で話したことを書きなさい」と指定して回答させることで、出席率の向上 (Q1) や学生の意欲的な取り組み (Q2) の向上を図っている。

(3) 計算機センターが提供する WebClass に、授業配布プリントや演習問題の解答・解説、さらに授業中にタブレット PC を使って作成した「板書」を授業後に修正したもの、演習での各学生の解答の採点結果等を掲載している。これにより学生が復習したり、授業後に質問したりすることがより容易になり、学生の意欲的な取り組み (Q2) の向上が図られる。また、IC カードリーダーに学生証をかざしてもらい、出席を取っている。タイムスタンプが取れるので、遅刻者の出席を認めないことも容易で、出席率が向上している (Q1)。

(4) キャリアデザインに関する講義では、グループディスカッションを重視している。学生の知的好奇心を刺激するため (Q9)、全学部からの履修者がいる特徴を活かし、席替えを頻繁に行い、毎週様々なテーマについて 15 分間程度のグループディスカッションをしてもらっている。その際、アイスブレイクの自己紹介には夕食や音楽の話をさせ、ファシリテーターを決めファシリテーションスキルを毎週指導する、マイクをランダムに回して発表させる等の工夫により、学生の意欲的な取り組み (Q2) の向上を図っている。

(5) 複数の原著を参照して、講義ノートを作っている。1 年生には、大学の講義のノートの取り方が分からない学生が多いので、実際の講義を対象としてノート作成のための時間を 30 分取っている。学生が理解しやすいよう (Q7)、このノートのうち多くの人が参考になりそうなノートを複数、学籍番号と名前を伏せて、共有の S ドライブ上で公開している。また、講義資料では十分に印刷出来なかった部分 (統計表や図など) は、別途、資料集として作成し、S ドライブにアップロードしている。なお、講義に関する

疑問などはすべて、授業用のメールアドレスに送信してもらい、次週の講義の冒頭で、質問の紹介とその返答を行っている。

●「消費者行動（2年次配当の専門基礎科目。履修者数は300名程度）」

（1）日経文庫の拙著『消費者行動の知識』をテキストとして使用。毎回の講義内容を図式化したスライドをパワーポイントで提示すると共に資料として配付。その他に関連する新聞・雑誌の記事等を資料として印刷配付している。

→ 配付資料を印刷して教室に持参するのは手間ではあるが、学生の手元に必ず資料があることを前提に要領よく講義を進めていくためには仕方がないと考えている。配付資料を学生に共同研究室まで受け取りに来させる、配付資料を学生に印刷させるなど、代替的な方法も考えられるが、当面は教室での配付を続けて行くつもりである。

（2）配付資料は印刷したものを教室に持参して配付すると共に、PDF化したデータをSドライブからダウンロードできるようにしている。また、平成29年度からは、全学で導入したラーニング・ポートフォリオシステム「manaba」を活用して、PDF化したデータをmanaba上にアップロードし、学生が自宅からでもダウンロードできるようにした。

→ 授業中使用するパワーポイントについては1スライド1ページでPDF化してダウンロードできるようにしている（細かな資料やカラーの資料も多いため）。これまで、どれくらいの学生がダウンロードしているか不明であったが、manabaではダウンロード状況を把握できるようになった。しかし、ダウンロードする学生はごく僅かに留まっている。

（3）授業の進め方としては、90分の授業を3つのパートに分けている。冒頭、前回の授業内容の振り返りとして、提出させたコメント・ペーパーの中から幾つか取り上げて補足説明を行う。中盤では、消費者行動に関する基礎的概念や理論、分析枠組みの説明を行う。後半部分では、中盤で説明した理論と現実の消費者行動やマーケティング課題とを結びつけて理解してもらうため、「ワールド・ビジネス・サテライト」（テレビ東京）や「クローズアップ現代」（NHK）等の番組の一部を映像資料として見せ、解説を加えている。

→ 授業冒頭でのコメント・ペーパーを用いた振り返りについて、学生の評価は概ね好評である。しかし、その配布、回収、整理、評価、内容紹介のためのスライド作成、には膨大な作業時間が必要となり、今後も継続すべきか大いに悩むところである。SA制度の活用ができないかと考えている。

→ 映像資料に関しては、長いものでも10分程度になるように編集して見せている。ただし、各回の授業内容と関連した映像資料を用意するために投じている労力は大きい。授業への感想からは学生の反応・評価は概ね良好であるが、授業内容と関連づけて理解しているかは不明である。

(4)今年度からの大きな変更点として、manaba に付属するクリッカーアプリ「respon」を用いて、授業中に簡単なアンケートを行い、その集計結果をその場で見せて、インタラクティブな授業内容になるような工夫をした。

→ 学生の反応はすこぶる良く、一定の教育効果が得られると確信している。ただし、これも事前の準備に加えて、respon の集計機能が極めて貧弱なため、結果を次回の授業にフィードバックさせるためには多大な労力を要する。ここでも、SA の活用等が望まれるが、本学で SA 制度が利用できる科目は 1 年次配当の場合等に限定されており、運用の弾力化や予算の増額が必要である。

(5)学年末試験とは別に、各学期の終わり 1 回ずつ合計 2 回のレポートを課している。レポートを書くに際しては、法経図書センターのデータベース NAVI で新聞記事・雑誌記事の検索を行うように指示し、ゼミなどでの本格的な研究の前段階として、資料の収集と分析を経験させている。

→ 折角充実している法経図書センターのデータベースが活用されないのは残念だと思い、レポート提出の際に十分な資料の収集を行うよう指示しているが、多くの学生は 2 ～ 3 件の記事を検索するだけで終わっている。アカデミック・スキル向上のための授業を充実させていくべきかも知れない。

●「経営学特殊講義（地域活性化のマーケティング）」

(1) 最初の 3 ～ 4 回の講義の後、千葉県君津市市役所定住課から職員を招き、君津市の説明をしてもらい、履修者約 60 名を 7 班に分け、地域活性化・定住促進についての提案作成を行う。中間発表・最終発表では、君津市の職員も教員と共に講評を行う。学生参加型の授業のため、学生にはある程度高い意欲が見られる。この形式は 5 年目くらいである。

●「経営学特殊講義（価格マーケティング）」

(1) 講義と参加型の授業を交えている。やはり履修者 60 名程度を 7 班に分けているが、ホワイトボードでは足りないため、模造紙を活用し、班ごとに報告内容を書かせ、プレゼンテーションを行わせている。

●「経営学特殊講義（企業経営とソーシャルキャピタル、企業経営とトップマネジメント、起業論Ⅰ、起業論Ⅱ）」

(1) LINE を活用し、学生と講義関連のコミュニケーションを図る工夫を行っている。

●「キャリア・デザイン」

(1) ラーニング・ポートフォリオシステム「manaba」の全面的な活用によるペーパーレス化。出欠確認・RP（リアクション・ペーパー）も manaba で実施。

知見等：教員側負担の減少（教材印刷、配布、残資料処分、RPの回収、取りまとめ、保管、検索、成績付け等）と利便性の向上（短時間化、RPへのコメントが楽、RPをその場で書かないので授業時間の効率的活用等）。学生側負担の減少（教材保管等）と利便性の向上（スマホでいつでも閲覧可能、授業中もスマホ・タブレット・PCを見ながら受講可能、家でゆっくり考えながらRPの入力が可能、事前予習が可能、欠席時も授業内容確認可能等）。

（2）前週授業のRPの中から、学生に共有したい「学び・気づき」を人物が特定されない形でその一部を翌週の資料に記載し紹介する。特に共有すべき内容や気になった部分については、翌週授業の冒頭で教員がコメント・解説・補足する。

知見等：大学時代に経験すべき「多様な価値観に触れる」ことができる。「同じ授業を受けてもこんなにも多様な受け止め方、気づきを得ている学生がいる」ことを実感させることができる。

（3）グループ・ディスカッションの活用。

知見等：事前に配布した論文を読み、気づきや学びを準備させ、授業内でグループ・ディスカッションを行うことで、多様な価値観に触れ、ものの見方や考え方の奥行きが広がる。授業内でも課題を与え、5分程度の個人ワーク後にグループ・ディスカッションをすることによって、同様の効果が得られる。学生の満足度が最も高い取り組みである。

（4）ワイヤレスマイクを一番後ろの学生に渡し、講義の中で様々な質問をする。「10秒考えて何も発言するものが出てこなかったらパスすることも可能」というグラドルールのもとに、次々と学生が発言する機会を作る。学生の話に傾聴し、うなずき、受容する。学生に恥をかかせない配慮は必要。

知見等：瞬時に自分の考えをまとめること、人前で話すこと、頭の中を整理すること、分かりやすく発表すること等、いずれも社会で必要とされるスキルであり、そのトレーニングになる。100人以上が出席する大教室での講義でも有効である。学生には「何のためにこんなことをしているか」をきちんと説明する必要がある。説明が不足すると「一人一人時間を取られてかったるい。もっとグループ・ディスカッションをさせてほしい」といったコメントが返ってきたりする。「一番後ろに座るとまずマイクを渡される」ということが浸透してきた結果、大教室でも全体的に前方の座席に集中して着席するようになってきた。

（5）DVD教材を活用したキャリア教育。事前課題を個人ワークで行い、問題意識を醸成しておく。その後ドラマ仕立てのDVDを見せ、鑑賞しながら気づきや学びのメモを取らせる。その後個人で意見をまとめ、グループ・ディスカッションへと進み、学びや気づきを共有する。

知見等：ドラマ仕立てとはいえかなりリアルな姿に近いシチュエーションを体感してもらえること、他者との違和から、一人一人の立場に立った複合的な考え方を身につけさせられること。

●「演習（2、3、4年）」

（1）2年生の後期の初め（9月）に、4年生と共に、能登、恵那、あるいは佐渡で合宿を行い、地元の方にいろいろな講義をして頂き、地域資源をリサーチする。その後、各学年を3班ずつに分け、後期いっぱい地域活性化の提案づくりにあて、研究を行う。中間では、班別にリサーチに出かけさせている。12月に再び、対象地域を訪れ、地元の方の前で研究した内容のプレゼンテーションを実施する。特に能登や恵那では無料で専用バスを出してもらい、地域の足を確保できている。

（2）3年生前期では、学生を3班に分け、アサヒホールディングスのいずれかの企業やハリウッド化粧品とタイアップして3つのテーマを提供してもらい、研究を行う。同様に中間報告や最終報告を行い、企業に講評してもらう。

3年生後期には、企業（今年度ではNTTドコモ）に協力をお願いし、他大学のマーケティングゼミを巻き込んだ討論会を実施してもらい、前期のタイアップ研究で培った分析力を活かして討論会に参加する。

→ 地域活性化も含めて、このような活動の結果、就職活動のグループディスカッション等でもかなりの余裕をもってリードする力がつき、各自が自信を持っているようである。本ゼミは、30年以上このような方針で実施している。

Ⅲ. 文学部

【哲学科】

- (1) シラバス活用の向上に向け、学生にその有用性を実感させるように、特に4月初旬の履修相談時に活用し指導している。また、授業の進捗状況に沿って、なるべくシラバスを振り返らせ、あるいは予定変更による再構成した内容を提示するように心がけている。
- (2) リアクションペーパーを使い、履修者の反応を確認している。授業への理解度、興味、知的好奇心の有無等を慎重に見極めるように努めている。また、質問や授業の感想にはきちんと対応するように心がけ、教員のコメントを付記して返却したり、次回授業時に疑問点に関して対応を行うようにしている。
- (3) オフィスアワーの活用を促し、学生が自発的に理解を深め、授業に積極的に参加できるよう努めている。また、なるべく学生とのコミュニケーションを深め、疑問点等は早期に解決するようにしている。
- (4) 出席率の低い学生に関しては、学科会議等で教員同士が情報を共有し、早めに学生に接触し、授業への参加を促している。あるいは引きこもりがちな学生の場合、保証人との連絡も頻繁に行うようにしている。
- (5) 哲学・思想史系では、文献読解の力を養わせるために、ジュニアセミナーのような形で補講を行なっている。授業以外にも多くの研究支援を教員が行い、適切にフォローするきめ細かい体制も整えるように努力している。
- (6) 美学・美術史系では、実際に美術作品に近づき、じっくり観察する能力を身につけさせるために、作品見学の機会をなるべく多く設けている。授業以外に、美術館・博物館見学会等も頻繁に催している。
- (7) 特に2年次演習を充実させ、専門的な研究に入っていくためのスキルを習得させている。文献読解、作品分析(ディスクリプション)、発表というルーチンを積み重ね、それぞれの学生が自ら問題意識を持って議論を深め、個性のある研究を達成していくための支援を行っている。

【史学科】

(1) 学生の学習達成度の検証と授業への反映

史学科では、卒業論文の作成を最終目標とし、1年次の基礎演習から2・3年次の演習、さらに4年次の卒業論文指導の演習へと繋ぐ指導を、カリキュラム編成の軸としている。

文学部全体の数値で、演習の評価として内容を「難しい」:「易しい」とする学生の比率がおおよそ2:1であるのに対して、90%前後の学生が内容レベルを「適切」とし、「意欲的に取り組んでいる」、「教員の熱意を感じる」と回答していることは、史学科1年次の基礎演習、2・3年次演習、4年次演習についても該当すると考えられ、カリキュラム編成の意図は理解されていると判断している。

基礎演習では、個別の研究分野を探究する前提として、歴史学の基礎や論文の検索・読解の要領を身につけること、史料講読に慣れることを目標とし、発表やレポートを通じて達成を評価し、指導に反映させている。2・3年次演習では、研究分野ごとに、講読・研究発表の形で専門性を重んじた修練を課し、発表やレポートを通じて達成を評価し、指導に反映させている。4年次演習では、卒業論文の作成準備の進行に合わせて、先行研究の蒐集と消化、関係史料の読解に取り組みせ、段階ごとの達成を中間報告・最終報告の機会に評価し、指導に反映させている。

講義科目に対する文学部全体の数値で、90%弱の学生が、「難しい」と感じつつも、90%弱の学生が「意欲的に取り組んでいる」と回答していること、内容のレベルを「適切」とする学生が4分の3以上であることは、新しい知見に触れさせる意図が学生達に受け容れられていることを示していると考えられる。

講義科目として1年次に配当している必修科目、「史学概論」「史資料入門」及び「日本史概説」「東洋史概説」「西洋史概説」は、最先端の研究を紹介することや、史学研究の基本的な考え方を授けるもので、高等学校までの歴史科目に対する考え方を変容させ、学問的な歴史研究への橋渡しを図るものとして位置づけている。1・2年次に履修するよう奨励している総合基礎科目は、基礎となる語学力の修得の他、歴史認識の基礎となる現代社会の諸問題への知見、歴史学以外の人文・社会諸科学への知見を獲得させるものとして位置づけている。2年次以上に配当している概説・特殊講義は、専門的な研究への導入を図るもので、軸となる演習の成果を広げさせる狙いで実施している。

特に近年、卒業論文の作成を負担に感じる学生が出てきているので、各年次の到達目標をこなすことができるように、指導に力を入れている。個々の学生の履修状況については、年度内の複数の学科会議で問題を抱えている学生を検出・検討し、指導教員・主任・教務委員・助教が、場合によっては学生相談室カウンセラーとも連携して、対策を講じている。必要な場合、学生の保証人とも連絡をとって指導を進めている。

(2) 授業への取り組み例

1年次を対象とする「基礎演習A・B」は、史学科三分野の教員が、日本史分野A、外国史分野Bを分担し、1年次の全学生が日本史・外国史双方に触れるように実施している。歴史資料や研究論文を読み理解する要領、発表・レポート作成の基本的な要領、討論をする要領を体得させるため、授業担当者ごとに独自のスタイルを工夫して取り組んでいる。個人の発表、グループ発表等、スタイルも異なって実施している。

高等学校までの歴史科目と大学の歴史学との間の差は、1年次の学生にとってはかなり大きく、とまどいをみせる者も少なくない。大学院生のTAも加わる形で、高校までとは異なる大学での歴史研究への橋渡しの授業になるよう工夫している。

1年次学生を対象に毎年5月に実施している「研修旅行」は、史跡の初歩的な実地調査を体験させることで、主体的な学習姿勢を体得させることを意図して実施している。平成29年度は新潟県魚沼郡域を中心として、三国街道三俣宿脇本陣池田家・鈴木牧之記念館・雲洞庵・坂戸城跡戊辰戦争北越戦域（河井継之助関係史跡）・山本五十六記念館・新潟県立歴史博物館（縄文火焰土器など）を巡見した。予めTAの指導を受け、基本文献を検索・消化して、地図・図版を含む報告書を作成し、現地で発表を行った。

史学科の1年次学生のすべてと全教員が参加することから、コミュニケーションを深めることを通じて、指導の質を高める機会ともしている。主体的な学習姿勢を獲得し、実地調査の大切さを学ぶことは、日本史を専攻する学生だけでなく、外国史を専攻する学生にとっても、有益な効果が得られている。

1年次の基礎演習では、例年5月に行う上記の研修旅行の他、第1学期終了後ないし第2学期にも、身近な都内の史跡や都内の博物館で実施されている特別展示を見学する取り組みを行っている。「現地に足を運ぶ」「歴史資料の実物に触れる」という探索行動を日常的な生活に位置づけさせる意図で実施している。

「歴史文献講読入門」は、2年次以上を対象に、外国語の歴史研究論文や外国語史料を読みこなす学力を養う科目として設置した。平成25年度に開設し、5年目となった。西洋史分野を選択する学生のほとんどが履修しており、卒業論文の準備において大きな役割を果たしている。また、英語文献の読解能力は、東洋史、特に東洋近代史を学ぶ学生にも効果があることが判明している。

歴史事象の生起した現場に学生に触れさせるという指導には、啓発的な効果があるため、平成28年度より、2年次以上を対象に授業科目「校外実習―史跡・名勝を歩く」を開設し、毎週1コマ開講してきた。平成29年度は第1学期に実施した。都内に残る近世・近代の史跡・名勝について、事前に調査・研究し、次週に現地を探訪する形で実施している。観光ガイドブックによるのではなく、信憑性の高い歴史資料や絵図類を予め正確に理解し、現地を訪れて現況を理解し、歴史的に解釈を加える、という指導である。想像力を働かせて景観を分析する能力と、プレゼンテーションの力

量を養うことを企図している。自分の足と目を使って史跡に取り組むという授業科目は、学生からも非常に高い評価を得られることが判明した。ただし、担当教員の異動により平成30年度は実施できていない。授業準備に関わる教員の負担が重いことと、学外に足を運ぶ時限を設定することに困難があるため、今後、これらの問題を考慮しつつ、再開を検討してゆく予定である。

【日本語日本文学科】

授業形態によっても異なるが、授業評価アンケートの項目のうち、Q2 学生の意欲的取り組み度、Q3 授業の難易度、Q7 授業のわかりやすさ、Q9 知的好奇心の喚起、Q11 総合的評価の結果を特に授業改善に役立てている。中でも、Q11 の数値が前年より低い場合は、その要因を検討し次年度の授業の展開を工夫する等の改善に努めている。

このとき役立つのが毎回の授業に対するコメントシートである。学生が気軽にコメント・質問できるよう、積極的に出席カードの裏面を活用する授業もある。学生からのフィードバックを得ることは、授業内容に対する学生の理解度や質問・疑問、また要望を具体的に把握し授業改善につなげることができるため、多くの教員が何らかの形で実施している。

日本語日本文学科は、日本語日本文学系と日本語教育系との二つの系からなる学科であり、それぞれ授業のやり方も若干異なる。以下系ごとに授業改善に向けての取り組み例を記述する。

1. 日本語日本文学系

(1) 古典文学：古典文学の舞台となった場所の調査を、毎年いくつかのゼミで実施している。これまで、大阪・京都・奈良・吉野・熊野・琵琶湖・伊勢志摩・金沢・佐渡・水戸・日光・平泉・仙台・花巻等々を実施調査してきた。実際の場所を確認することの教育的意味は大きい。例えば、言葉だけでイメージしてきた世界と、実際の世界とでははなはだしく印象が異なる場合が多い。そこには言葉とは何なのか、文学的想像力とは何なのか等々の根本的問題を考える契機を孕んでいる。

(2) 近代文学：抽象度の高い論理的な文章や、漢語が多用される難解な文章、さらには感情の機微を読み解くことを若干苦手と感じる学生が多いようである。そのため、映像資料や図解を適切に用い、授業自体のレベルを維持しつつ、視覚に訴えることで学生に分かりやすくする工夫を行っている。また学生が文学者と彼らの生きた時代を身近に感じることができるよう、大学周辺の雑司ヶ谷や文京区界隈の近代文学に関わる建造物、墓地等の「文学散歩」を毎年実施している。

(3) 日本文化・民俗学：授業で取り上げた場所の訪問をゼミ旅行として実施し、民俗学におけるフィールドワークすることの意味を考えさせている。

2. 日本語教育系

(1) 日本語学：若い人に人気のある書物を分析対象にしたり、フィールドワークを取り入れたりすることで、方法論や結果の記述について実践的に学び、学生が興味をもって取り組めるような工夫を重ねている。

(2) 日本語教育：地域との連携による各種の日本語教育活動や、大学主催の海外日本語教育研修への積極的参加を促し、日本語を母語としない人々・児童に対する日本語指導に触れる機会を提供し、学びと実践を繋ぐ工夫をしている。また、外国語教育研究センターと連携し、学内の留学生に対する学生アシスタント制度を活用して、言語と文化についての気づきを促し、学びと指導に結びつける試みを継続的に行っている。海外での日本語教育研修事業として、海外日本語教育研修旅行を毎年実施し、日本語教育の実践を授業と関連づけて行っている。さらに、文学部と国際交流基金が連携して行う海外日本語教育インターンシップ（米国、タイ、マレーシア）に学生を派遣し、現地の教育実習を通じた実践能力の向上、国際理解教育の推進を図っている。

【英語英米文化学科】

(1) ルーブリックの導入

最近の教育界では授業計画だけでなく、授業計画に則った評価基準をどのように設けているかを、授業前に明示することが重要だと考えられている。しかし、本学部の授業計画には、授業計画表と評価に関する比較的簡単な情報（評価項目、配点等）が示されているだけで、明確な評価基準が示されていない。このことは、授業計画と評価の関連に透明性を持たせるという意味では改善の余地がある。過去2年間の学生の授業評価の結果からも分かるように、一部の学生は授業計画に関心をもっておらず、授業計画をほとんど読まずに受講する学生すら存在する。そして、そうした望ましくない傾向が見られる原因の一つには「授業計画と評価の関連に関する不透明性」がある可能性があると言えるだろう。

そこで、英語英米文化学科では、授業計画と評価の関連性に透明性をもたせる目的で、ルーブリックを用い始めた。ルーブリックを取り入れている科目は、専任教員と非常勤講師が担当する「アカデミック・ライティング」「アカデミック・プレゼンテーション」と夏季に英国で実施する「海外語学文化研修」（注1）の三科目である。これらの科目の担当者は平成27年度中にメール上の会議と対面式会議を行い、全担当教員の合意の上で、それぞれのルーブリックを作成した。各授業では、第1回目の授業においてルーブリックを学生に提示し、どのようなことが、どこまでできるようになると、どのような評価が得られるかを示した。

ルーブリックは、平成28年度にはじめて試験的に導入したが、その後2年間の経過をみた結果、教育上の効果が得られることが確認できたため、平成30年度以降も引き続き活用することにした。また、平成29年度からは、卒業論文についても一部

の分野でルーブリックを試験的に使用し始めたが、ルーブリックを用いることによって、卒業論文の目指すところが学生に分かりやすく提示でき、評価をする際の透明性を確保するために重要な役割を果たすことが明らかになったことから、平成 30 年度からは複数の教員が共通のルーブリックを用いた指導を行っている。

(注) 海外語学文化研修を担当する専任教員は事前事後授業を実施し、研修先の責任者との協議を重ねた上で、授業内容、宿泊方法、成績評価等を含む研修全般の質的確保に努めている。

(2) 講義における双方向性の追求

従来の日本の大学における講義科目の場合には、一方通行的に教員の話す内容を学生が聞き取るという形式が最も一般的な授業方法であった。しかし、そうした一方通行型の講義の場合には、学生が主体的に授業に取り組む姿勢が欠如してしまう可能性があり、自発的な学習の場を提供する機会が少なくなるという欠点がある。過去 3 年間の Q2 への回答結果からも明らかなように、文学部の学生の「(講義科目における)意欲的取り組み度」については、必ずしも高いとは言えない。

そこで、英語英米文化学科の教員の中には、そうした講義形式の授業のもつ欠点を補う目的で「講義における(教員と学生の)双方向性」を追求している教員もいる。具体的には、例えば毎回の講義終了時に「コメント・質問カード」を提出させ、それらの中から興味深いものや発展性のあるものを選択して、次回以降の授業の中で取り扱うといった方法を採用している。

そのような形で自分の質問や見解を取り上げてもらった学生は、自分の書いた内容が認められたことをうれしく思い、次の学習への意欲を増し、受講態度がさらに真剣になる。このような双方向的な活動を取り入れた講義を受けた学生は、一方的に授業を聞くだけではなく、自ら進んで主体的に学習しようという意欲をもつ可能性が高く、懸案の「(講義科目における)意欲的取り組み度」を向上させることにも貢献するであろう。

また、そうした双方向性については、年度を超えた形で取り入れることもできる。英語英米文化学科のある教員は、ある授業で前年度の同じ授業を受講した学生が書いた「1年間の授業の中での思索方法の変化や授業内容に関する感想」の一部を紹介し、そうした学生の視点から見た見解や知見を出発点とした授業目標を設定している。このような形で(教員によるトップダウン式の目標設定ではなく)学生によるボトムアップ式の目標設定を行うことによって、学生の主体的な学びを促進しようとしている。

(3) 反転授業によるアクティブ・ラーニングの試み

平成 26 年度～平成 28 年度の学生による授業評価で、他の回答結果と比較して低い値を示しているのが「学生の意欲的取り組み度」である点については、上記にも触れ

たことであるが、英語英米文化学科の教員の中には、学生の意欲的取り組みを促進する目的で「反転授業」を用いたアクティブ・ラーニングに取り組んでいる教員もいる。

具体的には、授業前に閲覧すべき課題としてインターネット上のテキストや動画を与え、授業で学ぶべきコンテンツを事前に理解させ、授業ではその内容に関する質疑応答、プレゼンテーション、ディスカッション等を行っている。こうした方法は反転授業と呼ばれるものであるが、学生の反応は非常によく、積極的・主体的に授業の内容の理解に努めており、批判的思考力と創造的思考力も向上している。

また、追加的な「反転授業」としては、G-Port に音声教材のファイルをアップロードしてリスニングの予習をすることを指示したり、動画等のファイルを学生にUSBメモリの形で渡し、それを前提に授業をしている教員もいる。その授業では、さらにMoodleを利用して、課題を動画クリップ付きで学生に提出させ、それを教員がコメントの上、返却している。これらのやりとりはすべてウェブ上で行うことができるので、提出した学生と教員のやり取りを他の学生も見ることができる。教員から一人の学生へのコメントを全学生が共有できるので、教員と学生の間での双方向の教育というだけではなく、学生同士の横のつながりをも促すことができる。

このような新しい様々な試みの成果を将来的に公にすることなども含め、今後も努力を積み重ねて行きたいと考えている。

【ドイツ語圏文化学科】

(1) 基礎教育の充実

ドイツ語圏文化学科では、学生が自らの興味に応じて3年次から三つのコース（言語・情報コース、文学・文化コース、現代地域事情コース）の内いずれかを選択し、専門の勉強を始める。三つのコースに進む前の段階として、1・2年次は、基礎的なドイツ語力をつけるカリキュラムが組まれている。

また、1年次は、現代地域事情コース入門ゼミナールを1年間履修することが必修となっており、授業での発表の仕方、文献検索の仕方、レポート作成の指導を行っている。続いて2年次には、より細かい指導ができるようにクラスを二つに分割し、1学期完結の形で言語・情報コース入門ゼミナールと文学・文化コース入門ゼミナールを必修としている。

このように2年間に渡り三つの入門ゼミを受講することで、文化学、言語学、文学の基礎知識を得ることができ、3年次に専門コースを選択する際に役立つように設計されている。また、1年次・2年次の入門ゼミを通じて、学生は研究倫理の遵守の重要性を繰り返し学び、レポートや卒業論文・卒業研究を作成する上での基本的姿勢を身につける。

(2) 大学図書館ガイダンスの活用

毎年5月に、1年生、3年生を対象にした文献検索等のガイダンスを、大学図書館に依頼し実施している。参加を促すために、各コースゼミにおいて、ゼミの内容に関連した課題を出し、ガイダンスに参加することで課題が解けるよう企画している。また、学年ごとの学生の到達目標を勘案し、教員と図書館職員との打合せをした上で行ってもらっている。3年次からの専門的な授業や、卒業論文・卒業研究の準備のため、基本的な文献を見つけ出し、実際の文献を入手するといった基本的な知的技術を身につけさせたいと考えている。

(3) 卒業論文、卒業研究の指導

卒業論文指導は、3年次の7月に行われる第1回ガイダンスから始まる。続いて11月に行われる第2回のガイダンスでは、具体的テーマの絞り込みに関する相談が行われる。4年次初めには、これらの結果を受けて卒業論文準備レポートの提出を課し、その審査を経て指導教員の決定が行われ、学生は指導教員の面接指導等を受けながら卒業論文を執筆することになる。卒業研究では、学生が自分が所属するコースゼミの内容に関連したテーマを考え、教員と相談しながらテーマを決定し、指導教員の面接指導等を経て書き上げられる。卒業論文も卒業研究も、年度ごとの執筆要綱が学科ホームページからダウンロードできるようになっており、その要綱にそって論文を書くことが求められる。

(4) リアクション・ペーパーの活用

演習科目、入門ゼミナール、講義科目等では、毎回の授業でリアクション・ペーパーを活用した授業を行っている。リアクション・ペーパーには、授業内容に関する疑問や質問、学生の意見が記入され、その結果を次回の授業で取りあげて説明することで、授業時間内に収まらなかった教員と学生の相互理解を高める工夫をしている。また、リアクション・ペーパーから、内容に対する理解度や要望も把握することができる。全学一斉に行う授業評価アンケートだけでは捕捉できない一回一回の授業に対する反応を知り、授業改善に繋げることができるという意味で、リアクション・ペーパーを用いる方法は、現在では欠くことができないものになっている。

(5) アクティブ・ラーニングの実践

アクティブ・ラーニングの考え方や方法を、コース・ゼミナールや演習科目に導入している。また、平成28年度末に実施した学部のFD講演会で紹介されたアクティブ・ラーニングの様々な手法も取り入れられている。特に、学生の積極的な参加を促すグループ・ワーク形式を採用し、特定の課題についてグループ単位でディスカッションを行い、課題発見力、発信力、問題解決力の養成を目指している。

【フランス語圏文化学科】

授業の運営については、それぞれの担当者の創意に委ね、学科全体で一律にやり方を定めることはない。以下のものは、あくまで個別の授業での取り組み例として挙げられたものである。

- (1) 学生の意欲を高め、かつ授業を双方向的なものにするため、リアクション・ペーパーを活用している。これによって、授業中のみでは把握できない学生の疑問、意見等を汲み取り、それらに機動的に対応できるようにしている。
- (2) 授業で課すレポート等の提出物については、出したきりで終わらないよう、課題全体について講評を行うことに加え、添削やコメントなどを付して個別に返却している。
- (3) フランス語の授業では、どうしても学生の間での習熟度に差ができるので、授業間で情報を共有し、できる限り躓いた、ないしは躓きそうな学生をフォローするようにしている。出席状況が悪い学生については、学科全体で情報を共有して対応するようにしている。
- (4) 学科として、3年次の学生全員に「3年次レポート」を課している。これは、学生自身に関心を明確化し、また文章の構成等に習熟するための機会であるが、同時に、4年生で履修する必要がある卒業論文、卒業翻訳、卒業演習のいずれを選択するかにつき、教員が学生の適性や関心をきめ細かく把握できるようにするためのものでもある。特にその学生をゼミで担当する教員は、「3年次レポート」を元に個別に対応、指導している。

【心理学科】

- (1) シラバス活用を促すガイダンスの充実

授業評価アンケートの結果から浮き彫りになる問題の一つが、学生がシラバスをあまり活用していないということである。そこで、学生にシラバスの活用を促すために、ガイダンスにおいて、履修計画を立てる際にはシラバスをよく読むように指導している。このような指導は一定の効果を挙げているが、平成 29 年度以降は冊子体のシラバスが配布されなくなったので、さらに踏み込んだ指導をしないと、ますます学生がシラバスを活用しなくなっていく恐れがある。心理学科の授業についてはシラバスを事前にプリントし、ガイダンスの際に配布してその場でシラバスを参照させながら説明する等の改善を予定している。

(2) 1年次演習における導入教育の実施

授業評価アンケートの結果から浮き彫りになる第二の問題は、学生の基礎学力のばらつきが大きくなり、授業についていけない学生が増えつつあることである。そこで、心理学科では、1年次必修科目である「心理学演習Ⅰ」の最初の数回を導入教育に充てている。すなわち、心理学の英語論文を読んで理解するために必要となる基礎知識や勉強法を伝えることで、英語論文を読み討論するという演習形態の授業への移行をサポートしている。

(3) 演習・実験演習におけるアクティブ・ラーニングの実践

演習や実験演習では、学生の積極的な授業参加や討論を促すため、アクティブ・ラーニング形式の授業を実践している。具体的には、事前に課題論文やレジュメを読ませ、授業の場では小グループに分かれてのディスカッションやグループワークを行っている。ディスカッションも、教員が主導するのではなく、できる限り学生自身が主体的かつ積極的に行うように促すことで、学生の考える力を引き出すようにしている。

(4) 思考や知的好奇心を刺激するための資料の提示

いくつかの講義科目は、学生の思考や知的好奇心を刺激するために、図や資料等をプロジェクターで提示している。提示した資料は、印刷して配布したり、G-Portにアップロードしたりして、復習に役立つよう配慮している。資料は毎年更新し新しい情報を追加することで、常に新しい情報を授業に盛り込むように工夫している。

(5) 講義における双方向性導入の工夫

「性格心理学」講義では、授業において、自己を記述する形容詞を3つ報告(課題1)させ、その集計を行って受講者が自己を記述する形容詞ベスト29をリストアップし、29形容詞に対する5件法自己評定を求めた(課題2)。この結果を因子分析することで、因子を抽出し、その因子の命名を求めた(課題3)。以上のように、双方向性の課題のやりとりのなかで、履修者の性格因子を抽出することによって、性格の5次元理論を実体験をもって学ぶ工夫を行った。それ以外にも、毎回ミニエッセイを課題として、その記述の何例かを次回の授業時に紹介して、授業の導入や深化に役立てるようにして、一方向になりがちな講義形式への参加意識を高めるように努めている。

【教育学科】

(1) 体験型学習の重視

授業評価アンケートの結果でも、演習の数値は高い。学科必修科目である「自然体験実習」(3日間)や「社会体験実習」(3日間)ではフィールド体験型授業を展開し

ている。「社会体験実習」では、学生自らが企業や諸機関・施設・園・館等に交渉することからはじめ、実地に体験することを通して学んでいく。

また、「ボランティア学習論」や「環境教育論」では、理論的な学習を踏まえ、小中学校や現場に積極的に出かけ、本物との出会いや学校教育活動への参加、モノづくり体験等の実践的な活動を通して学ぶ機会を多く設けている。

(2) 1年次演習における基礎教育の実施

大学4年間の学習のスタートにあたって、「基礎演習」の授業では、「新入生オリエンテーション合宿」、「教育学科で何を学ぶか」のテキスト、大学図書館のガイダンス、「読む」「書く」「討議する」「まとめる」「表現する」等の演習を通して、基礎的学力を育成している。例えば、課題レポートの読み合い、講義のノートの取り方、授業風景映像から記録をとる、学術的文章や子どもの文章の読み取り、プレゼンの方法等、討議や相互検証を行いながら進めている。

(3) 教科指導の力や教師力の育成

教員免許科目の必修である各教科等の概説や指導法の授業では、学習指導要領の各教科解説を読み込み、目標や内容、指導方法について、理論の理解とともに実践的な取り組みを進めている。新学習指導要領への対応は、平成30年度には全ての教科領域で取り組みを実施していく。

各教科の授業では、学習指導案の書き方をはじめ、一人ないしグループによる模擬授業の実施と相互の振り返りを通して、実践的な教科指導の力を育成している。

また、小学校教育実習に向けて、国語、社会科、算数、理科、道徳の教科について、全員が指導案作りと模擬授業を行っている。

4年次の「教育実践演習」では、4年間の学びの総まとめとして、学校（授業）見学や代表による模擬授業（グループで指導案を作成）、現代的課題となっている「プログラミング教育」「学校地域家庭連携」などの授業を行っている。

(4) コミュニケーション能力の育成

小学校教員の養成を主たる目的にしている学科のため、発信・提言型（学習者主体型）教育の指導のための力量育成を目指している。学科選択必修科目「発信技法（言語表現、身体表現、情報）」では、児童生徒とその保護者、あるいは地域社会の住民の多様化に対応して、多文化共生社会を支える双方向のコミュニケーション能力の育成を図っている。

(5) 学生の進路についての情報共有と対応

この3月に卒業した教育学科第2期生の進路は、小学校教員28名、大学院2名、

企業19名、公務員2名、その他1名である。今年度も、卒業研究や進路について、一人一人の学生の状況を学科会議で情報共有しながら、丁寧に対応していく。

IV. 理学部

- 新年度開始から1、2か月経過後、学科ごとに1年生と助教から教授までの教員全員との懇談会を行い、そこでの1年生の感想・意見等について教員間で検討し、教授会で報告している。さらに、問題点があれば教授会で議論し、必要に応じて、外国語教育研究センター等の他部門にも報告し、授業改善を要請することもある。
- 数学科において、特に1、2年生の基礎的科目（「線形代数」、「微分積分」等）で小テストを頻繁に行った。学生のレベル把握が深まり、それに応じた適切な指導が可能となった他、学生にとっては、テスト前だけでなく日常の学習を心がけるように見受けられた。
- 「代数学」の授業において、授業中に解説する定義や定理・命題等を簡単に纏めたものを予習・復習用にホームページにアップした。その際、証明や詳しい解説をあえて書かないことで、学生の自主的な学習を促すようにした。
- 試験の結果について、各設問に対する得点分布を度数分布表によって視覚化したものと共に学生にフィードバックした。これによって、単に合格点に達したかどうかでなく、学生個々人が自らの理解度を把握できたと思われる。
- 体系化された学問は各科目間のつながりが強く、一つの科目では完結し得ない。理科系科目においてはその傾向は特に強く、科目担当者の密な連絡がなければ講義を進めることができない。そのため、学科ごとに、教員は教室会議等でかなり頻繁に授業の情報交換をしている。特に物理学科では、非常勤講師も含めた教員間のメーリングリストを用い、授業内容や進度の細やかな情報交換を行っている。
- 担当している必修および選択科目については、授業内容をしっかり理解させるために学期末試験に加え、中間試験を実施している。両試験においては出題傾向は変えないものの、試験問題そのものは毎年同じにならないようにしている。なお、これらの試験前には、試験範囲の中での重要事項についてまとめを行い、理解を深めさせている。さらに試験実施後は速やかに採点し、答案の返却を行うと共に、その答案をスキャン後、大学で導入しているラーニング・ポートフォリオシステム「manaba」に学生ごとに個別にアップし、学習成果として保存し、積み上げられるようにしている。
- 実習の科目で、実際に用いる実験手法の原理について小テストを行った。これにより、実習内容の予習をした学生が増えたように見受けられた。

- 超高齢社会問題を文理連携で考える全学の基礎教養科目「生命社会学」を開設した。特徴の一つは、理系教員・文系教員が各回のテーマについてそれぞれの立場から、最新のトピックスも交えて講義し、フロント研究と政策の現場をセットで伝える点である。例えば認知症問題では、理系教員が認知症とは何かや、その科学研究のフロントラインを紹介し、文系教員は認知症の後見人問題について、法整備の観点から問題提起した。学生は、一つの課題を科学的・法的側面の双方から捉えるトレーニングを積むこととなる。特徴の二つ目は、各回のテーマに関連した課題について、学生を7～10グループに分けて討論を行い、各グループの代表者が要点を発表するアクティブ・ラーニング方式を採用した点である。文系・理系の学生を混在させたことで、同世代でも全く異なる視点の意見を聞き、今までにない知的刺激を受けたと言う学生が多かった。また、講義の最後にリアクションペーパーを提出させ、全員の内容を次回授業時に配付したことで、より考えを深める機会を提供した。回を重ねるごとに、討論に参加するための知識・技能の伸長や、視点の広がりがみられ、深掘りした議論ができるようになった。本学の人的・学術的資源を活かし、学生に資するとともに、教員間の情報交換や授業技術の向上を図ることができた。

V. 国際社会科学部

● 「Sustainable Development」

ブリッジ科目について、初めて専門分野を学ぶ英語科目ということもあり、前年度の学生の理解度を勘案し、パート1（60~70分）、パート2（20~30分）の二部構成にし、パート2では特に重要な点について日本語による補足説明を行なう形へ変更した。

● 「会計学」

「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」質問に関して、平成28年度の評価が低かったため、事例を増やしたり、多国籍企業の話を増やしたりした。平成29年度は、評価結果に改善の傾向がみられるが、今後さらに国際的な事例などを増やす予定である。

● 「社会科学のためのデータ分析」

授業内容が難しいとの指摘を受けて、数学（微分）の簡単な復習を講義に加えた。

● 「中国経済論」

大人数の講義で、担当教員の話が時々聞き取りにくいという意見があったので、声を上げること、レジュメを配布することや授業中クイズを学生と一緒にやることなどで改善した。

● 「国際ビジネスのための法学」

授業の進度が早いとの回答が多かったため、講義全体の分量を減らし、各トピックに費やす時間を増やした。

● 「地域研究の手法」

中間テスト（自分で選んだ商品についてレポートをまとめるという課題）について、手書きだけでなく、Wordを使って文書を作成し、Moodleを通じて提出することも認めてほしいとの要望があり、提出方法を手書きとMoodleの二本立てに変更した。その結果、手書きが85名、Moodleによる提出が123名となった。

● 「Presentation I & II」・「海外研修 I」

初日に教員自身のスピーチをビデオで撮り、自分の癖を確認することにした。準備の段階でさらに細かい個人的なフィードバックを授業中に行うことにした。

海外研修 I では、MoodleにOne-minute paperの質問を掲載し、学生が一人一人考え

やすいように工夫した。

また、どちらもシラバスでは、各回のねらいをよりはっきりと記述することとした。

●「海外研修Ⅱ」

多様性についてのプレゼンテーション課題では、従来はチームによる発表であったが、せっかく海外体験をしてきたにもかかわらず、発表の内容が自分の経験（＝自分が収集したデータ）をベースにするのではなく、ウェブ情報を利用したものになりがちであった。また、チームでのプランニング等に貢献せずに当日の発表のみに参加する学生も見られた。そのため、今年からは、自分が海外から持ち帰ったものを見せて発表する「Show-and-Tell」という発表形式に変更し、個人発表とした。全体として、発表内容が実体験に基づく多様で豊かなものになり、自分で準備し発表をするということで、公平な評価をすることができるようになった。（野崎）

また、ほぼ毎回の授業で、違う場所に留学した学生同士が話せるようなペアやグループワークを組み込んだ。（入江）

●「マネジメント論」

いわゆる大講義（受講生 200 人程度）ではありがちな「授業外の学習時間が少ない」という問題意識をもち、以下のような改善策を取り組んだ。

毎回の授業で課題を出し、その課題は次回の授業でクラス・ディスカッションの内容になる。さらに、大人数によるディスカッションは難しく学生はなかなか発言しない傾向にあるため、その対策として、「発言ポイント制」を取り入れ、クラスで積極的に発言をした学生はポイントをもらうことができ、評価に反映されるようにした。

上記の改善策を通して、学生は課題に取り組むことで授業内容の復習・予習ができ、授業外の学習時間も増えることが期待できる。

●「International Economics」

英語についていけないとのコメントが幾つかあったため、よりゆっくりと、かつ専門用語を平易な言葉に言い換えて説明するようにした。

●「国際開発論」

授業を進める速さが早すぎるという意見があったため、授業で使用するパワーポイント資料の1スライド当たりの文字数を少なくし、よりゆっくり丁寧に話すよう心掛けた。

●「経済政策論」

授業の内容の理解を深めてもらうため、15分程度のミニテストを2回に1回程度実施した。学生は自分の理解の弱いところが分かり、学期を通すとある程度の問題数がある

ので、試験前の復習にも利用できたと思われる。

●「マーケティング」

授業内容は、シラバスには沿ったままだが、内容は毎年大部分を変更している。内容を調整しながら学生の反応を見て、本学部の学生のレベルに合った授業内容を固めていきたいと考えている。2年度目である現在は、まだ試行錯誤の段階であると理解している。

VI. 計算機センター

- 情報の授業では、学生間のスキルや知識の差が大きい。スマホ操作に慣れているがPC操作に慣れていない学生にとっては、授業についてゆくのが困難である反面、すでにスキルのある学生には退屈な授業になりがちである。また、授業の進行に影響をあたえることを気にして質問を控え、ますます授業についていけなくなる学生もいる。このような状況を改善するために、すぐに学生の疑問や要望を反映できるように、匿名で書き込みができるWebの簡易チャットを設置し、教室前面のスクリーンに投影し、学生の声を確認する工夫を取り入れている授業や、教室前面のスクリーンに全学生のモニターが同時に表示されることを利用して、各学生が赤・緑・黄色のスクリーン表示を行うことにより、学生のyes/noを素早く把握している授業もある。また、実際のコンピューターを操作する時間では学生同士で教え合うことを積極的に奨励している。
- コンピューターの利用方法は各学科の教育目的に依存し、また学生の興味の対象は各学科で大きく異なっている。そのため、情報倫理教育を除き、各学科に応じた目標設定や題材を選ぶことによって、目的意識をもって学べるように配慮している。
- 初等情報処理1・2は、全学の1年生を対象とした授業である。原則として、学科ごとのクラス編成にして授業を開講している。そこでは、情報に関連する規則や法律と情報を利用する際のモラルやマナーなど、情報倫理教育を授業の大きな柱のひとつとして取り上げている。また情報倫理教育だけでなく、インターネットなどを利用するに当たり自分に降りかかる危険を見極め回避する方法や基礎技術の習得も目指している。
- 比較的少人数のクラスでは、学生の顔と名前を把握し、一人一人の学生とのやりとりから、PCのスキルレベルや理解状況を把握して授業を進めている。

Ⅶ. スポーツ・健康化学センター

- 実技授業全般において、前年の受講者数を参考に、開講時間、開講種目、各時限毎の開講コマ数などをできるだけ学生の要望に応えられるように調整している。
- 実技（「スポーツ・健康科学Ⅰ，Ⅱ（必修）」、「同Ⅲa（選択）」、「同Ⅲb（野外集中）」）においては、運動学習理論に基づき指導法の変化をつけ、年次ごとに経験とデータを積み重ねて、指導法に反映させている。
- バレーボールの授業において、極端に体力レベルの劣るクラスがあったため、教材（5号球→4号球→軽量ボール）を工夫して体力レベルに応じた授業内容に変更して進めている。
- 体力トレーニングの授業において、作成した資料を配布している。しかし、紙媒体での資料を携行した状態ではトレーニングしづらいことや、身体の操作法について文章や口頭説明では伝わりづらい部分もある。そこで、トレーニングルームに設置されたモニターに映像、画像を提示し、トレーニング動作修得が効率的に進むよう工夫している。
- 「スポーツ・健康科学Ⅰ（文・理必修）」では、共通のテキストとノートを作成し、授業内で実施したトレーニング内容や練習内容、体調、感想等を記録させている。授業終了後に提出し、学生の授業に対するリアクションを授業中の観察に加えて文章で見ることにより、自身の実施した内容が質、量ともに適切であったかを把握し、次回の授業において生かすようにしている。
- バレーボール、バドミントンの授業において、バランスボール、バランスディスク、ストレッチポールを用いている。授業の前半にこれらの器具を用いて、トレーニングを行い、主とする球技の動作に役立てるとともに、バランス能力、筋力アップ、柔軟性の向上に役立っている。また、運動の苦手な学生も、これらの器具を使用することによって、自分の身体への関心が高まっていると思われる。
- バスケットボールの授業において、授業の前半15分間を利用して体力トレーニングを実施している。第1学期は、教員が様々なトレーニング種目を紹介して実施させている。第2学期は、第1学期に実施した種目の中から、グループごとに種目を選択して実施し、選択した種目の方法、効果、鍛錬部位などについてグループ内で意見交換を行っている。

学生自身の体力について興味を深め、主体的に体力向上に取り組むことができるような内容となるように工夫している。

第5章

資料集

(質問項目別基礎データクロス表)

Q1 私のこの授業への出席率は

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 出席率 90%以上	4 出席率 89~80%	3 出席率 79~70%	2 出席率 69~50%	1 出席率 49%以下				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	3,252 84.80%	398 10.38%	159 4.15%	20 0.52%	6 0.16%	3,835 100.00%	4.79	0.546	4.74	0.221
外七	語学	7,413 74.54%	1,710 17.19%	699 7.03%	116 1.17%	7 0.07%	9,945 100.00%	4.65	0.668	4.62	0.239
スポーツ	演習	1,106 66.99%	314 19.02%	177 10.72%	46 2.79%	8 0.48%	1,651 100.00%	4.49	0.831	4.51	0.317
基礎教養	講義	4,645 74.24%	994 15.89%	483 7.72%	72 1.15%	63 1.01%	6,257 100.00%	4.61	0.763	4.56	0.307
	演習	50 79.37%	10 15.87%	3 4.76%	0 0.00%	0 0.00%	63 100.00%	4.75	0.538	4.77	0.169
	計	4,695 74.29%	1,004 15.89%	486 7.69%	72 1.14%	63 1.00%	6,320 100.00%	4.61	0.761	4.57	0.305
法学部	講義	7,257 76.52%	1,282 13.52%	613 6.46%	180 1.90%	152 1.60%	9,484 100.00%	4.61	0.820	4.58	0.272
	演習	1,509 85.74%	161 9.15%	66 3.75%	23 1.31%	1 0.06%	1,760 100.00%	4.79	0.570	4.77	0.287
	計	8,766 77.96%	1,443 12.83%	679 6.04%	203 1.81%	153 1.36%	11,244 100.00%	4.64	0.789	4.66	0.294
経済学部	講義	7,391 73.69%	1,544 15.39%	746 7.44%	190 1.89%	159 1.59%	10,030 100.00%	4.58	0.835	4.51	0.331
	演習	1,491 89.33%	135 8.09%	32 1.92%	10 0.60%	1 0.06%	1,669 100.00%	4.86	0.449	4.82	0.255
	計	8,882 75.92%	1,679 14.35%	778 6.65%	200 1.71%	160 1.37%	11,699 100.00%	4.62	0.797	4.65	0.338
文学部	講義	5,616 71.05%	1,462 18.50%	669 8.46%	111 1.40%	46 0.58%	7,904 100.00%	4.58	0.753	4.56	0.277
	演習	4,855 73.67%	1,222 18.54%	456 6.92%	49 0.74%	8 0.12%	6,590 100.00%	4.65	0.652	4.62	0.261
	計	10,471 72.24%	2,684 18.52%	1,125 7.76%	160 1.10%	54 0.37%	14,494 100.00%	4.61	0.710	4.60	0.269
理学部	講義	3,286 82.69%	431 10.85%	188 4.73%	39 0.98%	30 0.75%	3,974 100.00%	4.74	0.662	4.68	0.263
	演習	1,220 92.71%	68 5.17%	24 1.82%	3 0.23%	1 0.08%	1,316 100.00%	4.90	0.384	4.88	0.185
	計	4,506 85.18%	499 9.43%	212 4.01%	42 0.79%	31 0.59%	5,290 100.00%	4.78	0.609	4.72	0.261
国際社会科学部	講義	2,449 74.53%	558 16.98%	209 6.36%	47 1.43%	23 0.70%	3,286 100.00%	4.63	0.728	4.61	0.218
	演習	264 70.97%	62 16.67%	40 10.75%	4 1.08%	2 0.54%	372 100.00%	4.56	0.769	4.57	0.271
	語学	1,593 72.97%	371 16.99%	176 8.06%	42 1.92%	1 0.05%	2,183 100.00%	4.61	0.721	4.59	0.260
	計	4,306 73.72%	991 16.97%	425 7.28%	93 1.59%	26 0.45%	5,841 100.00%	4.62	0.728	4.60	0.251
教職課程	講義	1,088 84.87%	125 9.75%	58 4.52%	8 0.62%	3 0.23%	1,282 100.00%	4.78	0.571	4.76	0.130
	演習	1,122 84.94%	144 10.90%	48 3.63%	3 0.23%	4 0.30%	1,321 100.00%	4.80	0.532	4.81	0.135
	計	2,210 84.90%	269 10.33%	106 4.07%	11 0.42%	7 0.27%	2,603 100.00%	4.79	0.551	4.79	0.134
学芸員	講義	561 74.21%	154 20.37%	37 4.89%	3 0.40%	1 0.13%	756 100.00%	4.68	0.596	4.68	0.160
	演習	50 71.43%	18 25.71%	2 2.86%	0 0.00%	0 0.00%	70 100.00%	4.69	0.526	4.68	0.295
	計	611 73.97%	172 20.82%	39 4.72%	3 0.36%	1 0.12%	826 100.00%	4.68	0.590	4.68	0.197
合計	56,218 76.23%	11,163 15.14%	4,885 6.62%	966 1.31%	516 0.70%	73,748 100.00%	4.65	0.723	4.63	0.276	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 出席率 90%以上	4 出席率 89~80%	3 出席率 79~70%	2 出席率 69~50%	1 出席率 49%以下				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	35,545 75.94%	6,948 14.84%	3,162 6.76%	670 1.43%	483 1.03%	46,808 100.00%	4.63	0.760	4.60	0.283
演習	11,667 78.77%	2,134 14.41%	848 5.73%	138 0.93%	25 0.17%	14,812 100.00%	4.71	0.631	4.68	0.286
語学	9,006 74.26%	2,081 17.16%	875 7.21%	158 1.30%	8 0.07%	12,128 100.00%	4.64	0.678	4.62	0.243
合計	56,218 76.23%	11,163 15.14%	4,885 6.62%	966 1.31%	516 0.70%	73,748 100.00%	4.65	0.723	4.63	0.276

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 出席率 90%以上	4 出席率 89~80%	3 出席率 79~70%	2 出席率 69~50%	1 出席率 49%以下			
学部1年	26,274 81.55%	3,748 11.63%	1,711 5.31%	340 1.06%	146 0.45%	32,219 100.00%	4.73	0.650
学部2年	16,923 76.14%	3,577 16.09%	1,355 6.10%	224 1.01%	148 0.67%	22,227 100.00%	4.66	0.698
学部3年	8,049 70.24%	2,157 18.82%	944 8.24%	205 1.79%	105 0.92%	11,460 100.00%	4.56	0.793
学部4年	1,819 52.17%	938 26.90%	502 14.40%	143 4.10%	85 2.44%	3,487 100.00%	4.22	1.000

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 出席率 90%以上	4 出席率 89~80%	3 出席率 79~70%	2 出席率 69~50%	1 出席率 49%以下				平均	標準偏差
25名以下	10,650 75.40%	2,349 16.63%	930 6.58%	171 1.21%	25 0.18%	14,125 100.00%	4.66	0.671	4.64	0.290
26~50名	12,627 75.99%	2,681 16.14%	1,097 6.60%	182 1.10%	29 0.17%	16,616 100.00%	4.67	0.664	4.64	0.249
51~100名	10,758 78.49%	1,896 13.83%	817 5.96%	133 0.97%	103 0.75%	13,707 100.00%	4.68	0.696	4.65	0.284
101~200名	9,132 75.68%	1,795 14.88%	847 7.02%	170 1.41%	122 1.01%	12,066 100.00%	4.63	0.762	4.58	0.287
201名以上	13,051 75.73%	2,442 14.17%	1,194 6.93%	310 1.80%	237 1.38%	17,234 100.00%	4.61	0.806	4.56	0.239
合計	56,218 76.23%	11,163 15.14%	4,885 6.62%	966 1.31%	516 0.70%	73,748 100.00%	4.65	0.723	4.63	0.276

Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,392 36.51%	1,236 32.42%	871 22.84%	164 4.30%	150 3.93%	3,813 100.00%	3.93	1.056	3.94	0.302
外セ	語学	3,731 37.75%	3,729 37.73%	1,892 19.14%	374 3.78%	157 1.59%	9,883 100.00%	4.06	0.927	4.07	0.315
スポ健	演習	1,045 63.53%	404 24.56%	157 9.54%	19 1.16%	20 1.22%	1,645 100.00%	4.48	0.810	4.53	0.296
基礎教養	講義	1,619 26.00%	2,005 32.20%	1,736 27.88%	536 8.61%	330 5.30%	6,226 100.00%	3.65	1.113	3.68	0.449
	演習	36 57.14%	13 20.63%	10 15.87%	2 3.17%	2 3.17%	63 100.00%	4.25	1.047	4.33	0.552
	計	1,655 26.32%	2,018 32.09%	1,746 27.76%	538 8.55%	332 5.28%	6,289 100.00%	3.66	1.114	3.70	0.463
法学部	講義	2,433 25.81%	2,898 30.74%	2,831 30.03%	806 8.55%	460 4.88%	9,428 100.00%	3.64	1.100	3.70	0.363
	演習	907 51.83%	601 34.34%	207 11.83%	23 1.31%	12 0.69%	1,750 100.00%	4.35	0.792	4.40	0.283
	計	3,340 29.88%	3,499 31.30%	3,038 27.18%	829 7.42%	472 4.22%	11,178 100.00%	3.75	1.089	4.01	0.477
経済学部	講義	3,025 30.34%	3,096 31.06%	2,680 26.80%	694 6.96%	482 4.83%	9,969 100.00%	3.75	1.106	3.80	0.443
	演習	1,049 63.19%	469 28.25%	121 7.29%	13 0.78%	8 0.48%	1,660 100.00%	4.53	0.707	4.53	0.288
	計	4,074 35.03%	3,565 30.66%	2,793 24.02%	707 6.08%	490 4.21%	11,629 100.00%	3.86	1.093	4.13	0.525
文学部	講義	2,075 26.38%	2,744 34.89%	2,168 27.57%	565 7.18%	313 3.98%	7,865 100.00%	3.73	1.053	3.80	0.415
	演習	2,984 45.55%	2,536 38.71%	884 13.49%	108 1.65%	39 0.60%	6,551 100.00%	4.27	0.798	4.29	0.297
	計	5,059 35.09%	5,280 36.63%	3,052 21.17%	673 4.67%	352 2.44%	14,416 100.00%	3.97	0.984	4.12	0.414
理学部	講義	1,279 32.39%	1,247 31.58%	1,041 26.36%	226 5.72%	156 3.95%	3,949 100.00%	3.83	1.069	3.84	0.348
	演習	778 59.39%	377 28.78%	119 9.08%	26 1.98%	10 0.76%	1,310 100.00%	4.44	0.800	4.42	0.274
	計	2,057 39.11%	1,624 30.88%	1,160 22.06%	252 4.79%	166 3.16%	5,259 100.00%	3.98	1.043	3.97	0.412
国際社会科学部	講義	909 27.92%	1,063 32.65%	900 27.64%	241 7.40%	143 4.39%	3,256 100.00%	3.72	1.082	3.78	0.350
	演習	129 35.34%	144 39.45%	74 20.27%	16 4.38%	2 0.55%	365 100.00%	4.05	0.884	4.05	0.295
	語学	975 45.08%	797 36.85%	310 14.33%	56 2.59%	25 1.16%	2,183 100.00%	4.22	0.868	4.21	0.314
教職課程	講義	2,013 34.80%	2,004 34.65%	1,284 22.20%	313 5.41%	170 2.94%	5,784 100.00%	3.93	1.023	4.08	0.367
	演習	307 24.04%	483 37.82%	352 27.56%	83 6.50%	52 4.07%	1,277 100.00%	3.71	1.030	3.78	0.293
	計	573 43.54%	470 35.71%	215 16.34%	34 2.58%	24 1.82%	1,316 100.00%	4.17	0.916	4.23	0.287
学芸員	講義	880 33.94%	953 36.75%	567 21.87%	117 4.51%	76 2.93%	2,593 100.00%	3.94	1.000	4.06	0.363
	演習	172 22.87%	313 41.62%	209 27.79%	43 5.72%	15 1.99%	752 100.00%	3.78	0.931	3.85	0.346
	計	26 37.68%	34 49.28%	8 11.59%	1 1.45%	0 0.00%	69 100.00%	4.23	0.710	4.27	0.348
合計	25,444 34.71%	24,659 33.64%	16,777 22.89%	4,030 5.50%	2,400 3.27%	73,310 100.00%	3.91	1.040	4.08	0.425	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		13,211 28.39%	15,085 32.42%	12,780 27.46%	3,358 7.22%	2,101 4.51%	46,535 100.00%	3.73	1.086	3.79	0.393
演習		7,527 51.10%	5,048 34.27%	1,795 12.19%	242 1.64%	117 0.79%	14,729 100.00%	4.33	0.812	4.37	0.317
語学		4,706 39.07%	4,526 37.57%	2,202 18.28%	430 3.57%	182 1.51%	12,046 100.00%	4.09	0.919	4.10	0.320
合計		25,444 34.71%	24,659 33.64%	16,777 22.89%	4,030 5.50%	2,400 3.27%	73,310 100.00%	3.91	1.040	4.08	0.425

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		10,528 32.86%	10,769 33.61%	7,666 23.93%	1,924 6.01%	1,150 3.59%	32,037 100.00%	3.86	1.055
学部2年		7,692 34.82%	7,246 32.80%	5,104 23.11%	1,240 5.61%	808 3.66%	22,090 100.00%	3.90	1.059
学部3年		4,234 37.13%	3,993 35.02%	2,415 21.18%	517 4.53%	243 2.13%	11,402 100.00%	4.00	0.978
学部4年		1,343 38.66%	1,259 36.24%	656 18.88%	139 4.00%	77 2.22%	3,474 100.00%	4.05	0.966

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		6,685 47.68%	4,988 35.58%	1,930 13.77%	303 2.16%	115 0.82%	14,021 100.00%	4.27	0.837	4.27	0.364
26～50名		6,590 39.87%	5,973 36.14%	3,051 18.46%	596 3.61%	319 1.93%	16,529 100.00%	4.08	0.946	4.08	0.367
51～100名		4,449 32.68%	4,563 33.52%	3,387 24.88%	713 5.24%	500 3.67%	13,612 100.00%	3.86	1.047	3.85	0.373
101～200名		3,282 27.33%	3,945 32.86%	3,318 27.63%	932 7.76%	530 4.41%	12,007 100.00%	3.71	1.083	3.66	0.342
201名以上		4,438 25.89%	5,190 30.28%	5,091 29.70%	1,486 8.67%	936 5.46%	17,141 100.00%	3.62	1.120	3.59	0.316
合計		25,444 34.71%	24,659 33.64%	16,777 22.89%	4,030 5.50%	2,400 3.27%	73,310 100.00%	3.91	1.040	4.08	0.425

Q3 私がこの授業のために、授業時間外で学習に使った時間は、1週間あたり平均で

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 学習時間 3時間以上	4 学習時間 2時間以上 3時間未満	3 学習時間 1時間以上 2時間未満	2 学習時間 30分以上 1時間未満	1 学習時間 30分未満				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	388 10.22%	270 7.11%	652 17.17%	695 18.30%	1,792 47.20%	3,797 100.00%	2.15	1.351	2.20	0.522
外七	語学	735 7.50%	778 7.94%	2,491 25.42%	2,833 28.91%	2,963 30.23%	9,800 100.00%	2.34	1.199	2.36	0.520
スポーツ	演習	228 14.06%	49 3.02%	93 5.73%	65 5.24%	1,167 71.95%	1,622 100.00%	1.82	1.460	1.94	0.620
基礎教養	講義	372 6.03%	292 4.73%	766 12.41%	965 15.96%	3,757 60.87%	6,172 100.00%	1.79	1.192	1.82	0.490
	演習	11 17.74%	9 14.52%	14 22.58%	16 25.81%	12 19.35%	62 100.00%	2.85	1.377	2.92	0.532
	計	383 6.14%	301 4.83%	780 12.51%	1,001 16.06%	3,769 60.48%	6,234 100.00%	1.80	1.199	1.85	0.527
法学部	講義	762 8.15%	573 6.13%	1,919 20.53%	1,858 19.88%	4,236 45.31%	9,348 100.00%	2.12	1.274	2.16	0.395
	演習	397 22.80%	270 15.51%	501 28.78%	306 17.58%	267 15.34%	1,741 100.00%	3.13	1.357	3.22	0.697
	計	1,159 10.45%	843 7.60%	2,420 21.82%	2,164 19.51%	4,503 40.61%	11,089 100.00%	2.28	1.339	2.63	0.762
経済学部	講義	999 10.10%	722 7.30%	1,812 18.31%	1,972 19.93%	4,389 44.36%	9,894 100.00%	2.19	1.339	2.31	0.572
	演習	455 27.54%	254 15.38%	446 27.00%	270 16.34%	427 13.74%	1,652 100.00%	3.27	1.378	3.25	0.769
	計	1,454 12.53%	976 8.45%	2,258 19.56%	2,242 19.42%	4,816 39.98%	11,546 100.00%	2.34	1.396	2.74	0.817
文学部	講義	467 6.02%	442 5.69%	1,199 15.45%	1,577 20.32%	4,077 52.53%	7,762 100.00%	1.92	1.201	2.00	0.495
	演習	1,016 15.65%	930 14.33%	1,988 30.63%	1,288 19.82%	1,270 19.57%	6,490 100.00%	2.87	1.316	2.92	0.627
	計	1,483 10.41%	1,372 9.63%	3,187 22.36%	2,863 20.09%	5,347 37.52%	14,252 100.00%	2.35	1.340	2.59	0.732
理学部	講義	577 14.73%	334 8.53%	807 20.61%	847 21.63%	1,351 34.50%	3,916 100.00%	2.47	1.412	2.51	0.458
	演習	473 36.44%	185 12.71%	303 23.34%	185 14.25%	172 13.25%	1,298 100.00%	3.45	1.435	3.41	0.725
	計	1,050 20.14%	499 9.57%	1,110 21.29%	1,032 19.79%	1,523 29.21%	5,214 100.00%	2.72	1.479	2.71	0.649
国際社会科学部	講義	247 7.68%	235 7.31%	652 20.28%	721 22.43%	1,360 42.30%	3,215 100.00%	2.16	1.259	2.22	0.299
	演習	48 13.04%	70 19.02%	120 32.61%	71 19.29%	59 16.03%	368 100.00%	2.94	1.244	2.93	0.493
	語学	332 15.36%	357 16.51%	755 34.92%	503 23.27%	215 9.94%	2,162 100.00%	3.04	1.187	3.02	0.553
教職課程	講義	627 10.91%	662 11.52%	1,527 26.58%	1,295 22.54%	1,634 28.44%	5,745 100.00%	2.54	1.305	2.81	0.599
	演習	95 7.52%	63 4.99%	198 15.68%	297 23.52%	610 48.30%	1,263 100.00%	2.00	1.232	1.96	0.361
	計	722 10.55%	725 5.76%	1,725 15.03%	1,592 21.02%	2,244 47.64%	7,008 100.00%	2.11	1.340	2.23	0.655
学芸員	講義	17 2.29%	37 4.99%	132 17.79%	163 21.97%	393 52.96%	742 100.00%	1.82	1.040	2.00	0.709
	演習	3 4.29%	8 11.43%	27 38.57%	17 24.29%	15 21.43%	70 100.00%	2.53	1.086	2.56	0.481
	計	20 2.46%	45 5.54%	159 19.58%	180 22.17%	408 50.25%	812 100.00%	1.88	1.062	2.15	0.695
合計	7,798 10.73%	5,943 8.18%	15,063 20.73%	14,930 20.54%	28,946 39.83%	72,680 100.00%	2.29	1.346	2.50	0.711	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 学習時間 3時間以上	4 学習時間 2時間以上 3時間未満	3 学習時間 1時間以上 2時間未満	2 学習時間 30分以上 1時間未満	1 学習時間 30分未満				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		3,924 8.51%	2,968 6.44%	8,137 17.65%	9,115 19.77%	21,965 47.64%	46,109 100.00%	2.08	1.292	2.16	0.523
演習		2,807 19.21%	1,840 12.59%	3,680 25.19%	2,479 16.97%	3,803 26.03%	14,609 100.00%	2.82	1.440	2.87	0.787
語学		1,067 8.92%	1,135 9.49%	3,246 27.14%	3,336 27.89%	3,178 26.57%	11,962 100.00%	2.46	1.227	2.49	0.590
合計		7,798 10.73%	5,943 8.18%	15,063 20.73%	14,930 20.54%	28,946 39.83%	72,680 100.00%	2.29	1.346	2.50	0.711

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 学習時間 3時間以上	4 学習時間 2時間以上 3時間未満	3 学習時間 1時間以上 2時間未満	2 学習時間 30分以上 1時間未満	1 学習時間 30分未満			
学部1年		2,906 9.11%	2,451 7.68%	6,453 20.23%	6,929 21.72%	13,163 41.26%	31,902 100.00%	2.22	1.302
学部2年		2,208 10.13%	1,595 7.31%	4,456 20.43%	4,383 20.10%	9,165 42.03%	21,807 100.00%	2.23	1.332
学部3年		1,560 13.91%	1,052 9.38%	2,377 21.19%	2,080 18.54%	4,147 36.97%	11,216 100.00%	2.45	1.417
学部4年		546 15.78%	413 11.94%	820 23.70%	695 20.09%	986 28.50%	3,460 100.00%	2.66	1.407

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 学習時間 3時間以上	4 学習時間 2時間以上 3時間未満	3 学習時間 1時間以上 2時間未満	2 学習時間 30分以上 1時間未満	1 学習時間 30分未満				平均	標準偏差
25名以下		2,209 15.84%	1,797 12.88%	3,864 27.70%	3,045 21.83%	3,034 21.75%	13,949 100.00%	2.79	1.344	2.79	0.743
26～50名		1,771 10.84%	1,379 8.44%	3,715 22.73%	3,691 22.59%	5,785 35.40%	16,341 100.00%	2.37	1.326	2.36	0.626
51～100名		1,577 11.68%	990 7.33%	2,480 18.37%	2,648 19.61%	5,805 43.00%	13,500 100.00%	2.25	1.377	2.27	0.596
101～200名		837 7.03%	780 6.55%	2,075 17.43%	2,397 20.13%	5,819 48.87%	11,908 100.00%	2.03	1.248	2.02	0.386
201名以上		1,404 8.27%	997 5.87%	2,929 17.25%	3,149 18.54%	8,503 50.07%	16,982 100.00%	2.04	1.285	2.02	0.358
合計		7,798 10.73%	5,943 8.18%	15,063 20.73%	14,930 20.54%	28,946 39.83%	72,680 100.00%	2.29	1.346	2.50	0.711

Q4 この授業のレベルは適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,223 32.03%	1,113 29.15%	945 24.75%	359 9.40%	178 4.66%	3,818 100.00%	3.74	1.140	3.70	0.518
外セ	語学	3,859 38.99%	3,533 35.69%	1,933 19.53%	434 4.38%	139 1.40%	9,898 100.00%	4.06	0.940	4.08	0.402
スポ健	演習	1,032 62.70%	410 24.91%	180 10.94%	18 1.09%	6 0.36%	1,646 100.00%	4.48	0.760	4.53	0.248
基礎教養	講義	2,475 39.66%	2,183 34.98%	1,298 20.80%	209 3.35%	75 1.20%	6,240 100.00%	4.09	0.916	4.10	0.392
	演習	30 47.62%	18 28.57%	11 17.46%	4 6.35%	0 0.00%	63 100.00%	4.17	0.943	4.25	0.526
	計	2,505 39.74%	2,201 34.92%	1,309 20.77%	213 3.38%	75 1.19%	6,303 100.00%	4.09	0.917	4.10	0.394
法学部	講義	3,014 31.91%	3,199 33.87%	2,446 25.90%	575 6.09%	210 2.22%	9,444 100.00%	3.87	1.003	3.90	0.365
	演習	967 49.51%	581 33.18%	249 14.22%	41 2.34%	13 0.74%	1,751 100.00%	4.28	0.847	4.30	0.361
	計	3,881 34.67%	3,780 33.77%	2,695 24.07%	616 5.50%	223 1.99%	11,195 100.00%	3.94	0.991	4.08	0.413
経済学部	講義	3,391 33.99%	3,067 30.74%	2,563 25.69%	636 6.37%	320 3.21%	9,977 100.00%	3.86	1.059	3.89	0.475
	演習	961 57.89%	489 29.46%	181 10.90%	25 1.51%	4 0.24%	1,660 100.00%	4.43	0.764	4.45	0.381
	計	4,352 37.40%	3,556 30.56%	2,744 23.58%	661 5.68%	324 2.78%	11,637 100.00%	3.94	1.041	4.14	0.516
文学部	講義	2,866 36.42%	2,849 36.20%	1,669 21.21%	389 4.94%	97 1.23%	7,870 100.00%	4.02	0.941	4.09	0.412
	演習	2,979 45.45%	2,444 37.28%	903 13.78%	181 2.76%	48 0.73%	6,555 100.00%	4.24	0.843	4.27	0.352
	計	5,845 40.52%	5,293 36.69%	2,572 17.83%	570 3.95%	145 1.01%	14,425 100.00%	4.12	0.905	4.20	0.384
理学部	講義	1,110 28.08%	1,215 30.74%	1,134 28.69%	326 8.25%	168 4.25%	3,953 100.00%	3.70	1.091	3.73	0.439
	演習	497 38.06%	414 31.70%	292 22.36%	68 5.21%	35 2.68%	1,306 100.00%	3.97	1.026	3.95	0.364
	計	1,607 30.56%	1,629 30.98%	1,426 27.12%	394 7.49%	203 3.86%	5,259 100.00%	3.77	1.082	3.78	0.432
国際社会科学部	講義	1,025 31.49%	1,091 33.52%	830 25.50%	234 7.19%	75 2.30%	3,255 100.00%	3.85	1.021	3.80	0.402
	演習	132 35.77%	138 37.40%	83 22.49%	12 3.25%	4 1.08%	369 100.00%	4.04	0.901	4.04	0.406
	語学	848 39.04%	740 34.07%	435 20.03%	115 5.29%	34 1.57%	2,172 100.00%	4.04	0.971	4.03	0.412
教職課程	講義	2,005 34.59%	1,969 33.97%	1,348 23.26%	361 6.23%	113 1.95%	5,796 100.00%	3.93	0.999	3.97	0.419
	演習	431 33.80%	462 36.24%	326 25.57%	43 3.37%	13 1.02%	1,275 100.00%	3.98	0.906	4.08	0.393
	計	708 53.84%	406 30.87%	164 12.47%	24 1.83%	13 0.99%	1,315 100.00%	4.35	0.840	4.41	0.276
学芸員	講義	1,139 43.98%	868 33.51%	490 18.92%	67 2.59%	26 1.00%	2,590 100.00%	4.17	0.891	4.28	0.361
	演習	320 42.67%	304 40.53%	117 15.60%	8 1.07%	1 0.13%	750 100.00%	4.25	0.760	4.24	0.181
	計	43 62.32%	23 33.33%	2 2.90%	0 0.00%	1 1.45%	69 100.00%	4.55	0.697	4.54	0.389
合計	27,811 37.90%	24,679 33.63%	15,761 21.48%	3,701 5.04%	1,434 1.95%	73,386 100.00%	4.00	0.986	4.10	0.445	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	15,855 34.04%	15,483 33.24%	11,328 24.32%	2,779 5.97%	1,137 2.44%	46,582 100.00%	3.90	1.016	3.92	0.450
演習	7,249 49.20%	4,923 33.41%	2,065 14.02%	373 2.53%	124 0.84%	14,734 100.00%	4.28	0.856	4.32	0.371
語学	4,707 39.00%	4,273 35.40%	2,368 19.62%	549 4.55%	173 1.43%	12,070 100.00%	4.06	0.945	4.07	0.404
合計	27,811 37.90%	24,679 33.63%	15,761 21.48%	3,701 5.04%	1,434 1.95%	73,386 100.00%	4.00	0.986	4.10	0.445

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	10,797 33.66%	10,836 33.79%	7,759 24.19%	1,938 6.04%	743 2.32%	32,073 100.00%	3.90	1.010
学部2年	8,443 38.18%	7,380 33.37%	4,755 21.50%	1,079 4.88%	457 2.07%	22,114 100.00%	4.01	0.989
学部3年	5,026 44.06%	3,949 34.62%	1,909 16.74%	384 3.37%	138 1.21%	11,406 100.00%	4.17	0.907
学部4年	1,774 51.05%	1,160 33.38%	432 12.43%	80 2.30%	29 0.83%	3,475 100.00%	4.32	0.838

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	6,572 46.75%	4,688 33.35%	2,172 15.45%	477 3.39%	149 1.06%	14,058 100.00%	4.21	0.899	4.22	0.437
26～50名	6,847 41.40%	5,739 34.70%	3,021 18.27%	693 4.19%	237 1.43%	16,537 100.00%	4.10	0.939	4.11	0.408
51～100名	4,748 34.83%	4,515 33.12%	3,158 23.16%	829 6.08%	383 2.81%	13,633 100.00%	3.91	1.033	3.89	0.451
101～200名	3,917 32.64%	4,086 34.05%	2,950 24.58%	776 6.47%	271 2.26%	12,000 100.00%	3.88	1.010	3.87	0.407
201名以上	5,727 33.38%	5,651 32.94%	4,460 25.99%	926 5.40%	394 2.30%	17,158 100.00%	3.90	1.003	3.89	0.352
合計	27,811 37.90%	24,679 33.63%	15,761 21.48%	3,701 5.04%	1,434 1.95%	73,386 100.00%	4.00	0.986	4.10	0.445

Q4-2 授業のレベルについて、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース			科目ベース			
		5 難しすぎる	4 易しすぎる	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	463 89.04%	57 10.96%	520 100.00%	-	-	-	-
外セ	語学	386 69.68%	168 30.32%	554 100.00%	-	-	-	-
スポ健	演習	10 41.67%	14 58.33%	24 100.00%	-	-	-	-
基礎教養	講義	240 91.95%	21 8.05%	261 100.00%	-	-	-	-
	演習	2 66.67%	1 33.33%	3 100.00%	-	-	-	-
	計	242 91.67%	22 8.33%	264 100.00%	-	-	-	-
法学部	講義	698 93.32%	50 6.68%	748 100.00%	-	-	-	-
	演習	47 87.04%	7 12.96%	54 100.00%	-	-	-	-
	計	745 92.89%	57 7.11%	802 100.00%	-	-	-	-
経済学部	講義	849 92.79%	66 7.21%	915 100.00%	-	-	-	-
	演習	24 82.76%	5 17.24%	29 100.00%	-	-	-	-
	計	873 92.48%	71 7.52%	944 100.00%	-	-	-	-
文学部	講義	423 93.17%	31 6.83%	454 100.00%	-	-	-	-
	演習	196 90.32%	21 9.68%	217 100.00%	-	-	-	-
	計	619 92.25%	52 7.75%	671 100.00%	-	-	-	-
理学部	講義	456 95.00%	24 5.00%	480 100.00%	-	-	-	-
	演習	93 98.94%	1 1.06%	94 100.00%	-	-	-	-
	計	549 95.64%	25 4.36%	574 100.00%	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	242 86.74%	37 13.26%	279 100.00%	-	-	-	-
	演習	13 92.86%	1 7.14%	14 100.00%	-	-	-	-
	語学	96 68.57%	44 31.43%	140 100.00%	-	-	-	-
	計	351 81.06%	82 18.94%	433 100.00%	-	-	-	-
教職課程	講義	50 92.59%	4 7.41%	54 100.00%	-	-	-	-
	演習	26 81.25%	6 18.75%	32 100.00%	-	-	-	-
	計	76 88.37%	10 11.63%	86 100.00%	-	-	-	-
学芸員	講義	4 66.67%	2 33.33%	6 100.00%	-	-	-	-
	演習	1 100.00%	0 0.00%	1 100.00%	-	-	-	-
	計	5 71.43%	2 28.57%	7 100.00%	-	-	-	-
合計	4,319 88.52%	560 11.48%	4,879 100.00%	-	-	-	-	

【形態別】

	回答者ベース			科目ベース			
	5 難しすぎる	4 易しすぎる	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	3,425 92.14%	292 7.86%	3,717 100.00%	-	-	-	-
演習	412 88.03%	56 11.97%	468 100.00%	-	-	-	-
語学	482 69.45%	212 30.55%	694 100.00%	-	-	-	-
合計	4,319 88.52%	560 11.48%	4,879 100.00%	-	-	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 難しすぎる	4 易しすぎる	計		
学部1年	2,269 88.32%	300 11.68%	2,569 100.00%	-	-
学部2年	1,278 88.75%	162 11.25%	1,440 100.00%	-	-
学部3年	433 88.37%	57 11.63%	490 100.00%	-	-
学部4年	98 91.59%	9 8.41%	107 100.00%	-	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース			科目ベース			
	5 難しすぎる	4 易しすぎる	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	473 79.23%	124 20.77%	597 100.00%	-	-	-	-
26～50名	707 80.62%	170 19.38%	877 100.00%	-	-	-	-
51～100名	1,058 91.84%	94 8.16%	1,152 100.00%	-	-	-	-
101～200名	931 93.76%	62 6.24%	993 100.00%	-	-	-	-
201名以上	1,150 91.27%	110 8.73%	1,260 100.00%	-	-	-	-
合計	4,319 88.52%	560 11.48%	4,879 100.00%	-	-	-	-

Q5 この授業を進める速さは適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,185 31.08%	1,070 28.06%	983 25.78%	386 10.12%	189 4.96%	3,813 100.00%	3.70	1.154	3.68	0.505
外セ	語学	4,198 42.42%	3,623 36.61%	1,662 16.79%	306 3.09%	107 1.08%	9,896 100.00%	4.16	0.887	4.17	0.389
スポ健	演習	1,110 67.44%	380 23.09%	141 8.57%	9 0.55%	6 0.36%	1,646 100.00%	4.57	0.703	4.61	0.231
基礎教養	講義	2,643 42.46%	2,243 36.04%	1,105 17.75%	170 2.73%	63 1.01%	6,224 100.00%	4.16	0.881	4.18	0.370
	演習	31 49.21%	22 34.92%	9 14.29%	1 1.59%	0 0.00%	63 100.00%	4.32	0.779	4.35	0.270
	計	2,674 42.53%	2,265 36.03%	1,114 17.72%	171 2.72%	63 1.00%	6,287 100.00%	4.16	0.880	4.18	0.367
法学部	講義	3,347 35.51%	3,353 35.58%	2,178 23.11%	398 4.22%	149 1.58%	9,425 100.00%	3.99	0.947	4.03	0.335
	演習	991 56.73%	530 30.34%	199 11.39%	19 1.03%	9 0.52%	1,747 100.00%	4.42	0.771	4.43	0.299
	計	4,338 38.83%	3,883 34.76%	2,377 21.28%	416 3.72%	158 1.41%	11,172 100.00%	4.06	0.935	4.21	0.377
経済学部	講義	3,570 35.84%	3,164 31.76%	2,435 24.45%	539 5.41%	253 2.54%	9,961 100.00%	3.93	1.021	4.02	0.447
	演習	1,001 60.81%	455 27.64%	168 10.21%	19 1.15%	3 0.18%	1,646 100.00%	4.48	0.738	4.50	0.324
	計	4,571 39.38%	3,619 31.18%	2,603 22.43%	558 4.81%	256 2.21%	11,607 100.00%	4.01	1.004	4.24	0.460
文学部	講義	3,083 39.13%	2,948 37.42%	1,427 18.11%	340 4.32%	80 1.02%	7,878 100.00%	4.09	0.910	4.17	0.382
	演習	3,252 49.61%	2,277 34.74%	833 12.71%	164 2.50%	29 0.44%	6,555 100.00%	4.31	0.818	4.36	0.327
	計	6,335 43.89%	5,225 36.20%	2,260 15.66%	504 3.49%	109 0.76%	14,433 100.00%	4.19	0.876	4.29	0.359
理学部	講義	1,268 32.05%	1,280 32.36%	1,041 26.31%	245 6.19%	122 3.08%	3,956 100.00%	3.84	1.041	3.87	0.417
	演習	550 42.05%	425 32.49%	285 21.79%	29 2.22%	19 1.45%	1,308 100.00%	4.11	0.919	4.10	0.320
	計	1,818 34.54%	1,705 32.39%	1,326 25.19%	274 5.21%	141 2.68%	5,264 100.00%	3.91	1.019	3.92	0.408
国際社会科学部	講義	1,120 34.29%	1,181 36.16%	749 22.93%	162 4.96%	54 1.65%	3,266 100.00%	3.96	0.958	3.93	0.374
	演習	150 40.43%	117 31.54%	80 21.56%	21 5.66%	3 0.81%	371 100.00%	4.05	0.959	4.06	0.491
	語学	929 42.77%	743 34.21%	407 18.74%	77 3.55%	16 0.74%	2,172 100.00%	4.15	0.895	4.14	0.418
教職課程	講義	2,199 37.86%	2,041 35.14%	1,236 21.28%	260 4.48%	73 1.26%	5,809 100.00%	4.04	0.939	4.08	0.425
	演習	466 54.69%	470 33.41%	275 10.22%	51 1.22%	15 0.46%	1,277 100.00%	4.03	0.919	4.14	0.438
	計	1,183 45.71%	908 35.09%	409 15.80%	267 2.59%	21 0.81%	2,588 100.00%	4.22	0.862	4.34	0.368
学芸員	講義	333 44.05%	321 42.46%	89 11.77%	11 1.46%	2 0.26%	756 100.00%	4.29	0.748	4.28	0.180
	演習	46 65.71%	20 28.57%	4 5.71%	0 0.00%	0 0.00%	70 100.00%	4.60	0.600	4.59	0.263
	計	379 45.88%	341 41.28%	93 11.26%	11 1.33%	2 0.24%	826 100.00%	4.31	0.741	4.36	0.244
合計	29,990 40.89%	25,060 34.17%	14,204 19.37%	2,962 4.04%	1,125 1.53%	73,341 100.00%	4.09	0.946	4.19	0.424	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		17,015 36.55%	16,030 34.43%	10,282 22.09%	2,302 4.94%	927 1.99%	46,556 100.00%	3.99	0.981	4.02	0.430
演習		7,848 53.33%	4,664 31.69%	1,853 12.59%	277 1.88%	75 0.51%	14,717 100.00%	4.35	0.809	4.41	0.339
語学		5,127 42.48%	4,366 36.18%	2,069 17.14%	383 3.17%	123 1.02%	12,068 100.00%	4.16	0.889	4.17	0.395
合計		29,990 40.89%	25,060 34.17%	14,204 19.37%	2,962 4.04%	1,125 1.53%	73,341 100.00%	4.09	0.946	4.19	0.424

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		11,433 35.65%	11,139 34.74%	7,213 22.49%	1,675 5.22%	608 1.90%	32,068 100.00%	3.97	0.980
学部2年		9,280 41.93%	7,551 34.12%	4,178 18.88%	781 3.53%	340 1.54%	22,130 100.00%	4.11	0.935
学部3年		5,509 48.33%	3,903 34.24%	1,621 14.22%	265 2.32%	100 0.88%	11,398 100.00%	4.27	0.852
学部4年		1,895 54.83%	1,072 31.02%	395 11.43%	71 2.05%	23 0.67%	3,456 100.00%	4.37	0.816

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		7,190 51.24%	4,504 32.10%	1,908 13.60%	338 2.41%	93 0.66%	14,033 100.00%	4.31	0.842	4.32	0.411
26～50名		7,404 44.78%	5,781 34.96%	2,680 16.21%	500 3.02%	171 1.03%	16,536 100.00%	4.19	0.887	4.20	0.380
51～100名		5,054 37.06%	4,598 33.72%	2,926 21.46%	737 5.40%	321 2.35%	13,636 100.00%	3.98	1.006	3.97	0.438
101～200名		4,224 35.20%	4,266 35.55%	2,648 22.07%	648 5.40%	213 1.78%	11,999 100.00%	3.97	0.973	3.97	0.388
201名以上		6,118 35.70%	5,911 34.49%	4,042 23.59%	739 4.31%	327 1.91%	17,137 100.00%	3.98	0.968	3.98	0.340
合計		29,990 40.89%	25,060 34.17%	14,204 19.37%	2,962 4.04%	1,125 1.53%	73,341 100.00%	4.09	0.946	4.19	0.424

Q5-2 授業を進める速さについて、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース			科目ベース			
		5	4	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		速すぎる	遅すぎる					
計セ	講義	474 84.95%	84 15.05%	558 100.00%	-	-	-	-
外セ	語学	274 68.16%	128 31.84%	402 100.00%	-	-	-	-
スポ健	演習	1 7.69%	12 92.31%	13 100.00%	-	-	-	-
基礎教養	講義	165 79.33%	43 20.67%	208 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	1 100.00%	1 100.00%	-	-	-	-
	計	165 78.95%	44 21.05%	209 100.00%	-	-	-	-
法学部	講義	403 80.76%	96 19.24%	499 100.00%	-	-	-	-
	演習	11 40.74%	16 59.26%	27 100.00%	-	-	-	-
	計	414 78.71%	112 21.29%	526 100.00%	-	-	-	-
経済学部	講義	658 86.81%	100 13.19%	758 100.00%	-	-	-	-
	演習	8 38.10%	13 61.90%	21 100.00%	-	-	-	-
	計	666 85.49%	113 14.51%	779 100.00%	-	-	-	-
文学部	講義	316 79.80%	80 20.20%	396 100.00%	-	-	-	-
	演習	127 71.75%	50 28.25%	177 100.00%	-	-	-	-
	計	443 77.31%	130 22.69%	573 100.00%	-	-	-	-
理学部	講義	331 94.57%	19 5.43%	350 100.00%	-	-	-	-
	演習	33 76.74%	10 23.26%	43 100.00%	-	-	-	-
	計	364 92.62%	29 7.38%	393 100.00%	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	158 81.44%	36 18.56%	194 100.00%	-	-	-	-
	演習	13 61.90%	8 38.10%	21 100.00%	-	-	-	-
	語学	59 73.75%	21 26.25%	80 100.00%	-	-	-	-
	計	230 77.97%	65 22.03%	295 100.00%	-	-	-	-
教職課程	講義	38 62.30%	23 37.70%	61 100.00%	-	-	-	-
	演習	12 66.67%	6 33.33%	18 100.00%	-	-	-	-
	計	50 63.29%	29 36.71%	79 100.00%	-	-	-	-
学芸員	講義	3 33.33%	6 66.67%	9 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	3 33.33%	6 66.67%	9 100.00%	-	-	-	-
合計	3,084 80.40%	752 19.60%	3,836 100.00%	-	-	-	-	

【形態別】

	回答者ベース			科目ベース			
	5	4	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
	速すぎる	遅すぎる					
講義	2,546 83.94%	487 16.06%	3,033 100.00%	-	-	-	-
演習	205 63.86%	116 36.14%	321 100.00%	-	-	-	-
語学	333 69.09%	149 30.91%	482 100.00%	-	-	-	-
合計	3,084 80.40%	752 19.60%	3,836 100.00%	-	-	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	計		
	速すぎる	遅すぎる			
学部1年	1,797 82.43%	381 17.57%	2,168 100.00%	-	-
学部2年	830 79.65%	212 20.35%	1,042 100.00%	-	-
学部3年	240 73.17%	88 26.83%	328 100.00%	-	-
学部4年	62 69.66%	27 30.34%	89 100.00%	-	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース			科目ベース			
	5	4	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	速すぎる	遅すぎる					
25名以下	275 68.58%	126 31.42%	401 100.00%	-	-	-	-
26～50名	461 73.06%	170 26.94%	631 100.00%	-	-	-	-
51～100名	828 82.63%	174 17.37%	1,002 100.00%	-	-	-	-
101～200名	688 85.89%	113 14.11%	801 100.00%	-	-	-	-
201名以上	832 83.12%	169 16.88%	1,001 100.00%	-	-	-	-
合計	3,084 80.40%	752 19.60%	3,836 100.00%	-	-	-	-

Q6 教員は熱意を持って授業を行っている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,371 35.90%	1,305 34.17%	883 23.12%	165 4.32%	95 2.49%	3,819 100.00%	3.97	0.993	3.98	0.399
外セ	語学	5,583 56.33%	3,292 33.22%	862 8.70%	119 1.20%	55 0.55%	9,911 100.00%	4.44	0.747	4.45	0.331
スポーツ	演習	1,269 77.05%	307 18.64%	65 3.95%	4 0.24%	2 0.12%	1,647 100.00%	4.72	0.556	4.76	0.211
基礎教養	講義	3,524 56.45%	2,008 32.16%	592 9.48%	66 1.06%	53 0.85%	6,243 100.00%	4.42	0.774	4.44	0.321
	演習	42 66.67%	16 25.40%	5 7.94%	0 0.00%	0 0.00%	63 100.00%	4.59	0.638	4.61	0.199
	計	3,566 56.55%	2,024 32.10%	597 9.47%	66 1.05%	53 0.84%	6,306 100.00%	4.42	0.773	4.45	0.319
法学部	講義	4,856 51.45%	3,217 34.09%	1,177 12.47%	128 1.36%	60 0.64%	9,438 100.00%	4.34	0.795	4.39	0.270
	演習	1,246 70.96%	395 22.49%	101 5.75%	11 0.63%	3 0.17%	1,756 100.00%	4.63	0.637	4.67	0.273
	計	6,102 54.51%	3,612 32.27%	1,278 11.42%	139 1.24%	63 0.56%	11,194 100.00%	4.39	0.780	4.51	0.305
経済学部	講義	5,166 51.75%	3,162 31.68%	1,322 13.24%	208 2.08%	124 1.24%	9,982 100.00%	4.31	0.867	4.32	0.398
	演習	1,206 72.52%	352 21.17%	87 5.23%	13 0.78%	5 0.30%	1,663 100.00%	4.65	0.645	4.66	0.303
	計	6,372 54.72%	3,514 30.18%	1,409 12.10%	221 1.90%	129 1.11%	11,645 100.00%	4.36	0.847	4.48	0.394
文学部	講義	4,414 56.04%	2,687 34.12%	654 8.30%	78 0.99%	43 0.55%	7,876 100.00%	4.44	0.733	4.49	0.293
	演習	4,366 66.39%	1,754 26.67%	399 6.07%	42 0.64%	15 0.23%	6,576 100.00%	4.58	0.656	4.61	0.238
	計	8,780 60.75%	4,441 30.73%	1,053 7.29%	120 0.83%	58 0.40%	14,452 100.00%	4.51	0.703	4.57	0.266
理学部	講義	2,018 50.97%	1,252 31.62%	566 14.30%	76 1.92%	47 1.19%	3,959 100.00%	4.29	0.866	4.32	0.366
	演習	742 56.77%	403 30.83%	139 10.64%	14 1.07%	9 0.69%	1,307 100.00%	4.42	0.777	4.41	0.261
	計	2,760 52.41%	1,655 31.43%	705 13.39%	90 1.71%	56 1.06%	5,266 100.00%	4.32	0.847	4.34	0.346
国際社会科学部	講義	1,556 47.58%	1,125 34.40%	470 14.37%	70 2.14%	49 1.50%	3,270 100.00%	4.24	0.884	4.23	0.363
	演習	201 54.32%	130 35.14%	34 9.19%	4 1.08%	1 0.27%	370 100.00%	4.42	0.726	4.42	0.319
	語学	1,353 62.09%	632 29.00%	166 7.62%	18 0.83%	10 0.46%	2,179 100.00%	4.51	0.712	4.50	0.289
教職課程	講義	3,110 53.45%	1,887 32.43%	670 11.51%	92 1.58%	60 1.03%	5,819 100.00%	4.36	0.824	4.43	0.332
	演習	605 47.41%	478 37.46%	149 11.68%	30 2.35%	14 1.10%	1,276 100.00%	4.28	0.841	4.39	0.318
	計	3,715 62.53%	2,365 27.80%	819 7.69%	122 1.37%	74 0.61%	5,995 100.00%	4.50	0.748	4.56	0.251
学芸員	講義	1,426 55.08%	843 32.56%	250 9.66%	48 1.85%	22 0.85%	2,589 100.00%	4.39	0.803	4.49	0.288
	演習	427 56.78%	268 35.64%	53 7.05%	3 0.40%	1 0.13%	752 100.00%	4.49	0.657	4.53	0.204
	計	1,853 78.57%	1,111 18.57%	303 2.86%	51 0.00%	23 0.00%	2,340 100.00%	4.76	0.494	4.77	0.205
合計	講義	482 58.64%	281 34.18%	55 6.69%	3 0.36%	1 0.12%	822 100.00%	4.51	0.649	4.59	0.227
	演習	40,821 55.56%	23,161 31.52%	7,827 10.65%	1,067 1.45%	594 0.81%	73,470 100.00%	4.40	0.798	4.48	0.344

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		23,937 51.35%	15,502 33.26%	5,866 12.58%	824 1.77%	486 1.04%	46,615 100.00%	4.32	0.837	4.35	0.366
演習		9,948 67.38%	3,735 25.30%	933 6.32%	106 0.72%	43 0.29%	14,765 100.00%	4.59	0.668	4.63	0.267
語学		6,936 57.37%	3,924 32.46%	1,028 8.50%	137 1.13%	65 0.54%	12,090 100.00%	4.45	0.742	4.46	0.324
合計		40,821 55.56%	23,161 31.52%	7,827 10.65%	1,067 1.45%	594 0.81%	73,470 100.00%	4.40	0.798	4.48	0.344

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		16,457 51.28%	10,762 33.53%	4,025 12.54%	566 1.76%	283 0.88%	32,093 100.00%	4.33	0.826
学部2年		12,498 56.40%	6,859 30.95%	2,287 10.32%	306 1.38%	211 0.95%	22,161 100.00%	4.40	0.803
学部3年		6,975 61.08%	3,383 29.62%	893 7.82%	118 1.03%	51 0.45%	11,420 100.00%	4.50	0.723
学部4年		2,372 68.20%	888 25.53%	178 5.12%	24 0.69%	16 0.46%	3,478 100.00%	4.60	0.662

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		9,391 66.67%	3,653 25.93%	886 6.29%	108 0.77%	48 0.34%	14,086 100.00%	4.58	0.676	4.59	0.317
26～50名		9,671 58.39%	5,156 31.13%	1,465 8.85%	185 1.12%	86 0.52%	16,563 100.00%	4.46	0.745	4.47	0.307
51～100名		6,920 50.70%	4,465 32.71%	1,824 13.36%	276 2.02%	165 1.21%	13,650 100.00%	4.30	0.862	4.30	0.381
101～200名		6,161 51.22%	4,108 34.15%	1,403 11.66%	213 1.77%	143 1.19%	12,028 100.00%	4.32	0.838	4.29	0.332
201名以上		8,678 50.82%	5,779 33.71%	2,249 13.12%	285 1.66%	152 0.89%	17,143 100.00%	4.32	0.827	4.28	0.284
合計		40,821 55.56%	23,161 31.52%	7,827 10.65%	1,067 1.45%	594 0.81%	73,470 100.00%	4.40	0.798	4.48	0.344

Q7 教員は学生が集中できる授業環境になるように配慮している

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,409 37.11%	1,300 34.24%	804 21.17%	185 4.87%	99 2.61%	3,797 100.00%	3.98	1.006	4.00	0.399
	外セ	5,119 51.97%	3,430 34.83%	1,038 10.54%	178 1.81%	84 0.85%	9,849 100.00%	4.35	0.806	4.38	0.346
	スポーツ	1,219 74.37%	329 20.07%	81 4.94%	8 0.49%	2 0.12%	1,639 100.00%	4.68	0.600	4.73	0.235
基礎教養	講義	2,797 45.11%	2,211 35.66%	885 14.27%	220 3.55%	88 1.42%	6,201 100.00%	4.19	0.909	4.27	0.348
	演習	37 60.66%	17 27.87%	7 11.48%	0 0.00%	0 0.00%	61 100.00%	4.49	0.698	4.54	0.351
	計	2,834 45.26%	2,228 35.58%	892 14.24%	220 3.51%	88 1.41%	6,262 100.00%	4.20	0.907	4.28	0.349
法学部	講義	4,170 44.34%	3,240 34.45%	1,581 16.81%	290 3.08%	124 1.32%	9,405 100.00%	4.17	0.907	4.26	0.297
	演習	1,174 67.09%	435 24.86%	124 7.09%	12 0.69%	5 0.29%	1,750 100.00%	4.58	0.679	4.61	0.285
	計	5,344 47.91%	3,675 32.94%	1,705 15.28%	302 2.71%	129 1.16%	11,155 100.00%	4.24	0.888	4.42	0.339
経済学部	講義	4,533 45.62%	3,271 32.92%	1,644 16.55%	332 3.34%	156 1.57%	9,936 100.00%	4.18	0.930	4.26	0.368
	演習	1,158 69.89%	379 22.87%	98 5.91%	22 1.33%	0 0.00%	1,657 100.00%	4.61	0.660	4.63	0.299
	計	5,691 49.09%	3,650 31.48%	1,742 15.03%	354 3.05%	156 1.35%	11,593 100.00%	4.24	0.910	4.43	0.384
文学部	講義	3,674 46.86%	2,839 36.21%	1,022 13.04%	228 2.91%	77 0.98%	7,840 100.00%	4.25	0.861	4.31	0.338
	演習	3,932 60.05%	2,023 30.89%	486 7.42%	80 1.22%	27 0.41%	6,548 100.00%	4.49	0.722	4.53	0.266
	計	7,606 52.86%	4,862 33.79%	1,508 10.48%	308 2.14%	104 0.72%	14,388 100.00%	4.36	0.809	4.45	0.311
理学部	講義	1,793 45.60%	1,264 32.15%	694 17.65%	110 2.80%	71 1.81%	3,932 100.00%	4.17	0.937	4.21	0.374
	演習	688 53.05%	425 32.77%	148 11.41%	24 1.85%	12 0.93%	1,297 100.00%	4.35	0.824	4.35	0.248
	計	2,481 47.45%	1,689 32.30%	842 16.10%	134 2.56%	83 1.59%	5,229 100.00%	4.21	0.914	4.24	0.354
国際社会科学部	講義	1,345 41.42%	1,058 32.58%	613 18.88%	146 4.50%	85 2.62%	3,247 100.00%	4.06	1.008	4.08	0.382
	演習	200 54.05%	117 31.62%	44 11.89%	7 1.89%	2 0.54%	370 100.00%	4.37	0.807	4.37	0.372
	計	1,190 55.14%	702 32.53%	220 10.19%	36 1.67%	10 0.46%	2,158 100.00%	4.40	0.775	4.39	0.325
教職課程	講義	2,735 47.36%	1,877 32.50%	877 15.19%	189 3.27%	97 1.68%	5,775 100.00%	4.21	0.930	4.31	0.369
	演習	534 41.92%	437 34.30%	236 18.52%	41 3.22%	26 2.04%	1,274 100.00%	4.11	0.952	4.23	0.404
	計	727 48.69%	412 32.78%	138 14.44%	29 2.70%	10 1.39%	1,316 100.00%	4.38	0.818	4.46	0.289
学芸員	講義	1,261 48.69%	849 32.78%	374 14.44%	70 2.70%	36 1.39%	2,590 100.00%	4.25	0.897	4.37	0.353
	演習	384 51.06%	273 36.30%	87 11.57%	8 1.06%	0 0.00%	752 100.00%	4.37	0.728	4.41	0.200
	計	45 64.29%	19 27.14%	5 7.14%	1 1.43%	0 0.00%	70 100.00%	4.54	0.695	4.56	0.341
合計	講義	429 52.19%	292 35.52%	92 11.19%	9 1.09%	0 0.00%	822 100.00%	4.39	0.726	4.45	0.246
	演習	36,128 49.42%	24,181 33.08%	9,955 13.62%	1,957 2.68%	878 1.20%	73,099 100.00%	4.27	0.880	4.39	0.363

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	20,639 44.50%	15,893 34.26%	7,566 16.31%	1,560 3.36%	726 1.57%	46,384 100.00%	4.17	0.925	4.23	0.364
演習	9,180 62.42%	4,156 28.26%	1,131 7.69%	183 1.24%	58 0.39%	14,708 100.00%	4.51	0.725	4.56	0.290
語学	6,309 52.54%	4,132 34.41%	1,258 10.48%	214 1.78%	94 0.78%	12,007 100.00%	4.36	0.801	4.38	0.341
合計	36,128 49.42%	24,181 33.08%	9,955 13.62%	1,957 2.68%	878 1.20%	73,099 100.00%	4.27	0.880	4.39	0.363

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	14,083 44.12%	11,345 35.54%	5,059 15.85%	1,012 3.17%	422 1.32%	31,921 100.00%	4.18	0.902
学部2年	11,227 50.88%	6,989 31.67%	2,992 13.56%	556 2.52%	301 1.36%	22,065 100.00%	4.28	0.888
学部3年	6,369 56.07%	3,585 31.56%	1,103 9.71%	218 1.92%	84 0.74%	11,359 100.00%	4.40	0.799
学部4年	2,183 63.00%	966 27.88%	239 6.90%	51 1.47%	26 0.75%	3,465 100.00%	4.51	0.753

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	8,749 62.41%	3,944 28.14%	1,096 7.82%	169 1.21%	60 0.43%	14,018 100.00%	4.51	0.728	4.53	0.334
26～50名	8,727 52.98%	5,522 33.52%	1,780 10.81%	319 1.94%	124 0.75%	16,472 100.00%	4.36	0.808	4.37	0.321
51～100名	6,221 45.79%	4,593 33.81%	2,127 15.66%	425 3.13%	220 1.62%	13,586 100.00%	4.19	0.922	4.20	0.365
101～200名	5,326 44.51%	4,195 35.06%	1,871 15.64%	389 3.25%	185 1.55%	11,966 100.00%	4.18	0.916	4.17	0.326
201名以上	7,105 41.65%	5,927 34.75%	3,081 18.06%	655 3.84%	289 1.69%	17,057 100.00%	4.11	0.944	4.10	0.280
合計	36,128 49.42%	24,181 33.08%	9,955 13.62%	1,957 2.68%	878 1.20%	73,099 100.00%	4.27	0.880	4.39	0.363

Q8 教員は理解しやすい授業を行っている

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,327 34.75%	1,193 31.24%	834 21.84%	280 7.33%	185 4.84%	3,819 100.00%	3.84	1.126	3.83	0.531
外セ	語学	5,138 51.80%	3,254 32.81%	1,101 11.10%	285 2.87%	141 1.42%	9,919 100.00%	4.31	0.882	4.33	0.455
スポ健	演習	1,226 74.35%	334 20.25%	77 4.67%	10 0.61%	2 0.12%	1,649 100.00%	4.68	0.601	4.72	0.229
基礎教養	講義	2,809 45.05%	2,180 34.96%	932 14.95%	217 3.48%	97 1.56%	6,235 100.00%	4.18	0.919	4.23	0.440
	演習	39 61.90%	18 28.57%	4 6.35%	1 1.59%	1 1.59%	63 100.00%	4.48	0.820	4.53	0.430
	計	2,848 45.22%	2,198 34.90%	936 14.86%	218 3.46%	98 1.56%	6,298 100.00%	4.19	0.919	4.24	0.441
法学部	講義	3,954 41.89%	3,097 32.81%	1,698 17.99%	454 4.81%	236 2.50%	9,439 100.00%	4.07	1.006	4.13	0.418
	演習	1,155 65.77%	435 24.77%	134 7.63%	22 1.25%	10 0.57%	1,756 100.00%	4.54	0.738	4.57	0.335
	計	5,109 45.64%	3,532 31.55%	1,832 16.36%	476 4.25%	246 2.20%	11,195 100.00%	4.14	0.984	4.33	0.440
経済学部	講義	4,244 42.56%	3,195 32.04%	1,780 17.85%	478 4.79%	275 2.76%	9,972 100.00%	4.07	1.020	4.11	0.514
	演習	1,121 67.41%	400 24.05%	111 6.67%	23 1.38%	8 0.48%	1,663 100.00%	4.57	0.721	4.58	0.361
	計	5,365 46.11%	3,595 30.90%	1,891 16.25%	501 4.31%	283 2.43%	11,635 100.00%	4.14	0.998	4.32	0.508
文学部	講義	3,486 44.23%	2,690 34.13%	1,157 14.68%	388 4.92%	160 2.03%	7,881 100.00%	4.14	0.975	4.22	0.451
	演習	3,763 57.28%	2,045 31.13%	584 8.89%	126 1.92%	52 0.79%	6,570 100.00%	4.42	0.795	4.47	0.346
	計	7,249 50.16%	4,735 32.77%	1,741 12.05%	514 3.56%	212 1.47%	14,451 100.00%	4.27	0.909	4.38	0.405
理学部	講義	1,516 38.34%	1,232 31.16%	862 21.80%	194 4.91%	150 3.79%	3,954 100.00%	3.95	1.066	3.98	0.481
	演習	609 46.70%	436 33.44%	211 16.18%	32 2.45%	16 1.23%	1,304 100.00%	4.22	0.889	4.23	0.306
	計	2,125 40.41%	1,668 31.72%	1,073 20.41%	226 4.30%	166 3.16%	5,258 100.00%	4.02	1.032	4.04	0.458
国際社会科学部	講義	1,222 37.52%	1,107 33.99%	647 19.86%	192 5.89%	89 2.73%	3,257 100.00%	3.98	1.027	3.96	0.431
	演習	189 50.81%	111 29.84%	50 13.44%	20 5.38%	2 0.54%	372 100.00%	4.25	0.920	4.25	0.448
	語学	1,168 53.58%	700 32.11%	218 10.00%	73 3.35%	21 0.96%	2,180 100.00%	4.34	0.861	4.33	0.446
教職課程	講義	2,579 44.40%	1,918 33.02%	915 15.75%	285 4.91%	112 1.93%	5,809 100.00%	4.13	0.977	4.23	0.466
	演習	506 39.62%	451 35.32%	213 16.68%	64 5.01%	43 3.37%	1,277 100.00%	4.03	1.033	4.19	0.555
	計	737 56.05%	395 30.04%	134 10.19%	29 2.21%	20 1.52%	1,315 100.00%	4.37	0.867	4.46	0.328
学芸員	講義	1,243 47.96%	846 32.64%	347 13.39%	93 3.59%	63 2.43%	2,592 100.00%	4.20	0.967	4.36	0.446
	演習	371 49.20%	284 37.67%	87 11.54%	11 1.46%	1 0.13%	754 100.00%	4.34	0.749	4.37	0.185
	計	54 77.14%	13 18.57%	3 4.29%	0 0.00%	0 0.00%	70 100.00%	4.73	0.536	4.74	0.309
合計	425 51.58%	297 36.04%	90 10.92%	11 1.33%	1 0.12%	824 100.00%	4.38	0.741	4.46	0.272	
合計	34,634 47.15%	23,570 32.09%	10,837 14.75%	2,899 3.95%	1,509 2.05%	73,449 100.00%	4.18	0.963	4.31	0.468	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	19,435 41.72%	15,429 33.12%	8,210 17.62%	2,278 4.89%	1,236 2.65%	46,588 100.00%	4.06	1.012	4.10	0.483
演習	8,893 60.24%	4,187 28.36%	1,308 8.86%	263 1.78%	111 0.75%	14,762 100.00%	4.46	0.789	4.52	0.354
語学	6,306 52.12%	3,954 32.68%	1,319 10.90%	358 2.96%	162 1.34%	12,099 100.00%	4.31	0.878	4.33	0.453
合計	34,634 47.15%	23,570 32.09%	10,837 14.75%	2,899 3.95%	1,509 2.05%	73,449 100.00%	4.18	0.963	4.31	0.468

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	13,494 42.04%	10,898 33.96%	5,535 17.25%	1,459 4.55%	709 2.21%	32,095 100.00%	4.09	0.983
学部2年	10,550 47.65%	6,936 31.33%	3,186 14.39%	919 4.15%	549 2.48%	22,140 100.00%	4.18	0.989
学部3年	6,226 54.51%	3,527 30.88%	1,213 10.62%	316 2.77%	140 1.23%	11,422 100.00%	4.35	0.867
学部4年	2,173 62.60%	939 27.05%	271 7.81%	55 1.58%	33 0.95%	3,471 100.00%	4.49	0.784

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	8,493 60.24%	3,964 28.12%	1,220 8.65%	302 2.14%	120 0.85%	14,099 100.00%	4.45	0.807	4.46	0.427
26～50名	8,585 51.83%	5,287 31.92%	1,955 11.80%	502 3.03%	235 1.42%	16,564 100.00%	4.30	0.893	4.31	0.422
51～100名	5,762 42.25%	4,473 32.80%	2,344 17.19%	639 4.69%	421 3.09%	13,639 100.00%	4.06	1.027	4.06	0.494
101～200名	4,772 39.76%	4,040 33.66%	2,187 18.22%	667 5.56%	335 2.79%	12,001 100.00%	4.02	1.026	4.00	0.460
201名以上	7,022 40.95%	5,806 33.86%	3,131 18.26%	789 4.60%	398 2.32%	17,146 100.00%	4.07	0.990	4.04	0.395
合計	34,634 47.15%	23,570 32.09%	10,837 14.75%	2,899 3.95%	1,509 2.05%	73,449 100.00%	4.18	0.963	4.31	0.468

Q9 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
計セ	講義	1,382 36.66%	1,221 32.39%	779 20.66%	259 6.87%	129 3.42%	3,770 100.00%	3.92	1.072	3.94	0.405
外セ	語学	5,140 52.53%	3,223 32.94%	1,095 11.19%	234 2.39%	93 0.95%	9,785 100.00%	4.34	0.840	4.36	0.395
スポ健	演習	1,243 76.82%	299 18.48%	69 4.26%	6 0.37%	1 0.06%	1,618 100.00%	4.72	0.564	4.75	0.202
基礎教養	講義	2,894 47.05%	2,181 35.46%	800 13.01%	197 3.20%	79 1.28%	6,151 100.00%	4.24	0.888	4.29	0.411
	演習	41 67.21%	15 24.59%	5 8.20%	0 0.00%	0 0.00%	61 100.00%	4.59	0.642	4.63	0.304
	計	2,935 47.25%	2,196 35.35%	805 12.96%	197 3.17%	79 1.27%	6,212 100.00%	4.24	0.886	4.30	0.411
法学部	講義	3,998 42.90%	3,051 32.74%	1,571 16.86%	489 5.25%	211 2.26%	9,320 100.00%	4.09	1.002	4.14	0.405
	演習	1,153 66.38%	416 23.95%	134 7.71%	28 1.50%	8 0.46%	1,737 100.00%	4.54	0.740	4.57	0.344
	計	5,151 46.59%	3,467 31.36%	1,705 15.42%	515 4.66%	219 1.98%	11,057 100.00%	4.16	0.979	4.34	0.435
経済学部	講義	4,451 45.04%	3,148 31.85%	1,693 17.13%	395 4.00%	196 1.98%	9,883 100.00%	4.14	0.970	4.21	0.419
	演習	1,158 70.35%	362 21.99%	110 6.68%	12 0.73%	4 0.24%	1,646 100.00%	4.61	0.666	4.62	0.305
	計	5,609 48.65%	3,510 30.44%	1,803 15.64%	407 3.53%	200 1.73%	11,529 100.00%	4.21	0.947	4.40	0.424
文学部	講義	3,594 46.22%	2,702 34.75%	1,045 13.44%	323 4.15%	112 1.44%	7,776 100.00%	4.20	0.923	4.29	0.426
	演習	3,811 58.85%	1,965 30.34%	545 8.42%	122 1.88%	33 0.51%	6,476 100.00%	4.45	0.768	4.50	0.335
	計	7,405 51.96%	4,667 32.75%	1,590 11.16%	445 3.12%	145 1.02%	14,252 100.00%	4.32	0.865	4.42	0.383
理学部	講義	1,613 41.32%	1,194 30.58%	790 20.24%	197 5.05%	110 2.82%	3,904 100.00%	4.03	1.035	4.06	0.489
	演習	643 49.61%	416 32.10%	205 15.82%	17 1.31%	15 1.16%	1,296 100.00%	4.28	0.857	4.29	0.298
	計	2,256 43.38%	1,610 30.96%	995 19.13%	214 4.12%	125 2.40%	5,200 100.00%	4.09	0.999	4.11	0.462
国際社会科学部	講義	1,308 40.72%	1,080 33.62%	539 16.78%	207 6.44%	78 2.43%	3,212 100.00%	4.04	1.025	4.01	0.454
	演習	206 56.44%	108 29.59%	46 12.60%	4 1.10%	1 0.27%	365 100.00%	4.41	0.771	4.40	0.439
	語学	1,181 55.06%	637 29.70%	237 11.05%	67 3.12%	23 1.07%	2,145 100.00%	4.35	0.874	4.33	0.458
教職課程	講義	2,695 47.10%	1,825 31.89%	822 14.37%	278 4.86%	102 1.78%	5,722 100.00%	4.18	0.969	4.26	0.476
	演習	508 40.25%	417 33.04%	218 17.27%	87 6.89%	32 2.54%	1,262 100.00%	4.02	1.039	4.16	0.562
	計	731 56.40%	361 27.85%	135 10.42%	42 3.24%	27 2.08%	1,296 100.00%	4.33	0.936	4.46	0.370
学芸員	講義	1,239 48.44%	778 30.41%	353 13.80%	129 5.04%	59 2.31%	2,558 100.00%	4.18	1.000	4.35	0.472
	演習	375 50.40%	304 40.86%	57 7.66%	7 0.94%	1 0.13%	744 100.00%	4.40	0.684	4.42	0.185
	計	51 75.00%	14 20.59%	3 4.41%	0 0.00%	0 0.00%	68 100.00%	4.71	0.548	4.72	0.205
合計	426 52.46%	318 39.16%	60 7.39%	7 0.86%	1 0.12%	812 100.00%	4.43	0.678	4.49	0.230	
合計	35,481 48.93%	23,114 31.87%	10,076 13.90%	2,691 3.71%	1,153 1.59%	72,515 100.00%	4.23	0.931	4.35	0.432	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		20,123 43.72%	15,298 33.24%	7,492 16.28%	2,161 4.70%	948 2.06%	46,022 100.00%	4.12	0.979	4.17	0.445
演習		9,037 62.05%	3,956 27.16%	1,252 8.60%	229 1.57%	89 0.61%	14,563 100.00%	4.48	0.768	4.55	0.338
語学		6,321 52.98%	3,860 32.36%	1,332 11.17%	301 2.52%	116 0.97%	11,930 100.00%	4.34	0.846	4.35	0.408
合計		35,481 48.93%	23,114 31.87%	10,076 13.90%	2,691 3.71%	1,153 1.59%	72,515 100.00%	4.23	0.931	4.35	0.432

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		13,901 43.92%	10,682 33.75%	5,157 16.29%	1,372 4.33%	538 1.70%	31,650 100.00%	4.14	0.954
学部2年		10,863 49.65%	6,741 30.81%	2,999 13.71%	848 3.88%	430 1.97%	21,881 100.00%	4.22	0.957
学部3年		6,361 56.27%	3,492 30.89%	1,087 9.62%	275 2.43%	89 0.79%	11,304 100.00%	4.39	0.820
学部4年		2,158 62.81%	951 27.68%	241 7.01%	63 1.83%	23 0.67%	3,436 100.00%	4.50	0.762

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		8,617 61.94%	3,763 27.05%	1,174 8.44%	268 1.93%	90 0.65%	13,912 100.00%	4.48	0.782	4.49	0.396
26～50名		8,666 53.09%	5,201 31.86%	1,853 11.35%	440 2.70%	163 1.00%	16,323 100.00%	4.33	0.855	4.35	0.391
51～100名		5,996 44.46%	4,418 32.76%	2,169 16.08%	609 4.52%	295 2.19%	13,487 100.00%	4.13	0.983	4.13	0.442
101～200名		4,947 41.73%	4,025 33.95%	1,976 16.67%	646 5.45%	261 2.20%	11,855 100.00%	4.08	0.997	4.06	0.433
201名以上		7,255 42.83%	5,707 33.69%	2,904 17.14%	728 4.30%	344 2.03%	16,938 100.00%	4.11	0.971	4.09	0.373
合計		35,481 48.93%	23,114 31.87%	10,076 13.90%	2,691 3.71%	1,153 1.59%	72,515 100.00%	4.23	0.931	4.35	0.432

Q9-2 教員の話し方について、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース				学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 速すぎる	4 遅すぎる	3 その他/ 聞き取りにくい	計			形態別 平均	形態別 標準偏差
計セ	講義	191 52.62%	24 6.61%	148 40.77%	363 100.00%	-	-	-	-
外セ	語学	125 40.72%	22 7.17%	160 52.12%	307 100.00%	-	-	-	-
スポ健	演習	1 14.29%	0 0.00%	6 85.71%	7 100.00%	-	-	-	-
基礎教養	講義	98 39.52%	20 8.06%	130 52.42%	248 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	98 39.52%	20 8.06%	130 52.42%	248 100.00%	-	-	-	-
法学部	講義	254 39.56%	23 3.58%	365 56.85%	642 100.00%	-	-	-	-
	演習	6 18.75%	6 18.75%	20 62.50%	32 100.00%	-	-	-	-
	計	260 38.58%	29 4.30%	385 57.12%	674 100.00%	-	-	-	-
経済学部	講義	209 38.28%	25 4.58%	312 57.14%	546 100.00%	-	-	-	-
	演習	3 20.00%	4 26.67%	8 53.33%	15 100.00%	-	-	-	-
	計	212 37.79%	29 5.17%	320 57.04%	561 100.00%	-	-	-	-
文学部	講義	160 40.51%	20 5.06%	215 54.43%	395 100.00%	-	-	-	-
	演習	47 34.06%	7 5.07%	84 60.87%	138 100.00%	-	-	-	-
	計	207 38.84%	27 5.07%	299 56.10%	533 100.00%	-	-	-	-
理学部	講義	104 36.36%	4 1.40%	178 62.24%	286 100.00%	-	-	-	-
	演習	8 32.00%	2 8.00%	15 60.00%	25 100.00%	-	-	-	-
	計	112 36.01%	6 1.93%	193 62.06%	311 100.00%	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	97 37.89%	14 5.47%	145 56.64%	256 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	3 60.00%	2 40.00%	5 100.00%	-	-	-	-
	語学	42 56.00%	7 9.33%	26 34.67%	75 100.00%	-	-	-	-
	計	139 41.37%	24 7.14%	173 51.49%	336 100.00%	-	-	-	-
教職課程	講義	33 30.28%	5 4.59%	71 65.14%	109 100.00%	-	-	-	-
	演習	2 3.28%	3 4.92%	56 91.80%	61 100.00%	-	-	-	-
	計	35 20.59%	8 4.71%	127 74.71%	170 100.00%	-	-	-	-
学芸員	講義	1 12.50%	1 12.50%	6 75.00%	8 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	1 12.50%	1 12.50%	6 75.00%	8 100.00%	-	-	-	-
合計	1,381 39.26%	190 5.40%	1,947 55.34%	3,518 100.00%	-	-	-	-	

【形態別】

	回答者ベース				学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 速すぎる	4 遅すぎる	3 その他/ 聞き取りにくい	計			形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	1,147 40.20%	136 4.77%	1,570 55.03%	2,853 100.00%	-	-	-	-
演習	67 23.67%	25 8.83%	191 67.49%	283 100.00%	-	-	-	-
語学	167 43.72%	29 7.59%	186 48.69%	382 100.00%	-	-	-	-
合計	1,381 39.26%	190 5.40%	1,947 55.34%	3,518 100.00%	-	-	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース				学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 速すぎる	4 遅すぎる	3 その他/ 聞き取りにくい	計		
学部1年	783 43.91%	98 5.50%	902 50.59%	1,783 100.00%	-	-
学部2年	399 34.85%	57 4.98%	689 60.17%	1,145 100.00%	-	-
学部3年	88 27.24%	16 4.95%	219 67.80%	323 100.00%	-	-
学部4年	30 37.50%	9 11.25%	41 51.25%	80 100.00%	-	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース				学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 速すぎる	4 遅すぎる	3 その他/ 聞き取りにくい	計			平均	標準偏差
25名以下	136 41.85%	38 11.69%	151 46.46%	325 100.00%	-	-	-	-
26～50名	217 38.89%	29 5.20%	312 55.91%	558 100.00%	-	-	-	-
51～100名	305 36.92%	40 4.84%	481 58.23%	826 100.00%	-	-	-	-
101～200名	346 41.99%	39 4.73%	439 53.28%	824 100.00%	-	-	-	-
201名以上	377 38.27%	44 4.47%	564 57.26%	985 100.00%	-	-	-	-
合計	1,381 39.26%	190 5.40%	1,947 55.34%	3,518 100.00%	-	-	-	-

Q10 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,009 26.43%	1,152 30.17%	1,139 29.83%	300 7.86%	218 5.71%	3,818 100.00%	3.64	1.122	3.69	0.379
	外セ	3,806 38.39%	3,409 34.39%	2,073 20.91%	371 3.74%	255 2.57%	9,914 100.00%	4.02	0.987	4.05	0.432
	スポ健	986 59.90%	388 23.57%	219 13.30%	26 1.58%	27 1.64%	1,646 100.00%	4.39	0.892	4.45	0.351
基礎教養	講義	2,781 44.67%	2,196 35.28%	942 15.13%	177 2.84%	129 2.07%	6,225 100.00%	4.18	0.931	4.22	0.358
	演習	36 57.14%	17 26.98%	8 12.70%	0 0.00%	2 3.17%	63 100.00%	4.35	0.936	4.41	0.460
	計	2,817 44.80%	2,213 35.19%	950 15.11%	177 2.81%	131 2.08%	6,288 100.00%	4.18	0.931	4.22	0.361
法学部	講義	3,485 36.92%	3,248 34.41%	2,070 21.93%	397 4.21%	240 2.54%	9,440 100.00%	3.99	0.993	4.08	0.349
	演習	1,122 63.93%	467 26.61%	134 7.64%	21 1.20%	11 0.63%	1,755 100.00%	4.52	0.741	4.56	0.315
	計	4,607 41.15%	3,715 33.18%	2,204 19.69%	418 3.73%	251 2.24%	11,195 100.00%	4.07	0.977	4.29	0.408
経済学部	講義	3,512 35.25%	2,973 29.84%	2,563 25.73%	511 5.13%	404 4.06%	9,963 100.00%	3.87	1.079	3.97	0.475
	演習	1,081 65.00%	419 25.20%	135 8.12%	22 1.32%	6 0.36%	1,663 100.00%	4.53	0.731	4.55	0.350
	計	4,593 39.51%	3,392 29.18%	2,698 23.21%	533 4.58%	410 3.53%	11,626 100.00%	3.97	1.062	4.23	0.511
文学部	講義	3,383 42.94%	2,751 34.92%	1,265 16.06%	314 3.99%	166 2.11%	7,879 100.00%	4.13	0.961	4.21	0.397
	演習	3,571 54.37%	2,118 32.25%	693 10.55%	130 1.98%	56 0.85%	6,568 100.00%	4.37	0.816	4.41	0.337
	計	6,954 48.13%	4,869 33.70%	1,958 13.55%	444 3.07%	222 1.54%	14,447 100.00%	4.24	0.906	4.34	0.372
理学部	講義	1,404 35.55%	1,194 30.24%	1,021 25.85%	179 4.53%	151 3.82%	3,949 100.00%	3.89	1.062	3.94	0.426
	演習	629 48.20%	399 30.57%	225 17.24%	21 1.61%	31 2.38%	1,305 100.00%	4.21	0.944	4.19	0.352
	計	2,033 38.69%	1,593 30.32%	1,246 23.72%	200 3.81%	182 3.46%	5,254 100.00%	3.97	1.043	4.00	0.422
国際社会科学部	講義	1,081 33.21%	1,094 33.61%	762 23.41%	200 6.14%	118 3.63%	3,255 100.00%	3.87	1.059	3.84	0.340
	演習	145 39.19%	132 35.68%	68 18.38%	14 3.78%	11 2.97%	370 100.00%	4.04	0.998	4.02	0.412
	語学	849 39.12%	712 32.81%	454 20.92%	105 4.84%	50 2.30%	2,170 100.00%	4.02	1.001	4.03	0.395
教職課程	講義	2,075 35.81%	1,938 33.44%	1,284 22.16%	319 5.50%	179 3.09%	5,795 100.00%	3.93	1.036	3.98	0.391
	演習	470 36.75%	499 39.01%	227 17.75%	51 3.99%	32 2.50%	1,279 100.00%	4.04	0.964	4.15	0.400
	計	693 52.62%	442 33.56%	135 10.25%	28 2.13%	19 1.44%	1,317 100.00%	4.34	0.854	4.39	0.306
学芸員	講義	1,163 44.80%	941 36.25%	362 13.94%	79 3.04%	51 1.96%	2,596 100.00%	4.19	0.922	4.30	0.362
	演習	378 50.07%	266 35.23%	85 11.26%	17 2.25%	9 1.19%	755 100.00%	4.31	0.847	4.38	0.257
	計	51 73.91%	16 23.19%	2 2.90%	0 0.00%	0 0.00%	69 100.00%	4.71	0.517	4.71	0.159
合計	429 52.06%	282 34.22%	87 10.56%	17 2.06%	9 1.09%	824 100.00%	4.34	0.832	4.47	0.276	
合計	30,472 41.51%	23,892 32.55%	14,220 19.37%	2,884 3.93%	1,935 2.64%	73,403 100.00%	4.06	1.000	4.18	0.445	

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		17,503 37.59%	15,373 33.02%	10,074 21.64%	2,146 4.61%	1,467 3.15%	46,563 100.00%	3.97	1.029	4.04	0.430
演習		8,314 56.34%	4,398 29.80%	1,619 10.97%	262 1.78%	163 1.10%	14,756 100.00%	4.39	0.834	4.43	0.357
語学		4,655 38.52%	4,121 34.10%	2,527 20.91%	476 3.94%	305 2.52%	12,084 100.00%	4.02	0.989	4.05	0.424
合計		30,472 41.51%	23,892 32.55%	14,220 19.37%	2,884 3.93%	1,935 2.64%	73,403 100.00%	4.06	1.000	4.18	0.445

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年		11,183 34.87%	10,913 34.03%	7,482 23.33%	1,548 4.83%	942 2.94%	32,068 100.00%	3.93	1.017
学部2年		9,422 42.56%	7,044 31.82%	4,098 18.51%	876 3.96%	697 3.15%	22,137 100.00%	4.07	1.024
学部3年		5,757 50.46%	3,617 31.70%	1,601 14.03%	272 2.38%	163 1.43%	11,410 100.00%	4.27	0.891
学部4年		2,104 60.55%	982 28.26%	294 8.46%	59 1.70%	36 1.04%	3,475 100.00%	4.46	0.802

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下		7,418 52.69%	4,187 29.74%	1,920 13.64%	362 2.57%	192 1.36%	14,079 100.00%	4.30	0.894	4.33	0.434
26～50名		7,305 44.12%	5,487 33.14%	2,872 17.35%	532 3.21%	360 2.17%	16,556 100.00%	4.14	0.959	4.15	0.407
51～100名		5,195 38.09%	4,474 32.80%	2,906 21.30%	610 4.47%	455 3.34%	13,640 100.00%	3.98	1.036	3.98	0.427
101～200名		4,530 37.73%	4,087 34.04%	2,445 20.36%	575 4.79%	369 3.07%	12,006 100.00%	3.99	1.024	3.96	0.395
201名以上		6,024 35.18%	5,657 33.04%	4,077 23.81%	805 4.70%	559 3.26%	17,122 100.00%	3.92	1.032	3.91	0.364
合計		30,472 41.51%	23,892 32.55%	14,220 19.37%	2,884 3.93%	1,935 2.64%	73,403 100.00%	4.06	1.000	4.18	0.445

Q11 この授業は、シラバスに示されていた授業内容と合致している

【部門別・形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	0 読まなかった				形態別 平均	形態別 標準偏差
計セ	講義	816 22.20%	717 19.51%	464 12.63%	49 1.33%	23 0.63%	1,606 43.70%	3,675 100.00%	4.09	0.898	4.09	0.308
	外セ	2,507 26.52%	1,860 19.68%	746 7.89%	69 0.73%	30 0.32%	4,240 44.86%	9,452 100.00%	4.29	0.802	4.31	0.355
スポーツ	演習	604 39.07%	191 12.35%	75 4.85%	5 0.32%	5 0.32%	666 43.08%	1,546 100.00%	4.57	0.720	4.61	0.314
	基礎教養	1,682 28.21%	1,404 23.55%	551 9.24%	59 0.99%	31 0.52%	2,236 37.50%	5,963 100.00%	4.25	0.823	4.27	0.350
	演習	21 36.21%	12 20.69%	2 3.45%	0 0.00%	0 0.00%	23 39.66%	58 100.00%	4.54	0.611	4.54	0.187
	計	1,703 28.28%	1,416 23.52%	553 9.18%	59 0.98%	31 0.51%	2,259 37.52%	6,021 100.00%	4.25	0.821	4.28	0.349
	法学部	2,430 27.05%	2,155 23.99%	1,075 11.97%	147 1.64%	69 0.77%	3,107 34.59%	8,983 100.00%	4.15	0.884	4.19	0.301
	演習	732 44.83%	341 20.88%	100 6.12%	20 1.22%	20 1.22%	420 25.72%	1,633 100.00%	4.44	0.842	4.53	0.332
	計	3,162 29.79%	2,496 23.51%	1,175 11.07%	167 1.57%	89 0.84%	3,527 33.22%	10,616 100.00%	4.20	0.884	4.35	0.358
	経済学部	2,881 30.46%	2,065 21.84%	1,074 11.36%	86 0.91%	54 0.57%	3,297 34.86%	9,457 100.00%	4.24	0.848	4.26	0.358
	演習	748 49.54%	286 18.94%	88 5.83%	17 1.13%	1 0.07%	370 24.50%	1,510 100.00%	4.55	0.709	4.56	0.326
	計	3,629 33.09%	2,351 21.44%	1,162 10.60%	103 0.94%	55 0.50%	3,667 33.44%	10,967 100.00%	4.29	0.836	4.40	0.376
	文学部	1,794 23.72%	1,687 22.30%	572 7.56%	70 0.93%	25 0.33%	3,416 45.16%	7,564 100.00%	4.24	0.796	4.29	0.312
	演習	1,957 31.56%	1,173 18.92%	315 5.08%	37 0.60%	18 0.29%	2,700 43.55%	6,200 100.00%	4.43	0.742	4.43	0.385
	計	3,751 27.25%	2,860 20.78%	887 6.44%	107 0.78%	43 0.31%	6,116 44.43%	13,764 100.00%	4.33	0.777	4.38	0.367
	理学部	851 22.41%	602 15.85%	377 9.93%	36 0.95%	20 0.53%	1,911 50.33%	3,797 100.00%	4.18	0.889	4.20	0.401
	演習	399 31.82%	199 15.87%	88 7.02%	7 0.56%	5 0.40%	556 44.34%	1,254 100.00%	4.40	0.800	4.39	0.299
	計	1,250 24.75%	801 15.86%	465 9.21%	43 0.85%	25 0.49%	2,467 48.84%	5,051 100.00%	4.24	0.871	4.25	0.388
	国際社会科学部	724 23.43%	698 22.59%	352 11.39%	47 1.52%	22 0.71%	1,247 40.36%	3,090 100.00%	4.12	0.883	4.12	0.289
	演習	96 27.27%	78 22.16%	29 8.24%	2 0.57%	1 0.28%	146 41.48%	352 100.00%	4.29	0.779	4.31	0.388
	語学	594 29.26%	413 20.34%	176 8.67%	17 0.84%	11 0.54%	819 40.34%	2,030 100.00%	4.29	0.831	4.28	0.381
	計	820 23.82%	776 22.55%	381 11.07%	49 1.42%	23 0.67%	1,393 40.47%	3,442 100.00%	4.13	0.862	4.25	0.367
教職課程	講義	244 19.82%	248 20.15%	142 11.54%	24 1.95%	14 1.14%	559 45.41%	1,231 100.00%	4.02	0.952	4.11	0.422
	演習	330 26.55%	204 16.41%	69 5.55%	13 1.05%	7 0.56%	620 49.88%	1,243 100.00%	4.34	0.842	4.44	0.313
	計	574 23.20%	452 18.27%	211 8.53%	37 1.50%	21 0.85%	1,179 47.66%	2,474 100.00%	4.17	0.915	4.32	0.389
学芸員	講義	195 27.20%	177 24.69%	49 6.83%	9 1.26%	3 0.42%	284 39.61%	717 100.00%	4.27	0.797	4.26	0.390
	演習	31 46.97%	19 28.79%	4 6.06%	0 0.00%	0 0.00%	12 18.18%	66 100.00%	4.50	0.637	4.49	0.117
	計	226 28.86%	196 25.03%	53 6.77%	9 1.15%	3 0.38%	296 37.80%	783 100.00%	4.30	0.783	4.32	0.353
合計	19,636 28.12%	14,529 20.81%	6,348 9.09%	714 1.02%	359 0.51%	28,235 40.44%	69,821 100.00%	4.26	0.839	4.33	0.372	

【形態別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	0 読まなかった				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義		11,617 26.12%	9,753 21.93%	4,656 10.47%	527 1.18%	261 0.59%	17,663 39.71%	44,477 100.00%	4.19	0.858	4.22	0.345
	演習	4,918 35.48%	2,503 18.06%	770 5.55%	101 0.73%	57 0.41%	5,513 39.77%	13,862 100.00%	4.45	0.766	4.48	0.358
語学		3,101 27.01%	2,273 19.80%	922 8.03%	86 0.75%	41 0.36%	5,059 44.06%	11,482 100.00%	4.29	0.807	4.30	0.361
	合計	19,636 28.12%	14,529 20.81%	6,348 9.09%	714 1.02%	359 0.51%	28,235 40.44%	69,821 100.00%	4.26	0.839	4.33	0.372

【学部生・学年別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	0 読まなかった			
学部1年		7,579 24.63%	6,863 22.31%	3,286 10.68%	302 0.98%	163 0.53%	12,574 40.87%	30,767 100.00%	4.18	0.845
	学部2年	5,610 26.66%	3,916 18.61%	1,748 8.31%	247 1.17%	121 0.57%	9,402 44.68%	21,044 100.00%	4.26	0.862
学部3年		3,682 34.17%	2,222 20.62%	744 6.91%	96 0.89%	50 0.46%	3,980 36.94%	10,774 100.00%	4.38	0.793
	学部4年	1,397 43.77%	689 21.59%	187 5.86%	28 0.88%	13 0.41%	878 27.51%	3,192 100.00%	4.48	0.743

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない	0 読まなかった				平均	標準偏差
25名以下		4,702 35.55%	2,545 19.24%	867 6.56%	103 0.78%	41 0.31%	4,967 37.56%	13,225 100.00%	4.42	0.767	4.42	0.403
	26～50名	4,402 27.97%	3,053 19.40%	1,119 7.11%	128 0.81%	60 0.38%	6,976 44.33%	15,738 100.00%	4.32	0.803	4.33	0.331
51～100名		3,289 25.23%	2,582 19.81%	1,294 9.93%	156 1.20%	98 0.75%	5,617 43.09%	13,036 100.00%	4.19	0.886	4.20	0.350
	101～200名	2,844 24.72%	2,589 22.51%	1,197 10.41%	139 1.21%	66 0.57%	4,668 40.58%	11,503 100.00%	4.17	0.855	4.15	0.274
201名以上		4,399 26.96%	3,760 23.04%	1,871 11.47%	188 1.15%	94 0.58%	6,007 38.81%	16,319 100.00%	4.18	0.855	4.18	0.207
	合計	19,636 28.12%	14,529 20.81%	6,348 9.09%	714 1.02%	359 0.51%	28,235 40.44%	69,821 100.00%	4.26	0.839	4.33	0.372

Q12 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,230 32.24%	1,285 33.68%	940 24.64%	210 5.50%	150 3.93%	3,815 100.00%	3.85	1.058	3.86	0.473
	外セ	4,858 49.04%	3,453 34.85%	1,226 12.38%	230 2.32%	140 1.41%	9,907 100.00%	4.28	0.870	4.30	0.436
	スポーツ	1,244 75.53%	311 18.88%	78 4.74%	11 0.67%	3 0.18%	1,647 100.00%	4.69	0.609	4.74	0.243
基礎教養	講義	2,807 45.09%	2,237 35.94%	943 15.15%	154 2.47%	84 1.35%	6,225 100.00%	4.21	0.883	4.26	0.393
	演習	36 57.14%	23 36.51%	3 4.76%	0 0.00%	1 1.59%	63 100.00%	4.48	0.737	4.52	0.295
	計	2,843 45.21%	2,260 35.94%	946 15.04%	154 2.45%	85 1.35%	6,288 100.00%	4.21	0.882	4.27	0.392
法学部	講義	3,994 42.31%	3,317 35.14%	1,650 17.48%	334 3.54%	144 1.53%	9,439 100.00%	4.13	0.927	4.21	0.357
	演習	1,181 67.18%	454 25.82%	101 5.75%	18 1.02%	4 0.23%	1,758 100.00%	4.59	0.668	4.62	0.307
	計	5,175 46.22%	3,771 33.68%	1,751 15.64%	352 3.14%	148 1.32%	11,197 100.00%	4.20	0.907	4.39	0.393
経済学部	講義	4,128 41.44%	3,373 33.86%	1,928 19.35%	348 3.49%	185 1.86%	9,962 100.00%	4.10	0.952	4.15	0.463
	演習	1,155 69.45%	393 23.63%	93 5.59%	16 0.96%	6 0.36%	1,663 100.00%	4.61	0.672	4.62	0.310
	計	5,283 45.45%	3,766 32.40%	2,021 17.38%	364 3.13%	191 1.64%	11,625 100.00%	4.17	0.934	4.36	0.463
文学部	講義	3,539 44.85%	2,880 36.50%	1,124 14.25%	230 2.92%	117 1.48%	7,890 100.00%	4.20	0.894	4.27	0.426
	演習	3,776 57.39%	2,115 32.14%	556 8.45%	95 1.44%	38 0.58%	6,580 100.00%	4.44	0.756	4.49	0.319
	計	7,315 50.55%	4,995 34.52%	1,680 11.61%	325 2.25%	155 1.07%	14,470 100.00%	4.31	0.843	4.41	0.375
理学部	講義	1,536 39.03%	1,311 33.32%	853 21.68%	144 3.66%	91 2.31%	3,935 100.00%	4.03	0.980	4.06	0.438
	演習	657 50.42%	429 32.92%	171 13.12%	30 2.30%	16 1.23%	1,303 100.00%	4.29	0.869	4.29	0.307
	計	2,193 41.87%	1,740 33.22%	1,024 19.55%	174 3.32%	107 2.04%	5,238 100.00%	4.10	0.960	4.12	0.422
国際社会科学部	講義	1,178 36.15%	1,197 36.73%	674 20.68%	144 4.42%	66 2.03%	3,259 100.00%	4.01	0.963	4.00	0.377
	演習	163 43.82%	139 37.37%	46 12.37%	7 4.57%	7 1.88%	372 100.00%	4.17	0.943	4.16	0.455
	語学	1,063 48.78%	722 33.13%	300 13.77%	61 2.80%	33 1.51%	2,179 100.00%	4.25	0.901	4.24	0.422
教職課程	講義	2,404 41.38%	2,058 35.42%	1,020 17.56%	222 3.82%	106 1.82%	5,810 100.00%	4.11	0.946	4.17	0.427
	演習	476 37.25%	490 38.34%	230 18.00%	55 4.30%	27 2.11%	1,278 100.00%	4.04	0.956	4.18	0.491
	計	706 53.77%	410 31.23%	154 11.73%	30 2.28%	13 0.99%	1,313 100.00%	4.35	0.847	4.44	0.344
学芸員	講義	1,182 45.62%	900 34.74%	384 14.82%	85 3.28%	40 1.54%	2,591 100.00%	4.20	0.915	4.34	0.423
	演習	370 48.94%	291 38.49%	82 10.85%	11 1.46%	2 0.26%	756 100.00%	4.34	0.750	4.38	0.218
	計	54 77.14%	13 18.57%	3 4.29%	0 0.00%	0 0.00%	70 100.00%	4.73	0.536	4.73	0.179
合計	34,151 46.52%	24,843 33.84%	11,155 15.19%	2,138 2.91%	1,127 1.54%	73,414 100.00%	4.21	0.910	4.32	0.437	

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	19,258 41.36%	16,381 35.18%	8,424 18.09%	1,630 3.50%	866 1.86%	46,559 100.00%	4.11	0.944	4.15	0.440
演習	8,972 60.75%	4,287 29.03%	1,205 8.16%	217 1.47%	88 0.60%	14,769 100.00%	4.48	0.757	4.54	0.337
語学	5,921 48.99%	4,175 34.54%	1,526 12.63%	291 2.41%	173 1.43%	12,086 100.00%	4.27	0.876	4.28	0.433
合計	34,151 46.52%	24,843 33.84%	11,155 15.19%	2,138 2.91%	1,127 1.54%	73,414 100.00%	4.21	0.910	4.32	0.437

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	13,172 41.06%	11,565 36.05%	5,698 17.76%	1,094 3.41%	548 1.71%	32,077 100.00%	4.11	0.930
学部2年	10,380 46.88%	7,317 33.04%	3,383 15.28%	671 3.03%	392 1.77%	22,143 100.00%	4.20	0.928
学部3年	6,185 54.18%	3,675 32.19%	1,227 10.75%	220 1.93%	108 0.95%	11,415 100.00%	4.37	0.823
学部4年	2,234 64.27%	923 26.55%	256 7.36%	36 1.04%	27 0.78%	3,476 100.00%	4.53	0.743

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強く思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	8,363 59.32%	4,087 28.99%	1,290 9.15%	233 1.65%	124 0.88%	14,097 100.00%	4.44	0.797	4.46	0.410
26～50名	8,430 50.92%	5,514 33.31%	2,024 12.23%	398 2.40%	190 1.15%	16,556 100.00%	4.30	0.859	4.32	0.402
51～100名	5,681 41.68%	4,761 34.93%	2,423 17.78%	452 3.32%	313 2.30%	13,630 100.00%	4.10	0.961	4.11	0.449
101～200名	4,753 39.58%	4,390 36.56%	2,168 18.05%	481 4.01%	217 1.81%	12,009 100.00%	4.08	0.945	4.06	0.412
201名以上	6,924 40.44%	6,091 35.57%	3,250 18.98%	574 3.35%	283 1.65%	17,122 100.00%	4.10	0.931	4.08	0.356
合計	34,151 46.52%	24,843 33.84%	11,155 15.19%	2,138 2.91%	1,127 1.54%	73,414 100.00%	4.21	0.910	4.32	0.437

Q13 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
計セ	講義	1,504 41.88%	1,179 32.83%	683 19.02%	140 3.90%	85 2.37%	3,591 100.00%	4.08	0.986	4.07	0.399
外セ	語学	4,375 45.72%	3,396 35.49%	1,461 15.27%	254 2.65%	84 0.88%	9,570 100.00%	4.23	0.863	4.25	0.381
基礎教養	講義	2,726 45.82%	2,124 35.70%	811 13.63%	207 3.48%	81 1.36%	5,949 100.00%	4.21	0.901	4.26	0.386
法学部	講義	3,567 39.04%	2,989 32.71%	1,795 19.65%	536 5.87%	250 2.74%	9,137 100.00%	3.99	1.033	4.08	0.426
経済学部	講義	4,310 45.61%	3,079 32.58%	1,488 15.75%	361 3.82%	212 2.24%	9,450 100.00%	4.15	0.972	4.18	0.451
文学部	講義	3,212 41.65%	2,674 34.68%	1,261 16.35%	415 5.38%	149 1.93%	7,711 100.00%	4.09	0.981	4.17	0.439
理学部	講義	1,652 43.18%	1,226 32.04%	632 16.52%	196 5.12%	120 3.14%	3,826 100.00%	4.07	1.039	4.10	0.473
国際社会科学部	講義	1,423 44.88%	1,036 32.67%	498 15.70%	143 4.51%	71 2.24%	3,171 100.00%	4.13	0.985	4.16	0.402
国際社会科学部	語学	1,010 47.75%	741 35.04%	308 14.56%	44 2.08%	12 0.57%	2,115 100.00%	4.27	0.826	4.27	0.375
教職課程	講義	466 37.76%	378 30.63%	217 17.59%	101 8.18%	72 5.83%	1,234 100.00%	3.86	1.178	4.07	0.720
学芸員	講義	358 47.73%	270 36.00%	107 14.27%	14 1.87%	1 0.13%	750 100.00%	4.29	0.788	4.28	0.261
合計		24,603 43.54%	19,092 33.79%	9,261 16.39%	2,411 4.27%	1,137 2.01%	56,504 100.00%	4.13	0.967	4.19	0.421

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				形態別 平均	形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
講義		19,218 42.88%	14,955 33.37%	7,492 16.72%	2,113 4.71%	1,041 2.32%	44,819 100.00%	4.10	0.992	4.14	0.443
語学		5,385 46.08%	4,137 35.40%	1,769 15.14%	298 2.55%	96 0.82%	11,685 100.00%	4.23	0.857	4.25	0.379
合計		24,603 43.54%	19,092 33.79%	9,261 16.39%	2,411 4.27%	1,137 2.01%	56,504 100.00%	4.13	0.967	4.19	0.421

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		10,780 40.47%	9,421 35.37%	4,713 17.69%	1,192 4.48%	529 1.99%	26,635 100.00%	4.08	0.966
学部2年		7,910 44.61%	5,707 32.19%	2,868 16.18%	808 4.56%	437 2.46%	17,730 100.00%	4.12	0.999
学部3年		3,559 48.97%	2,411 33.18%	974 13.40%	236 3.25%	87 1.20%	7,267 100.00%	4.25	0.893
学部4年		971 52.32%	585 31.52%	218 11.75%	53 2.86%	29 1.56%	1,856 100.00%	4.30	0.897

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		3,177 49.16%	2,197 33.99%	878 13.59%	160 2.48%	51 0.79%	6,463 100.00%	4.28	0.847	4.30	0.394
26～50名		4,882 45.07%	3,790 34.99%	1,715 15.83%	328 3.03%	116 1.07%	10,831 100.00%	4.20	0.887	4.21	0.372
51～100名		5,168 44.21%	3,841 32.86%	1,889 16.16%	518 4.43%	273 2.34%	11,689 100.00%	4.12	0.988	4.11	0.440
101～200名		4,409 40.00%	3,707 33.63%	1,928 17.49%	632 5.73%	346 3.14%	11,022 100.00%	4.02	1.042	4.00	0.513
201名以上		6,967 42.23%	5,557 33.68%	2,851 17.28%	773 4.69%	351 2.13%	16,499 100.00%	4.09	0.983	4.08	0.393
合計		24,603 43.54%	19,092 33.79%	9,261 16.39%	2,411 4.27%	1,137 2.01%	56,504 100.00%	4.13	0.967	4.19	0.421

Q14 教材(教科書、配付資料等)の内容は適切である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計セ	講義	1,494 41.90%	1,223 34.30%	662 18.56%	109 3.06%	78 2.19%	3,566 100.00%	4.11	0.955	4.09	0.373
外セ	語学	4,708 49.32%	3,384 35.45%	1,196 12.53%	170 1.78%	87 0.91%	9,545 100.00%	4.30	0.824	4.32	0.355
基礎教養	講義	2,704 46.18%	2,152 36.75%	794 13.56%	144 2.46%	61 1.04%	5,855 100.00%	4.25	0.854	4.30	0.339
法学部	講義	3,763 41.27%	3,126 34.29%	1,710 18.76%	337 3.70%	181 1.99%	9,117 100.00%	4.09	0.958	4.19	0.359
経済学部	講義	4,197 44.68%	3,114 33.15%	1,632 17.37%	285 3.03%	165 1.76%	9,393 100.00%	4.16	0.935	4.19	0.402
文学部	講義	3,480 45.37%	2,750 35.85%	1,112 14.50%	218 2.84%	110 1.43%	7,670 100.00%	4.21	0.893	4.27	0.394
理学部	講義	1,686 44.23%	1,202 31.53%	722 18.94%	116 3.04%	86 2.26%	3,812 100.00%	4.12	0.970	4.15	0.404
国際社会科学部	講義	1,329 42.20%	1,050 33.34%	611 19.40%	92 2.92%	67 2.13%	3,149 100.00%	4.11	0.956	4.13	0.364
国際社会科学部	語学	1,006 47.63%	739 34.99%	308 14.58%	43 2.04%	16 0.76%	2,112 100.00%	4.27	0.837	4.26	0.353
教職課程	講義	478 38.77%	422 34.23%	219 17.76%	74 6.00%	40 3.24%	1,233 100.00%	3.99	1.048	4.18	0.568
学芸員	講義	349 46.53%	278 37.07%	106 14.13%	15 2.00%	2 0.27%	750 100.00%	4.28	0.797	4.29	0.248
合計		25,194 44.83%	19,440 34.59%	9,072 16.14%	1,603 2.85%	893 1.59%	56,202 100.00%	4.18	0.913	4.25	0.379

【形態別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	19,480 43.73%	15,317 34.39%	7,568 16.99%	1,390 3.12%	790 1.77%	44,545 100.00%	4.15	0.932	4.20	0.390
語学	5,714 49.02%	4,123 35.37%	1,504 12.90%	213 1.83%	103 0.88%	11,657 100.00%	4.30	0.826	4.31	0.355
合計	25,194 44.83%	19,440 34.59%	9,072 16.14%	1,603 2.85%	893 1.59%	56,202 100.00%	4.18	0.913	4.25	0.379

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			
学部1年	11,056 41.82%	9,616 36.37%	4,600 17.40%	764 2.89%	404 1.53%	26,440 100.00%	4.14	0.909
学部2年	8,129 45.97%	5,818 32.90%	2,841 16.07%	550 3.11%	345 1.95%	17,683 100.00%	4.18	0.943
学部3年	3,609 49.89%	2,451 33.88%	925 12.79%	171 2.36%	78 1.08%	7,234 100.00%	4.29	0.856
学部4年	1,009 54.51%	582 31.44%	207 11.18%	27 1.46%	26 1.40%	1,851 100.00%	4.36	0.843

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5 強くそう思う	4 そう思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない				平均	標準偏差
25名以下	3,322 51.53%	2,153 33.40%	783 12.15%	125 1.94%	64 0.99%	6,447 100.00%	4.33	0.835	4.34	0.382
26～50名	5,181 48.00%	3,817 35.36%	1,484 13.75%	221 2.05%	91 0.84%	10,794 100.00%	4.28	0.836	4.29	0.324
51～100名	5,265 45.22%	3,963 34.04%	1,864 16.01%	339 2.91%	212 1.82%	11,643 100.00%	4.18	0.928	4.18	0.387
101～200名	4,557 41.59%	3,819 34.85%	1,974 18.01%	367 3.35%	241 2.20%	10,958 100.00%	4.10	0.958	4.09	0.434
201名以上	6,869 41.99%	5,688 34.77%	2,967 18.14%	551 3.37%	285 1.74%	16,360 100.00%	4.12	0.937	4.10	0.328
合計	25,194 44.83%	19,440 34.59%	9,072 16.14%	1,603 2.85%	893 1.59%	56,202 100.00%	4.18	0.913	4.25	0.379

Q15 教員は参加者が活発に発言や議論が行えるよう心がけていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
外七	語学	4,670 50.23%	2,999 32.26%	1,298 13.96%	218 2.34%	112 1.20%	9,297 100.00%	4.28	0.875	4.31	0.414
スホ健	演習	676 58.08%	274 23.54%	191 16.41%	13 1.12%	10 0.86%	1,164 100.00%	4.37	0.855	4.44	0.390
基礎教養	演習	36 60.00%	8 13.33%	8 13.33%	4 6.67%	4 6.67%	60 100.00%	4.13	1.268	4.31	0.998
法学部	演習	1,070 65.09%	423 25.73%	126 7.66%	18 1.09%	7 0.43%	1,644 100.00%	4.54	0.720	4.59	0.307
経済学部	演習	1,052 69.17%	330 21.70%	119 7.82%	14 0.92%	6 0.39%	1,521 100.00%	4.58	0.709	4.59	0.364
文学部	演習	3,667 57.61%	1,975 31.03%	589 9.25%	103 1.62%	31 0.49%	6,365 100.00%	4.44	0.766	4.50	0.330
理学部	演習	610 49.55%	371 30.14%	219 17.79%	18 1.46%	13 1.06%	1,231 100.00%	4.26	0.873	4.28	0.298
国際社会科学部	演習	201 57.59%	116 33.24%	26 7.45%	4 1.15%	2 0.57%	349 100.00%	4.46	0.733	4.45	0.278
国際社会科学部	語学	1,142 55.33%	637 30.86%	244 11.82%	27 1.31%	14 0.68%	2,064 100.00%	4.39	0.796	4.39	0.333
教職課程	演習	678 59.01%	341 29.68%	103 8.96%	17 1.48%	10 0.87%	1,149 100.00%	4.44	0.787	4.50	0.303
学芸員	演習	34 52.31%	23 35.38%	8 12.31%	0 0.00%	0 0.00%	65 100.00%	4.40	0.703	4.44	0.379
合計		13,836 55.55%	7,497 30.10%	2,931 11.77%	436 1.75%	209 0.84%	24,909 100.00%	4.38	0.822	4.42	0.381

【形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
演習		8,024 59.23%	3,861 28.50%	1,389 10.25%	191 1.41%	83 0.61%	13,548 100.00%	4.44	0.781	4.50	0.346
語学		5,812 51.16%	3,636 32.00%	1,542 13.57%	245 2.16%	126 1.11%	11,361 100.00%	4.30	0.862	4.32	0.400
合計		13,836 55.55%	7,497 30.10%	2,931 11.77%	436 1.75%	209 0.84%	24,909 100.00%	4.38	0.822	4.42	0.381

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		5,190 50.04%	3,398 32.76%	1,451 13.99%	236 2.28%	96 0.93%	10,371 100.00%	4.29	0.856
学部2年		4,228 57.15%	2,133 28.83%	856 11.57%	112 1.51%	69 0.93%	7,398 100.00%	4.40	0.821
学部3年		2,426 60.39%	1,146 28.53%	365 9.09%	59 1.47%	21 0.52%	4,017 100.00%	4.47	0.763
学部4年		1,085 68.28%	388 24.42%	99 6.23%	9 0.57%	8 0.50%	1,589 100.00%	4.59	0.679

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
		強く思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		7,225 60.83%	3,276 27.58%	1,152 9.70%	147 1.24%	78 0.66%	11,878 100.00%	4.47	0.772	4.49	0.364
26～50名		5,744 51.35%	3,617 32.34%	1,465 13.10%	241 2.15%	118 1.05%	11,185 100.00%	4.31	0.855	4.31	0.388
51～100名		685 50.78%	418 30.99%	219 16.23%	19 1.41%	8 0.59%	1,349 100.00%	4.30	0.831	4.28	0.340
101～200名		182 36.62%	186 37.42%	95 19.11%	29 5.84%	5 1.01%	497 100.00%	4.03	0.939	4.04	0.219
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		13,836 55.55%	7,497 30.10%	2,931 11.77%	436 1.75%	209 0.84%	24,909 100.00%	4.38	0.822	4.42	0.381

Q16 教員は参加者が課題に取り組むのを助けた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
外七	語学	4,567 49.19%	3,120 33.61%	1,274 13.72%	226 2.43%	97 1.04%	9,284 100.00%	4.27	0.863	4.30	0.415
スホ健	演習	763 65.61%	268 23.04%	116 9.97%	10 0.86%	6 0.52%	1,163 100.00%	4.52	0.750	4.58	0.325
基礎教養	演習	34 56.67%	13 21.67%	10 16.67%	2 3.33%	1 1.67%	60 100.00%	4.28	0.976	4.39	0.603
法学部	演習	1,035 63.19%	436 26.62%	136 8.30%	20 1.22%	11 0.67%	1,638 100.00%	4.50	0.755	4.54	0.327
経済学部	演習	1,016 67.02%	351 23.15%	124 8.18%	21 1.39%	4 0.26%	1,516 100.00%	4.55	0.725	4.57	0.330
文学部	演習	3,705 58.40%	1,970 31.05%	540 8.51%	92 1.45%	37 0.58%	6,344 100.00%	4.45	0.758	4.50	0.297
理学部	演習	688 55.84%	356 28.90%	156 12.66%	14 1.14%	18 1.46%	1,232 100.00%	4.37	0.854	4.38	0.252
国際社会科学部	演習	183 52.89%	118 34.10%	35 10.12%	7 2.02%	3 0.87%	346 100.00%	4.36	0.813	4.36	0.342
国際社会科学部	語学	1,092 52.91%	656 31.78%	255 12.35%	39 1.89%	22 1.07%	2,064 100.00%	4.34	0.844	4.33	0.381
教職課程	演習	614 53.58%	363 31.68%	133 11.61%	26 2.27%	10 0.87%	1,146 100.00%	4.35	0.837	4.41	0.302
学芸員	演習	42 64.62%	19 29.23%	4 6.15%	0 0.00%	0 0.00%	65 100.00%	4.58	0.610	4.64	0.273
合計		13,739 55.27%	7,670 30.86%	2,783 11.20%	457 1.84%	209 0.84%	24,858 100.00%	4.38	0.819	4.42	0.374

【形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				形態別 平均	形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
演習		8,080 59.81%	3,894 28.82%	1,254 9.28%	192 1.42%	90 0.67%	13,510 100.00%	4.46	0.774	4.51	0.315
語学		5,659 49.87%	3,776 33.27%	1,529 13.47%	265 2.34%	119 1.05%	11,348 100.00%	4.29	0.860	4.30	0.408
合計		13,739 55.27%	7,670 30.86%	2,783 11.20%	457 1.84%	209 0.84%	24,858 100.00%	4.38	0.819	4.42	0.374

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		5,086 49.17%	3,517 34.00%	1,407 13.60%	237 2.29%	97 0.94%	10,344 100.00%	4.28	0.851
学部2年		4,179 56.58%	2,212 29.95%	806 10.91%	121 1.64%	68 0.92%	7,386 100.00%	4.40	0.816
学部3年		2,469 61.60%	1,128 28.14%	334 8.33%	53 1.32%	24 0.60%	4,008 100.00%	4.49	0.754
学部4年		1,103 69.41%	388 24.42%	76 4.78%	16 1.01%	6 0.38%	1,589 100.00%	4.61	0.662

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		7,055 59.56%	3,435 29.00%	1,096 9.25%	180 1.52%	80 0.68%	11,846 100.00%	4.45	0.778	4.47	0.364
26～50名		5,748 51.46%	3,657 32.74%	1,419 12.70%	235 2.10%	111 0.99%	11,170 100.00%	4.32	0.846	4.33	0.380
51～100名		736 54.68%	420 31.20%	164 12.18%	15 1.11%	11 0.82%	1,346 100.00%	4.38	0.803	4.38	0.246
101～200名		200 40.32%	158 31.85%	104 20.97%	27 5.44%	7 1.41%	496 100.00%	4.04	0.979	4.03	0.242
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		13,739 55.27%	7,670 30.86%	2,783 11.20%	457 1.84%	209 0.84%	24,858 100.00%	4.38	0.819	4.42	0.374

Q17 1回1回の授業のねらいが明確である

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
外七	語学	4,256 46.06%	3,165 34.25%	1,464 15.84%	246 2.66%	110 1.19%	9,241 100.00%	4.21	0.887	4.24	0.403
国際社会科学部	語学	965 49.03%	627 31.86%	289 14.68%	61 3.10%	26 1.32%	1,968 100.00%	4.24	0.907	4.25	0.387
合計		5,221 46.58%	3,792 33.83%	1,753 15.64%	307 2.74%	136 1.21%	11,209 100.00%	4.22	0.891	4.24	0.400

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
学部1年	2,818 44.07%	2,254 35.25%	1,068 16.70%	179 2.80%	76 1.19%	6,395 100.00%	4.18	0.891	
学部2年	1,794 48.83%	1,194 32.50%	536 14.59%	103 2.80%	47 1.28%	3,674 100.00%	4.25	0.895	
学部3年	247 56.14%	129 29.32%	56 12.73%	8 1.82%	0 0.00%	440 100.00%	4.40	0.778	
学部4年	86 57.33%	45 30.00%	13 8.67%	4 2.67%	2 1.33%	150 100.00%	4.39	0.858	

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	2,457 49.78%	1,590 32.21%	684 13.86%	142 2.88%	63 1.28%	4,936 100.00%	4.26	0.893	4.28	0.412
26～50名	2,764 44.06%	2,202 35.10%	1,069 17.04%	165 2.63%	73 1.16%	6,273 100.00%	4.18	0.888	4.19	0.376
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	5,221 46.58%	3,792 33.83%	1,753 15.64%	307 2.74%	136 1.21%	11,209 100.00%	4.22	0.891	4.24	0.400

Q18 教員は授業時間を有効に活用している

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
外七	語学	4,538 49.22%	3,208 34.79%	1,151 12.48%	208 2.26%	115 1.25%	9,220 100.00%	4.28	0.859	4.31	0.386
国際社会科学部	語学	979 49.87%	653 33.27%	264 13.45%	44 2.24%	23 1.17%	1,963 100.00%	4.28	0.865	4.28	0.400
合計		5,517 49.33%	3,861 34.53%	1,415 12.65%	252 2.25%	138 1.23%	11,183 100.00%	4.28	0.860	4.30	0.389

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		2,967 46.56%	2,317 36.36%	862 13.53%	150 2.35%	76 1.19%	6,372 100.00%	4.25	0.861
学部2年		1,896 51.66%	1,209 32.94%	437 11.91%	78 2.13%	50 1.36%	3,670 100.00%	4.31	0.863
学部3年		261 59.45%	127 28.93%	43 9.79%	6 1.37%	2 0.46%	439 100.00%	4.46	0.763
学部4年		95 63.33%	42 28.00%	9 6.00%	3 2.00%	1 0.67%	150 100.00%	4.51	0.757

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		2,558 51.93%	1,609 32.66%	578 11.73%	119 2.42%	62 1.26%	4,926 100.00%	4.32	0.864	4.33	0.407
26～50名		2,959 47.29%	2,252 35.99%	837 13.38%	133 2.13%	76 1.21%	6,257 100.00%	4.26	0.856	4.26	0.359
51～100名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上		0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計		5,517 49.33%	3,861 34.53%	1,415 12.65%	252 2.25%	138 1.23%	11,183 100.00%	4.28	0.860	4.30	0.389

Q19 授業は全学共通の総合基礎科目としてふさわしいものだった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
基礎教養	講義	1,850 50.55%	1,279 34.95%	409 11.17%	88 2.40%	34 0.93%	3,660 100.00%	4.32	0.834	4.34	0.385
	演習	17 80.95%	2 9.52%	1 4.76%	1 4.76%	0 0.00%	21 100.00%	4.67	0.796	4.14	1.015
合計		1,867 50.72%	1,281 34.80%	410 11.14%	89 2.42%	34 0.92%	3,681 100.00%	4.32	0.834	4.33	0.409

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		1,117 47.76%	875 37.41%	261 11.16%	69 2.95%	17 0.73%	2,339 100.00%	4.29	0.832
学部2年		387 57.42%	181 26.85%	83 12.31%	13 1.93%	10 1.48%	674 100.00%	4.37	0.880
学部3年		199 52.93%	125 33.24%	43 11.44%	5 1.33%	4 1.06%	376 100.00%	4.36	0.817
学部4年		74 66.07%	31 27.68%	7 6.25%	0 0.00%	0 0.00%	112 100.00%	4.60	0.607

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		78 77.23%	20 19.80%	1 0.99%	2 1.98%	0 0.00%	101 100.00%	4.72	0.585	4.64	0.223
26～50名		154 57.04%	81 30.00%	25 9.26%	9 3.33%	1 0.37%	270 100.00%	4.40	0.820	4.30	0.567
51～100名		242 43.14%	235 41.89%	60 10.70%	18 3.21%	6 1.07%	561 100.00%	4.23	0.844	4.24	0.354
101～200名		635 53.18%	371 31.07%	151 12.65%	25 2.09%	12 1.01%	1,194 100.00%	4.33	0.850	4.28	0.400
201名以上		758 48.75%	574 36.91%	173 11.13%	35 2.25%	15 0.96%	1,555 100.00%	4.30	0.827	4.33	0.295
合計		1,867 50.72%	1,281 34.80%	410 11.14%	89 2.42%	34 0.92%	3,681 100.00%	4.32	0.834	4.33	0.409

Q20 授業の内容や構成は全体としてまとまりのあるものだった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
基礎教養	講義	793 41.82%	719 37.92%	311 16.40%	54 2.85%	19 1.00%	1,896 100.00%	4.17	0.871	4.28	0.423
	演習	4 57.14%	2 28.57%	1 14.29%	0 0.00%	0 0.00%	7 100.00%	4.43	0.787	4.00	1.000
合計		797 41.88%	721 37.89%	312 16.40%	54 2.84%	19 1.00%	1,903 100.00%	4.17	0.871	4.27	0.446

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	487 39.53%	493 40.02%	201 16.31%	40 3.25%	11 0.89%	1,232 100.00%	4.14	0.866
学部2年	144 46.15%	94 30.13%	59 18.91%	9 2.88%	6 1.92%	312 100.00%	4.16	0.958
学部3年	90 47.12%	69 36.13%	27 14.14%	4 2.09%	1 0.52%	191 100.00%	4.27	0.820
学部4年	32 49.23%	22 33.85%	9 13.85%	1 1.54%	1 1.54%	65 100.00%	4.28	0.875

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	37 68.52%	13 24.07%	3 5.56%	0 0.00%	1 1.85%	54 100.00%	4.57	0.767	4.35	0.635
26～50名	44 44.90%	35 35.71%	17 17.35%	2 2.04%	0 0.00%	98 100.00%	4.23	0.810	4.37	0.485
51～100名	120 33.99%	147 41.64%	67 18.98%	14 3.97%	5 1.42%	353 100.00%	4.03	0.904	4.19	0.502
101～200名	198 42.22%	170 36.25%	82 17.48%	14 2.99%	5 1.07%	469 100.00%	4.16	0.889	4.28	0.318
201名以上	398 42.84%	356 38.32%	143 15.39%	24 2.58%	8 0.86%	929 100.00%	4.20	0.852	4.23	0.312
合計	797 41.88%	721 37.89%	312 16.40%	54 2.84%	19 1.00%	1,903 100.00%	4.17	0.871	4.27	0.446

Q21 私は授業に遅刻したことがない

【部門別・形態別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
経済学部	講義	2,740 44.63%	1,277 20.80%	897 14.61%	583 9.50%	642 10.46%	6,139 100.00%	3.80	1.368	3.66	0.546
	演習	524 59.75%	154 17.56%	87 9.92%	51 5.82%	61 6.96%	877 100.00%	4.17	1.236	4.13	0.693
合計		3,264 46.52%	1,431 20.40%	984 14.03%	634 9.04%	703 10.02%	7,016 100.00%	3.84	1.358	3.87	0.658

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年		1,578 53.95%	541 18.50%	372 12.72%	219 7.49%	215 7.35%	2,925 100.00%	4.04	1.275
学部2年		767 46.40%	347 20.99%	234 14.16%	132 7.99%	173 10.47%	1,653 100.00%	3.85	1.358
学部3年		590 36.53%	376 23.28%	251 15.54%	188 11.64%	210 13.00%	1,615 100.00%	3.59	1.410
学部4年		162 35.53%	92 20.18%	80 17.54%	55 12.06%	67 14.69%	456 100.00%	3.50	1.445

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下		526 57.36%	166 18.10%	99 10.80%	65 7.09%	61 6.65%	917 100.00%	4.12	1.245	4.05	0.735
26～50名		151 45.35%	63 18.92%	49 14.71%	29 8.71%	41 12.31%	333 100.00%	3.76	1.417	3.70	0.656
51～100名		206 38.36%	103 19.18%	87 16.20%	60 11.17%	81 15.08%	537 100.00%	3.55	1.465	3.40	0.588
101～200名		321 44.65%	146 20.31%	100 13.91%	70 9.74%	82 11.40%	719 100.00%	3.77	1.397	3.77	0.425
201名以上		2,060 45.68%	953 21.13%	649 14.39%	410 9.09%	438 9.71%	4,510 100.00%	3.84	1.347	3.74	0.381
合計		3,264 46.52%	1,431 20.40%	984 14.03%	634 9.04%	703 10.02%	7,016 100.00%	3.84	1.358	3.87	0.658

Q22 高校で履修した数学科目

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
－	数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲを履修した	数Ⅰ・数Ⅱ のみ履修した	数Ⅰのみ 履修した	いずれにも該当し ない(例:留学生)							
経済学部	講義	－	771 12.74%	4,473 73.92%	505 8.35%	302 4.99%	6,051 100.00%	－	－	－	－
	演習	－	124 14.55%	628 73.71%	70 8.22%	30 3.52%	852 100.00%	－	－	－	－
合計		－	895 12.97%	5,101 73.90%	575 8.33%	332 4.81%	6,903 100.00%	－	－	－	－

【学部生・学年別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1			
－	数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲを履修した	数Ⅰ・数Ⅱ のみ履修した	数Ⅰのみ 履修した	いずれにも該当し ない(例:留学生)					
学部1年	－	355 12.19%	2,272 78.00%	188 6.45%	98 3.36%	2,913 100.00%	－	－	
学部2年	－	235 14.50%	1,228 75.76%	111 6.85%	47 2.90%	1,621 100.00%	－	－	
学部3年	－	193 12.20%	1,096 69.28%	194 12.26%	99 6.26%	1,582 100.00%	－	－	
学部4年	－	61 13.96%	278 63.62%	45 10.30%	53 12.13%	437 100.00%	－	－	

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1				平均	標準偏差
－	数Ⅰ・数Ⅱ・ 数Ⅲを履修した	数Ⅰ・数Ⅱ のみ履修した	数Ⅰのみ 履修した	いずれにも該当し ない(例:留学生)							
25名以下	－	123 13.82%	635 71.35%	82 9.21%	50 5.62%	890 100.00%	－	－	－	－	
26～50名	－	48 14.72%	223 68.40%	29 8.90%	26 7.98%	326 100.00%	－	－	－	－	
51～100名	－	70 13.38%	353 67.50%	48 9.18%	52 9.94%	523 100.00%	－	－	－	－	
101～200名	－	100 14.10%	513 72.36%	62 8.74%	34 4.80%	709 100.00%	－	－	－	－	
201名以上	－	554 12.44%	3,377 75.80%	354 7.95%	170 3.82%	4,455 100.00%	－	－	－	－	
合計	－	895 12.97%	5,101 73.90%	575 8.33%	332 4.81%	6,903 100.00%	－	－	－	－	

Q23 運動量は

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	十分であった	おおむね 十分であった	どちらとも 言えない	やや不足 していた	不十分で あった						
スポ健	演習	953 65.41%	375 25.74%	92 6.31%	29 1.99%	8 0.55%	1,457 100.00%	4.53	0.749	4.60	0.300
合計		953 65.41%	375 25.74%	92 6.31%	29 1.99%	8 0.55%	1,457 100.00%	4.53	0.749	4.60	0.300

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	十分であった	おおむね 十分であった	どちらとも 言えない	やや不足 していた	不十分で あった			
学部1年	539 59.89%	272 30.22%	61 6.78%	21 2.33%	7 0.78%	900 100.00%	4.46	0.786
学部2年	202 75.09%	42 15.61%	21 7.81%	4 1.49%	0 0.00%	269 100.00%	4.64	0.690
学部3年	112 79.43%	21 14.89%	5 3.55%	3 2.13%	0 0.00%	141 100.00%	4.72	0.636
学部4年	50 76.92%	13 20.00%	1 1.54%	1 1.54%	0 0.00%	65 100.00%	4.72	0.573

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	十分であった	おおむね 十分であった	どちらとも 言えない	やや不足 していた	不十分で あった					
25名以下	543 72.02%	161 21.35%	35 4.64%	13 1.72%	2 0.27%	754 100.00%	4.63	0.679	4.67	0.267
26～50名	410 58.32%	214 30.44%	57 8.11%	16 2.28%	6 0.85%	703 100.00%	4.43	0.805	4.45	0.311
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	953 65.41%	375 25.74%	92 6.31%	29 1.99%	8 0.55%	1,457 100.00%	4.53	0.749	4.60	0.300

Q24 体力・健康状態が改善された

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	733 50.31%	410 28.14%	272 18.67%	26 1.78%	16 1.10%	1,457 100.00%	4.25	0.894	4.35	0.384
合計		733 50.31%	410 28.14%	272 18.67%	26 1.78%	16 1.10%	1,457 100.00%	4.25	0.894	4.35	0.384

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	373 41.44%	290 32.22%	201 22.33%	23 2.56%	13 1.44%	900 100.00%	4.10	0.928
学部2年	179 66.54%	48 17.84%	39 14.50%	2 0.74%	1 0.37%	269 100.00%	4.49	0.795
学部3年	96 68.09%	33 23.40%	12 8.51%	0 0.00%	0 0.00%	141 100.00%	4.60	0.643
学部4年	41 63.08%	14 21.54%	9 13.85%	1 1.54%	0 0.00%	65 100.00%	4.46	0.792

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	457 60.53%	183 24.24%	99 13.11%	11 1.46%	5 0.66%	755 100.00%	4.43	0.821	4.47	0.322
26～50名	276 39.32%	227 32.34%	173 24.64%	15 2.14%	11 1.57%	702 100.00%	4.06	0.930	4.10	0.383
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	733 50.31%	410 28.14%	272 18.67%	26 1.78%	16 1.10%	1,457 100.00%	4.25	0.894	4.35	0.384

Q25 運動技術が向上した

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
スポ健	演習	780 53.50%	409 28.05%	219 15.02%	35 2.40%	15 1.03%	1,458 100.00%	4.31	0.884	4.41	0.377
合計		780 53.50%	409 28.05%	219 15.02%	35 2.40%	15 1.03%	1,458 100.00%	4.31	0.884	4.41	0.377

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	397 44.06%	288 31.96%	172 19.09%	30 3.33%	14 1.55%	901 100.00%	4.14	0.942
学部2年	186 69.14%	52 19.33%	26 9.67%	4 1.49%	1 0.37%	269 100.00%	4.55	0.759
学部3年	101 71.63%	34 24.11%	6 4.26%	0 0.00%	0 0.00%	141 100.00%	4.67	0.554
学部4年	48 73.85%	12 18.46%	4 6.15%	1 1.54%	0 0.00%	65 100.00%	4.65	0.672

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	478 63.31%	182 24.11%	79 10.46%	13 1.72%	3 0.40%	755 100.00%	4.48	0.782	4.54	0.315
26～50名	302 42.96%	227 32.29%	140 19.91%	22 3.13%	12 1.71%	703 100.00%	4.12	0.946	4.15	0.362
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	780 53.50%	409 28.05%	219 15.02%	35 2.40%	15 1.03%	1,458 100.00%	4.31	0.884	4.41	0.377

Q26 履修したスポーツ種目等について新しい知識が得られた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
スポ健	演習	876 60.12%	389 26.70%	151 10.36%	26 1.78%	15 1.03%	1,457 100.00%	4.43	0.827	4.50	0.321
合計		876 60.12%	389 26.70%	151 10.36%	26 1.78%	15 1.03%	1,457 100.00%	4.43	0.827	4.50	0.321

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	479 53.16%	274 30.41%	117 12.99%	22 2.44%	9 1.00%	901 100.00%	4.32	0.863
学部2年	196 72.86%	49 18.22%	18 6.69%	1 0.37%	5 1.86%	269 100.00%	4.60	0.789
学部3年	99 70.21%	32 22.70%	8 5.67%	2 1.42%	0 0.00%	141 100.00%	4.62	0.662
学部4年	52 80.00%	9 13.85%	3 4.62%	0 0.00%	1 1.54%	65 100.00%	4.71	0.701

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	506 67.11%	174 23.08%	61 8.09%	10 1.33%	3 0.40%	754 100.00%	4.55	0.733	4.59	0.295
26～50名	370 52.63%	215 30.58%	90 12.80%	16 2.28%	12 1.71%	703 100.00%	4.30	0.900	4.33	0.305
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	876 60.12%	389 26.70%	151 10.36%	26 1.78%	15 1.03%	1,457 100.00%	4.43	0.827	4.50	0.321

Q27 身体や運動に対する関心が高まった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	803 55.11%	409 28.07%	193 13.25%	35 2.40%	17 1.17%	1,457 100.00%	4.34	0.879	4.43	0.373
合計		803 55.11%	409 28.07%	193 13.25%	35 2.40%	17 1.17%	1,457 100.00%	4.34	0.879	4.43	0.373

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	412 45.78%	300 33.33%	144 16.00%	29 3.22%	15 1.67%	900 100.00%	4.18	0.930
学部2年	198 73.61%	42 15.61%	25 9.29%	3 1.12%	1 0.37%	269 100.00%	4.61	0.733
学部3年	96 68.09%	37 26.24%	8 5.67%	0 0.00%	0 0.00%	141 100.00%	4.62	0.592
学部4年	51 78.46%	8 12.31%	5 7.69%	0 0.00%	1 1.54%	65 100.00%	4.66	0.756

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	493 65.38%	180 23.87%	65 8.62%	13 1.72%	3 0.40%	754 100.00%	4.52	0.758	4.57	0.304
26～50名	310 44.10%	229 32.57%	128 18.21%	22 3.13%	14 1.99%	703 100.00%	4.14	0.954	4.18	0.362
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	803 55.11%	409 28.07%	193 13.25%	35 2.40%	17 1.17%	1,457 100.00%	4.34	0.879	4.43	0.373

Q28 自分の身体の健康、体力の再確認ができた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
スポ健	演習	902 61.91%	400 27.45%	134 9.20%	13 0.89%	8 0.55%	1,457 100.00%	4.49	0.744	4.57	0.303
合計		902 61.91%	400 27.45%	134 9.20%	13 0.89%	8 0.55%	1,457 100.00%	4.49	0.744	4.57	0.303

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	487 54.11%	292 32.44%	102 11.33%	13 1.44%	6 0.67%	900 100.00%	4.38	0.793
学部2年	205 76.21%	46 17.10%	17 6.32%	0 0.00%	1 0.37%	269 100.00%	4.69	0.622
学部3年	105 74.47%	30 21.28%	6 4.26%	0 0.00%	0 0.00%	141 100.00%	4.70	0.544
学部4年	53 81.54%	8 12.31%	4 6.15%	0 0.00%	0 0.00%	65 100.00%	4.75	0.560

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1				平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	536 71.09%	168 22.28%	46 6.10%	4 0.53%	0 0.00%	754 100.00%	4.64	0.620	4.67	0.252
26～50名	366 52.06%	232 33.00%	88 12.52%	9 1.28%	8 1.14%	703 100.00%	4.34	0.829	4.37	0.293
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	902 61.91%	400 27.45%	134 9.20%	13 0.89%	8 0.55%	1,457 100.00%	4.49	0.744	4.57	0.303

Q29 自分の生活習慣を見直す機会となった

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
スポ健	演習	806 55.36%	362 24.86%	226 15.52%	41 2.82%	21 1.44%	1,456 100.00%	4.30	0.929	4.39	0.385
合計		806 55.36%	362 24.86%	226 15.52%	41 2.82%	21 1.44%	1,456 100.00%	4.30	0.929	4.39	0.385

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	415 46.11%	276 30.67%	167 18.56%	28 3.11%	14 1.56%	900 100.00%	4.17	0.940
学部2年	198 73.61%	30 11.15%	31 11.52%	7 2.60%	3 1.12%	269 100.00%	4.54	0.879
学部3年	100 71.43%	23 16.43%	13 9.29%	3 2.14%	1 0.71%	140 100.00%	4.56	0.807
学部4年	47 72.31%	13 20.00%	3 4.62%	1 1.54%	1 1.54%	65 100.00%	4.60	0.787

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	485 64.41%	156 20.72%	94 12.48%	12 1.59%	6 0.80%	753 100.00%	4.46	0.831	4.51	0.331
26～50名	321 45.66%	206 29.30%	132 18.78%	29 4.13%	15 2.13%	703 100.00%	4.12	0.994	4.17	0.386
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	806 55.36%	362 24.86%	226 15.52%	41 2.82%	21 1.44%	1,456 100.00%	4.30	0.929	4.39	0.385

Q30 施設・用具も含め授業の準備は十分なされていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
スポ健	演習	1,056 72.63%	307 21.11%	82 5.64%	3 0.21%	6 0.41%	1,454 100.00%	4.65	0.634	4.71	0.241
合計		1,056 72.63%	307 21.11%	82 5.64%	3 0.21%	6 0.41%	1,454 100.00%	4.65	0.634	4.71	0.241

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1			
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない			
学部1年	604 67.19%	225 25.03%	62 6.90%	3 0.33%	5 0.56%	899 100.00%	4.58	0.685
学部2年	220 81.78%	32 11.90%	16 5.95%	0 0.00%	1 0.37%	269 100.00%	4.75	0.595
学部3年	116 82.86%	22 15.71%	2 1.43%	0 0.00%	0 0.00%	140 100.00%	4.81	0.426
学部4年	54 83.08%	10 15.38%	1 1.54%	0 0.00%	0 0.00%	65 100.00%	4.82	0.429

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					科目ベース				
	5	4	3	2	1	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
	強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない					
25名以下	604 80.32%	123 16.36%	24 3.19%	0 0.00%	1 0.13%	752 100.00%	4.77	0.509	4.79	0.203
26～50名	452 64.39%	184 26.21%	58 8.26%	3 0.43%	5 0.71%	702 100.00%	4.53	0.725	4.55	0.234
51～100名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
101～200名	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
201名以上	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
合計	1,056 72.63%	307 21.11%	82 5.64%	3 0.21%	6 0.41%	1,454 100.00%	4.65	0.634	4.71	0.241

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧

		平成 29 年度	平成 30 年度
委員長	副 学 長	眞 野 泰	眞 野 泰
委 員	学生センター所長	小 島 修 一	小 島 修 一
委 員	学 長 室 部 長	佐 藤 吉 孝	佐 藤 吉 孝
委 員	法 学 部	津 村 政 孝 常 岡 孝 好	元 田 結 花
委 員	経 済 学 部	赤 司 健 太 郎	宮 川 努
委 員	文 学 部	今 井 久 登	神 田 龍 身
委 員	理 学 部	中 野 伸	清 末 知 宏
委 員	国際社会科学部	牧 田 り え	ガリア, クレマンス
委 員	法 務 研 究 科	大 橋 洋 一 原 恵 美	原 恵 美
委 員	スポーツ・健康科学センター	高 丸 功	高 丸 功
委 員	計 算 機 セ ン タ ー	横 山 悦 郎	横 山 悦 郎
委 員	外国語教育研究センター	加 藤 耕 義	加 藤 耕 義
委 員	教 職 課 程	山 崎 準 二	山 崎 準 二
委 員	学芸員課程委員会	島 尾 新	島 尾 新

学習院大学
平成29（2017）年度「授業評価アンケート」報告書

平成30（2018）年9月

編 集 学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

発 行 学習院大学

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL 03(5992)1003

お問合せ先：学長室経営企画課